

Sterling Business Center



アイテム管理ガイド

リリース 9.1

Sterling Business Center



アイテム管理ガイド

リリース 9.1

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、731 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

著作権

本書は、IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation バージョン 9.1、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

目次

お願い	iii
著作権	v
第 1 章 IBM Sterling Business Center アイテム管理概要	1
アイテム管理者による Sterling Business Center 向けの初期構成	2
システム管理者による Sterling Business Center 向けの初期構成	3
Sterling Business Center において設定可能モデルを使用するための初期構成	5
Sterling Business Center でのアイテム詳細のプレビューに向けた構成	5
第 2 章 Sterling Business Center アプリケーション・ユーザー・インターフェースの理解	7
第 3 章 Sterling Business Center アプリケーション・ユーザー・インターフェースのアイコンおよび説明	9
第 4 章 Sterling Business Center でのコンテキスト組織の変更	13
Sterling Business Center での、コンテキスト組織の概要	13
Sterling Business Center でのコンテキスト組織の変更	13
第 5 章 Sterling Business Center へのログイン	15
第 6 章 Sterling Business Center ホーム・ページの使用	17
アイテム管理ホーム・ページの利用概要	17
Sterling Business Center でのカタログ管理	17
Sterling Business Center での価格管理	19
Sterling Business Center でのストアフロント管理	20
Sterling Business Center での取引管理	20
Sterling Business Center でのお気に入りの保存済み検索の実行	21
Sterling Business Center での、最近変更されたエンティティへのアクセス	21
Sterling Business Center でのクーポン使用グラフの表示	21
第 7 章 Sterling Business Center での標準アイテムの作成	23

第 8 章 Sterling Business Center でのバンドル・アイテムの作成	25
第 9 章 Sterling Business Center での物理キット・アイテムの作成	27
第 10 章 Sterling Business Center での動的物理キット・アイテムの作成	29
第 11 章 Sterling Business Center でのバリエーションのあるアイテムの作成	31
バリエーションのあるアイテムの作成への前提条件	31
バリエーションのあるアイテムの作成	31
第 12 章 Sterling Business Center での論理キット・アイテムの作成	35
第 13 章 Sterling Business Center でのアイテムの検索	37
Sterling Business Center でのアイテムの基本検索	37
Sterling Business Center でのアイテムの拡張検索	38
Sterling Business Center でのアイテムの拡張検索に検索条件を追加する	39
Sterling Business Center でのアイテム検索の保存	39
Sterling Business Center での保存済みアイテム検索を使用した検索	40
Sterling Business Center での保存済みアイテム検索の変更	41
第 14 章 Sterling Business Center での検索の保存	43
第 15 章 Sterling Business Center での保存済み検索の管理	45
Sterling Business Center で保存済み検索の名前を変更する	45
Sterling Business Center での保存済み検索の削除	46
Sterling Business Center での保存済み検索の参照および実行	46
保存済み検索をお気に入りとしてマーク付け	47
第 16 章 既存アイテムを子アイテムとしてバリエーション・アイテムに追加	49
第 17 章 バリエーション・アイテムの子アイテムを変更する	51
第 18 章 バリエーション・アイテムから子アイテムを削除する	53

第 19 章 アイテムの主要情報の定義 . . . 55	第 39 章 タグ付きアイテム用の在庫の構成 99
第 20 章 Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ 59	タグ付きアイテムに対する在庫構成の概要 99
第 21 章 アイテムの単位の定義 61	タグ付きアイテムの在庫を構成する 99
第 22 章 在庫単位とは異なる価格設定単位の定義 63	タグ ID のタグ属性を構成する 102
第 23 章 代替単位の追加 65	第 40 章 タグなしアイテム用の在庫の構成 103
第 24 章 代替単位の変更 67	第 41 章 アイテムにクロスセル・アイテムを関連付ける 107
第 25 章 代替単位の削除 69	第 42 章 クロスセル・アイテムの詳細を変更する 109
第 26 章 アイテムに手動で指示を追加する 71	第 43 章 アイテムとクロスセル・アイテムとの関連付けを解除する 111
第 27 章 既存指示コードからの指示をアイテムに追加する 73	第 44 章 テキスト属性のプロパティの定義 113
第 28 章 アイテムの指示の変更 75	第 45 章 アイテムにカテゴリを関連付けてクロスセルの関連付けを行う . . . 115
第 29 章 アイテムの指示順序の変更 . . . 77	第 46 章 クロスセルの関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更する . 117
第 30 章 アイテムからの指示の削除 . . . 79	第 47 章 クロスセルの関連付けにおけるアイテムとカテゴリとの関連付けを解除する 119
第 31 章 アイテムのソーシングおよび輸送に関するフルフィルメントの詳細の定義 81	第 48 章 アイテムにアップセル・アイテムを関連付ける 121
第 32 章 返品承認のための返品フルフィルメント詳細の定義 85	第 49 章 アップセル・アイテムの詳細を変更する 123
第 33 章 返品拒否のための返品フルフィルメント詳細の定義 87	第 50 章 アイテムとアップセル・アイテムとの関連付けを解除する 125
第 34 章 属性値のアイテム属性への割り当て 89	第 51 章 アイテムにカテゴリを関連付けてアップセルの関連付けを行う . . . 127
アイテム属性の属性値に関する概要 89	第 52 章 アップセルの関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更する . 129
アイテム属性への属性値の割り当て 89	第 53 章 アップセルの関連付けにおけるアイテムとカテゴリとの関連付けを解除する 131
第 35 章 アイテム属性の属性値をオーバーライドする 91	第 54 章 アイテムに交換品を関連付ける 133
第 36 章 アイテム属性の属性値の変更 . . 93	
第 37 章 アイテム属性に複数の属性値を割り当てる 95	
第 38 章 アイテムの拡張フィールドに値を割り当てる 97	

第 55 章 交換品の詳細を変更する . . .	135	第 74 章 競合品とアイテムとの関連付 け解除	173
第 56 章 アイテムと交換品との関連付 けを解除する	137	第 75 章 競合品の関連付けとしてのカ テゴリとアイテムとの関連付け . . .	175
第 57 章 交換品の関連付けとしてのカ テゴリとアイテムとの関連付け . . .	139	第 76 章 競合品の関連付けにおけるカ テゴリの有効日付範囲の変更	177
第 58 章 交換品の関連付けにおけるカ テゴリの有効日付範囲の変更	141	第 77 章 競合品の関連付けでのカテゴ リとアイテムとの関連付け解除 . . .	179
第 59 章 交換品の関連付けにおけるカ テゴリとアイテムとの関連付け解除 .	143	第 78 章 アイテムへのアセットの追加	181
第 60 章 推奨代替品とアイテムとの関 連付け	145	第 79 章 アセットの詳細の変更	183
第 61 章 推奨代替品の詳細の変更 . . .	147	第 80 章 アイテムからのアセットの削 除	185
第 62 章 推奨代替品とアイテムとの関 連付け解除	149	第 81 章 キーワードとアイテムとの関 連付け	187
第 63 章 推奨代替品の関連付けとして のカテゴリとアイテムとの関連付け .	151	第 82 章 キーワードとアイテムとの関 連付け解除	189
第 64 章 推奨代替品の関連付けにおけ るカテゴリの有効日付範囲の変更 . .	153	第 83 章 エイリアスとアイテムとの関 連付け	191
第 65 章 推奨代替品の関連付けにおけ るカテゴリとアイテムとの関連付け解 除	155	第 84 章 エイリアスとアイテムとの関 連付け解除	193
第 66 章 代替品とアイテムとの関連付 け	157	第 85 章 除外コードとアイテムとの関 連付け	195
第 67 章 代替品の詳細の変更	159	第 86 章 除外コードとアイテムとの関 連付け解除	197
第 68 章 代替品とアイテムとの関連付 け解除	161	第 87 章 アイテムの取引管理および販 売の詳細の定義	199
第 69 章 代替品の関連付けとしてのカ テゴリとアイテムとの関連付け . . .	163	第 88 章 アイテムへのノードの追加と ノード詳細の定義	203
第 70 章 代替品の関連付けにおけるカ テゴリの有効日付範囲の変更	165	第 89 章 ノード詳細の変更	205
第 71 章 代替品の関連付けにおけるカ テゴリとアイテムとの関連付け解除 .	167	第 90 章 アイテムからのノードの削除	207
第 72 章 競合品とアイテムとの関連付 け	169	第 91 章 アイテム分類の定義	209
第 73 章 競合品の詳細の変更	171	第 92 章 Sterling Business Center で の配達サービスの作成	213

第 93 章 配達サービスに対する主要情報の定義.	215	第 109 章 アイテムからの提供サービスの関連付け解除.	259
第 94 章 Sterling Business Center での提供サービスの作成.	219	第 110 章 配達サービスのアイテムへの関連付け.	261
第 95 章 提供サービスに対する主要情報の定義.	221	第 111 章 アイテムに関連付けられた配達サービスの変更.	263
第 96 章 Sterling Business Center での返品ピックアップ・サービスの作成.	225	第 112 章 アイテムからの配達サービスの関連付け解除.	265
第 97 章 返品ピックアップ・サービスに対する主要情報の定義.	227	第 113 章 返品ピックアップ・サービスのアイテムへの関連付け.	267
第 98 章 Sterling Business Center での流通加工サービスの作成.	231	第 114 章 アイテムに関連付けられた返品ピックアップ・サービスの変更.	269
第 99 章 流通加工サービスに対する主要情報の定義.	233	第 115 章 アイテムからの返品ピックアップ・サービスの関連付け解除.	271
第 100 章 Sterling Business Center でのサービスの検索.	237	第 116 章 物理キットまたはバンドル・アイテムに対する手動でのアイテムの割り当ておよびアイテム数量の定義.	273
Sterling Business Center でのサービスの基本検索.	237	第 117 章 物理キットまたはバンドル・アイテムに対する手動でのサービス・アイテムの割り当ておよびサービス数量の定義.	275
Sterling Business Center でのサービスの拡張検索.	237	第 118 章 物理キットまたはバンドル・アイテムからの既存のアイテムまたはサービスの手動削除.	277
検索条件を追加した Sterling Business Center でのサービスの拡張検索.	238	第 119 章 Sterling Business Center での設定可能アイテムの作成.	279
Sterling Business Center でのサービス検索の保存.	239	バンドル・アイテムへのモデルの関連付け.	279
Sterling Business Center での保存済みサービス検索を使用した検索の実行.	240	第 120 章 Sterling Business Center での事前設定済みアイテムの作成.	281
Sterling Business Center での保存済みサービス検索の変更.	240	モデルを使用しての事前設定済みアイテムとしてのアイテムの作成.	281
第 101 章 手動での指示のサービスへの追加.	243	第 121 章 設定可能アイテムまたは事前設定済みアイテムの設定モデルの変更.	283
第 102 章 既存指示コードからの指示のサービスへの追加.	245	第 122 章 事前設定済みアイテムの設定の変更.	285
第 103 章 サービスに対する指示順序の変更.	247	第 123 章 Sterling Business Center でのアイテム詳細のプレビュー.	287
第 104 章 サービスの指示の変更.	249		
第 105 章 指示のサービスからの削除.	251		
第 106 章 サービスの拡張フィールドへの値の割り当て.	253		
第 107 章 提供サービスのアイテムへの関連付け.	255		
第 108 章 アイテムに関連付けられた提供サービスの変更.	257		

第 124 章 付加価値サービスへのサービス・アクティビティの追加	289	第 140 章 クロスセル・サービスのサービスへの関連付け	325
第 125 章 付加価値サービスのサービス・アクティビティの変更	293	第 141 章 クロスセル・サービスの詳細の変更	327
第 126 章 付加価値サービスからのサービス・アクティビティの削除	297	第 142 章 サービスからのクロスセル・サービスの関連付け解除	329
第 127 章 提供サービスまたは配達サービスへのサービス・オプションの追加	299	第 143 章 アップセル・サービスのサービスへの関連付け	331
第 128 章 提供サービスまたは配達サービスからのサービス・オプションの削除	301	第 144 章 アップセル・サービスの詳細の変更	333
第 129 章 提供サービスまたは配達サービスへのサービス・スキルの関連付け	303	第 145 章 サービスからのアップセル・サービスの関連付け解除	335
第 130 章 提供サービスまたは配達サービスからのサービス・スキルの関連付け解除	305	第 146 章 交換サービスのサービスへの関連付け	337
第 131 章 キット化サービスおよびキット化解除サービスの物理キット・アイテムまたは動的物理キット・アイテムへの関連付け	307	第 147 章 交換サービスの詳細の変更	339
第 132 章 物理キット・アイテムまたは動的物理キット・アイテムからのキット化サービスおよびキット化解除サービスの関連付け解除	309	第 148 章 サービスからの交換サービスの関連付け解除	341
第 133 章 サービスの取引管理および販売の詳細定義	311	第 149 章 優先代替品サービスのサービスへの関連付け	343
第 134 章 キーワードのサービスへの関連付け	313	第 150 章 優先代替品サービスの詳細の変更	345
第 135 章 サービスからのキーワードの関連付け解除	315	第 151 章 サービスからの優先代替品サービスの関連付け解除	347
第 136 章 エイリアスのサービスへの関連付け	317	第 152 章 代替サービスのサービスへの関連付け	349
第 137 章 サービスからのエイリアスの関連付け解除	319	第 153 章 代替サービスの詳細の変更	351
第 138 章 除外コードのサービスへの関連付け	321	第 154 章 サービスからの代替サービスの関連付け解除	353
第 139 章 サービスからの除外コードの関連付け解除	323	第 155 章 競合サービスのサービスへの関連付け	355
		第 156 章 競合サービスの詳細の変更	357
		第 157 章 サービスからの競合サービスの関連付け解除	359
		第 158 章 アセットのサービスへの追加	361

第 159 章 サービスのアセットの変更	363	第 179 章 許容される値アセットのテキスト属性からの削除	409
第 160 章 アセットのサービスからの削除	365	第 180 章 ブール属性のプロパティの定義	411
第 161 章 新規検索インデックスの生成	367	第 181 章 数値属性のプロパティの定義	413
第 162 章 インクリメンタル検索インデックスの生成	369	第 182 章 すべての数値の数値属性への割り当て	415
第 163 章 検索インデックスのアクティブ化	371	第 183 章 特定の数値の数値属性への割り当て	417
第 164 章 検索インデックスの削除	373	第 184 章 派生属性の表示	419
第 165 章 日付別検索インデックスの削除	375	第 185 章 派生属性の範囲の定義	421
第 166 章 Sterling Business Center でのアイテムの削除	377	第 186 章 派生属性の値範囲の順序の変更	423
第 167 章 Sterling Business Center でのサービスの削除	379	第 187 章 派生属性から範囲を削除	425
第 168 章 属性ドメインの詳細の定義	381	第 188 章 接尾辞の属性値への追加	427
第 169 章 属性グループの作成	383	第 189 章 属性値の接尾辞の変更	429
第 170 章 属性グループの変更	385	第 190 章 接尾辞の属性値からの削除	431
第 171 章 属性の作成	387	第 191 章 アセットの属性への追加	433
属性作成の概要	387	第 192 章 アセットの属性の変更	435
属性の作成	387	第 193 章 アセットの属性からの削除	437
第 172 章 属性の詳細の変更	391	第 194 章 属性の削除	439
第 173 章 属性グループおよび属性の順序の変更	395	第 195 章 属性グループの削除	441
第 174 章 値のリストのテキスト属性への割り当て	397	第 196 章 組織のサブカタログ組織リストへの追加	443
第 175 章 フリー・フォーム・テキスト値のテキスト属性への割り当て	401	サブカタログ組織の概要	443
第 176 章 値のテキスト属性からの削除	403	組織のサブカタログ組織リストへの追加	443
第 177 章 許容される値アセットのテキスト属性への追加	405	第 197 章 組織のサブカタログ組織リストからの削除	445
第 178 章 テキスト属性の許容される値アセットの変更	407	第 198 章 Sterling Business Center での顧客資格の作成	447
		第 199 章 Sterling Business Center での顧客資格の検索	449
		Sterling Business Center での資格の基本検索	449

Sterling Business Center での資格の拡張検索	450	第 217 章 セラー資格からの組織の関連 付け解除.	493
Sterling Business Center での資格の拡張検索への 検索条件の追加.	450	第 218 章 セラー資格の削除	495
第 200 章 顧客資格ルールの作成	453	第 219 章 顧客の資格のテスト	497
顧客資格ルールの概要	453	第 220 章 マスター・カタログの詳細の 定義	499
顧客資格ルールの作成	453	第 221 章 Sterling Business Center でのカタログの作成	501
第 201 章 顧客資格ルールの変更	457	第 222 章 カatalog管理権限のサブカタ log組織への付与	503
第 202 章 顧客資格ルールの削除	461	第 223 章 カatalogの詳細の変更	505
第 203 章 一般顧客グループの顧客資格 への関連付け.	463	第 224 章 アクティブな販売カatalogと してのカatalogの設定	507
第 204 章 顧客を指定しない顧客資格の 定義	465	第 225 章 アセットのカatalogへの追加	509
第 205 章 顧客資格への顧客プロファイ ル条件の追加.	467	第 226 章 カatalog内のアセットの詳細 の変更	511
第 206 章 顧客資格の顧客プロファイル 条件の変更.	469	第 227 章 アセットのカatalogからの削 除	513
第 207 章 顧客プロファイル条件の顧客 資格からの削除.	471	第 228 章 Sterling Business Center でのカテゴリーの作成	515
第 208 章 特定の顧客の顧客資格への関 連付け	473	第 229 章 カテゴリーの詳細の変更	517
第 209 章 顧客資格からの特定顧客の関 連付け解除.	475	第 230 章 カテゴリーおよび子カテゴリ ーの順序の変更.	519
第 210 章 顧客資格の削除	477	第 231 章 カテゴリー管理権限のサブカ atalog組織への付与	521
第 211 章 Sterling Business Center でのセラー資格の作成	479	第 232 章 アイテムのカテゴリーへの割 り当て	523
第 212 章 Sterling Business Center でのセラー資格の検索	481	第 233 章 提供サービスのカテゴリーへ の割り当て.	525
Sterling Business Center での資格の基本検索	481	第 234 章 カテゴリー間のアイテムの移 動	527
資格の拡張検索Sterling Business Center	482	第 235 章 カテゴリー間の提供サービス の移動	529
Sterling Business Center での資格の拡張検索への 検索条件の追加.	482		
第 213 章 セラー資格ルールの作成	485		
第 214 章 セラー資格ルールの変更	487		
第 215 章 セラー資格ルールの削除	489		
第 216 章 組織のセラー資格への関連付 け	491		

第 236 章 カテゴリーの属性への複数値の割り当て	531	第 254 章 目的の分類からの削除	567
第 237 章 アイテムのカテゴリーからの削除	533	第 255 章 分類値の作成	569
第 238 章 提供サービスのカテゴリーからの削除	535	第 256 章 分類値の変更	571
第 239 章 アセットのカテゴリーへの追加	537	第 257 章 アイテムの分類への割り当て	573
第 240 章 カテゴリー内のアセットの詳細の変更	539	第 258 章 分類値間のアイテムの移動	575
第 241 章 アセットのカテゴリーからの削除	541	第 259 章 アイテムの分類からの削除	577
第 242 章 属性のカテゴリーへの割り当て	543	第 260 章 属性の分類への割り当て . . .	579
カテゴリーの属性の概要	543	第 261 章 分類の属性への使用法の割り当て	581
属性のカテゴリーへの割り当て	543	分類の属性への使用法の割り当てに関する概要 . . .	581
第 243 章 カテゴリーの属性への値の割り当て	545	分類の属性への使用法の割り当て	581
第 244 章 カテゴリーの属性への使用法の割り当て	547	第 262 章 属性の分類からの削除	583
第 245 章 属性のカテゴリーからの削除	549	第 263 章 継承可能な属性のフィールドの定義	585
第 246 章 キーワードのカテゴリーへの関連付け	551	第 264 章 分類値の削除	589
第 247 章 カテゴリーからのキーワードの関連付け解除	553	第 265 章 Sterling Business Center での分類の削除	591
第 248 章 Sterling Business Center でのカテゴリーの削除	555	第 266 章 Sterling Business Center からの Visual Product Modeler の起動	593
第 249 章 Sterling Business Center でのカタログの削除	557	第 267 章 アイテムの作成	595
第 250 章 Sterling Business Center での分類リストの表示	559	第 268 章 バリエーション・アイテムの管理	597
第 251 章 Sterling Business Center での分類の作成	561	第 269 章 アイテムの主要情報の管理	599
第 252 章 分類の変更	563	第 270 章 アイテムの単位の管理	601
第 253 章 目的の分類への追加	565	第 271 章 アイテムの指示の管理	603
		第 272 章 アイテムの返品フルフィルメントの詳細の管理	605
		第 273 章 アイテム属性の属性値の管理	607
		第 274 章 アイテムの在庫の管理	609
		第 275 章 アイテムに対するクロスセルの関連付けの管理	611

第 276 章 アイテムのアップセルの関連付けの管理	613	第 295 章 付加価値サービスのサービス・アクティビティの管理	651
第 277 章 アイテムに対する交換品の関連付けの管理	615	第 296 章 提供サービスまたは配達サービスのサービス・オプションの管理	653
第 278 章 アイテムに対する優先代替品の関連付けの管理	617	第 297 章 提供サービスまたは配達サービスのサービス・スキルの管理	655
第 279 章 アイテムに対する代替の関連付けの管理	619	第 298 章 物理キット・アイテムまたは動的物理キット・アイテムのキット化サービスおよびキット化解除サービスの管理	657
第 280 章 アイテムに対する競合品の関連付けの管理	621	第 299 章 サービスのキーワード、エイリアス、および除外コードの管理	659
第 281 章 アイテムのアセットの管理	623	第 300 章 サービスに対するクロスセルの関連付けの管理	661
第 282 章 アイテムのキーワード、エイリアス、および除外コードの管理	625	第 301 章 サービスに対するアップセルの関連付けの管理	663
第 283 章 サービスの作成	627	第 302 章 サービスに対する交換品の関連付けの管理	665
第 284 章 アイテムのノードの管理	629	第 303 章 サービスに対する優先代替品の関連付けの管理	667
第 285 章 配達サービスに対する主要情報の管理	631	第 304 章 サービスに対する代替の関連付けの管理	669
第 286 章 提供サービスの主要情報の管理	633	第 305 章 サービスに対する競合品の関連付けの管理	671
第 287 章 返品ピックアップ・サービスの主要情報の管理	635	第 306 章 サービスのアセットの管理	673
第 288 章 付加価値サービスの主要情報の管理	637	第 307 章 検索インデックスの管理	675
第 289 章 サービスの指示の管理	639	第 308 章 属性の管理	677
第 290 章 アイテムの提供サービスの管理	641	第 309 章 属性グループの詳細の表示	679
第 291 章 アイテムの配達サービスの管理	643	第 310 章 属性の詳細の表示	681
第 292 章 アイテムの返品ピックアップ・サービスの管理	645	第 311 章 テキスト属性の許容される値アセットの管理	683
第 293 章 物理キット・アイテムのコンポーネントの管理	647	第 312 章 派生属性の範囲の管理	685
第 294 章 バンドル・アイテムのコンポーネントの管理	649	第 313 章 属性の接尾辞の管理	687
		第 314 章 属性のアセットの管理	689

第 315 章 サブカタログ組織の管理 . . .	691	第 327 章 カテゴリーに対するアイテム およびサービスの割り当ての管理 . . .	715
第 316 章 顧客資格の管理	693	第 328 章 カテゴリーのアセットの管理	717
第 317 章 顧客資格ルール of 管理 . . .	695	第 329 章 カテゴリーの属性の管理 . . .	719
第 318 章 顧客資格の顧客グループの管 理	697	第 330 章 分類の詳細の表示	721
第 319 章 ストアフロント資格の管理	699	第 331 章 分類値の詳細の表示	723
第 320 章 ストアフロント資格ルール of 管理	701	第 332 章 分類に対するアイテムの割り 当ての管理	725
第 321 章 マスター・カタログの管理	703	第 333 章 分類の属性の管理	727
第 322 章 販売カタログの管理	705	第 334 章 カテゴリーのキーワードの定 義	729
第 323 章 カタログの管理	707	特記事項	731
第 324 章 カタログの詳細の表示 . . .	709	索引	735
第 325 章 カテゴリーの詳細の表示 . .	711		
第 326 章 カタログのアセットの管理	713		

第 1 章 IBM Sterling Business Center アイテム管理概要

IBM Sterling Business Centerを用いて、組織のカatalogの効率的なセットアップおよび保守や、アセット、分類などアイテムの周辺コンポーネントの定義が実施できます。これは、お客様の組織がすべてのアイテムの詳細をデータベースにダウンロードした後に可能となります。それぞれのアイテムおよびサービスに対し、特性のセットを定義し割り当てることができます。これらは、Sterling Business Center 内で、属性として参照されます。属性のセットを共有するアイテムを、カテゴリ内で論理的にグループ化することが可能です。Sterling Business Center のタスク・ベースのユーザー・インターフェースにより、カテゴリの定義、属性のカテゴリへの割り当て、およびアイテムとカテゴリ間の対応の指定がシームレスに実施可能になります。カテゴリへ割り当てられた各アイテムは、そのカテゴリへ割り当てられたすべての属性を継承します。

例えば、アイテムとしてフラット・パネル・テレビを作成し、そのテレビに対して、提供サービスとして設置サービスを作成することができます。そのうえで、テレビというカテゴリを作成することができます。これにより、ディスプレイ・タイプ、画面サイズなどを含めた、すべてのテレビの属性を定義します。フラット・パネル・テレビがテレビのカテゴリに追加される際には、フラット・パネル・テレビのアイテムは自動的に、テレビのカテゴリに関連付けられた属性のすべてを継承します。属性がアイテムの仕様に利用されている場合は、それらはお客様の Web サイトに表示され、お客様が注文を行う際に閲覧できるようになります。

アイテムの定義後、アイテム分類と分類の階層を定義することができます。これらは、サービスのソーシングや関連付け、配送方法のプリファレンスの決定など、アプリケーション内の他のプロセスのコントロールに使用することができます。分類を定義することにより、アイテムのフィールドは IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation 内で特定の使用がなされているものとして識別されます。

業務上の要求があれば、マスター・Catalogの一部を維持するために、Catalog組織以外の組織に権限を与えることができます。エンタープライズはマスター・Catalogを共有することが可能ですが、場合によっては、Catalog組織がマスター・Catalogを他のエンタープライズに拡張して、Catalog内のカテゴリの管理を許可したいことがあります。

Catalog組織とは、マスター・Catalogを維持し、他のエンタープライズをサブCatalog組織として定義するエンタープライズのことです。Catalog組織はサブCatalog組織に、マスター・Catalog内でのカテゴリの管理を許可します。また、マスター・Catalog内のカテゴリへの他の組織のアクセスを認可もしくは制限する、セラーの資格を定義します。組織のセラーの資格に従い、その組織は、Catalog組織または他の組織により維持されるCatalog・アイテムの閲覧、または販売ができるようになることがあります。ここで例えば、サプライヤーにCatalog内のカテゴリである Brand-X の管理を許可する必要があり、一方で Brand-X の競合業者には Brand-X の詳細は表示されないように保証する必要があるとします。このようなシナリオでは、セラーの資格を定義して、Catalog内のカテゴリへの他の組

組織のアクセスを認可および制限することができます。同様に、顧客の資格を定義して、エンタープライズによりその顧客が購入できるアイテムを定義できるよう許可することができます。

サブカタログ組織とは、あるカタログ組織を自身のカタログ組織として参照するエンタープライズのことです。ベンダーまたはセラーがエンタープライズである場合、それをサブカタログ組織として設定することができます。

カタログ・インデックス構築機能を使用して、お客様の組織のアクティブな販売カタログを顧客が検索できるようにすることができます。Sterling Business Center のユーザー・インターフェースから、各ロケールに対する検索可能なインデックス・ファイルを、Selling and Order Management Foundation データベースで使用可能なデータから作成することができます。このインデックス・ファイルが使用されると、アイテム検索が高速な応答時間で完了されるように保証されます。

アイテム管理者による Sterling Business Center 向けの初期構成

Sterling Business Center により提供される機能を利用するには、Applications Manager 内の特定のタスクを実行してから Sterling Business Center アプリケーションの使用を開始する必要があります。次の表では、これらのタスクをリスト化しています。

定義 目的

サービス・タイプ

サービスを作成する際に使用

ステータス

カテゴリの詳細を変更する際に使用

指示タイプ

これらはアイテム指示コードまたは手動追加の指示と関連していることがあり、それらの指示の種類を記述するために使用

指示コード

アイテムに関連する特別な指示を記述するために使用

サービス・スキル

配達サービス、提供サービス、または返送ピックアップ・サービスの構成を行う際に使用

アイテム回転コード

アイテムにノードを追加する際に使用

サービス・オプション

サービスへさらに能力要件を追加するために、配達サービス、提供サービス、または返送ピックアップ・サービスの構成を行う際に使用

除外コード

準拠している商慣習において、特定の国および地域への出荷が規制されている場合に、アイテムまたはサービスのいずれかを構成する際に使用します。

エイリアス・タイプ

アイテムまたはサービスを構成する際に使用。エイリアスとはアイテム ID の代替であり、アイテムまたはサービスに対応して詳細画面内にフィールドとして表示されるものです。

関連付けタイプ

アイテムと他のアイテムを関連付ける際に使用

アセット・タイプ

電子メディア・オブジェクトであり、アイテム、カテゴリ、属性、および属性値を関連付けることができるアセットを追加する際に使用。アイテム画像を定義する場合、推奨される画像サイズは 115 ピクセル対 115 ピクセルです。

アセット・コンテンツの場所

電子メディア・オブジェクトであり、アイテム、カテゴリ、属性、および属性値を関連付けることができるアセットを追加する際に使用

コスト計上分類

アイテムの分類を定義する際に使用

Sterling Business Center を使用する前に実行する必要があるタスクについての詳細は、「*Catalog Management 概念の手引き*」を参照してください。

システム管理者による Sterling Business Center 向けの初期構成

システム管理者は、特定のタスクを実行して、Sterling Business Center により提供される機能を利用できるようにしなければなりません。次の表では、そのタスクと、これらのタスクを実行するために参照されるガイドをリスト化しています。

定義	目的	参照先
アクティビティ・コード	付加価値活動にサービス・アクティビティを追加する際に使用	<i>Catalog Management 概念の手引き</i>
ステータス	アイテムまたはサービスを構成する際に使用	「カタログ管理: 構成ガイド」
単位 (UOM)	アイテムを作成する際に使用	<i>Selling and Fulfillment Foundation アプリケーション・プラットフォーム構成ガイド</i>
原産国および原産地域	アイテムの原産国または原産地域を定義する際に使用	<i>Selling and Fulfillment Foundation アプリケーション・プラットフォーム構成ガイド</i>
コスト要因グループ	物理キット・アイテムまたは動的物理アイテムのいずれかのバンドル・コンポーネントを定義する際に使用	<i>Selling and Fulfillment Foundation アプリケーション・プラットフォーム構成ガイド</i>
ノード	アイテムのノード属性を管理する際に使用	<i>Selling and Fulfillment Foundation アプリケーション・プラットフォーム構成ガイド</i>

定義	目的	参照先
主要供給業者	アイテムの在庫属性を管理する際に使用	<i>Selling and Fulfillment Foundation</i> アプリケーション・プラットフォーム構成ガイド
タグ ID	アイテムの在庫属性を管理する際に使用	<i>Selling and Fulfillment Foundation</i> アプリケーション・プラットフォーム構成ガイド
タグ属性	アイテムの在庫属性を管理する際に使用	<i>Selling and Fulfillment Foundation</i> アプリケーション・プラットフォーム構成ガイド
ATP ルール	アイテムの在庫属性を管理する際に使用	<i>Sterling Global Inventory Visibility</i> 構成ガイド
ノード・レベルの ATP モニター・ルール	アイテムの在庫属性を管理する際に使用	<i>Sterling Global Inventory Visibility</i> 構成ガイド
ATP モニター・ルール	アイテムの在庫属性を管理する際に使用	<i>Sterling Global Inventory Visibility</i> 構成ガイド
組織	カタログおよびサブカタログ組織を定義するために使用	<i>Selling and Fulfillment Foundation</i> アプリケーション・プラットフォーム構成ガイド
顧客	顧客の資格に対応して顧客を管理する際に使用	<i>Sterling Distributed Order Management</i> 構成ガイド
web.xml 内の sterling-webchannel-visualmodeler-url コンテキスト・パラメーター URL コンテキスト・パラメーターの値は、次のフォーマットに従う必要があります。 http(s):// <server>:<port>/ <context> 例えば、 <https:// 10.23.23.25:1010/ Sterling>	Sterling Business Center 内から Visual Product Modeler を起動します。	<i>Business Center</i> カスタマイズ・ガイド

カタログ、アイテム、およびアイテムの周辺コンポーネントに関する情報の詳細は、「*Selling and Fulfillment Foundation* カタログ概念の手引き」を参照してください。

注: Visual Product Modeler アプリケーションのストアフロント向けに定義されたスキム ID が、組織コードと一致しない場合は、Sterling Business Center アプリケーションから Visual Product Modeler を起動する際に、404 例外が表示されることがあります。

Sterling Business Center において設定可能モデルを使用するための初期構成

管理者として、次の構成を実行して、Visual Product Modeler アプリケーション内で定義される設定可能モデルが利用できるようにする必要があります。アイテムが構成可能なアイテムとして作成された場合は、そのアイテムに対して可能で有効なすべての構成を示すモデルと関連付けられます。

1. 1 つの組織をカタログ組織として設定します。
2. カatalog組織を、Visual Product Modeler アプリケーション内で展開されたエンタープライズとして同期します。
3. Visual Product Modeler アプリケーション内のすべてのカタログ組織のユーザーを同期します。
4. Visual Product Modeler アプリケーション内のすべてのロケールを同期します。

これらの構成に関する情報の詳細は、「*Visual Modeler: 管理ガイド*」を参照してください。

Sterling Business Center でのアイテム詳細のプレビューに向けた構成

アイテムを作成しその属性を定義した後、Web チャンネル・アプリケーション内に表示させる方法で、アイテム詳細をプレビューすることができます。ただし、次の構成が実行され、アイテムがプレビューできるようになることを確認してください。

- アイテムが、Web チャンネル・アプリケーション内のゲスト・ユーザーの利用権限を与えられるようにします。
- アイテムが、カタログ・インデックスが作成されているカタログに割り当てられるようにします。
- URL を設定するか、外部プログラムを実行して、アイテム詳細をプレビューします。次の構成のいずれかを実行することができます。
 - sterling-webchannel-itempreview-url のコンテキスト・パラメーターを定義します。これは、web.xml 内に存在します。URL コンテキスト・パラメーターの値は、次のフォーマットに従う必要があります。

```
<http://<Web チャンネルのホスト>:<ポート>/<コンテキスト>/<アイテム詳細のアクション>
```

例、<https://10.23.23.25:1010/Sterling>/catalog/itemDetails.action

- YCMGetWebChannelItemPreviewURLUE 外部プログラムを実行し、アイテム詳細をプレビューするための URL を取得します。

「**入力 (Input)**」外部プログラムは、アイテム詳細の要素を入力データとして受け付けます。「Extn」要素とともに、getItemDetails API からのデフォルト出力は、外部プログラムに渡される必要があります。

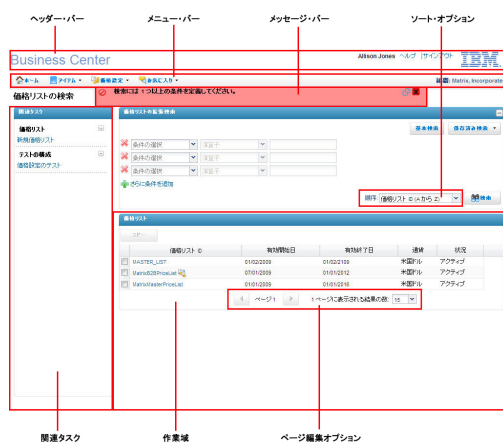
「**出力 (Output)**」外部プログラムは、Web チャンネル・アプリケーションの完全な URL を返します。

- YCMGetWebChannelItemPreviewURLUE 外部プログラムを実行し、かつ web.xml 内の sterling-webchannel-itempreview-url コンテキスト・パラメーターを設定した場合は、YCMGetWebChannelItemPreviewURLUE 外部プログラムだけが考慮されます。

第 2 章 Sterling Business Center アプリケーション・ユーザー・インターフェースの理解

Sterling Business Center アプリケーションのレイアウトおよびアプリケーションで使用されるナビゲーションの仕組みに習熟すると、アプリケーションをより効率的に使用できるようになります。

次の図は、ユーザー・インターフェースのレイアウトを示しています。



アプリケーション・ユーザー・インターフェースにより、作業領域を管理する際にパネルの拡大や縮小をすることができます。これによって、作業領域を効率よく管理することができます。

ユーザー・インターフェースは次の要素で構成されます。

- **ヘッダー・バー** - ヘッダー・バーは次の情報及びハイパーリンクを表示します。
 - **アプリケーション名** - アプリケーションの名称。この場合は Sterling Business Center
 - **ユーザー名** - アプリケーションにログインしたユーザーの名称
 - **サイン・アウト** - このハイパーリンクをクリックして、アプリケーションをログアウトします。
- **メニュー・バー** - これは、アプリケーションで提供されるさまざまなメニュー・オプションまたはタスクで構成されます。実行したい適切なオプションを選択してください。「**ホーム (Home)**」をクリックすると、アプリケーションのホーム・ページに直接移動します。現在の画面を記述するコンテキスト・ヘルプを表示する、およびアプリケーションについての情報を得るには、メニュー・バー内の「**ヘルプ (Help)**」をクリックしてください。
- **メッセージ・バー** - あらゆるステータス・アップデート、警告メッセージ、またはエラー・メッセージを表示し、タスク実行時の支援を行います。
- **関連タスク** - このパネルでは、実行可能なすべての関連タスクを表示します。これらの関連タスクは、現在実行されているタスクを基にして動的に出力されます。

- 作業領域 - アプリケーション・ウィンドウ内の領域であり、ここで現行のタスクに関連する詳細の表示や修正ができます。
- ページ編集 - 検索結果が複数のページに表示されます。複数のページにわたって検索結果を表示するには、「前へ (Previous)」アイコンをクリックして前のページに移動し、「次へ (Next)」をクリックして次のページに移動します。



また、各ページに表示される検索結果の数を指定することもできます。「1 ページに表示する結果件数 (Results per page)」ドロップダウン・リストから、オプションを選択してください。例えば、あるリスト内のアイテムの検索結果を表示する際に 10 を選択した場合、10 のアイテムが 10 行で表示されます。

- ソート - 必要に応じて、検索結果をソートすることができます。「順序 (Order By)」ドロップダウン・リストから、必須選択のオプションを選択してください。例えば、アイテムを検索する際に、検索結果を昇順または降順でソートすることができます。

注: Web ブラウザーのツールバーは非表示ですが、前ページへ戻るナビゲートや現在のページのリフレッシュなどの操作を、ブラウザのホット・キーを用いて実行することができます。ただし、これらの操作は推奨しません。

第 3 章 Sterling Business Center アプリケーション・ユーザー・インターフェースのアイコンおよび説明

Sterling Business Center アプリケーションでは、ユーザー・インターフェース内の対応するアイコンをクリックすることで、特定のタスクを実行することができます。






例えば、日付フィールドに隣接する  をクリックして、日付を選択できます。ただし、状態を示すのみでタスクの実行に使用することはできないアイコンもあります。例えば、グリッド内のある列に関連する  は、その列が編集可能フィールドであって必須フィールドであることを示します。

次の表は、Sterling Business Center アプリケーション全般でタスクの実行に使用されることが可能なアイコンをリスト化したものです。

表 1. アイコンおよび説明

アイコン	アクション
	「GO (Go)」 - このアイコンをクリックして、選択したエンティティの詳細を表示します。
	「検索 (Search)」 - このアイコンをクリックして、エンティティで使用可能な値のリストを表示します。例えば、  をクリックし、バリエーションのあるアイテムを生成した際に分類の値のリストを表示します。
	「ローカライズ (Localize)」 - このアイコンをクリックして、対応するフィールドをローカライズします。
	「カレンダー (Calendar)」 - このアイコンをクリックして、日付を選択します。
	「上方へ移動 (Move Up)」 - このアイコンをクリックして、リスト内でエンティティを一段上に移動します。例えば、  をクリックし、指示画面内でアイテム指示の順序を変更できます。
	「下方へ移動 (Move Down)」 - このアイコンをクリックして、リスト内でエンティティを一段下に移動します。例えば、  をクリックし、指示画面内でアイテム指示の順序を変更できます。
	「左に移動 (Move Left)」 - このアイコンをクリックして、エンティティをあるテーブルから別のテーブルへ移動します。例えば、分類管理画面で、「登録されている使用法 (Subscribed Usages)」テーブルから分類の目的を選択し、  をクリックして、選択した分類の目的を「選択可能な使用法 (Available Usages)」テーブルへ、またはその反対に移動することができます。

表1. アイコンおよび説明 (続き)



アイコン	アクション
	「右に移動 (Move Right)」 - このアイコンをクリックして、エンティティをあるテーブルから別のテーブルへ移動します。例えば、分類管理画面で、「選択可能な使用法 (Available Usages)」テーブルから分類の目的を選択し、  をクリックして、選択した分類の目的を「登録されている使用法 (Subscribed Usages)」テーブルへ移動することができます。
	「すべて左に移動 (Move All - Left)」 - このアイコンをクリックして、すべてのエンティティをあるテーブルから別のテーブルへ移動します。 例えば、分類管理画面で、  をクリックして、すべての分類の目的を「登録されている使用法 (Subscribed Usages)」テーブルから「選択可能な使用法 (Available Usages)」テーブルへ移動することができます。
	「すべて右に移動 (Move All - Right)」 - このアイコンをクリックして、すべてのエンティティをあるテーブルから別のテーブルへ移動します。 例えば、分類管理画面で、  をクリックして、すべての分類の目的を「選択可能な使用法 (Available Usages)」テーブルから「登録されている使用法 (Subscribed Usages)」テーブルへ移動することができます。
	「追加 (Add)」 - このアイコンをクリックして、新規の条件または基準を追加します。例えば、エンティティに対する拡張検索を実行している際に、  をクリックして、新しい条件を追加します。
	「削除 (Delete)」 - このアイコンをクリックして、既存の条件または基準を削除します。例えば、エンティティに対する拡張検索を実行している際に、  をクリックして、既存の基準を削除します。
	「次へ (Next)」 - このアイコンをクリックして、複数のページで検索結果が表示されている際に次のページを表示します。
	「前へ (Previous)」 - このアイコンをクリックして、複数のページで検索結果が表示されている際に前のページを表示します。
	「お気に入りマークを付ける (Mark Favorite)」 - このアイコンをクリックして、保存済み検索にお気に入りのマークを付けます。
	「お気に入りを削除 (Remove Favorite)」 - このアイコンをクリックして、お気に入りの保存済み検索リストからお気に入りの保存済み検索を削除します。
	「エラーの詳細 (Error Details)」 - メッセージ・バー内のこのアイコンをクリックして、エラー・メッセージに関する詳細を表示します。

次の表は、Sterling Business Center アプリケーション全般での条件を示すアイコンをリスト化したものです。

表2. 条件を示すアイコンおよび説明

アイコン	説明
	「アスタリスク (Asterisk)」 - 該当するフィールドが必須フィールドであることを示します。
	「列の編集 (必須) (Edit Column - Mandatory)」 - グリッド内の該当する列が、編集可能かつ必須であることを示します。

表 2. 条件を示すアイコンおよび説明 (続き)

アイコン	説明
	<p>「列の編集 (任意) (Edit Column - Non-Mandatory)」 - グリッド内の該当する列が、編集可能かつ任意であることを示します。</p>
	<p>「ドラッグ・アンド・ドロップ (Drag and Drop)」 - エンティティのドラッグ・アンド・ドロップが、グループ内で順序を変更するために、またはテーブル間で選択を変更するために、可能であることを示します。</p> <p>例えば、属性の順序を「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリー内のグループの中で変更するには、属性管理画面で、必要な場所へ属性をドラッグ・アンド・ドロップできます。同様に、分類の目的の選択を変更するには、分類管理画面で、分類の目的を「登録されている使用法 (Subscribed Usages)」テーブルから「選択可能な使用法 (Available Usages)」テーブルへドラッグ・アンド・ドロップできます。</p>

注: Web ブラウザーのツールバーは非表示ですが、前ページへ戻るナビゲートや現在のページのリフレッシュなどの操作を、ブラウザのホット・キーを用いて実行することができます。ただし、これらの操作は推奨しません。

第 4 章 Sterling Business Center でのコンテキスト組織の変更

Sterling Business Center での、コンテキスト組織の概要

コンテキスト組織とは、ある時点で管理を行っている組織のことです。例えば、PricingOrg1 と呼ばれる価格設定組織と、CatalogOrg1 と呼ばれるカタログ組織の 2 つの組織を管理できます。もし PricingOrg1 のユーザーとしてログインしたなら、ログイン直後にコンテキスト組織は PricingOrg1 にセットされます。PricingOrg1 が、ログイン直後に管理が可能になる組織となります。

コンテキスト組織を基にして、ある特定の管理タスクを実行することや、タスクに関連したある特定の情報を表示することが可能になります。対応するメニュー・アイテムや関連タスクは、コンテキスト組織を基にして表示されます。例えば、価格設定組織のユーザーとしてログインする場合は、価格リストの作成や価格リストの管理などといった、価格設定管理タスクの実行が可能になります。ただし、アイテム詳細の変更など特定のカタログ管理タスクへは、読み取り専用のアクセスのみ許可されます。また、アイテムの作成など特定のカタログ管理タスクへのアクセスは許可されません。

Sterling Business Center でのコンテキスト組織の変更

このタスクについて

お客様が 2 つ以上の組織を管理できる場合、アプリケーションにログインした後の任意の時点で、コンテキスト組織をお客様が管理したい組織に変更することができます。

コンテキスト組織を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. アプリケーションのヘッダー・バー内の「切り替え先 (Switch To)」ドロップダウン・リストから、管理したい組織を選択します。「切り替え先 (Switch To)」ドロップダウン・リストに、お客様の組織により管理されている組織のリストが表示されます。
2. アプリケーションのホーム・ページが表示され、選択した組織に適用可能なメニュー項目およびタスクが示されます。例えば、価格設定組織のユーザーとしてログインしてコンテキスト組織をカタログ組織に変更する場合は、カタログの管理、サービスの作成など、カタログ管理タスクのすべてを実行することができます。ただし、クーポンの詳細の変更など特定の価格管理タスクへは、読み取り専用のアクセスのみ許可されます。

第 5 章 Sterling Business Center へのログイン

このタスクについて

Sterling Business Center アプリケーションへアクセスし、その機構を使用するには、最初に有効なユーザー ID とパスワードを使ってアプリケーションにログインしなければなりません。エンタープライズ・ユーザーのみが、Sterling Business Center アプリケーションにログインできます。

注: Sterling Business Center によりサポートされていないブラウザまたはブラウザのバージョンを用いてログインした際には、警告のダイアログ・ボックスが表示され、ブラウザに互換性がないことを通知します。サポートされていないブラウザまたはブラウザのバージョンを引き続き使用する場合、ユーザー・インターフェースに問題が発生することがあります。Sterling Business Center によりサポートされるブラウザおよびブラウザのバージョンに関する情報についての詳細は、「*Selling and Fulfillment Foundation: System Requirements Guide*」を参照してください。

アプリケーションにログインするには、次の手順を実行します。

手順

1. システム管理者により提供された URL をブラウザで指定します。
2. 新しいブラウザのウィンドウが表示されます。ユーザー ID とパスワードを入力し、「**サインイン (Sign In)**」をクリックします。

Sterling Business Center のホーム・ページが表示されます。

注: ブラウザーが実行されているシステムのタイム・ゾーンが、ログインするユーザーのタイム・ゾーンと同一になるようにすることを推奨します。

第 6 章 Sterling Business Center ホーム・ページの使用

アイテム管理ホーム・ページの利用概要

このタスクについて

ホーム・ページは、Sterling Business Center アプリケーションにログイン後に表示される最初の画面です。アプリケーションを使用している際に、任意の時点でホーム・ページへ移動したい場合は、メニュー・バーで使用可能な「**ホーム (Home)**」をクリックします。

ホーム・ページにより、さまざまな管理タスクを実行することができます。タスクは、それと関連するビジネス・オブジェクトのもとにグループ化されており、ビジネス・オブジェクトは同様にさまざまなモジュールのもとにグループ化されています。例えば、次のタスクのグループのハイパーリンクは、ストアフロント管理モジュールのもとで使用可能です。

- サブカタログ組織の下の「**サブカタログの管理 (Manage Subcatalog)**」ハイパーリンク
- セラーの資格の下の「**新規資格 (New Entitlement)**」および「**資格の検索 (Find Entitlement)**」ハイパーリンク

ホーム・ページでは、次のタスクの実行が可能です。

- Sterling Business Center でのカタログ管理
- Sterling Business Center での価格管理
- Sterling Business Center でのストアフロント管理
- Sterling Business Center でのお気に入りの保存済み検索の実行
- Sterling Business Center での取引管理
- Sterling Business Center での、最近変更されたエンティティへのアクセス
- Sterling Business Center でのクーポン使用グラフの表示

注: 実行可能な管理タスク、および表示可能なタスク関連の情報は、お客様のコンテキスト組織に依存します。

Sterling Business Center でのカタログ管理

このパネルを用いて、アイテムのクイック・サーチおよびさまざまなカタログ管理のタスクを実行します。アイテムを検索するには、「**アイテムのクイック検索 (Quick Find Item)**」ボックス内にアイテムの固有 ID を入力し、**GO (Go)** アイコンをクリックします。さまざまな管理タスクを実行するには、対応するタスクのハイパーリンクをクリックします。次の表では、カタログ・モジュールのホーム・ページから実行できるタスクを示します。

クリック項目	目的	クリック項目	目的
新規アイテム (New Item)	<ul style="list-style-type: none"> • Sterling Business Center での標準アイテムの作成 • Sterling Business Center でのバンドル・アイテムの作成 • Sterling Business Center での物理キット・アイテムの作成 • Sterling Business Center でのバリエーションのあるアイテムの作成 • Sterling Business Center での論理キット・アイテムの作成 	分類の管理 (Manage Classifications)	<ul style="list-style-type: none"> • 分類リストの表示 • Sterling Business Center での分類の作成
アイテム検索 (Find Item)	アイテムの検索	属性の管理 (Manage Attributes)	<ul style="list-style-type: none"> • 属性ドメイン詳細の定義 • 属性グループの作成
保守管理カタログの参照 (Browse Maintenance Catalog)	<ul style="list-style-type: none"> • マスター・カタログ詳細の定義 • Sterling Business Center でのカテゴリの作成 • アセットのカテゴリへの追加 • カテゴリ内のアセット詳細の変更 • カテゴリからのアセットの削除 • Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ 	新規資格 (New Entitlement)	顧客の資格ルールの作成
カタログの管理 (Manage Catalogs)	<ul style="list-style-type: none"> • カタログをアクティブな販売カタログに設定 • Sterling Business Center でのカタログの作成 	資格の検索 (Find Entitlement)	顧客の資格のサーチ

クリック項目	目的	クリック項目	目的
新規サービス (New Service)	<ul style="list-style-type: none"> 配達サービスの作成 Sterling Business Center での提供サービスの作成 Sterling Business Center での流通加工サービスの作成 	資格の設定のテスト (Test Entitlement Setup)	顧客の資格のテスト
サービスの検索 (Find Service)	サービスの検索	Visual Product Modeler の起動 (Launch Visual Product Modeler)	Visual Product Modeler の起動
カタログ・インデックスの管理 (Manage Catalog Indexes)	<ul style="list-style-type: none"> 新しい検索インデックスの生成 インクリメンタル検索インデックスの生成 検索インデックスのアクティブ化 検索インデックスの削除 日付別検索インデックスの削除 		

Sterling Business Center での価格管理

このタスクについて

次の表では、価格管理モジュールのホーム・ページから実行できるタスクを示します。

クリック項目	目的	クリック項目	目的
新規価格リスト (New Price List)	価格リストの作成	新規価格設定ルール (New Pricing Rule)	価格設定ルールの作成
価格リストの検索 (Find Price List)	価格リストの検索	価格設定ルールの検索 (Find Pricing Rule)	価格設定ルールの検索
新規クーポン (New Coupon)	クーポンの作成		
クーポンの検索 (Find Coupon)	クーポンの検索		
これらのタスクについての詳細は、「 <i>Business Center 価格設定管理ガイド</i> 」を参照してください。			

Sterling Business Center でのストアフロント管理

次の表では、ストアフロント・モジュールのホーム・ページから実行できるタスクを示します。

クリック項目	目的	クリック項目	目的
サブカタログ組織の管理	<ul style="list-style-type: none">サブカタログ組織リストへの組織の追加サブカタログ組織リストからの組織の削除	新規資格 (New Entitlement)	Sterling Business Center でのセラー資格の作成
		資格の検索 (Find Entitlement)	セラーの資格のサーチ

Sterling Business Center での取引管理

このパネルを使用して、次のタスクを実行してください。

- アイテムの取引管理
- アイテムのクロスセルの管理
- アイテムのアップセルの管理
- アイテムの代替の管理

これらのタスクを実行するには、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックして、アイテムの ID を検索します。これは、「**アイテムの入力 (Enter Item)**」ボックスに隣接しています。タスクに対応するオプションを選択して、「**GO (Go)**」アイコンをクリックします。

次の表では、取引管理のホーム・ページから実行できるタスクを示します。

前記リストのタスクに追加するモジュール

クリック項目

目的

販売カタログの参照

- マスター・カタログ詳細の定義
- Sterling Business Center でのカテゴリの作成
- アセットのカテゴリへの追加
- カテゴリ内のアセット詳細の変更
- カテゴリからのアセットの削除
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ

Sterling Business Center でのお気に入りの保存済み検索の実行

ホーム・ページでは、「お気に入り検索 (Favorite Searches)」パネルが利用できます。これにより、お気に入りとしてマークを付けた保存済み検索を素早く実行することができます。このパネルには、アルファベット順にソートされた、最初の 5 つのお気に入りの保存済み検索のみが表示されます。(お気に入りの保存済み検索の完全なリストへアクセスするには、メニュー・バー内の「お気に入り (Favorites)」メニューを使用してください。) 保存済み検索のハイパーリンクをクリックして、対応する保存済み検索を実行します。検索画面が、検索条件と検索結果の出力とともに表示されます。

Sterling Business Center での、最近変更されたエンティティへのアクセス

ホーム・ページでは、「最近の変更 (Recently Modified)」パネルを利用できます。これにより、最近変更されたエンティティへ素早く移動することができます。最近変更された 5 つのエンティティが、一番最近変更されたエンティティをリストの先頭にして、修正時間順にハイパーリンクで表示されます。それぞれのハイパーリンクは、以下のビジネス・オブジェクトのいずれか 1 つに属します。

- アイテム
- サービス
- 価格リスト
- 価格設定ルール
- クーポン

ハイパーリンクは、<ビジネス・オブジェクト> : <ビジネス・オブジェクトの ID> のフォーマットで表示されます。例えば、アイテム ID に TV0001A5F21 が設定されているアイテムは、以下のように表示されます。アイテム : TV0001A5F21

ハイパーリンクをクリックして、対応するエンティティの詳細を表示してください。

Sterling Business Center でのクーポン使用グラフの表示

ホーム・ページでは、お客様の組織に関連するクーポン使用の情報を描いたグラフを表示します。ただしこのグラフは、価格設定組織に属する場合でのみ表示されます。グラフでは、クーポンのタイプごとに使用可能なアクティブ・クーポンの数がグラフィカルに表記されます。グラフ内の各バーはクーポンのタイプを表し、バーの長さはそのクーポン・タイプで使用可能なアクティブ・クーポンの数を表します。

クーポンについて詳しくは、「*Business Center* 価格設定管理ガイド」を参照してください。

第 7 章 Sterling Business Center での標準アイテムの作成

このタスクについて

カタログを構成するすべての基本製品アイテムに対して、アイテム・タイプである標準を作成することができます。例えば、洗濯機です。

標準アイテムは、アイテムの作成画面から作成することができます。

標準アイテムを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**新規アイテム (New Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**新規アイテム (New Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示されたアイテムの作成画面で、以下のステップを実行します。
 - a. 「**標準 (Regular)**」ラジオ・ボタンを選択します。
 - b. 「**アイテム ID* (Item ID*)**」テキスト・ボックスに、アイテムの固有 ID を入力します。
 - c. 「**単位 (UOM)**」リストから、アイテムと関連付けたい単位を選択します。

注: 単位とアイテム ID の組み合わせは固有です。例えば、米国のノードおよびカナダのノードから同じアイテム ID を持つ同じアイテムを販売する際に、米国が単位にポンド、カナダがキログラムを使う場合、アイテム ID に関連付けられるこの 2 つの単位は、システム内では 2 つの固有のアイテムを作成することになります。

- d. このアイテムをカテゴリに関連付けるには、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックします。これは「**関連付け先カテゴリ (Associate to the category)**」ボックスにあります。
- e. カテゴリ・ダイアログ・ボックスが表示されます。「**カタログ階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、アイテムと関連付けたいメンテナンス・カタログのカテゴリを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。

選択されたカテゴリにアイテムが関連付けられます。

4. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

新規アイテムが作成され、主要情報画面が表示されます。

アイテムが作成された後、できれば主要情報画面でアイテムの説明を定義しておくようにします。このアイテムの説明は、アイテム検索を実行する際に検索条件として使うことが可能です。

第 8 章 Sterling Business Center でのバンドル・アイテムの作成

このタスクについて

アイテムのタイプであるバンドルとは、商品または提供サービスなどのアイテムの集合のことです。バンドル向けの在庫は、個別のコンポーネント・レベルで維持されます。例えば、一連のゲーム CD が付属したビデオ・ゲームは、バンドル・アイテムになることがあります。この集合は単一アイテムとして販売可能で、ビデオ・ゲームと CD の双方の在庫を個別に維持することができます。

注: 在庫タグをバンドル・アイテムに提供することは可能ですが、これらのタグは、*IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation* によって無視されます。

アイテムを論理的にまとめてグループ化し、これらのアイテムの在庫を個別に維持したい時に、アイテムのタイプであるバンドルを作成することができます。

バンドル・アイテムは、アイテムの作成画面から作成することができます。

バンドル・アイテムを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**新規アイテム (New Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**新規アイテム (New Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示されたアイテムの作成画面で、以下のステップを実行します。
 - a. 「**バンドル (Bundle)**」ラジオ・ボタンを選択します。
 - b. 「**アイテム ID* (Item ID*)**」テキスト・ボックスに、アイテムの固有 ID を入力します。
 - c. 「**単位 (UOM)**」リストから、アイテムと関連付けたい単位を選択します。

注: 単位とアイテム ID の組み合わせは固有です。例えば、米国のノードおよびカナダのノードから同じアイテム ID を持つ同じアイテムを販売する際に、米国が単位にポンド、カナダがキログラムを使う場合、アイテム ID に関連付けられるこの 2 つの単位は、システム内では 2 つの固有のアイテムを作成することになります。

- d. このアイテムをカテゴリに関連付けるには、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックします。これは「**関連付け先カテゴリ (Associate to the category)**」ボックスにあります。
- e. カテゴリ・ダイアログ・ボックスが表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、アイテムと関連付けたいメンテナンス・カタログのカテゴリを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。

選択されたカテゴリにアイテムが関連付けられます。

4. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

新規アイテムが作成され、主要情報画面が表示されます。

アイテムが作成された後、できれば主要情報画面でアイテムの説明を定義しておくようにします。このアイテムの説明は、アイテム検索を実行する際に検索条件として使うことが可能です。

第 9 章 Sterling Business Centerでの物理キット・アイテムの作成

このタスクについて

物理キットとは、カタログ・アイテムとして個別に定義されていない複数のコンポーネントの組み合わせのことです。アイテムの使用可能性は、その子アイテムで検証されるのではなく、親アイテムでのみ検証されます。例えば、あるコンピュータに、CPU、スクリーン、モニター、キーボード、マウスといった対応コンポーネントのすべてが付属したキットを作成することができます。この場合、購入者は個別のコンポーネントを選択することはできず、そのコンポーネント群を 1 つのアイテムとして購入しなければなりません。

物理キットは、親アイテムに対してのみ在庫を維持しつつ、アイテムを論理的にグループ化したいときに、作成できます。

物理キット・アイテムは、アイテムの作成画面から作成することができます。

物理キット・アイテムを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**新規アイテム (New Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**新規アイテム (New Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示されるアイテムの作成画面で、以下のステップを実行します。
 - a. 「**物理キット (Physical Kit)**」ラジオ・ボタンを選択します。
 - b. 「**アイテム ID* (Item ID*)**」テキスト・ボックスに、アイテムの固有 ID を入力します。
 - c. 「**単位 (UOM)**」リストから、アイテムと関連付けたい単位を選択します。

注: 単位とアイテム ID の組み合わせは固有です。例えば、米国のノードおよびカナダのノードから同じアイテム ID を持つ同じアイテムを販売する際に、米国が単位にポンド、カナダがキログラムを使う場合、アイテム ID に関連付けられるこの 2 つの単位は、システム内では 2 つの固有のアイテムを作成することになります。

- d. このアイテムをカテゴリーに関連付けるには、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックします。これは「**関連付け先カテゴリー (Associate to the category)**」ボックスにあります。
- e. カテゴリー・ダイアログ・ボックスが表示されます。「**カタログ階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、アイテムと関連付けたいメンテナンス・カタログのカテゴリーを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。

選択されたカテゴリーにアイテムが関連付けられます。

4. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

新規アイテムが作成され、主要情報画面が表示されます。

アイテムが作成された後、できれば主要情報画面でアイテムの説明を定義しておくようにします。このアイテムの説明は、アイテム検索を実行する際に検索条件として使うことが可能です。

第 10 章 Sterling Business Center での動的物理キット・アイテムの作成

このタスクについて

動的物理キットとは、キットとして事前に定義されていないさまざまなコンポーネントのセットのことです。キットを構成するコンポーネントは、オーダーを作成する時点で決定されます。例えば、コンピューターを注文する際、顧客はコンピューターの個別コンポーネントうちのいくつかを含むか、または除外するかを決めることができます。顧客は、CPU、モニター、キーボード、マウスは欲しいが、スピーカーはいらぬかもしれないかもしれません。

動的物理キットの在庫は、キット・アイテム (親) レベルで維持され、通常はキットまたはキット解除サービスと関連付けられます。

動的物理キット・アイテムは、アイテムの作成画面から作成することができます。

動的物理キット・アイテムを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**新規アイテム (New Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**新規アイテム (New Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示されたアイテムの作成画面で、以下のステップを実行します。
 - a. 「**動的物理キット (Dynamic Physical Kit)**」ラジオ・ボタンを選択します。
 - b. 「**アイテム ID* (Item ID*)**」テキスト・ボックスに、アイテムの固有 ID を入力します。
 - c. 「**単位 (UOM)**」リストから、アイテムと関連付けたい単位を選択します。

注: 単位とアイテム ID の組み合わせは固有です。例えば、米国のノードおよびカナダのノードから同じアイテム ID を持つ同じアイテムを販売する際に、米国が単位にポンド、カナダがキログラムを使う場合、アイテム ID に関連付けられるこの 2 つの単位は、システム内では 2 つの固有のアイテムを作成することになります。

- d. このアイテムをカテゴリに関連付けるには、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックします。これは「**関連付け先カテゴリ (Associate to the category)**」ボックスにあります。
 - e. カテゴリ・ダイアログ・ボックスが表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、アイテムと関連付けたいメンテナンス・カタログのカテゴリを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。
- 選択されたカテゴリにアイテムが関連付けられます。
4. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

新規アイテムが作成され、主要情報画面が表示されます。

アイテムが作成された後、できれば主要情報画面でアイテムの説明を定義しておくようにします。このアイテムの説明は、アイテム検索を実行する際に検索条件として使うことが可能です。

第 11 章 Sterling Business Center でのバリエーションのあるアイテムの作成

バリエーションのあるアイテムの作成への前提条件

バリエーションのあるアイテムとは、スタイル、サイズ、色、またはその他の属性といった可変の属性を持つアイテムの集合のことです。このようなアイテムの集合は、個別に変数属性を持ちながらも似ているアイテムが存在する際に、有用です。例えば、複数の色とサイズが選択できる半袖シャツについて考えてみましょう。半袖シャツの色とサイズは、アイテムの変数属性です。

バリエーションのあるアイテムが作成できるのは、別個の属性として目的を付けて分類を作成し、分類にさまざまな値を割り当てた場合のみです。

バリエーションのあるアイテムを作成する前に、次のタスクを実行する必要があります。

1. 属性グループの定義
2. 属性グループ内に属性を作成。これは、スタイル、サイズ、色などといったバリエーションのあるアイテムに必要です。
3. 分類の作成
4. 別個の属性として分類に目的を割り当て
5. 分類に、分類の値を作成
6. 属性を分類の値に割り当て

バリエーションのあるアイテムは、アイテムの作成画面から作成することができます。

関連項目:

- 属性グループの作成
- 属性の作成
- Sterling Business Center での分類の作成
- 分類への目的の追加
- 分類の値の作成
- 分類への属性の追加

バリエーションのあるアイテムの作成

このタスクについて

バリエーションのあるアイテムを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。

2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**新規アイテム (New Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**新規アイテム (New Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示されたアイテムの作成画面で、以下のステップを実行します。

- a. 「**バリエーションのあるアイテム (Item With Variation)**」ラジオ・ボタンを選択します。
- b. アイテム・フィールドの横にある「**検索 (Search)**」アイコンをクリックします。表示されるアイテム・フィールドは、分類管理の中で選択されているフィールドに依存します。例えば、アイテム・フィールドは、「**アイテム・タイプ * (Item Type*)**」または「**商品のタイプ * (Item Type*)**」またはその他のなんらかのアイテム・フィールドになることがあります。

表示される分類階層ダイアログ・ボックスで、以下のステップを実行します。このダイアログ・ボックスが表示されるのは、別個の属性として目的を付けて分類を作成し、分類にさまざまな値を割り当てた時のみです。

- i. 分類階層ツリーより、値を選択します。
- ii. 「**選択 (Select)**」をクリックします。

選択された値がアイテム・フィールドに隣接するボックス内に表示されます。

- c. 「**アイテム ID* (Item ID)**」ボックスで、アイテムの固有 ID を入力します。この ID は、定義後は変更できません。
- d. 「**単位 (UOM)**」リストから、アイテムと関連付けたい数量単位を選択します。

注: 単位とアイテム ID の組み合わせは固有です。例えば、米国のノードおよびカナダのノードから同じアイテム ID を持つ同じアイテムを販売する際に、米国が単位にポンド、カナダがキログラムを使う場合、アイテム ID に関連付けられるこの 2 つの単位は、システム内では 2 つの固有のアイテムを作成することになります。

- e. このアイテムをカテゴリに関連付けるには、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックします。これは「**関連付け先カテゴリ (Associate to the category)**」ボックスにあります。
- f. カテゴリ・ダイアログ・ボックスが表示されます。「**カタログ階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、アイテムと関連付けたいメンテナンス・カタログのカテゴリを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。

選択されたカテゴリにアイテムが関連付けられます。

4. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

新規アイテムが作成され、主要情報画面が表示されます。

アイテムが作成された後、できれば主要情報画面からアイテムの説明を定義しておくようにします。このアイテムの説明は、アイテム検索を実行する際に検索条件として使うことが可能です。バリエーションのあるアイテムが作成された後、次のタスクを実行することができます。

- 既存アイテムを子アイテムとしてバリエーション・アイテムに追加
- 属性値をアイテム属性に割り当て

第 12 章 Sterling Business Center での論理キット・アイテムの作成

このタスクについて

システム管理者が Applications Manager でインストール・ルール「論理キット機能を有効にする (Enable Logical Kit Functionality)」を構成した場合のみ、Sterling Business Center で論理キットを作成および管理することができます。デフォルトでは、このルールの値は「N」に設定されています。論理キットのオプションは、下位互換性の目的にのみ提供されています。論理キットの管理は、バンドル・アイテムの管理に似ています。ただし、論理キット・アイテムのコンポーネントを管理するために、設定モデルを使用することはできません。

論理キット・アイテムを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「新規アイテム (New Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「新規アイテム (New Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示されたアイテムの作成画面で、以下のステップを実行します。
 - a. 「論理キット (Logical Kit)」ラジオ・ボタンを選択してください。
 - b. 「アイテム ID (Item ID)*」テキスト・ボックスに、アイテムの固有 ID を入力します。
 - c. 「単位 (UOM)」リストから、アイテムに関連付けたい単位を選択してください。

注: 単位とアイテム ID の組み合わせは固有です。例えば、米国のノードおよびカナダのノードから同じアイテム ID を持つ同じアイテムを販売する際に、米国が単位にポンド、カナダがキログラムを使う場合、アイテム ID に関連付けられるこの 2 つの単位は、システム内では 2 つの固有のアイテムを作成することになります。

- d. このアイテムをカテゴリに関連付けるには、「検索 (Search)」アイコンをクリックします。これは「関連付け先カテゴリ (Associate to the category)」ボックスにあります。
- e. カテゴリ・ダイアログ・ボックスが表示されます。「カタログの階層 (Catalog Hierarchy)」ツリーから、アイテムと関連付けたいメンテナンス・カタログのカテゴリを選択し、「選択 (Select)」をクリックします。

選択されたカテゴリにアイテムが関連付けられます。

4. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

新規アイテムが作成され、主要情報画面が表示されます。

第 13 章 Sterling Business Center でのアイテムの検索

次のオプションを使用することによって、アイテムの検索およびアイテム詳細の参照を行えます。

- アイテムの基本検索: このタイプの検索では、アイテム ID の全部または一部、もしくはアイテムが関連付けられているカテゴリーなどの基本的な条件を指定することによって、クイック検索を行うことができます。
- 拡張検索: このタイプの検索では、選択した条件に基づく検索を行うことができます。条件、および対応する演算子を選択してから、対応する値を選択または指定します。

「アイテムの検索 (Item Search)」画面から、アイテムの検索を行うことができます。

Sterling Business Center でのアイテムの基本検索

このタスクについて

アイテムの基本検索を行うには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「アイテムの検索 (Item Search)」画面が表示されます。「次を含むアイテム ID (Item ID Contains)」ボックスで、検索したいアイテムの ID を全部または一部入力します。
4. 「カテゴリーとの関連付け (Is Associated To The Category)」ボックスで、「検索 (Search)」アイコンをクリックし、アイテムが関連付けられているカテゴリーを選択します。
5. 「アイテムの特性 (Item Characteristic)」ドロップダウン・リストから、検索したいアイテムの特性を選択します。
6. 「次を含むアイテム簡略説明 (Item Short Description Contains)」ボックスで、検索したいアイテムの説明を全部または一部入力します。例えば、アイテムの簡略説明が「フラット・パネル・テレビ (A flat television panel)」である場合、「パネル (panel)」または「パネル・テレビ (television panel)」を検索テキストとして入力することができます。
7. 「有効日付範囲に本日が含まれるアイテムのみを含める」チェック・ボックスを選択し、本日が有効日付範囲内に含まれるアイテムを検索に含めます。
8. 「マイ・カタログに属するアイテムのみを含める (Only include items which belong to my catalog)」チェック・ボックスを選択し、自社のカタログに属するアイテムのみを検索に含めます。

9. 「サービスおよびサービス・オプションのみを検索 (Search only services and service options)」チェック・ボックスを選択し、サービスおよびサービス・オプションをアイテム検索結果に含めます。

注: このチェック・ボックスは、アイテムを価格設定のコンテキストで検索している場合のみ表示されます。例えば、このチェック・ボックスは、アイテムを「価格リストの検索 (Price List Search)」画面から検索している場合には使用可能ですが、「アイテムの検索 (Item Search)」画面からの場合は、使用することができません。

「アイテムの特性 (Item Characteristic)」ドロップダウン・リストは、選択したチェック・ボックスによって動的に生成されます。

10. 「検索 (Search)」をクリックします。

検索条件に一致するアイテムが表示されます。ただし、検索条件に一致するアイテムが 1 つしかない場合、「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。

注: 管理組織がアイテム組織ではない場合、管理組織のアイテム組織で使用可能なアイテムが表示されます。

Sterling Business Center でのアイテムの拡張検索

このタスクについて

アイテムの拡張検索を行うには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「アイテムの検索 (Item Search)」画面が表示されます。「拡張検索 (Advanced Search)」をクリックします。
4. 「拡張検索 (Advanced Search)」パネルが表示されます。「条件の選択 (Select Criteria)」ドロップダウン・リストから、検索に含める条件を選択してください。例えば、アイテムをステータスで検索する場合、「条件の選択 (Select Criteria)」ドロップダウン・リストから「ステータス (Status)」を選択します。
5. 「演算子 (Operator)」ドロップダウン・リストから、検索条件に使用する演算子を選択します。

対応するフィールドで、条件に対する適切な値を入力または選択します。各フィールドは、選択した演算子に基づいて表示されます。例えば、「条件の選択 (Select Criteria)」ドロップダウン・リストから「有効開始日 (Effective Start Date)」を選択し、「演算子 (Operator)」ドロップダウン・リストから「範囲内 (Between)」を選択した場合、適切な日付を入力または選択できる 2 つのフィールドが表示されます。

注: 最低でも 1 つの検索条件および該当する値の選択または入力が必要で、2 つ以上の検索条件を選択または入力した場合、検索はすべての条件に一致するアイテムを返却します。

6. 「**検索 (Search)**」をクリックします。

検索条件に一致するアイテムが表示されます。ただし、検索条件に一致するアイテムが 1 つしかない場合、「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されず。

注: 管理組織がアイテム組織ではない場合、管理組織のアイテム組織で使用可能なアイテムが表示されます。

Sterling Business Center でのアイテムの拡張検索に検索条件を追加する

このタスクについて

検索条件を追加して、より詳細な検索を実行し、検索結果を絞り込むことができます。

検索条件を追加するには、次の手順を実行します。

手順

1. 「**アイテムの拡張検索 (Advanced Item Search)**」画面で、「**さらに条件を追加 (Add More Criteria)**」をクリックします。
2. 検索条件を指定するための新しい行が表示されます。適切な検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。

検索条件に一致するアイテムが表示されます。ただし、検索条件に一致するアイテムが 1 つしかない場合、「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されず。

注: 管理組織がアイテム組織ではない場合、管理組織のアイテム組織で使用可能なアイテムが表示されます。

Sterling Business Center でのアイテム検索の保存

このタスクについて

特定のアイテムを検索するたびに毎回検索条件の入力を行う必要がないように、アイテム検索を保存することができます。

アイテム検索を保存するには、次の手順を実行します。

手順

1. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。

2. 「アイテムの検索 (Item Search)」画面が表示されます。適切な検索条件を入力します。または、「アイテムの拡張検索 (Advanced Item Search)」をクリックし、適切な検索条件を入力します。
3. 「保存済み検索 (Saved Searches)」ドロップダウン・メニューから「保存済み検索の作成 (Create Saved Search)」を選択します。
4. 「検索の保存 (Save Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「保存済み検索の名前 (Saved Search Name)*」ボックスに、保存する検索の名前を入力してください。
5. 保存済み検索をお気に入りとしてマークするには、「お気に入り検索に含める (Include in favorite searches)」チェック・ボックスを選択してください。保存済み検索をお気に入りとしてマーク付けすることによって、その保存済み検索にホーム・ページから素早く移動することができます。ホーム・ページの「お気に入り検索 (Favorite Searches)」パネルには、最近保存したお気に入り検索が最大 5 つ、ハイパーリンクとして表示されます。ホーム・ページのヘッダー・バーにある「お気に入り (Favorites)」メニューを使用して、お気に入りの保存済み検索にアクセスすることもできます。
6. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

Sterling Business Center での保存済みアイテム検索を使用した検索

このタスクについて

保存済みアイテム検索を検索するには、次の手順を実行します。

手順

1. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
2. 「アイテムの基本検索 (Basic Item Search)」画面が表示されます。「保存済み検索 (Saved Searches)」をクリックして、保存済みアイテム検索のリストを参照します。または、「拡張検索 (Advanced Search)」をクリックし、「保存済み検索 (Saved Searches)」をクリックします。

保存済みアイテム検索はメニューで表示され、お気に入りの保存済み検索がある場合にはそれらがリストの上位に表示されます。

注: メニューには最大 5 個の保存済み検索が表示されます。

3. 以下のいずれかのタスクを実行します。
 - 保存済み検索がメニューに表示されている場合、「保存済み検索 (Saved Searches)」をクリックして該当する検索結果を参照します。
 - 保存済み検索がメニューに表示されていない場合、「その他の検索... (More Searches...)」をクリックします。「アイテムの保存済み検索を検索 (Find Saved Searches for Items)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「保存済み検索 (Saved Searches)」パネルに表示される保存済み検索を絞り込むには、「次を含む保存済み検索名 (Saved Search Name Contains)」ボックスに保存済み検索の名前を全部または一部入力してください。該当する検索結果を参照

するには、保存済み検索の名前をダブルクリックします。または、保存済み検索名をクリックして「**選択 (Select)**」をクリックしても、対応する検索結果が表示されます。

注: 「その他の検索... (More Searches...)」ボタンは、保存済みアイテム検索が 9 個以上の場合のみ表示されます。

「アイテムの検索 (Item Search)」画面は、検索条件が自動設定された状態で、検索結果とともに表示されます。

Sterling Business Center での保存済みアイテム検索の変更

このタスクについて

保存済みアイテム検索を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
2. 「アイテムの基本検索 (Basic Item Search)」画面が表示されます。「**保存済み検索 (Saved Searches)**」をクリックして、保存済みアイテム検索のリストを参照します。または、「**拡張検索 (Advanced Search)**」をクリックし、「**保存済み検索 (Saved Searches)**」をクリックします。

保存済みアイテム検索はメニューで表示され、お気に入りの保存済み検索がある場合にはそれらがリストの上位に表示されます。

注: メニューには最大 5 個の保存済み検索が表示されます。

3. 以下のいずれかのタスクを実行します。
 - 保存済み検索がメニューに表示されている場合、「**保存済み検索 (Saved Searches)**」をクリックして該当する検索画面を参照します。
 - 保存済み検索がメニューに表示されていない場合、「**その他の検索... (More Searches...)**」をクリックします。「**アイテムの保存済み検索を検索 (Find Saved Searches for Items)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**保存済み検索 (Saved Searches)**」パネルに表示される保存済み検索を絞り込むには、「**次を含む保存済み検索名 (Saved Search Name Contains)**」ボックスに保存済み検索の名前を全部または一部入力します。該当する検索画面を参照するには、保存済み検索の名前をダブルクリックします。または、保存済み検索名をクリックして「**選択 (Select)**」をクリックしても、対応する検索画面が表示されます。

注: 「その他の検索... (More Searches...)」ボタンは、保存済みアイテム検索が 9 個以上の場合のみ表示されます。

4. 「アイテムの検索 (Item Search)」画面は、検索条件が自動設定された状態で表示されます。適切な情報を変更し、「**保存済み検索 (Saved Searches)**」ドロップダウン・メニューから「**保存済み検索の作成 (Create Saved Search)**」を選択します。

5. 「**保存済み検索の名前 (Saved Search Name)**」ボックスに元の保存済み検索の名前が自動設定されている状態で、「**検索の保存 (Save Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のいずれかのタスクを実行します。
 - 元の保存済み検索を上書きするには、この名前をそのまま使用します。元の保存済み検索の更新を続行するかを確認するメッセージを含む「**上書きの確認 (Confirm Overwrite)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックします。
 - この検索を新規の名前で保存するには、新規の検索名を入力します。
6. 保存済み検索をお気に入りリストに含めるには、「**お気に入り検索に含める (Include in favorite searches)**」チェック・ボックスを選択してください。このチェック・ボックスを選択した場合、保存済み検索の名前はホーム・ページ上にハイパーリンクとして表示され、このリンクをクリックすることによって素早く保存済み検索に移動することができます。
7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

保存済みアイテム検索が変更されます。

第 14 章 Sterling Business Center での検索の保存

このタスクについて

アイテムやサービスなど特定のエンティティを検索するたびに毎回検索条件の入力を行う必要がないように、検索を保存することができます。

「基本検索 (Basic Search)」画面および「拡張検索 (Advanced Search)」画面の「保存済み検索 (Saved Searches)」ボタンを使用して、検索を保存することができます。

検索を保存するには、次の手順を実行します。

手順

1. 「保存済み検索 (Saved Searches)」ドロップダウン・メニューから「保存済み検索の作成 (Create Saved Search)」を選択します。
2. 「検索の保存 (Save Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「保存済み検索の名前 (Saved Search Name)*」フィールドに、保存する検索の名前を入力してください。
3. 保存済み検索をお気に入りとしてマークするには、「お気に入り検索に含める (Include in favorite searches)」チェック・ボックスを選択してください。保存済み検索をお気に入りとしてマーク付けすることによって、その保存済み検索にホーム・ページから素早く移動することができます。ホーム・ページの「お気に入り検索 (Favorite Searches)」パネルには、最近保存したお気に入り検索が最大 5 つ、ハイパーリンクとして表示されます。ホーム・ページのヘッダー・バーにある「お気に入り (Favorites)」メニューを使用して、お気に入りの保存済み検索にアクセスすることもできます。
4. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

検索が保存されます。特定のアイテム、サービス、または資格を検索するときに、保存済み検索を使用することができます。

第 15 章 Sterling Business Center での保存済み検索の管理

アイテムやサービスなど特定のエンティティを検索するたびに毎回検索条件の入力を行う必要がないように、ユーザーは検索を保存することができます。

ユーザーは、次のタスクを行うことによって保存済み検索を管理することができます。

- 保存済み検索の名前の変更
- 保存済み検索の削除
- 保存済み検索の参照および実行
- 保存済み検索をお気に入りとしてマーク付け

Sterling Business Center で保存済み検索の名前を変更する

このタスクについて

保存済み検索を検索し、名前を変更することができます。

保存済み検索の名前を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「お気に入り (Favorites)」メニューから、「保存済み検索の管理 (Manage Saved Searches)」を選択します。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」画面を参照している場合、「保存済み検索 (Saved Searches)」ドロップダウン・メニューから「保存済み検索の管理 (Manage Saved Searches)」を選択します。
3. 「保存済み検索の管理 (Saved Search Management)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「保存済み検索の検索 (Find Saved Searches)」パネルで、次のタスクを実行します。
 - a. 「次を含む保存済み検索名 (Saved Search Name Contains)」フィールドに、保存済み検索の名前を全部または一部入力します。
 - b. 「検索タイプ (Search Type)」ドロップダウン・リストから、適切なエンティティを選択します。例えば、保存済み価格リスト検索を検索するには、ドロップダウン・リストから価格リストを選択してください。
 - c. 「検索 (Search)」をクリックします。
4. 条件に一致する保存済み検索が「保存済み検索 (Saved Searches)」パネルに表示されます。名前を変更したい保存済み検索に該当するチェック・ボックスを選択し、「保存済み検索の名前 (Saved Search Name)」列に新しい名前を入力します。
5. 「保存 (Save)」をクリックします。

保存済み検索の名前が変更されます。

Sterling Business Center での保存済み検索の削除

このタスクについて

保存済み検索を検索し、削除することができます。

保存済み検索を削除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「お気に入り (Favorites)」メニューから、「保存済み検索の管理 (Manage Saved Searches)」を選択します。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」画面を参照している場合、「保存済み検索 (Saved Searches)」ドロップダウン・メニューから「保存済み検索の管理 (Manage Saved Searches)」を選択します。
3. 「保存済み検索の管理 (Manage Saved Searches)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「保存済み検索の検索 (Find Saved Searches)」パネルで、次のタスクを実行します。
 - a. 「次を含む保存済み検索名 (Saved Search Name Contains)」フィールドに、保存済み検索の名前を全部または一部入力します。
 - b. 「検索タイプ (Search Type)」ドロップダウン・リストから、適切なエンティティを選択します。

注: 「保存済み検索 (Saved Searches)」ドロップダウン・メニューから「保存済み検索の管理 (Manage Saved Searches)」を選択して「保存済み検索の管理 (Saved Search Management)」ダイアログ・ボックスに移動した場合には、このフィールドに既にエンティティが表示されています。このエンティティを使用するか、ドロップダウン・リストから適切なエンティティを選択することができます。

- c. 「検索 (Search)」をクリックします。
4. 条件に一致する保存済み検索が「保存済み検索 (Saved Searches)」パネルに表示されます。削除したい保存済み検索に該当するチェック・ボックスを選択し、「削除 (Delete)」をクリックします。

保存済み検索が削除されます。

Sterling Business Center での保存済み検索の参照および実行

このタスクについて

保存済み検索を検索し、それを参照および実行することができます。

保存済み検索を参照および実行するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「お気に入り (Favorites)」メニューから、「保存済み検索の管理 (Manage Saved Searches)」を選択します。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」画面を参照している場合、「保存済み検索

(Saved Searches)」ドロップダウン・メニューから「保存済み検索の管理 (Manage Saved Searches)」を選択します。

3. 「保存済み検索の管理 (Saved Search Management)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「保存済み検索の検索 (Find Saved Searches)」パネルで、次のタスクを実行します。
 - a. 「次を含む保存済み検索名 (Saved Search Name Contains)」ボックスに、保存済み検索の名前を全部または一部入力します。
 - b. 「検索タイプ (Search Type)」ドロップダウン・リストから、適切なエンティティを選択します。

注: 「保存済み検索 (Saved Searches)」ドロップダウン・メニューから「保存済み検索の管理 (Manage Saved Searches)」を選択して「保存済み検索の管理 (Saved Search Management)」ダイアログ・ボックスに移動した場合には、このフィールドに既にエンティティが表示されています。このエンティティを使用するか、ドロップダウン・リストから適切なエンティティを選択することができます。

- c. 「検索 (Search)」をクリックします。
4. 条件に一致する保存済み検索が「保存済み検索 (Saved Searches)」パネルに表示されます。参照および実行する保存済み検索に対応するチェック・ボックスを選択し、「GO (Go)」アイコンをクリックします。

検索画面は、検索条件が自動設定された状態で、検索結果とともに表示されません。

注: 「価格設定の検索 (Pricing Search)」画面でお気に入りとして保存した検索も、「アイテムの検索 (Item Search)」画面で使用することができます。したがって、「価格設定の検索 (Pricing Search)」画面からの保存済み検索の「サービスおよびサービス・オプションのみを検索 (Search only services and service options)」チェック・ボックスが選択されている場合、サービスおよびサービス関連オプションの結果は、「アイテムの検索 (Item Search)」画面からも参照することができます。

保存済み検索をお気に入りとしてマーク付け

このタスクについて

保存済み検索をお気に入りとしてマークし、頻繁に使用する保存済み検索に素早く移動することができます。

保存済み検索をお気に入りとしてマークするには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「お気に入り (Favorites)」メニューから、「保存済み検索の管理 (Manage Saved Searches)」を選択します。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」画面を参照している場合、「保存済み検索 (Saved Searches)」ドロップダウン・メニューから「保存済み検索の管理 (Manage Saved Searches)」を選択します。

3. 「保存済み検索の管理 (Manage Saved Searches)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「保存済み検索の検索 (Find Saved Searches)」パネルで、次のタスクを行って適切な保存済み検索を検索します。
 - a. 「次を含む保存済み検索名 (Saved Search Name Contains)」フィールドに、保存済み検索の名前を全部または一部入力してください。
 - b. 「検索タイプ (Search Type)」ドロップダウン・リストから、適切なエンティティを選択します。
 - c. 「検索 (Search)」をクリックします。
4. 条件に一致する保存済み検索が「保存済み検索 (Saved Searches)」パネルに表示されます。以下のいずれかのアクションを実行します。
 - 保存済み検索をお気に入りとしてマークするには、保存済み検索に対応する「お気に入りマークを付ける (Mark as Favorite)」アイコンをクリックします。
 - 保存済み検索からお気に入りマークを削除するには、保存済み検索に対応する「お気に入りを削除 (Remove Favorite)」アイコンをクリックします。
5. 「保存 (Save)」をクリックします。

保存済み検索がお気に入りとしてマークされます。お気に入りの保存済み検索を使用して、特定のアイテム、サービス、または資格を検索できます。

第 16 章 既存アイテムを子アイテムとしてバリエーション・アイテムに追加

このタスクについて

バリエーション・アイテムに対して子アイテムを定義することができます。子アイテムとは、親アイテムと共通の属性を共有するものの、その他の固有プロパティ・セットを持つアイテムです。例えば、親アイテムが半袖のワイシャツである場合、可能な子アイテムは、小サイズの赤い半袖のワイシャツや中サイズの赤い半袖のワイシャツなどです。

子アイテムの詳細は、バリエーション・アイテムの詳細の一部として、「アイテムの詳細 (Items Details)」画面に表示されます。

カタログの既存アイテムから選択することによって、子アイテムを追加することができます。

既存アイテムをバリエーション・アイテムの子アイテムとして追加するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「アイテムの検索 (Find Item)」画面で検索条件を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」のハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルの「バリエーションの管理 (Manage Variations)」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「バリエーション (Variations)」パネルの「追加 (Add)」をクリックします。
 7. 使用可能なアイテムのリストを参照するには、表示された「アイテムの検索 (Item Search)」ダイアログ・ボックスで、「検索 (Search)」をクリックします。または、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。

8. リストからアイテムを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。
9. 「**バリエーション (Variations)**」パネルに新しい行が追加されます。表示される属性の値を定義します。

メモ:

- 表示される属性は、「**分類管理 (Classification Management)**」で行われた構成によって決まります。例えば、ワイシャツ・アイテムに対して構成される属性は、スタイル、サイズ、色などである可能性があります。
 - 子アイテムの属性に対して、複数の値を定義することはできません。
10. 「**保存 (Save)**」をクリックし、子アイテムをバリエーション・アイテムに追加します。

既存アイテムは、バリエーション・アイテムに対して子アイテムとして追加されます。

第 17 章 バリエーション・アイテムの子アイテムを変更する

このタスクについて

親アイテムと共通の属性を共有するものの、その他の固有プロパティ・セットを持つアイテムである子アイテムの詳細を変更することができます。

バリエーション・アイテムの子アイテムを変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**バリエーションの管理 (Manage Variations)**」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**バリエーション (Variations)**」パネルで、子アイテムの詳細を変更することができます。表示される属性の値を変更します。

メモ:

- 表示される属性は、「**分類管理 (Classification Management)**」で行われた構成によって決まります。
 - 子アイテムの属性に対して、複数の値を定義することはできません。
7. 「**保存 (Save)**」をクリックして、子アイテムに対する変更を保存します。

子アイテムが変更されます。

第 18 章 バリエーション・アイテムから子アイテムを削除する

このタスクについて

その他の固有プロパティ・セットを持つ子アイテムを維持したくない場合、バリエーション・アイテムから子アイテムを削除することができます。

バリエーション・アイテムから子アイテムを削除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**バリエーションの管理 (Manage Variations)**」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**バリエーション (Variations)**」パネルで、削除したい子アイテムを選択します。
 7. 「**アイテムの削除 (Remove Item)**」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックします。

バリエーション・アイテムから子アイテムが削除されます。

第 19 章 アイテムの主要情報の定義

このタスクについて

アイテムを作成した後に、新規作成したアイテムの詳細を定義することができます。また、既にアイテムの詳細が定義済みの場合、変更することができます。

注: 組織に属するアイテムの詳細のみ定義することができます。

「主要情報 (Primary Information)」画面からアイテムの主要情報を定義することができます。

アイテムの詳細を定義または変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で検索条件を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。または、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」のハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。

「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「主要情報 (Primary Information)」パネルに、次の以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
5. 「アイテムのステータス (Item Status)」ドロップダウン・リストから、アイテムのステータスを選択してください。以下のいずれかのオプションを選択することができます。
 - **保留 (未公開):** オーダー作成時にアイテムを利用不可能にするには、これを選択してください。
 - **公開済み:** オーダー作成時にアイテムを利用可能にするには、これを選択してください。
 6. 「説明 (Descriptions)」領域で、次のことを実行します。
 - a. アイテムの「簡略説明 (Short Description)*」を入力してください。この説明は、アイテムおよびその詳細が表示される場所で必ず表示されます。
 - b. アイテムの「詳細説明 (Long Description)」を入力してください。この説明は、アイテムの詳細を参照するときのみ表示されます。

7. 「主要フィールド (Primary Fields)」領域で、次のことを実行します。
 - a. 「有効開始日 (Effective Start Date)」を入力してください。または、「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックして、カレンダーから開始日を選択します。表示される日付の形式はロケールによって異なります。
 - b. 「有効終了日 (Effective End Date)」を入力してください。または、「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックして、カレンダーから終了日を選択します。表示される日付の形式はロケールによって異なります。

定義された開始日と終了日は、オーダー作成時にアイテムが利用可能である時間範囲を示します。

 - c. 「GTIN (GTIN)」を入力してください。
 - d. 「GTIN 製造業者の接頭辞の長さ (GTIN Manufacturer Prefix Length)」を入力してください。
8. 「製造業者の情報 (Manufacturer's Information)」領域で、次のことを実行します。
 - a. 「製造業者の名前 (Manufacturer's Name)」を入力してください。
 - b. 「製造業者のアイテム (Manufacturer's Item)」を入力してください。
 - c. ドロップダウン・リストから「原産国または原産地域 (country or region Of Origin)」を選択してください。
 - d. 「製造業者のアイテムの説明 (Manufacturer's Item Description)」を入力してください。
9. 「アイテムの詳細 (Item Details)」画面で「保存 (Save)」をクリックします。

アイテムの詳細が保存されます。

バリエーションがあるアイテムの場合、親と子の詳細が表示されます。アイテムが親アイテムか子アイテムかによって、「バリエーションの情報 (Variation Information)」領域に次のことが表示されます。

タイプ 説明

親 「バリエーションの情報 (Variation Information)」領域には、アイテムの分類情報が表示されます。

子 「バリエーションの情報 (Variation Information)」領域には、次が表示されます。

- 分類: 親の分類タイプ。
- 親アイテムとその属性: 親アイテムの詳細を参照するには、「親アイテム (Parent Item)」のハイパーリンクをクリックします。表示される属性は、「属性の管理 (Attribute Management)」で行われた構成によって決まります。属性を個別の属性目的を持つ分類に割り当てる際に、必ずこれらの属性に個別の属性使用を割り当ててください。

メモ:

- アイテムの取引および販売の詳細を定義した際にアイテムに画像アセットを関連付けた場合のみ、「主要情報 (Primary Information)」画面の「アイテムのメイン画像 (Item Main Image)」フィールドの横にアイテム画像が表示されません。

- 複数のロケールが構成されている場合、「ローカライズ (Localize)」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「ローカライズ (Localize)」関連タスクが「関連タスク (Related Tasks)」パネルに表示されます。「簡易説明 (Short Description)」、「詳細説明 (Long Description)」などのローカライズ可能なフィールドは、ユーザーのロケールとは関係なく、常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center がフランス語にローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI スtringがフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「ローカライズ (Localize)」アイコンまたは「ローカライズ (Localize)」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィールドのローカライズの詳細については、『Sterling Business Center のフィールドのローカライズ』を参照してください。

アイテムの主要情報が定義されます。この後、フィールドの管理や単位の管理などの関連タスクを実行できます。

第 20 章 Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ

このタスクについて

Sterling Business Center のフィールドを構成したロケールにローカライズすることができます。例えば、顧客が 2 つ以上のロケールでアイテムを販売しているとします。そのようなシナリオの場合、Web チャネル・アプリケーションで表示される該当するすべてのフィールドをローカライズすることができます。したがって、ユーザーはアイテムを購入するために Web チャネル・アプリケーションにアクセスし、そのアイテムに関するすべての情報をユーザーのロケール固有のローカライズ形式で参照することができます。

注: アイテム説明を入力する前に、すべてのロケール構成が完了している必要があります。ロケールの構成に関する詳細は、*Selling and Fulfillment Foundation* アプリケーション・プラットフォーム構成ガイド を参照してください。

Sterling Business Center のフィールドをローカライズするには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. ローカライズをしたい説明または値を持つ画面に移動します。さまざまなモジュールに関連付けられているフィールドをローカライズすることができます。例えば、アイテム、アセット、分類値などの簡略説明をローカライズすることができます。
3. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルの「ローカライズ (Localize)」をクリックします。または、ローカライズしたいフィールドに隣接している「ローカライズ (Localize)」アイコンをクリックします。アセットのフィールド値をローカライズするには、「アセット (Assets)」パネルの「ローカライズ (Localize)」をクリックします。

ローカライズ可能なすべてのフィールドに関する「ローカライズ (Localize)」画面が表示されます。フィールドに隣接する「ローカライズ (Localize)」をクリックした場合、そのフィールドに関する「ローカライズ (Localize)」ダイアログ・ボックスが表示されます。

4. 「ロケール (Locales)」リスト・ボックスから、フィールドをローカライズするロケールを選択してください。

注: 複数のロケールが構成されている場合、「ローカライズ (Localize)」がすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「ローカライズ (Localize)」関連タスクが「関連タスク (Related Tasks)」パネルに表示されます。「簡易説明 (Short Description)」、「詳細説明 (Long Description)」などのローカライズ可能なフィールドは、ユーザーのロケールとは関係なく、常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center がフランス語にローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが

Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI ストリングがフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「ローカライズ (Localize)」アイコンまたは「ローカライズ (Localize)」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。

「ローカライズした値 (Localized Value)」ボックスは、「基本ロケール (Base Locale)」ボックスに表示されている値のローカライズ・バージョンによって自動的に設定されます。「基本ロケール (Base Locale)」ボックスは編集できません。

第 21 章 アイテムの単位の定義

このタスクについて

アイテムの固有 ID を定義する際に使用可能な単位を定義することができます。アイテムの場合、出荷および保管のためにアイテムの重量および寸法を提供することができます。アイテムの長さ、幅、高さなどの寸法、およびアイテムの重量を指定することができます。体積値と体積単位は、長さ、幅、および高さに入力した値と単位から算出されます。

「アイテム単位 (Item UOMs)」画面から、アイテムの単位を定義することができます。

アイテムの単位を定義するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で検索条件を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」のハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルの「単位の管理 (Manage UOMs)」をクリックします。
6. 「アイテムの単位 (Item UOMs)」画面が表示されます。「寸法 (Dimensions)」パネルで、次の手順を実行します。
 - a. 「長さ (Length)」テキスト・ボックスにアイテムの数値的な長さを入力し、「長さの単位」ドロップダウン・リストから単位を選択します (例: インチ)。
 - b. 「重量 (Weight)」テキスト・ボックスにアイテムの数値的な重量を入力し、「重量単位 (Weight UOM)」ドロップダウン・リストから単位を選択します (例: ポンド)。
 - c. 「幅 (Width)」テキスト・ボックスにアイテムの数値的な幅を入力し、「幅の単位 (Width UOM)」ドロップダウン・リストから単位を選択します (例: インチ)。
 - d. 「高さ (Height)」テキスト・ボックスにアイテムの数値的な高さを入力し、「高さの単位 (Height UOM)」ドロップダウン・リストから単位を選択します (例: インチ)。
7. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: アイテムの「**体積 (Volume)**」および「**容積単位 (Volume UOM)**」の数値は、自動的に生成されます。

アイテムの単位が定義されます。

第 22 章 在庫単位とは異なる価格設定単位の定義

このタスクについて

アイテムの価格設定が在庫単位とは異なる単位に基づいている場合に使用可能な、価格設定単位を定義することができます。

例えば、「りんご (Apples)」というアイテムがあり、これの在庫および販売での単位が「ケース (Cases)」だとします。ただし、価格は各ケースの重量によって決定します。このシナリオでは、「りんご (Apples)」というアイテムの在庫単位に「ケース (Cases)」、そして価格設定単位に「重量 (Weight)」を割り当てます。

「アイテム単位 (Item UOMs)」画面から、価格設定単価を定義することができます。

在庫単位とは異なる価格設定単位を定義するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で検索条件を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」のハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルの「単位の管理 (Manage UOMs)」をクリックします。

以下の読み取り専用ボックスを持つ詳細パネルが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「アイテムの単位 (Item UOMs)」画面の「価格設定 (Pricing)」パネルで、次のことを行います。
 - a. このアイテムが価格設定の計算で使用する単位が、アイテムの実際の在庫に関連付けられている単位とは異なる場合、「価格設定単位が在庫単位と異なる (Pricing UOM is different from inventory UOM)」チェック・ボックスを選択してください。

- b. 「価格設定単位が在庫単位と異なる (Pricing UOM is different from inventory UOM)」を選択した場合、アイテムの価格設定に使用したい単位を「価格設定単位 (Pricing UOM)」ドロップダウン・リストから選択します。
 - c. 「価格設定単位が在庫単位と異なる (Pricing UOM is different from inventory UOM)」を選択した場合、「デフォルトの価格設定単位変換係数 (Pricing UOM is different from inventory UOM)」テキスト・ボックスに在庫単位から価格設定単位への変換レートを入力してください。例えば、アイテムの在庫単位が「各 (EACH)」で、価格設定単位が「ケース (Cases)」だとします。4 個の「各 (EACH)」によって 1 つの「ケース (Cases)」が構成されます。このシナリオでは、変換係数には「4」と入力します。
7. 「保存 (Save)」をクリックします。

在庫単位とは異なる価格設定単位が定義されます。

第 23 章 代替単位の追加

このタスクについて

一意のアイテム ID および単位による組み合わせを、複数の方法でパッケージしたアイテムの作成が必要となるかもしれません。そのようなシナリオの場合、販売環境で使用する代替のオーダー単位を作成することができます。

例えば、ペン 6 本入りパックに対して、一意のアイテム ID および単位の組み合わせを作成するとします。ただし、販売環境ではこのアイテムを 3 つの方法 (個別、ケースごと、パレットごと) のいずれかで販売するとします。このシナリオでは、6 本入りパックの在庫単位に関連付ける 3 つの代替単位を作成することができます (6 本入りパック、ケース、およびパレット)。

「アイテム単位 (Item UOMs)」画面から、代替単位を追加することができます。

代替単位を追加するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Find Item)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**単位の管理 (Manage UOMs)**」をクリックします。

以下の読み取り専用ボックスを持つ詳細パネルが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**アイテムの単位 (Item UOMs)**」画面の「**代替単位 (Alternate UOMs)**」パネルで、「**追加 (Add)**」をクリックします。
 7. 「**新規代替単位 (New Alternate UOM)**」のダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。
 - a. 「**詳細情報 (Details)**」領域の「**単位 (UOM)***」ドロップダウン・リストから、使用したい代替単位を選択してください。

- b. 「在庫数量の変換数量 (Conversion Quantity Into Inventory Quantity)*」 テキスト・ボックスには、代替単位に対する在庫数量の変換数量を入力してください。例えば、在庫単位が「各 (EACH)」のアイテムに対し、「ダース (DOZEN)」という代替単位を構成しようとしています。12 個の「各 (EACH)」によって 1 つの「ダース (DOZEN)」が構成されます。このシナリオでは、変換数量に「12」と入力する必要があります。
- c. 正のパッケージ許容数量を入力してください。これは、変換数量を超えたアイテムの最大数量を定義します。
- d. 負のパッケージ許容数量を入力してください。これは、変換数量未満のアイテムの最小数量を定義します。

例えば、変換数量を 12、正のパッケージ許容数量を 2、負のパッケージ許容数量を 1 と定義した場合、オーダー可能なアイテム数は 11 から 14 までの数となります。11 は在庫単位への変換数量から負のパッケージ許容数量を引いた数であり、14 は在庫単位への変換数量に正のパッケージ許容数量を足した数です。

- e. このアイテムに対する注文でこの単位を使用することができる場合、「この単位はオーダーに使用されます (This UOM is used for ordering)」チェック・ボックスを選択してください。
- f. 「重量 (Weight)」テキスト・ボックスにアイテムの数値的な重量を入力し、「重量単位 (Weight UOM)」ドロップダウン・リストから単位を選択します (例: ポンド)。
- g. 「長さ (Length)」テキスト・ボックスにアイテムの数値的な長さを入力し、「長さの単位」ドロップダウン・リストから単位を選択します (例: インチ)。
- h. 「幅 (Width)」テキスト・ボックスにアイテムの数値的な幅を入力し、「幅の単位 (Width UOM)」ドロップダウン・リストから単位を選択します (例: インチ)。
- i. 「高さ (Height)」テキスト・ボックスにアイテムの数値的な高さを入力し、「高さの単位 (Height UOM)」ドロップダウン・リストから単位を選択します (例: インチ)。
- j. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

代替単位が在庫単位に追加され、新しく追加された単位によって単位リストが更新されます。

第 24 章 代替単位の変更

このタスクについて

販売環境において新しい方法で使用できるように、アイテムの代替単位を変更することができます。

代替単位を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**単位の管理 (Manage UOMs)**」をクリックします。

以下の読み取り専用ボックスを持つ詳細パネルが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**アイテムの単位 (Item UOMs)**」画面の「**詳細情報 (Details)**」パネルで、以下のステップを実行します。
 - a. 変更したい単位を選択します。
 - b. 「**選択した単位 (Selected UOM)**」パネルで単位の詳細を変更します。

注: システムにこの単位を使用したオーダーが存在する場合、「**在庫数量への変換数量 (Conversion Quantity to Inventory Quantity)***」テキスト・ボックスを変更しないでください。

- c. 別の単位を変更するには、ステップ a から b を繰り返します。

注: 単位間を移動する際に、単位に隣接しているチェック・ボックスをクリアしないでください。

7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

代替単位が変更されます。

第 25 章 代替単位の削除

このタスクについて

一意のアイテム ID および単位による組み合わせを複数の方法でパッケージしたアイテムを作成したくない場合、代替単位の削除することができます。

代替単位の削除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**単位の管理 (Manage UOMs)**」をクリックします。

以下の読み取り専用ボックスを持つ詳細パネルが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**アイテムの単位 (Item UOMs)**」画面の「**代替単位 (Alternate UOMs)**」パネルで、以下のステップを実行します。
 - a. 削除したい単位を選択します。
 - b. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
 - c. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

選択した単位は単位リストから削除されます。

第 26 章 アイテムに手動で指示を追加する

このタスクについて

アイテムの出荷および保管に関する指示を提供することができます。既存のアイテム指示コードがない場合、またはアイテムに対する特別な指示を作成したい場合に、フリー・フォーム・テキストの指示を作成することができます。例えば、アイテムがとても壊れやすく、追加の梱包が必要な場合に、「アイテムを必ず気泡緩衝シートで二重に包む (*Make sure that the item is double bubble wrapped*)」といった指示を作成したいとします。

「アイテムの指示 (Item Instructions)」画面から、アイテムに対する指示を手動で追加できます。

アイテムに対する指示を手動で追加するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**指示の管理 (Manage Instructions)**」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**指示タイプを管理 (Manage Instructions for type)**」ドロップダウン・リストから指示タイプを選択し、選択した指示タイプに関するすべての指示を参照します。リストは、構成されたアイテム指示タイプをすべて表示します。
 7. 「**アイテムの指示 (Item Instructions)**」画面の「**指示 (Instruction)**」パネルで、以下のステップを実行します。
 - a. 「**追加 (Add)**」をクリックします。
 - b. 「**新規指示 (New Instruction)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**詳細情報 (Details)**」領域の「**テキストを手動で入力 (Enter text manually)**」ラジオ・ボタンを選択してください。

- c. 「テキスト (Text)*」ボックスに、指示のテキストを入力してください。
- d. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

アイテムに指示が手動で追加されます。

第 27 章 既存指示コードからの指示をアイテムに追加する

このタスクについて

定義済みのアイテム指示コード・セットを使用することができます。例えば、壊れやすいアイテムに関連付けることができる **取り扱い注意** といった既存の指示コードがある場合について考えてみます。

「アイテムの指示 (Item Instructions)」画面で、既存の指示コードからの指示を追加することができます。

既存のアイテム指示コードから指示を追加するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Find Item)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**指示の管理 (Manage Instructions)**」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**指示タイプを管理 (Manage Instructions for type)**」ドロップダウン・リストから指示タイプを選択し、選択した指示タイプに関するすべての指示を参照します。リストは、構成されたアイテム指示タイプをすべて表示します。
 7. 「**アイテムの指示 (Item Instructions)**」画面の「**指示 (Instruction)**」パネルで、以下のステップを実行します。
 - a. 「**追加 (Add)**」をクリックします。
 - b. 「**新規指示 (New Instruction)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**詳細情報 (Details)**」領域の「**既存の指示コードを使用 (Use existing instruction code)**」ラジオ・ボタンを選択します。
 - c. ドロップダウン・リストから、適切な指示コードを選択します。
 - d. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

既存の指示コードからの指示がアイテムに追加されます。

第 28 章 アイテムの指示の変更

このタスクについて

指示の説明を変更するか、指示タイプを手動テキストから定義済みの指示セットに変更、または定義済みの指示セットから手動テキストに変更することができます。

「アイテムの指示 (Item Instructions)」画面から、指示を変更することができます。

アイテムの指示を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**指示の管理 (Manage Instructions)**」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**指示タイプを管理 (Manage Instructions for type)**」ドロップダウン・リストから指示タイプを選択し、選択した指示タイプに関するすべての指示を参照します。リストは、構成されたアイテム指示タイプをすべて表示します。
 7. 「**アイテムの指示 (Item Instructions)**」画面の「**指示 (Instructions)**」パネルで、以下のステップを実行します。
 - a. 変更したい指示の行を選択してください。

「**詳細情報 (Details)**」領域に、選択した指示の詳細が読み込まれます。

- b. 「**詳細情報 (Details)**」領域で、必要な変更を行います。
- c. 別の指示を変更するには、ステップ a から b を繰り返してください。

注: 指示間を移動する際に、指示に隣接しているチェック・ボックスの選択を解除しないでください。

8. 「アイテムの指示 (Item Instructions)」画面の「**保存 (Save)**」をクリックします。

アイテムの指示が変更されます。

第 29 章 アイテムの指示順序の変更

このタスクについて

アイテムに対するすべての指示が作成された後に、指示の順序を変更することができます。例えば、アイテムに対する指示セットから、「アイテムを必ず気泡緩衝シートで二重に包む (*Make sure that the item is double bubble wrapped*)」という指示を最初の指示にしたいとします。

「アイテムの指示 (Item Instructions)」画面から、指示の順序を変更することができます。

指示の順序を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**指示の管理 (Manage Instructions)**」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**指示タイプを管理 (Manage Instructions for type)**」ドロップダウン・リストから指示タイプを選択し、選択した指示タイプに関するすべての指示を参照します。リストは、構成されたアイテム指示タイプをすべて表示します。
 7. 「**アイテムの指示 (Item Instructions)**」画面の「**指示 (Instructions)**」パネルで指示を選択して、「**上方へ移動 (Move Up)**」アイコンまたは「**下方へ移動 (Move Down)**」アイコンをクリックし、順序を変更します。
 8. 「**アイテムの指示 (Item Instructions)**」画面の「**保存 (Save)**」をクリックします。

指示の順序が変更されます。

第 30 章 アイテムからの指示の削除

このタスクについて

手動で追加された指示および既存の指示コードから追加された指示を削除することができます。アイテムに手動で追加された指示を削除する場合、指示はデータベースから削除されます。ただし、既存の指示コードから追加された指示を削除する場合、指示はデータベースからは削除されず、アイテムとの関連付けが解除されるのみです。

アイテムから指示を削除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**指示の管理 (Manage Instructions)**」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**指示タイプを管理 (Manage Instructions for type)**」ドロップダウン・リストから指示タイプを選択し、選択した指示タイプに関するすべての指示を参照します。リストは、構成されたアイテム指示タイプをすべて表示します。
 7. 「**アイテムの指示 (Item Instructions)**」画面の「**指示 (Instruction)**」パネルで、以下のステップを実行します。
 - a. アイテムから削除したい指示を選択してください。
 - b. 行がハイライトされ、「**詳細情報 (Details)**」パネルが有効になります。「**削除 (Delete)**」をクリックします。
 - c. 確認を求めメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックし、選択した指示をリストから削除します。

アイテムから指示が削除されます。

第 31 章 アイテムのソーシングおよび輸送に関するフルフィルメントの詳細の定義

このタスクについて

ソーシング情報、輸送情報、フルフィルメント方法、ノード通知時間、出荷集約期間、出荷までのリリース時間、凍結の必要性の有無、航空便の必要性の有無など、アイテムに関するフルフィルメントの詳細を定義することができます。

「フルフィルメント情報 (Fulfillment Information)」画面から、アイテムに関するすべてのフルフィルメントの詳細を定義することができます。アイテムのソーシング情報はソーシング領域下に表示され、アイテムの輸送情報は輸送領域に表示されます。バンドル・アイテム・タイプに関する、バンドル・アイテムがどのように出荷および配達されるべきかの詳細は、バンドル・フルフィルメント領域下に表示されます。

アイテムのフルフィルメントの詳細を定義するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**フルフィルメント情報の管理 (Manage Fulfillment Information)**」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**ソーシング (Sourcing)**」領域で、次の手順を実行します。
 - a. 「**このアイテムのオーダーを、出荷予定日時より合計 (Release an order for this item a total of) <時間数 時間 (作業時間数) と <日数 > 日 (システム日数) 前にリリースする (system days before expected time of shipment)**」ボックスに、リリース・プロセスで使用されるアイテムの事前通知時間を入力

します。出荷ノードまたは供給業者へのオーダー出荷の連絡は、出荷予定日時より定義された時間数および日数（最大の時間数および日数）の前に行う必要があります。

- b. 「**出荷予定日時の少なくとも (Node needs to be notified at least) <時間数 > 時間前までにノードへの連絡が必要 (hours prior to expected time of shipment)**」ボックスに、明細の最短出荷日時を決定するために使用されるアイテムの最小通知時間を入力してください。オーダー出荷の連絡は、出荷予定日時より定義された日数（最小の日数）の前に行う必要があります。

- c. 「**アイテム出荷集約期間 <日数 > 日日**」ボックスには、単一出荷に統合するために、入手可能となったアイテムを遅延することができる日数を入力してください。これは、アイテムの出荷をスケジュールするために使用されません。

- d. 「**確定時に無限在庫を想定 (Assume Infinite Inventory During Promising)**」ドロップダウン・リストから、適切なオプションを選択します。

- e. 「**出荷許可 (Shipping Allowed)**」ドロップダウン・リストから、出荷の許可を指定する以下のいずれかのオプションを選択します。

- はい: 出荷を許可する場合は、これを選択します。

- 配達に許可されていない場合のみ (Only if delivery is not allowed): 配達に許可されていない場合のみ出荷を許可するには、これを選択します。このオプションを選択した後は、必ず「**配達許可 (Delivery Allowed)**」ドロップダウン・リストから「いいえ (No)」を選択してください。

- いいえ: 出荷を許可しない場合、これを選択します。

- f. 「**転送許可 (Forwarding Allowed)**」ドロップダウン・リストから、ゾーン・スキッピングのためのアイテム転送が許可されているかを指定する適切なオプションを選択してください。

- g. 「**配達許可 (Delivery Allowed)**」ドロップダウン・リストから、配達に許可を指定する以下のいずれかのオプションを選択してください。

- はい: 配達を許可する場合は、これを選択します。

- 他にも配達対象がある場合のみ: 他にも配達対象がある場合は、これを選択します。例えば、オーダーにおける 2 つのアイテム A と B の配達許可オプションが、アイテム A は配達許可あり、アイテム B は「他にも配達対象がある場合のみ (Only if something else is being delivered)」と定義されている場合、アイテム A とアイテム B の両方が配達されます。ただし、オーダーにおける 2 つのアイテム A と B の配達許可が、アイテム A は配達許可なし、アイテム B は「他にも配達対象がある場合のみ (Only if something else is being delivered)」と定義されている場合、アイテム B は配達されません。

- いいえ: 配達を許可しない場合、これを選択します。

- h. 「**調達許可 (Procurement Allowed)**」ドロップダウン・リストから、ゾーン・スキッピングのためのアイテム調達が許可されているかを指定するオプションを選択してください。

- i. 「ピックアップ許可 (Pickup Allowed)」 ドロップダウン・リストから、ピックアップが許可されているかを指定する適切なオプションを選択してください。
- j. 「オーダーでのアイテム代替許可 (Item Substitution On Order Allowed)」 ドロップダウン・リストから、スケジューリング中のアイテムの代替が許可されているかを定める適切なオプションを選択してください。値が「はい (Yes)」の場合、スケジュールによって自動的にアイテムを推奨代替または通常代替との置き換えが試行されます。

注: アイテム・フィールドを継承する分類目的にアイテムが関連付けられており、フィールドの値が選択されていない場合には、分類目的から継承した値が使用されます。この継承した値は、フィールドの選択されたオプションとして表示されます。

7. 「**輸送 (Transportation)**」領域で、次の手順を実行します。
 - a. 「**冷凍庫が必要 (Requires Freezer)**」ドロップダウン・リストから、輸送中に冷凍庫による保管が必要かを指定する適切なオプションを選択してください。
 - b. 「**航空便利用可能 (Shipping By Air Allowed)**」ドロップダウン・リストから、アイテムを航空便で出荷できるかを指定する適切なオプションを選択してください。
 - c. 「**小包出荷の許可 (Parcel Shipping Allowed)**」ドロップダウン・リストから、アイテムの転送に小包出荷が許可されているかを指定する適切なオプションを選択してください。

注: アイテム・フィールドを継承する分類目的にアイテムが関連付けられており、フィールドの値が選択されていない場合には、分類目的から継承した値が使用されます。この継承した値は、フィールドの選択されたオプションとして表示されます。

8. アイテムのタイプがバンドルである場合、「**バンドル・フルフィルメント (Bundle Fulfillment)**」領域で、以下のいずれかのラジオ・ボタンを選択してください。
 - a. **一括出荷** - バンドル・アイテムのすべてのコンポーネントを一括で出荷する場合は、このラジオ・ボタンを選択します。
 - b. **別々に出荷** - バンドル・アイテムのすべてのコンポーネントを別々に出荷する場合は、このラジオ・ボタンを選択します。
 - c. 「**一括配達 (Deliver Together)**」 - バンドル・アイテムのすべてのコンポーネントを一括で配達する場合は、このラジオ・ボタンを選択します。

注: 一括出荷バンドル・アイテムの配送業務オプションが、バンドル内の親アイテムとコンポーネント・アイテムとで、同じであることを確認してください。

9. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: これらのオプションに値を入力しない場合、「保存 (Save)」をクリックするとデフォルト値が自動的に読み込まれます。

アイテムのソーシングおよび輸送に関するフルフィルメントの詳細が定義されません。

第 32 章 返品承認のための返品フルフィルメント詳細の定義

このタスクについて

購入日から何日以内であればアイテムを返品できるのか (返品期間日数)、返品出荷ラベルに関する情報、アイテムに対して領収書なしの返金が許可されるのかなどの返品フルフィルメント詳細を定義することによって、アイテムの返品を管理することができます。

「返品フルフィルメント (Return Fulfillment)」画面から、返品を承認するための返品フルフィルメント詳細を定義することができます。

返品を承認するための返品フルフィルメント詳細を定義するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で検索条件を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」のハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルの「返品フルフィルメント情報の管理 (Manage Return Fulfillment Information)」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「このアイテムの返品を承認する (Accept returns for this item)」ドロップダウン・リストから、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - 「はい (Yes)」: アイテムがどの分類目的にも関連付けられていない場合。
 - 「分類定義を使用する (はい)(Use Classification Definition (yes))」: アイテムが分類目的に関連付けられている場合。

注: アイテム・フィールドを継承する分類目的にアイテムが関連付けられており、フィールドの値が選択されていない場合には、分類目的から継承した値が使用されます。この継承した値は、フィールドの選択されたオプションとして表示されます。

7. 「購入日から (Allow on when the item is returned within) <日数> 日以内の返品を許可する (day(s) of purchase)」テキスト・ボックスに日数を入力してください。

注: アイテム・フィールドを継承する分類定義にアイテムが関連付けられており、フィールドの値が選択されていない場合には、分類定義から継承した値が使用されます。この継承した値は、フィールドの横に表示されます。アイテムがどの分類定義にも関連付けられていない場合、フィールドはデフォルト値を選択した値として表示します。

8. 「返品出荷ラベルは (Return shipping label is)」オプションで、以下のいずれかのオプションを選択してください。
 - 不要: 返品出荷ラベルが不要の場合、このオプションを選択します。
 - SKU レベルで必要: 容器に梱包されている各単位のアイテムに対して返品出荷ラベルが必要な場合、このオプションを選択します。
 - パッケージ・レベルで必要: アイテムが梱包されている各容器に対して返品出荷ラベルが必要な場合、このオプションを選択します。
9. 返品に対して領収書なしでも顧客に返金をする場合、「このアイテムの領収書なしの返金を許可する (Allow credit without receipt for this item)」オプションを選択してください。
10. 「保存 (Save)」をクリックします。

返品承認のための返品フルフィルメント詳細が定義されます。

第 33 章 返品拒否のための返品フルフィルメント詳細の定義

このタスクについて

購入日から何日以内であればアイテムを返品できるのか (返品期間日数)、返品出荷ラベルに関する情報、アイテムに対して領収書なしの返金が許可されるのかなどの返品フルフィルメント詳細を定義することによって、アイテムの返品を管理することができます。

「返品フルフィルメント (Return Fulfillment)」画面から、返品を拒否するための返品フルフィルメント詳細を定義することができます。

返品を拒否するための返品フルフィルメント詳細を定義するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で検索条件を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」のハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルの「返品フルフィルメント情報の管理 (Manage Return Fulfillment Information)」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「このアイテムの返品を承認する (Accept returns for this item)」ドロップダウン・リストから、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - 「いいえ (No)」: アイテムがどの分類目的にも関連付けられていない場合。
 - 「分類定義を使用する (いいえ)(Use Classification Definition (no))」: アイテムが分類目的に関連付けられている場合。

注: アイテム・フィールドを継承する分類目的にアイテムが関連付けられており、フィールドの値が選択されていない場合には、分類目的から継承した値が使用されます。この継承した値は、フィールドの選択されたオプションとして表示されます。

7. 「保存 (Save)」をクリックします。

返品拒否のための返品フルフィルメント詳細が定義されます。

第 34 章 属性値のアイテム属性への割り当て

アイテム属性の属性値に関する概要

属性は、アイテムの特性または仕様を定義します。アイテムに関連付けられているすべての属性は、「アイテム属性 (Item Attributes)」画面に表示されます。各属性グループはこの画面のパネルとして表示され、特定の属性グループに属するすべての属性がそのパネル内に表示されます。

アイテム属性には値を割り当てることができます。各属性は特定のデータ型と関連付けられています。属性で利用可能なデータ型について、次の表で説明します。

データ型

説明

テキスト

フリー・フォーム・テキスト、または 1 つ以上の値を選択することができる値のリスト。

数値

あらゆる数値 (整数、浮動小数点値など)。数値は接尾部と関連付けられることがあります。例えば、画面サイズ属性は 26 インチという値を持つことが可能です。数表示の 26 は数値属性値で、インチは接尾部となります。接尾部は、値が表示されるテキスト・ボックスの横に常に表示されます。

ブール値

有効な値は、真/偽またははい/いいえです。通常、これらのデータ型はラジオ・ボタンとして表示されます。

「アイテム属性 (Item Attributes)」画面から、アイテム属性に属性値を割り当てることができます。

アイテム属性への属性値の割り当て

このタスクについて

アイテム属性に属性値を割り当てるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で検索条件を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。

- 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」のハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。
- 「関連タスク (Related Tasks)」パネルの「属性値の管理 (Manage Attribute Values)」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ「アイテム属性 (Item Attributes)」画面が表示されます。

- 簡略説明
- アイテムの特性
- ステータス

- 「以下の目的で使用される属性を管理 (Manage attributes used for)」ドロップダウン・リストから、属性使用タイプを選択します。

注: 「以下の目的で使用される属性を管理 (Manage attributes used for)」ドロップダウン・リストの属性使用タイプ数が 30 を超えている場合、ドロップダウン・リストではなく、テキスト・ボックスが表示されます。

- 画面には、選択した使用タイプに属する属性の詳細のみが読み込まれます。画面に表示されるパネルとフィールドは、参照しているアイテム・タイプおよびアイテムを作成した際に定義した属性によって決まります。
- アイテム属性に属性値を割り当てる際に、データ型によっては次の 1 つ以上のステップを行うことができます。
 - テキスト・データ型の場合、それぞれのフィールドに値を入力してください。

注: テキスト属性に対して定義されている許容値の数が 30 以下の場合、ドロップダウン・リストが表示されます。テキスト属性値の数が 30 を超える場合は、ドロップダウン・リストが、検索アイコン付きテキスト・ボックスに置き換わります。この検索アイコンを使用して、テキスト属性値を検索することができます。検索アイコンをクリックすると、「許容値の検索 (Allowed Values Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。テキスト属性値を検索するために、テキスト属性値またはテキスト属性値の説明を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。入力した検索条件と一致する許容値のリストが表示されます。必要なテキスト属性値を選択して、「選択 (Select)」をクリックします。既存のテキスト属性値をクリアするには、検索アイコンの横にある「削除 (Delete)」アイコンを使用します。

- ブール・データ型の場合、それぞれのチェック・ボックスを選択またはクリアしてください。
- 番号データ型の場合、それぞれのフィールドに値を入力してください。

注: 3 つの基本的なデータ型ありますが、それぞれがどのように表示されるのかは、「属性の管理 (Attribute Management)」で属性がどのように構成されているかによって決まります。例 - 数値データ型の場合、値はテキスト・ボックスではなく、ドロップダウン・リストで表示されている可能性があります。

- 「保存 (Save)」をクリックします。

アイテム属性に属性値が割り当てられます。

第 35 章 アイテム属性の属性値をオーバーライドする

このタスクについて

カテゴリから継承していない属性値はオーバーライドすることができます。

「アイテム属性 (Item Attributes)」画面から、アイテム属性の属性値をオーバーライドすることができます。

アイテム属性の属性値をオーバーライドするには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で検索条件を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」のハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルの「属性値の管理 (Manage Attribute Values)」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ「アイテム属性 (Item Attributes)」画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「以下の目的で使用される属性を管理 (Manage attributes used for)」ドロップダウン・リストから、属性使用タイプを選択します。

注: 「以下の目的で使用される属性を管理 (Manage attributes used for)」ドロップダウン・リストの属性使用タイプ数が 30 を超えている場合、ドロップダウン・リストではなく、テキスト・ボックスが表示されます。

7. 画面には、選択した使用タイプに属する属性の詳細のみが読み込まれます。画面に表示されるパネルとフィールドは、参照しているアイテム・タイプおよびアイテムを作成した際に定義した属性によって決まります。
8. オーバーライドしたい属性値に隣接している「オーバーライド (Override)」リンクをクリックします。
9. 割り当てられた値を含むドロップダウン・リストが有効になります。必要な属性値を選択してください。

注: テキスト属性に対して定義されている許容値の数が 30 以下の場合は、ドロップダウン・リストが表示されます。テキスト属性値の数が 30 を超える場合は、ドロップダウン・リストが、検索アイコン付きテキスト・ボックスに置き換わります。この検索アイコンを使用して、テキスト属性値を検索することができます。検索アイコンをクリックすると、「許容値の検索 (Allowed Values Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。テキスト属性値を検索するために、テキスト属性値またはテキスト属性値の説明を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。入力した検索条件と一致する許容値のリストが表示されます。必要なテキスト属性値を選択して、「選択 (Select)」をクリックします。既存のテキスト属性値をクリアするには、検索アイコンの横にある「削除 (Delete)」アイコンを使用します。

10. 「保存 (Save)」をクリックします。

アイテム属性の属性値がオーバーライドされます。

第 36 章 アイテム属性の属性値の変更

このタスクについて

該当するデータ型を持つアイテム属性に割り当てられている値を、変更することができます。

アイテム属性の属性値を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示される「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**属性値の管理 (Manage Attribute Value)**」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ「**アイテム属性 (Item Attributes)**」画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**以下の目的で使用される属性を管理 (Manage attributes used for)**」ドロップダウン・リストから、属性使用タイプを選択します。

注: 「**以下の目的で使用される属性を管理 (Manage attributes used for)**」ドロップダウン・リストの属性使用タイプ数が 30 を超えている場合、ドロップダウン・リストではなく、テキスト・ボックスが表示されます。

7. 画面には、選択した使用タイプに属する属性の詳細のみが読み込まれます。画面に表示されるパネルとフィールドは、参照しているアイテム・タイプおよびアイテムを作成した際に定義した属性によって決まります。
8. 属性値を変更する際に、データ型によって次のことが行えます。
 - テキスト・データ型の場合、それぞれのフィールドに新しい値を入力してください。

注: テキスト属性に対して定義されている許容値の数が 30 以下の場合、ドロップダウン・リストが表示されます。テキスト属性値の数が 30 を超える場

合は、ドロップダウン・リストが、検索アイコン付きテキスト・ボックスに置き換わります。この検索アイコンを使用して、テキスト属性値を検索することができます。検索アイコンをクリックすると、「許容値の検索 (Allowed Values Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。テキスト属性値を検索するために、テキスト属性値またはテキスト属性値の説明を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。入力した検索条件と一致する許容値のリストが表示されます。必要なテキスト属性値を選択して、「選択 (Select)」をクリックします。既存のテキスト属性値をクリアするには、検索アイコンの横にある「削除 (Delete)」アイコンを使用します。

- ブール・データ型の場合、それぞれのチェック・ボックスを選択またはクリアしてください。
- 番号データ型の場合、それぞれのフィールドに新しい値を入力してください。

注: 3 つの基本的なデータ型ありますが、それぞれがどのように表示されるのかは、「属性の管理 (Attribute Management)」で属性がどのように構成されているかによって決まります。例 - 数値データ型の場合、値はテキスト・ボックスではなく、ドロップダウン・リストで表示されている可能性があります。

9. 「保存 (Save)」をクリックします。

アイテム属性の属性値が変更されます。

第 37 章 アイテム属性に複数の属性値を割り当てる

このタスクについて

一部の属性は、複数の値を割り当てることができます。例えば、USB やケーブルなどの複数ポート・タイプがあるため、ポート属性には複数の値を割り当てることができます。

「アイテム属性 (Item Attributes)」画面から、アイテム属性に複数の属性値を割り当てることができます。

アイテム属性に複数の属性値を割り当てるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で検索条件を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」のハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルの「属性値の管理 (Manage Attribute Values)」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ「アイテム属性 (Item Attributes)」画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「以下の目的で使用される属性を管理 (Manage attributes used for)」ドロップダウン・リストから、属性使用タイプを選択します。

注: 「以下の目的で使用される属性を管理 (Manage attributes used for)」ドロップダウン・リストの属性使用タイプ数が 30 を超えている場合、ドロップダウン・リストではなく、テキスト・ボックスが表示されます。

7. 画面には、選択した使用タイプに属する属性の詳細のみが読み込まれます。画面に表示されるパネルとフィールドは、参照しているアイテム・タイプおよびアイテムを作成した際に定義した属性によって決まります。

8. 属性に隣接している「**変更 (Modify)**」リンクをクリックします。複数の値を割り当てることが可能な属性にのみ「**変更 (Modify)**」リンクがあることに注意してください。
 9. 選択可能な値のリストを持つダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。
 - a. 新しい属性値の行を追加するために、「**別の値を追加 (Add Another Value)**」リンクをクリックします。
 - b. ドロップダウン・リストから属性値を選択してください。リストは、「属性の管理 (Attribute Management)」画面で定義されたすべての値を表示します。
- 注:** テキスト属性に対して定義されている許容値の数が 30 以下の場合、ドロップダウン・リストが表示されます。テキスト属性値の数が 30 を超える場合は、ドロップダウン・リストが、検索アイコン付きテキスト・ボックスに置き換わります。この検索アイコンを使用して、テキスト属性値を検索することができます。検索アイコンをクリックすると、「**許容値の検索 (Allowed Values Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。テキスト属性値を検索するために、テキスト属性値またはテキスト属性値の説明を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。入力した検索条件と一致する許容値のリストが表示されます。必要なテキスト属性値を選択して、「**選択 (Select)**」をクリックします。既存のテキスト属性値をクリアするには、検索アイコンの横にある「**削除 (Delete)**」アイコンを使用します。
- c. 属性にさらに値を追加するには、ステップ a と b を繰り返します。
10. 新しい属性値を割り当て、ダイアログ・ボックスを閉じるには、「**選択 (Select)**」をクリックします。
11. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

アイテム属性に複数の属性値が割り当てられます。

第 38 章 アイテムの拡張フィールドに値を割り当てる

このタスクについて

「拡張フィールド (Extended Fields)」画面から、すべての拡張フィールドに値を指定することができます。

「拡張フィールド (Extended Fields)」画面に表示されている拡張フィールドは、YFS_ITEM 表から読み込まれます。拡張された YFS_ITEM 表のすべての列は、「拡張フィールド (Extended Fields)」画面にフィールドとして表示されます。

アイテムの拡張フィールドに値を割り当てるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**拡張フィールドの管理 (Manage Extended Fields)**」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 表示される拡張フィールドの値を入力してください。ただし、拡張フィールドが「**分類目的 (Classification Purpose)**」に関連付けられている場合、拡張フィールドの横に「**検索 (Search)**」アイコンが表示されます。「**検索 (Search)**」アイコンをクリックします。拡張フィールドの分類値を持つダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。
 - a. ツリーから分類値を選択してください。
 - b. 分類を選択し、ダイアログ・ボックスを閉じるには、「**選択 (Select)**」をクリックします。

分類値は、拡張フィールドに関するボックスに表示されます。

7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

アイテムに拡張フィールドの値が割り当てられます。

第 39 章 タグ付きアイテム用の在庫の構成

タグ付きアイテムに対する在庫構成の概要

タグ付きアイテムのアイテム在庫を構成することができます。在庫 ID 番号として使用しているロット番号や改訂番号などにかかわらず、タグ番号を使用してシステム内でアイテムを識別します。異なるアイテム・インスタンスは異なる特性を持っているため、在庫 ID 番号は在庫製品を区別するために使用します。ID 番号の一般的な例は、ロット番号、リビジョン番号、および製造バッチ番号です。組織は複数の在庫 ID 番号を持つことができますが、これらの ID 番号は、組織のカタログにあるすべての製品に対して必ずしも関連性がある必要はありません。一部の製品はロット番号によってすべての特性が一意に定義され、また別のアイテムでは改訂番号によって区別されます。在庫タグ番号は、そのような状況を合理化するために使用します。ほとんどの場合、タグ番号はアイテムに基づくロット番号、バッチ番号、または改訂番号などの在庫 ID 番号のいずれかを表します。ロット番号によって一意に定義されているアイテム A と、リビジョン番号によって一意に定義されているアイテム B といった、2 つの異なるアイテムがある場合の例を考えてみましょう。この場合、アイテム A のインスタンスがロット番号 12345 で作成されると、タグ番号 12345 も割り当てられます。アイテム B のインスタンスがリビジョン番号 98765 で作成されると、アイテムはタグ番号 98765 も割り当てられます。

タグ付きアイテムの在庫の詳細は、「在庫フィールド (Inventory Fields)」画面から構成することができます。

タグ付きアイテムの在庫を構成する

このタスクについて

タグ付きアイテムの在庫を構成するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で検索条件を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」のハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルの「在庫情報の管理 (Manage Inventory Info)」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
- アイテムの特性
- ステータス

6. 「**確定 (Promising)**」領域で、次の手順を実行します。

- a. ドロップダウン・リストから **ATP ルール**を選択してください。選択した ATP ルールで定義されているパラメーターは、このアイテムの使用可能な在庫を決定するために使用されます。

アイテムがアイテム・フィールドを継承する分類の定義に関連付けられており、ATP ルールのオプションが選択されていない場合、デフォルトで「**分類定義の使用 <分類定義で選択した値>**」オプションが選択されます。

- b. ドロップダウン・リストから **ATP モニター・ルール**を選択してください。このアイテムの最小在庫レベルは、選択した ATP モニター・ルールに対して設定されているパラメーターに基づきます。
- c. アイテムがアイテム・フィールドを継承する分類の定義に関連付けられており、ATP モニター・ルールのオプションが選択されていない場合、デフォルトで「**分類定義の使用 <分類定義で選択した値>**」オプションが選択されます。
- d. ドロップダウン・リストから **ノード・レベルの ATP モニター・ルール**を選択してください。このアイテムの最小在庫レベルは、選択したノード・レベルの ATP モニター・ルールに対して設定されているパラメーターに基づきます。
- e. アイテムがアイテム・フィールドを継承する分類の定義に関連付けられており、ノード・レベルの ATP モニター・ルールのオプションが選択されていない場合、デフォルトで「**分類定義の使用 <分類定義で選択した値>**」オプションが選択されます。
- f. このアイテムに関する未定在庫の使用を許可するには、ドロップダウン・リストから **未定在庫の使用**を選択してください。
- g. アイテムがアイテム・フィールドを継承する分類の定義に関連付けられており、未定在庫の使用のオプションが選択されていない場合、デフォルトで「**分類定義の使用 <分類定義で選択した値>**」オプションが選択されます。
- h. ドロップダウン・リストからのアイテムに対してアイテム・ベースの割り当てを許可するには、ドロップダウン・リストから **アイテム・ベースの割り当て許可**を選択してください。アイテム・ベースの割り当てを使用するルールが有効である場合、アイテム・ベースの割り当ては、アイテム・ベースの割り当て許可属性が有効となっているアイテムおよびノードに対してのみ適用することができます。
- i. アイテムがアイテム・フィールドを継承する分類の定義に関連付けられており、アイテム・ベースの在庫割り当て許可のオプションが選択されていない場合、デフォルトで「**分類定義の使用 <分類定義で選択した値>**」オプションが選択されます。
- j. 「**リード日数 (Lead Days)**」テキスト・ボックスに、製品を配達するまでのリード日数を入力してください。例えば、リード日数に 3 と入力した場合、本日発注した購入オーダーは、3 日後に倉庫に到着します。

注: ボックスに何も入力しない場合、値は分類定義から継承されます。

- k. 「手持ちの安全係数 (Onhand Safety Factory)」ボックスに手持ちの安全係数の値を入力し、パーセントまたは単位のオプションを選択してください。

注: ボックスに何も入力しない場合、値は分類定義から継承されます。

- l. 「将来の安全係数率 (Future Safety Factor Percentage)」ボックスに、このアイテムの在庫で将来の在庫状況から除外したい割合を入力してください。

注: ボックスに何も入力しない場合、値は分類定義から継承されます。

- 7. 「在庫属性 (Inventory Attributes)」領域で、次の手順を実行します。

- a. 「デフォルトの製品クラス (Default Product Class)」テキスト・ボックスに、アイテムのデフォルトの製品クラスを入力してください。

注: ボックスに何も入力しない場合、値は分類定義から継承されます。

- b. シリアル番号によるロケーション・レベルでの追跡を有効にするには、「シリアル番号付け (Serialized)」チェック・ボックスを選択してください。
- c. 出庫および返品のプロセスにおいて、システムによるシリアル番号の取り込みを確実にするには、「シリアル追跡 (Serial Tracked)」チェック・ボックスを選択してください。
- d. 「2 次シリアルの数 (Number of Secondary Serials)」ボックスに、シリアル番号を追跡するために使用する 2 次シリアル番号の数字 (0-9) を入力してください。
- e. ドロップダウン・リストから在庫の FIFO 追跡を選択してください。これは、システムが自動的に生成する先入れ先出し (FIFO) の数値によって在庫が追跡されることを示します。
- f. アイテムがアイテム・フィールドを継承する分類の定義に関連付けられており、在庫の FIFO 追跡のオプションが選択されていない場合、デフォルトで「分類定義の使用 <分類定義で選択した値>」オプションが選択されます。
- g. 「主要供給業者 (Primary Supplier)」ドロップダウン・リストから、アイテムの主要供給業者を選択してください。
- h. アイテムの有効期限が限られる場合、「時間依存 (Time Sensitive)」チェック・ボックスを選択してください。「時間依存 (Time Sensitive)」チェック・ボックスを選択した場合、「デフォルトの有効期限 (Default Expiration Days)」を入力してください。

- 8. 「タグ管理 (Tag Control)」領域では、次のラジオ・ボタンのいずれかを選択してください。

- タグ管理の場合あり (Sometimes Tag Controlled) - 顧客によるピックアップなどの特別な状況において、アイテムを識別するためのタグ番号を割り当てたい場合、このラジオ・ボタンを選択します。
- 常にタグ管理 (Always Tag Controlled) - システムにおけるこのアイテムの異なるインスタンスを一意に識別するために、常にタグ番号を使用したい場合、このラジオ・ボタンを選択します。

注: 「常にタグ管理 (Always Tag Controlled)」ラジオ・ボタンをクリックする場合、アイテムのタグ ID を必ず構成してください。

在庫モジュールはタグ管理フラグを使用して、アイテムに対して追加の在庫属性を保管する必要があるのかを判断します。

9. 「**タグ ID (Tag Identifiers)**」領域で、「**構成 (Configure)**」をクリックします。
10. 「タグ ID の構成 (Configure Tag Identifiers)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**使用可能な ID (Available Identifiers)**」リストからアイテムに割り当てたい ID を選択します。タグ ID の組み合わせによって、システムがタグ管理アイテムを識別するために使用するタグ番号が生成されます。
11. 「**右に移動 (Move Right)**」アイコンをクリックします。すべての使用可能な ID を「**選択した ID (Selected Identifiers)**」リストに追加するには、「**左に移動 (Move Left)**」アイコンをクリックします。
12. 選択した ID は、「**選択した ID (Selected Identifiers)**」リストに移動します。「**選択 (Select)**」をクリックします。
13. 選択した ID が、「**タグ ID (Tag Identifiers)**」リストに追加されます。「アイテムの在庫 (Item Inventory)」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

アイテムに対するタグ ID を構成した後には、タグ ID のタグ属性を構成する必要があります。

タグ ID のタグ属性を構成する

手順

1. 「**タグ属性 (Tag Attributes)**」領域で、「**構成 (Configure)**」をクリックします。
2. 「タグ属性の構成 (Configure Tag Attributes)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**使用可能な属性 (Available Attributes)**」リストから、タグに割り当てたい属性を選択します。タグ属性はタグ番号を生成しません。これらは情報目的に使用され、選択した属性のみがアプリケーションに表示されます。
3. 「**右に移動 (Move Right)**」アイコンをクリックします。すべての使用可能な属性を「**選択した属性 (Selected Attributes)**」リストに追加するには、「**左に移動 (Move Left)**」アイコンをクリックします。
4. 選択した属性は、「**選択した属性 (Selected Attributes)**」リストに移動します。「**選択 (Select)**」をクリックします。
5. 選択した属性が、「**タグ属性 (Tag Attributes)**」リストに追加されます。「アイテムの在庫 (Item Inventory)」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。
6. 他のタグの属性を構成するには、ステップ 1 から 6 までを繰り返します。

タグ付きアイテムの在庫が構成されます。

第 40 章 タグなしアイテム用の在庫の構成

このタスクについて

タグなしアイテムの在庫は、在庫フィールドから管理することができます。全体の在庫図は、顧客にアイテムの在庫および需要に関する情報を提供します。この情報は、アイテムの処理にかかる時間、また、該当する場合、アイテムが期限切れになるまでの時間を判断するために使用することもできます。

タグなしアイテムの在庫を管理することができます。

タグなしアイテムの在庫の詳細は、「在庫フィールド (Inventory Fields)」画面から構成することができます。

タグなしアイテムの在庫を構成するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**在庫情報の管理 (Manage Inventory Info)**」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
- アイテムの特性
- ステータス
- ドロップダウン・リストから **ATP ルール** を選択してください。選択した ATP ルールで定義されているパラメーターは、このアイテムの使用可能な在庫を決定するために使用されます。

アイテムがアイテム・フィールドを継承する分類の定義に関連付けられており、ATP ルールのオプションが選択されていない場合、デフォルトで「**分類定義の使用 <分類定義で選択した値>**」オプションが選択されます。

- ドロップダウン・リストから **ATP モニター・ルール** を選択してください。このアイテムの最小在庫レベルは、選択した ATP モニター・ルールに対して設定されているパラメーターに基づきます。

- アイテムがアイテム・フィールドを継承する分類の定義に関連付けられており、ATP モニター・ルールオプションが選択されていない場合、デフォルトで「**分類定義の使用 <分類定義で選択した値>**」オプションが選択されます。
- ドロップダウン・リストから**ノード・レベルの ATP モニター・ルール**を選択してください。このアイテムの最小在庫レベルは、選択したノード・レベルの ATP モニター・ルールに対して設定されているパラメーターに基づきます。
- アイテムがアイテム・フィールドを継承する分類の定義に関連付けられており、ノード・レベルの ATP モニター・ルールオプションが選択されていない場合、デフォルトで「**分類定義の使用 <分類定義で選択した値>**」オプションが選択されます。
- このアイテムに関する未定在庫の使用を許可するには、ドロップダウン・リストから**未定在庫の使用**を選択してください。
- アイテムがアイテム・フィールドを継承する分類の定義に関連付けられており、**未定在庫の使用**オプションが選択されていない場合、デフォルトで「**分類定義の使用 <分類定義で選択した値>**」オプションが選択されます。
- ドロップダウン・リストからのアイテムに対して**アイテム・ベースの割り当て**を許可するには、ドロップダウン・リストから**アイテム・ベースの割り当て許可**を選択してください。アイテム・ベースの割り当てを使用するルールが有効である場合、アイテム・ベースの割り当ては、アイテム・ベースの割り当て許可属性が有効となっているアイテムおよびノードに対してのみ適用することができます。
- アイテムがアイテム・フィールドを継承する分類の定義に関連付けられており、アイテム・ベースの在庫割り当て許可オプションが選択されていない場合、デフォルトで「**分類定義の使用 <分類定義で選択した値>**」オプションが選択されます。
- 「**リード日数 (Lead Days)**」テキスト・ボックスに、製品を配達するまでのリード日数を入力してください。例えば、リード日数に 3 と入力した場合、本日発注した購入オーダーは、3 日後に倉庫に到着します。

注: ボックスに何も入力しない場合、値は分類定義から継承されます。

- 「**手持ちの安全係数 (Onhand Safety Factor)**」ボックスに手持ちの安全係数の値を入力し、パーセントまたは単位のオプションを選択してください。

注: ボックスに何も入力しない場合、値は分類定義から継承されます。

- 「**将来の安全係数率 (Future Safety Factor Percentage)**」ボックスに、このアイテムの在庫で将来の在庫状況から除外したい割合を入力してください。

注: ボックスに何も入力しない場合、値は分類定義から継承されます。

6. 「**在庫属性 (Inventory Attributes)**」領域で、次の手順を実行します。
 - a. 「**デフォルトの製品クラス (Default Product Class)**」テキスト・ボックスに、アイテムのデフォルトの製品クラスを入力してください。

注: ボックスに何も入力しない場合、値は分類定義から継承されます。

- b. シリアル番号によるロケーション・レベルでの追跡を有効にするには、「**シリアル番号付け (Serialized)**」チェック・ボックスを選択してください。

- c. 出庫および返品のプロセスにおいて、システムによるシリアル番号の取り込みを確実にするには、「**シリアル追跡 (Serial Tracked)**」チェック・ボックスを選択してください。
 - d. 「**2 次シリアルの数 (Number of Secondary Serials)**」ボックスに、シリアル番号を追跡するために使用する 2 次シリアル番号の数字 (0-9) を入力してください。
 - e. ドロップダウン・リストから**在庫の FIFO 追跡**を選択してください。これは、システムが自動的に生成する先入れ先出し (FIFO) の数値によって在庫が追跡されることを示します。
 - f. アイテムがアイテム・フィールドを継承する分類の定義に関連付けられており、在庫の FIFO 追跡のオプションが選択されていない場合、デフォルトで「**分類定義の使用 <分類定義で選択した値>**」オプションが選択されます。
 - g. 「**主要供給業者 (Primary Supplier)**」ドロップダウン・リストから、アイテムの主要供給業者を選択してください。
 - h. アイテムの有効期限が限られる場合、「**時間依存 (Time Sensitive)**」チェック・ボックスを選択してください。「**時間依存 (Time Sensitive)**」チェック・ボックスを選択した場合、「**デフォルトの有効期限 (Default Expiration Days)**」を入力してください。
7. システムにおいてこのアイテムをタグ番号で一意に識別したくない場合、「**タグ管理 (Tag Control)**」領域で、「**タグで管理されていません (Not Tag Controlled)**」ラジオ・ボタンを選択してください。
8. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

タグなしアイテムの在庫が構成されます。

第 41 章 アイテムにクロスセル・アイテムを関連付ける

このタスクについて

追加品や付属品の販売促進のため、クロスセル・アイテムを既存のアイテムに関連付けることができます。元のアイテムと組み合わせることによって、より良いパッケージとなります。例えば、テレビ・アイテムに DVD プレイヤーをクロスセル・アイテムとして関連付けることができます。テレビと DVD プレイヤーのセットは、顧客にとってより良いパッケージとなります。

「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面から、アイテムにクロスセル・アイテムを関連付けることができます。

アイテムにクロスセル・アイテムを関連付けるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Items)」を選択してください。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックすることができます。
3. 「アイテムの基本検索 (Basic Item Search)」画面が表示されます。使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、「検索 (Search)」をクリックします。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込むことができます。
4. アイテムのリストが表示される「アイテム (Items)」パネルで、アイテムの「アイテム ID (Item ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面にアイテムの詳細が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルの「クロスセルの管理 (Manage Cross-Sells)」を選択してください。

「アイテムの関連付け (Items Associations)」画面が表示されます。「クロスセルの関連付け (Cross-Sell Associations)」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 表示された「アイテム (Items)」領域で、「追加 (Add)」をクリックします。
 7. 「関連付けアイテムの追加 (Add Association Item)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。
 - a. 「アイテム ID (Item ID)*」ボックスで、「検索 (Search)」アイコンをクリックしてアイテム ID を検索します。「アイテムの基本検索 (Basic Item Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。検索条件を入力して「検索 (Search)」をクリックすると、有効なアイテムが一覧表示されます。「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用

して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。表示される検索結果のリストから、代替アイテムとして関連付けたいアイテムを選択し、「**検索 (Search)**」をクリックします。

注: バンドル・アイテムは他のアイテムに関連付けることはできません。

- b. 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
- c. 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
- d. 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」テキスト・ボックスに、この関連付けにおいて関連付けられたアイテムの数量を入力します。
- e. 「**優先順位 (Priority)**」フィールドに、関連付けられたアイテムの優先順位を入力してください。Web チャンネル・アプリケーションで表示される関連付けのリストでは、優先順位が一番高い関連付けが最初に表示されます。
- f. 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

アイテムにクロスセル・アイテムが関連付けられます。

第 42 章 クロスセル・アイテムの詳細を変更する

このタスクについて

関連付けがアクティブとなる日付範囲を変更できます。また、関連付けられた数量、および関連付けられたアイテムの優先順位も変更できます。

「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面から、クロスセル・アイテムの詳細を変更することができます。

クロスセル・アイテムの詳細を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Items)**」を選択してください。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックすることができます。
3. 「**アイテムの基本検索 (Basic Item Search)**」画面が表示されます。使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込むことができます。
4. アイテムのリストが表示される「**アイテム (Items)**」パネルで、詳細を変更するアイテムの「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面にアイテムの詳細が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**クロスセルの管理 (Manage Cross-Sells)**」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Items Associations)」画面が表示されます。「**クロスセルの関連付け (Cross-Sell Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 表示された「**アイテム (Items)**」領域で、詳細を変更するアイテムに隣接しているチェック・ボックスを選択し、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けアイテムの変更 (Modify Association Item)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の変更を行います。
 - 新規の「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択してください。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - 新しい「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。

- 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」 テキスト・ボックスに、この関連付けにおいて関連付けられたアイテムの新規の数量を入力します。
- 「**優先順位 (Priority)**」 フィールドに、関連付けられたアイテムの新しい優先順位を入力してください。Web チャンネル・アプリケーションで表示される関連付けのリストでは、優先順位が一番高い関連付けが最初に表示されます。
- 「**保存 (Save)**」 をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

クロスセル・アイテムの詳細が変更されます。

第 43 章 アイテムとクロスセル・アイテムとの関連付けを解除する

このタスクについて

元のアイテムと組み合わせることによって、より良いパッケージとすることができる追加品や付属品の販売促進において、既存のアイテムとクロスセル・アイテムとの関連付けを必要としない場合、この関連付けを解除することができます。

アイテムとクロスセル・アイテムとの関連付けを解除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Items)**」を選択してください。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックすることができます。
3. 「**アイテムの基本検索 (Basic Item Search)**」画面が表示されます。使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込むことができます。
4. アイテムのリストが表示される「**アイテム (Items)**」パネルで、アイテムの「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面にアイテムの詳細が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**クロスセルの管理 (Manage Cross-Sells)**」を選択してください。

「**アイテムの関連付け (Items Associations)**」画面が表示されます。「**クロスセルの関連付け (Cross-Sell Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 表示された「**アイテム (Items)**」領域で、アイテムとの関連付けを解除するアイテムを選択してください。
 7. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。アイテムの関連付けを解除するには、「**はい (Yes)**」をクリックします。

選択したアイテムとアイテムとの関連付けが解除されます。

第 44 章 テキスト属性のプロパティの定義

テキスト属性のプロパティを定義するには、次のタスクを実行します。

- テキスト属性に対する値のリストの割り当て
- テキスト属性に対するフリー・フォーム・テキスト値の割り当て
- テキスト属性に対する使用可能値アセットの管理
- テキスト属性からの値の削除
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ

第 45 章 アイテムにカテゴリーを関連付けてクロスセルの関連付けを行う

このタスクについて

アイテムにカテゴリーを関連付けることによって、カテゴリーのすべてのアイテムをそのアイテムのクロスセル・アイテムとして関連付けることができます。

「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面から、アイテムにカテゴリーを関連付けてクロスセルの関連付けを行うことができます。

アイテムにカテゴリーを関連付けてクロスセルの関連付けを行うには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**クロスセルの管理 (Manage Cross-Sells)**」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面が表示されます。「**クロスセルの関連付け (Cross-Sell Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**クロスセルの関連付け (Cross-Sell Associations)**」パネルで、「**カテゴリー (Category)**」タブをクリックします。
 7. 表示される「**カテゴリー (Category)**」領域で、「**追加 (Add)**」をクリックします。
 8. 「**関連付けカテゴリーの追加 (Add Association Category)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。

- a. 「**カテゴリ ID (Category ID)***」ボックスで、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックしてカテゴリを選択してください。「**ツリー (Tree)**」パネルが表示されます。関連付けるカテゴリを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。
 - b. 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択して「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - c. 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択して「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
 - d. 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。
9. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

アイテムにカテゴリが関連付けられ、クロスセルの関連付けが行われます。

第 46 章 クロスセルの関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更する

このタスクについて

クロスセルの関連付けにおいて、アイテムに関連付けられているカテゴリの有効日付範囲を変更することができます。有効日付範囲は、カテゴリのアイテムがクロスセル・アイテムとして認識される期間を示します。

「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面から、クロスセルの関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更することができます。

クロスセルの関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**クロスセルの管理 (Manage Cross-Sells)**」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面が表示されます。「**クロスセルの関連付け (Cross-Sell Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**クロスセルの関連付け (Cross-Sell Associations)**」パネルで、「**カテゴリ (Category)**」タブをクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、詳細を変更するカテゴリに隣接しているチェック・ボックスを選択し、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 8. 「**関連付けカテゴリの変更 (Modify Association Category)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の変更を行います。

- 「有効開始日 (Effective Start Date)*」を選択して「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - 「有効終了日 (Effective End Date)*」を選択して「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
 - 「保存 (Save)」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。
9. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

クロスセルの関連付けにおけるカテゴリーの有効日付範囲が変更されます。

第 47 章 クロスセルの関連付けにおけるアイテムとカテゴリとの関連付けを解除する

このタスクについて

カテゴリのすべてのアイテムをアイテムのクロスセル・アイテムとして関連付けたくない場合、アイテムとカテゴリとの関連付けを解除することができます。

クロスセルの関連付けでカテゴリとアイテムとの関連付けを解除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**クロスセルの管理 (Manage Cross-Sells)**」をクリックします。

「**アイテムの関連付け (Item Associations)**」画面が表示されます。「**クロスセルの関連付け (Cross-Sell Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**クロスセルの関連付け (Cross-Sell Associations)**」パネルで、「**カテゴリ (Category)**」タブをクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、アイテムとの関連付けを解除するカテゴリを選択してください。
 8. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
 9. 確認を求めるメッセージが表示されます。カテゴリの関連付けを解除するには、「**はい (Yes)**」をクリックします。

選択したカテゴリとアイテムとの関連付けが解除されます。

第 48 章 アイテムにアップセル・アイテムを関連付ける

このタスクについて

元のアイテムと比較して、より価値のある代替アイテムを割り当てることができます。そのような代替アイテムはアップセル・アイテムと呼ばれます。

例えば、在庫に 2 種類の装丁タイプ (ハードカバーとペーパーバック) の本があるとし、装丁がペーパーバック・タイプの本のカタログ・アイテムを作成しているときに、より高価なハードカバー版の本をアップセル・アイテムとして関連付けることができます。ペーパーバック・タイプの本を顧客が注文した際に、ハードカバー版の本について顧客に知らせることができます。

「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面から、アイテムにアップセル・アイテムを関連付けることができます。

アイテムにアップセル・アイテムを関連付けるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Items)**」を選択してください。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックすることができます。
3. 「**アイテムの基本検索 (Basic Item Search)**」画面が表示されます。使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込むことができます。
4. アイテムのリストが表示される「**アイテム (Items)**」パネルで、アイテムの「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」パネルが表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**アップセルの管理 (Manage Up-Sells)**」をクリックします。

「**アイテムの関連付け (Items Associations)**」画面が表示されます。「**アップセルの関連付け (Up-Sells Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 表示された「**アイテム (Items)**」領域で、「**追加 (Add)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けアイテムの追加 (Add Association Item)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。
 - a. 「**アイテム ID (Item ID)***」ボックスで、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックしてアイテム ID を検索します。「**アイテムの基本検索 (Basic Item**

Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なアイテムが一覧表示されます。「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。表示される検索結果のリストから、代替アイテムとして関連付けたいアイテムを選択し、「**検索 (Search)**」をクリックします。

注: バンドル・アイテムは他のアイテムに関連付けることはできません。

- b. 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
- c. 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
- d. 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」テキスト・ボックスに、この関連付けにおいて関連付けられたアイテムの数量を入力します。
- e. 「**優先順位 (Priority)**」フィールドに、関連付けられたアイテムの優先順位を入力してください。Web チャネル・アプリケーションで表示される関連付けのリストでは、優先順位が一番高い関連付けが最初に表示されます。
- f. 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

アイテムにアップセル・アイテムが関連付けられます。

第 49 章 アップセル・アイテムの詳細を変更する

このタスクについて

関連付けがアクティブとなる日付範囲を変更できます。また、関連付けられた数量、および関連付けられたアイテムの優先順位も変更できます。

「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面から、アップセル・アイテムの詳細を変更することができます。

アップセル・アイテムの詳細を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Items)**」を選択してください。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックすることができます。
3. 「**アイテムの基本検索 (Basic Item Search)**」画面が表示されます。使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込むことができます。
4. アイテムのリストが表示される「**アイテム (Items)**」パネルで、アイテムの「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面にアイテムの詳細が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**アップセルの管理 (Manage Up-Sells)**」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Items Associations)」画面が表示されます。「**アップセルの関連付け (Up-Sells Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 表示された「**アイテム (Items)**」領域で、詳細を変更するアイテムに隣接しているチェック・ボックスを選択し、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けアイテムの変更 (Modify Association Item)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の変更を行います。
 - 新規の「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - 新しい「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。

- 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」 テキスト・ボックスに、この関連付けにおいて関連付けられたアイテムの新規の数量を入力します。
- 「**優先順位 (Priority)**」 フィールドに、関連付けられたアイテムの新しい優先順位を入力してください。Web チャンネル・アプリケーションで表示される関連付けのリストでは、優先順位が一番高い関連付けが最初に表示されます。
- 「**保存 (Save)**」 をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

アップセル・アイテムの詳細が変更されます。

第 50 章 アイテムとアップセル・アイテムとの関連付けを解除する

このタスクについて

アイテムとアップセル・アイテムとの関連付けを解除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Items)」を選択してください。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックすることができます。
3. 「アイテムの基本検索 (Basic Item Search)」画面が表示されます。使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、「検索 (Search)」をクリックします。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込むことができます。
4. アイテムのリストが表示される「アイテム (Items)」パネルで、アイテムの「アイテム ID (Item ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」パネルが表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルの「アップセルの管理 (Manage Up-Sells)」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Items Associations)」画面が表示されます。「アップセルの関連付け (Up-Sell Associations)」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 表示された「アイテム (Items)」領域で、アイテムとの関連付けを解除するアイテムを選択してください。
 7. 「削除 (Remove)」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。アイテムの関連付けを解除するには、「はい (Yes)」をクリックします。

選択したアイテムとアイテムとの関連付けが解除されます。

第 51 章 アイテムにカテゴリーを関連付けてアップセルの関連付けを行う

このタスクについて

アイテムにカテゴリーを関連付けることによって、カテゴリーのすべてのアイテムをそのアイテムのアップセル・アイテムとして関連付けることができます。

「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面から、アイテムにカテゴリーを関連付けてアップセルの関連付けを行うことができます。

アイテムにカテゴリーを関連付けてアップセルの関連付けを行うには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Items)**」を選択してください。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックすることができます。
3. 「**アイテムの基本検索 (Basic Item Search)**」画面が表示されます。使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込むことができます。
4. アイテムのリストが表示される「**アイテム (Items)**」パネルで、アイテムの「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」パネルが表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**アップセルの管理 (Manage Up-Sells)**」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Items Associations)」画面が表示されます。「**アップセルの関連付け (Up-Sells Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**アップセルの関連付け (Up-Sells Associations)**」パネルで、「**カテゴリー (Category)**」タブをクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリー (Category)**」領域で、「**追加 (Add)**」をクリックします。
 8. 「**関連付けカテゴリーの追加 (Add Association Category)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。

- a. 「**カテゴリ ID (Category ID)***」ボックスで、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックしてカテゴリを選択してください。「**ツリー (Tree)**」パネルが表示されます。関連付けるカテゴリを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。
 - b. 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択して「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - c. 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択して「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
 - d. 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。
9. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

アイテムにカテゴリが関連付けられ、アップセルの関連付けが行われます。

第 52 章 アップセルの関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更する

このタスクについて

アップセルの関連付けにおいて、アイテムに関連付けられているカテゴリの有効日付範囲を変更することができます。有効日付範囲は、カテゴリのアイテムがアップセル・アイテムとして認識される期間を示します。

「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面から、アップセルの関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更することができます。

アップセルの関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**アップセルの管理 (Manage Up-Sells)**」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面が表示されます。「**アップセルの関連付け (Up-Sell Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**アップセルの関連付け (Up-Sell Associations)**」パネルで、「**カテゴリ (Category)**」タブをクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、詳細を変更するカテゴリに隣接しているチェック・ボックスを選択し、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 8. 「**関連付けカテゴリの変更 (Modify Association Category)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。

- 「有効開始日 (Effective Start Date)*」を選択して「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - 「有効終了日 (Effective End Date)*」を選択して「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
 - 「保存 (Save)」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。
9. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

アップセルの関連付けにおけるカテゴリーの有効日付範囲が変更されます。

第 53 章 アップセルの関連付けにおけるアイテムとカテゴリとの関連付けを解除する

このタスクについて

カテゴリのすべてのアイテムをアイテムのアップセル・アイテムとして関連付けたくない場合、アイテムとカテゴリとの関連付けを解除することができます。

アップセルの関連付けでカテゴリとアイテムとの関連付けを解除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Items)」を選択してください。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックすることができます。
3. 「アイテムの基本検索 (Basic Item Search)」画面が表示されます。使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、「検索 (Search)」をクリックします。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込むことができます。
4. アイテムのリストが表示された「アイテム (Items)」パネルで、アイテムの「アイテム ID (Item ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」パネルが表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルの「アップセルの管理 (Manage Up-Sells)」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Items Associations)」画面が表示されます。「アップセルの関連付け (Up-Sells Associations)」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「アップセルの関連付け (Up-Sells Associations)」パネルで、「カテゴリ (Category)」タブをクリックします。
 7. 表示された「カテゴリ (Category)」領域で、アイテムとの関連付けを解除するカテゴリを選択してください。
 8. 「削除 (Remove)」をクリックします。
 9. 確認を求めるメッセージが表示されます。カテゴリの関連付けを解除するには、「はい (Yes)」をクリックします。

選択したカテゴリとアイテムとの関連付けが解除されます。

第 54 章 アイテムに交換品を関連付ける

このタスクについて

アイテムが 1 つ以上のアイテムによって置き換え可能であることを示すために、アイテムに対して交換品の関連付けを行えます。アイテムの有効日が廃止になると、元のアイテムを置き換えるように関連付けられているアイテムによって、元のアイテムは自動的に交換されます。例えば、アイテム C で置き換え可能なアイテム B によって、アイテム A を置き換え可能であると構成します。ただし、アイテム B およびアイテム C の両方が直接アイテム A を置き換え可能とは指定できません。

アイテムに対する交換品を構成する場合、置き換えられるアイテムに似ており、同等価格のアイテムを指定することをお勧めします。

「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面から、アイテムに交換品を関連付けることができます。

注: 親バンドル・アイテム・タイプは、個別アイテムを交換品として持つことはできません。

アイテムに交換品を関連付けるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」のハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**交換品の管理 (Manage Supersessions)**」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Items Associations)」画面が表示されます。「**交換品の関連付け (Supersession Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 表示された「**アイテム (Items)**」領域で、「**追加 (Add)**」をクリックします。

7. 「関連付けアイテムの追加 (Add Association Item)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。
 - a. 「**アイテム ID (Item ID)***」ボックスで、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックしてアイテム ID を検索します。「**アイテムの基本検索 (Basic Item Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なアイテムが一覧表示されます。「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。表示される検索結果のリストから、代替アイテムとして関連付けたいアイテムを選択し、「**検索 (Search)**」をクリックします。

注: バンドル・アイテムは他のアイテムに関連付けることはできません。
 - b. 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」 を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - c. 「**有効終了日 (Effective End Date)***」 を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
 - d. 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」 テキスト・ボックスに、この関連付けにおいて関連付けられたアイテムの数量を入力します。
 - e. 「**優先順位 (Priority)**」フィールドに、関連付けられたアイテムの優先順位を入力してください。Web チャネル・アプリケーションで表示される関連付けのリストでは、優先順位が一番高い関連付けが最初に表示されます。
 - f. 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

アイテムに交換品が関連付けられます。

第 55 章 交換品の詳細を変更する

このタスクについて

関連付けがアクティブとなる日付範囲を変更できます。また、関連付けられた数量、および関連付けられたアイテムの優先順位も変更できます。

「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面から、交換品の詳細を変更することができます。

交換品の詳細を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Items)**」を選択してください。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックすることができます。
3. 「**アイテムの基本検索 (Basic Item Search)**」画面が表示されます。使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込むことができます。
4. アイテムのリストが表示される「**アイテム (Items)**」パネルで、アイテムの「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面にアイテムの詳細が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**交換品の管理 (Manage Supersessions)**」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Items Associations)」画面が表示されます。「**交換品の関連付け (Supersession Association)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 表示された「**アイテム (Items)**」領域で、詳細を変更するアイテムに隣接しているチェック・ボックスを選択し、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けアイテムの変更 (Modify Association Item)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の変更を行います。
 - 新規の「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - 新しい「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。

- 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」 テキスト・ボックスに、この関連付けにおいて関連付けられたアイテムの新規の数量を入力します。
- 「**優先順位 (Priority)**」 フィールドに、関連付けられたアイテムの新しい優先順位を入力してください。Web チャンネル・アプリケーションで表示される関連付けのリストでは、優先順位が一番高い関連付けが最初に表示されます。
- 「**保存 (Save)**」 をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

交換品の詳細が変更されます。

第 56 章 アイテムと交換品との関連付けを解除する

このタスクについて

アイテムと交換品との関連付けを解除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択してください。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で検索条件を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。あるいは、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」のハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「交換品の管理 (Manage Supersessions)」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Items Associations)」画面が表示されます。「交換品の関連付け (Supersession Associations)」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 表示された「アイテム (Items)」領域で、アイテムとの関連付けを解除するアイテムを選択してください。
 7. 「削除 (Remove)」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。アイテムの関連付けを解除するには、「はい (Yes)」をクリックします。

選択したアイテムとアイテムとの関連付けが解除されます。

第 57 章 交換品の関連付けとしてのカテゴリとアイテムとの関連付け

このタスクについて

カテゴリをアイテムに関連付けることで、割り当てられたカテゴリ内の全アイテムが既存アイテムに関連付けられます。この既存アイテムにより、有効日が終了した時点で元のアイテムを交換できます。

カテゴリとアイテムとの関連付けによって交換品の関連付けを行うには、「アイテムの関連付け (Item Association)」画面を使用します。

「アイテムの関連付け (Item Association)」画面では、交換のためのアイテム・カテゴリを管理できます。

交換品の関連付けとしてカテゴリとアイテムとを関連付けるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**交換の管理 (Manage Supersessions)**」をクリックします。

「**アイテムの関連付け (Items Associations)**」画面が表示されます。「**交換品の関連付け (Supersession Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**交換品の関連付け (Supersession Associations)**」パネルの「**カテゴリ (Category)**」タブをクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、「**追加 (Add)**」をクリックします。

8. 「関連付けカテゴリの追加 (Add Association Category)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。
 - a. 「**カテゴリ ID (Category ID)***」ボックスで、「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックしてカテゴリを選択します。「**ツリー (Tree)**」パネルが表示されます。関連付けるカテゴリを選択して、「**選択 (Select)**」をクリックします。
 - b. 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択して「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - c. 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択して「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
 - d. 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。
9. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

交換品の関連付けとして、カテゴリがアイテムに関連付けられます。

第 58 章 交換品の関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲の変更

このタスクについて

交換品の関連付けにおいて、アイテムに関連付けたカテゴリの有効日付範囲を変更できます。有効日付範囲は、カテゴリ内のアイテムが交換品とみなされる期間を示します。

交換品の関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更するには、「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面を使用します。

交換品の関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**交換の管理 (Manage Supersession)**」をクリックします。

「**アイテムの関連付け (Item Associations)**」画面が表示されます。「**交換品の関連付け (Supersession Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、詳細を変更するカテゴリに隣接するチェック・ボックスを選択し、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 8. 「**関連付けカテゴリの変更 (Modify Association Category)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。

- 「有効開始日 (Effective Start Date)*」を選択して「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - 「有効終了日 (Effective End Date)*」を選択して「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
 - 「保存 (Save)」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。
9. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

交換品の関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲が変更されます。

第 59 章 交換品の関連付けにおけるカテゴリとアイテムとの関連付け解除

このタスクについて

カテゴリ内の全アイテムが、交換品としてアイテムに関連付けられている状態を解除するには、カテゴリとアイテムとの関連付けを解除します。

交換品としてのカテゴリとアイテムとの関連付けを解除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**交換品の管理 (Manage Supersessions)**」をクリックします。

「**アイテムの関連付け (Items Associations)**」画面が表示されます。「**交換品の関連付け (Supersession Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**交換品の関連付け (Supersession Associations)**」パネルの「**カテゴリ (Category)**」タブをクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、アイテムとの関連付けを解除するカテゴリを選択します。
 8. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
 9. 確認を求めるメッセージが表示されます。カテゴリの関連付けを解除するには、「**はい (Yes)**」をクリックします。

選択したカテゴリとアイテムとの関連付けが解除されます。

第 60 章 推奨代替品とアイテムとの関連付け

このタスクについて

推奨代替品は、オーダー内で、元のアイテムを調達する前に調達する必要のあるアイテムです。システムではオーダーを確認および履行する際、元のアイテムが使用可能な場合であっても推奨代替品を出荷します。例えば、アイテム 1 に対するオーダーが発注されている場合、推奨代替品がアイテム 2 であれば、アイテム 1 の出荷前にアイテム 2 が使用されます。

注: タグ管理アイテムは推奨代替品として使用できません。

推奨代替品をアイテムに関連付けるには、「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面を使用します。

推奨代替品をアイテムに関連付けるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**推奨代替の管理 (Manage Preferred Substitutions)**」をクリックします。

「**アイテムの関連付け (Items Associations)**」画面が表示されます。「**推奨代替品の関連付け (Preferred Substitution Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 表示された「**アイテム (Items)**」領域で、「**追加 (Add)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けアイテムの追加 (Add Association Item)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。
 - a. 「**アイテム ID (Item ID)***」ボックスで、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックしてアイテム ID を検索します。「**アイテムの基本検索 (Basic Item**

Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なアイテムが一覧表示されます。「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込むことができます。表示された検索結果リストから、代替アイテムとして関連付けるアイテムを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。

注: バンドル・アイテムは他のアイテムに関連付けることはできません。

- b. 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
- c. 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
- d. 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」テキスト・ボックスに、この関連付けにおいて関連付けられたアイテムの数量を入力します。
- e. 「**優先順位 (Priority)**」フィールドに、関連付けられたアイテムの優先順位を入力します。Web チャネル・アプリケーションで表示される関連付けのリストでは、優先順位が一番高い関連付けが最初に表示されます。
- f. 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。

メモ:

- g. * は必須フィールドを示します。
- h. スケジューリング中、アイテムを自動的に代替する際、優先順位の最も高いアイテムが最初に考慮されます。

推奨代替品がアイテムに関連付けられます。

第 61 章 推奨代替品の詳細の変更

このタスクについて

関連付けがアクティブとなる日付範囲を変更できます。また、関連付けられた数量、および関連付けられたアイテムの優先順位も変更できます。

推奨代替品の詳細を変更するには、「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面を使用します。

推奨代替品の詳細を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Items)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**アイテムの基本検索 (Basic Item Search)**」画面が表示されます。使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込むことができます。
4. アイテムのリストが表示される「**アイテム (Items)**」パネルで、アイテムの「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面に、アイテムの詳細が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**推奨代替の管理 (Manage Preferred Substitutions)**」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Items Associations)」画面が表示されます。「**推奨代替品の関連付け (Preferred Substitution Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 表示された「**アイテム (Items)**」領域で、詳細を変更するアイテムに隣接するチェック・ボックスを選択し、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けアイテムの変更 (Modify Association Item)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の変更を行います。
 - 新規の「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - 新規の「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。

- 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」テキスト・ボックスに、この関連付けにおいて関連付けられたアイテムの新規の数量を入力します。
- 「**優先順位 (Priority)**」フィールドで、関連付けられたアイテムの新規の優先順位を入力します。Web チャンネル・アプリケーションで表示される関連付けのリストでは、優先順位が一番高い関連付けが最初に表示されます。
- 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

推奨代替品の詳細が変更されます。

第 62 章 推奨代替品とアイテムとの関連付け解除

このタスクについて

推奨代替品とアイテムとの関連付けを解除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**推奨代替の管理 (Manage Preferred Substitutions)**」をクリックします。

「**アイテムの関連付け (Items Associations)**」画面が表示されます。「**推奨代替品の関連付け (Preferred Substitution Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 表示された「**アイテム (Items)**」領域で、アイテムとの関連付けを解除するアイテムを選択します。
 7. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。アイテムの関連付けを解除するには、「**はい (Yes)**」をクリックします。

選択したアイテムとアイテムとの関連付けが解除されます。

第 63 章 推奨代替品の関連付けとしてのカテゴリとアイテムとの関連付け

このタスクについて

カテゴリをアイテムに関連付けることで、割り当てられたカテゴリ内の全アイテムを、推奨代替品として既存アイテムに関連付けることができます。

推奨代替品の関連付けとしてカテゴリとアイテムとの関連付けを行うには、「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面を使用します。

推奨代替品の関連付けとしてカテゴリをアイテムに関連付けるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**推奨代替品の管理 (Manage Preferred Substitutions)**」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Items Associations)」画面が表示されます。「**推奨代替品の関連付け (Preferred Substitution Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**推奨代替品の関連付け (Preferred Substitution Associations)**」パネルの「**カテゴリ (Category)**」タブをクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、「**追加 (Add)**」をクリックします。
 8. 「**関連付けカテゴリの追加 (Add Association Category)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。

- a. 「**カテゴリ ID (Category ID)***」ボックスで、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックしてカテゴリを選択してください。「**ツリー (Tree)**」パネルが表示されます。関連付けるカテゴリを選択して、「**選択 (Select)**」をクリックします。
 - b. 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択して「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - c. 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択して「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
 - d. 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。
9. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

推奨代替品の関連付けとして、カテゴリがアイテムに関連付けられます。

第 64 章 推奨代替品の関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲の変更

このタスクについて

推奨代替品の関連付けにおいて、アイテムに関連付けたカテゴリの有効日付範囲を変更できます。有効日付範囲は、カテゴリ内のアイテムが推奨代替品とみなされる期間を示します。

推奨代替品の関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更するには、「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面を使用します。

推奨代替品の関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**推奨代替の管理 (Manage Preferred Substitutions)**」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面が表示されます。「**推奨代替品の関連付け (Preferred Substitution Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、詳細を変更するカテゴリに隣接するチェック・ボックスを選択し、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 8. 「**関連付けカテゴリの変更 (Modify Association Category)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。

- 「有効開始日 (Effective Start Date)*」を選択して「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - 「有効終了日 (Effective End Date)*」を選択して「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
 - 「保存 (Save)」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。
9. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

推奨代替品の関連付けにおけるカテゴリーの有効日付範囲が変更されます。

第 65 章 推奨代替品の関連付けにおけるカテゴリとアイテムとの関連付け解除

このタスクについて

カテゴリ内の全アイテムが、推奨代替品としてアイテムに関連付けられている状態を解除するには、カテゴリとアイテムとの関連付けを解除します。

推奨代替品としてのカテゴリとアイテムとの関連付けを解除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**推奨代替の管理 (Manage Preferred Substitutions)**」をクリックします。

「**アイテムの関連付け (Items Associations)**」画面が表示されます。「**推奨代替品の関連付け (Preferred Substitution Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**推奨代替品の関連付け (Preferred Substitution Associations)**」パネルの「**カテゴリ (Category)**」タブをクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、アイテムとの関連付けを解除するカテゴリを選択します。
 8. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
 9. 確認を求めるメッセージが表示されます。カテゴリの関連付けを解除するには、「**はい (Yes)**」をクリックします。

選択したカテゴリとアイテムとの関連付けが解除されます。

第 66 章 代替品とアイテムとの関連付け

このタスクについて

アイテムに対して代替品を設定することで、元のアイテムとよく似ているアイテムを代替品として選択することができます。顧客が元のアイテムに対するオーダーを発注した際に、このアイテムの在庫がない場合、代替品を選択して注文するオプションが顧客に与えられます。

代替品をアイテムに関連付けるには、「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面を使用します。

注: 親アイテムがバンドル・アイテム・タイプである場合、個々のアイテムを代替品として設定することはできません。

代替品をアイテムに関連付けるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で、検索条件を入力して「検索 (Search)」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「代替の管理 (Manage Alternative)」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Items Associations)」画面が表示されます。「代替品の関連付け (Alternate Associations)」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「簡略説明 (Short Description)」
 - 「アイテムの特性 (Item Characteristic)」
 - 「ステータス (Status)」
6. 表示された「アイテム (Items)」領域で、「追加 (Add)」をクリックします。
 7. 「関連付けアイテムの追加 (Add Association Item)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。
 - a. 「アイテム ID (Item ID)*」ボックスで、「検索 (Search)」アイコンをクリックしてアイテム ID を検索します。「アイテムの基本検索 (Basic Item Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。検索条件を入力して「検索

(Search)」をクリックすると、有効なアイテムが一覧表示されます。「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込むことができます。表示された検索結果リストから、代替アイテムとして関連付けるアイテムを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。

注: バンドル・アイテムは他のアイテムに関連付けることはできません。

- b. 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
- c. 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
- d. 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」テキスト・ボックスに、この関連付けにおいて関連付けられたアイテムの数量を入力します。
- e. 「**優先順位 (Priority)**」フィールドに、関連付けられたアイテムの優先順位を入力します。Web チャネル・アプリケーションで表示される関連付けのリストでは、優先順位が一番高い関連付けが最初に表示されます。
- f. 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

代替品がアイテムに関連付けられます。

第 67 章 代替品の詳細の変更

このタスクについて

関連付けがアクティブとなる日付範囲を変更できます。また、関連付けられた数量、および関連付けられたアイテムの優先順位も変更できます。

代替品の詳細を変更するには、「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面を使用します。

代替品の詳細を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Items)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**アイテムの基本検索 (Basic Item Search)**」画面が表示されます。使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込むことができます。
4. アイテムのリストが表示される「**アイテム (Items)**」パネルで、アイテムの「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面に、アイテムの詳細が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**代替の管理 (Manage Alternative)**」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Items Associations)」画面が表示されます。「**代替品の関連付け (Alternate Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 表示された「**アイテム (Items)**」領域で、詳細を変更するアイテムに隣接するチェック・ボックスを選択し、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けアイテムの変更 (Modify Association Item)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の変更を行います。
 - 新規の「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - 新規の「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。

- 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」テキスト・ボックスに、この関連付けにおいて関連付けられたアイテムの新規の数量を入力します。
- 「**優先順位 (Priority)**」フィールドで、関連付けられたアイテムの新規の優先順位を入力します。Web チャンネル・アプリケーションで表示される関連付けのリストでは、優先順位が一番高い関連付けが最初に表示されます。
- 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

代替品の詳細が変更されます。

第 68 章 代替品とアイテムとの関連付け解除

このタスクについて

代替品とアイテムとの関連付けを解除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で、検索条件を入力して「検索 (Search)」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「代替の管理 (Manage Alternative)」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Items Associations)」画面が表示されます。「代替品の関連付け (Alternate Associations)」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「簡略説明 (Short Description)」
 - 「アイテムの特性 (Item Characteristic)」
 - 「ステータス (Status)」
6. 表示された「アイテム (Items)」領域で、アイテムとの関連付けを解除するアイテムを選択します。
 7. 「削除 (Remove)」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。アイテムの関連付けを解除するには、「はい (Yes)」をクリックします。

選択したアイテムとアイテムとの関連付けが解除されます。

第 69 章 代替品の関連付けとしてのカテゴリとアイテムとの関連付け

このタスクについて

カテゴリをアイテムに関連付けることで、割り当てられたカテゴリ内の全アイテムを、代替品として既存アイテムに関連付けることができます。

カテゴリとアイテムとの関連付けによって代替品の関連付けを行うには、「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面を使用します。

代替品の関連付けとしてカテゴリをアイテムに関連付けるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**代替の管理 (Manage Alternative)**」をクリックします。

「**アイテムの関連付け (Items Associations)**」画面が表示されます。「**代替品の関連付け (Alternate Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**代替品の関連付け (Alternate Associations)**」パネルの「**カテゴリ (Category)**」タブをクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、「**追加 (Add)**」をクリックします。
 8. 「**関連付けカテゴリの追加 (Add Association Category)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。

- a. 「**カテゴリ ID (Category ID)***」ボックスで、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックしてカテゴリを選択してください。「**ツリー (Tree)**」パネルが表示されます。関連付けるカテゴリを選択して、「**選択 (Select)**」をクリックします。
 - b. 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択して「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - c. 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択して「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
 - d. 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。
9. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

代替品の関連付けとして、カテゴリがアイテムに関連付けられます。

第 70 章 代替品の関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲の変更

このタスクについて

代替品の関連付けにおいて、アイテムに関連付けたカテゴリの有効日付範囲を変更できます。有効日付範囲は、カテゴリ内のアイテムが代替品とみなされる期間を示します。

代替品の関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更するには、「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面を使用します。

代替品の関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**代替の管理 (Manage Alternative)**」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面が表示されます。「**代替品の関連付け (Alternate Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**代替品の関連付け (Alternate Associations)**」パネルの「**カテゴリ (Category)**」タブをクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、詳細を変更するカテゴリに隣接するチェック・ボックスを選択し、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 8. 「**関連付けカテゴリの変更 (Modify Association Category)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。

- 「有効開始日 (Effective Start Date)*」を選択して「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - 「有効終了日 (Effective End Date)*」を選択して「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
 - 「保存 (Save)」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。
9. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

代替品の関連付けにおけるカテゴリーの有効日付範囲が変更されます。

第 71 章 代替品の関連付けにおけるカテゴリとアイテムとの関連付け解除

このタスクについて

カテゴリ内の全アイテムが、代替品としてアイテムに関連付けられている状態を解除するには、カテゴリとアイテムとの関連付けを解除します。

代替品の関連付けにおけるカテゴリとアイテムとの関連付けを解除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**代替の管理 (Manage Alternative)**」をクリックします。

「**アイテムの関連付け (Items Associations)**」画面が表示されます。「**代替品の関連付け (Alternate Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**代替品の関連付け (Alternate Associations)**」パネルの「**カテゴリ (Category)**」タブをクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、アイテムとの関連付けを解除するカテゴリを選択します。
 8. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
 9. 確認を求めるメッセージが表示されます。カテゴリの関連付けを解除するには、「**はい (Yes)**」をクリックします。

選択したカテゴリとアイテムとの関連付けが解除されます。

第 72 章 競合品とアイテムとの関連付け

このタスクについて

競合品の関連付けを使用すると、競合する 2 つのアイテムのブランドを関連付けることができます。例えば、ある企業では Y というブランドのコンピューターと X というブランドのコンピューターを販売しているとします。これらの 2 アイテムを関連付けることで、顧客はコンピューターを閲覧する際、両方のブランドを比較できます。

競合品をアイテムに関連付けるには、「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面を使用します。

競合品をアイテムに関連付けるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**競合品の管理 (Manage Competitive)**」をクリックします。

「**アイテムの関連付け (Items Associations)**」画面が表示されます。「**競合品の関連付け (Competitive Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 表示された「**アイテム (Items)**」領域で、「**追加 (Add)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けアイテムの追加 (Add Association Item)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。
 - a. 「**アイテム ID (Item ID)***」ボックスで、「**ローカライズ (Localize)**」アイコンをクリックしてアイテム ID を検索します。「**アイテムの基本検索 (Basic Item Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なアイテムが一覧表示されます。「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプション

ンを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込むことができます。表示された検索結果リストから、代替アイテムとして関連付けるアイテムを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。

注: バンドル・アイテムは他のアイテムに関連付けることはできません。

- b. 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
- c. 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
- d. 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」テキスト・ボックスに、この関連付けにおいて関連付けられたアイテムの数量を入力します。
- e. 「**優先順位 (Priority)**」フィールドで、関連付けられたアイテムの優先順位を入力します。Web チャンネル・アプリケーションで表示される関連付けのリストでは、優先順位が一番高い関連付けが最初に表示されます。
- f. 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

競合品がアイテムに関連付けられます。

第 73 章 競合品の詳細の変更

このタスクについて

関連付けがアクティブとなる日付範囲を変更できます。また、関連付けられた数量、および関連付けられたアイテムの優先順位も変更できます。

競合品の詳細を変更するには、「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面を使用します。

競合品の詳細を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Items)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**アイテムの基本検索 (Basic Item Search)**」画面が表示されます。使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、「**検索 (Search)**」をクリックします。あるいは、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込むことができます。
4. アイテムのリストが表示される「**アイテム (Items)**」パネルで、アイテムの「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面に、アイテムの詳細が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**競合品の管理 (Manage Competitive)**」をクリックします。

「アイテムの関連付け (Items Associations)」画面が表示されます。「**競合品の関連付け (Competitive Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 表示された「**アイテム (Items)**」領域で、詳細を変更するアイテムに隣接するチェック・ボックスを選択し、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けアイテムの変更 (Modify Association Item)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の変更を行います。
 - 新規の「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - 新規の「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。

- 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」テキスト・ボックスに、この関連付けにおいて関連付けられたアイテムの新規の数量を入力します。
- 「**優先順位 (Priority)**」フィールドに、関連付けられたアイテムの新規の優先順位を入力します。Web チャンネル・アプリケーションで表示される関連付けのリストでは、優先順位が一番高い関連付けが最初に表示されます。
- 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

競合品の詳細が変更されます。

第 74 章 競合品とアイテムとの関連付け解除

このタスクについて

競合品とアイテムとの関連付けを解除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**競合品の管理 (Manage Competitive)**」をクリックします。

「**アイテムの関連付け (Items Associations)**」画面が表示されます。「**競合品の関連付け (Competitive Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 表示された「**アイテム (Items)**」領域で、アイテムとの関連付けを解除するアイテムを選択します。
 7. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。アイテムの関連付けを解除するには、「**はい (Yes)**」をクリックします。

選択したアイテムとアイテムとの関連付けが解除されます。

第 75 章 競合品の関連付けとしてのカテゴリとアイテムとの関連付け

このタスクについて

カテゴリをアイテムに関連付けることで、割り当てられたカテゴリ内の全アイテムを、競合品として既存アイテムに関連付けることができます。

競合品の関連付けとしてカテゴリとアイテムとの関連付けを行うには、「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面を使用します。

競合品の関連付けとしてカテゴリをアイテムに関連付けるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**競合品の管理 (Manage Competitive)**」をクリックします。

「**アイテムの関連付け (Items Associations)**」画面が表示されます。「**競合品の関連付け (Competitive Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**カテゴリ (Category)**」タブをクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、「**追加 (Add)**」をクリックします。
 8. 「**関連付けカテゴリの追加 (Add Association Category)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。
 - a. 「**カテゴリ ID (Category ID)***」ボックスで、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックしてカテゴリを選択してください。「**ツリー (Tree)**」パネルが表示されます。関連付けるカテゴリを選択して、「**選択 (Select)**」をクリックします。

- b. 「有効開始日 (Effective Start Date)*」を選択して「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - c. 「有効終了日 (Effective End Date)*」を選択して「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
 - d. 「保存 (Save)」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。
9. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

競合品の関連付けとして、カテゴリーがアイテムに関連付けられます。

第 76 章 競合品の関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲の変更

このタスクについて

競合品の関連付けにおいて、アイテムに関連付けたカテゴリの有効日付範囲を変更できます。有効日付範囲は、カテゴリ内のアイテムが競合品とみなされる期間を示します。

競合品の関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更するには、「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面を使用します。

競合品の関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**競合品の管理 (Manage Competitive)**」をクリックします。

「**アイテムの関連付け (Item Associations)**」画面が表示されます。「**競合品の関連付け (Competitive Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**競合品の関連付け (Competitive Associations)**」パネルの「**カテゴリ (Category)**」タブをクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、詳細を変更するカテゴリに隣接するチェック・ボックスを選択し、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 8. 「**関連付けカテゴリの変更 (Modify Association Category)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。

- 「有効開始日 (Effective Start Date)*」を選択して「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効開始日とは、関連付けが有効となる最初の日付です。
 - 「有効終了日 (Effective End Date)*」を選択して「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックし、日付を選択します。有効終了日とは、関連付けが有効である最後の日付です。
 - 「保存 (Save)」をクリックして詳細を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。
9. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

競合品の関連付けにおけるカテゴリの有効日付範囲が変更されます。

第 77 章 競合品の関連付けでのカテゴリとアイテムとの関連付け解除

このタスクについて

カテゴリ内の全アイテムが、競合品としてアイテムに関連付けられている状態を解除するには、カテゴリとアイテムとの関連付けを解除します。

競合品としてのカテゴリとアイテムとの関連付けを解除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**競合品の管理 (Manage Competitive)**」をクリックします。

「**アイテムの関連付け (Items Associations)**」画面が表示されます。「**競合品の関連付け (Competitive Associations)**」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**カテゴリ (Category)**」タブをクリックします。
 7. 表示された「**カテゴリ (Category)**」領域で、アイテムとの関連付けを解除するカテゴリを選択します。
 8. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
 9. 確認を求めるメッセージが表示されます。カテゴリの関連付けを解除するには、「**はい (Yes)**」をクリックします。

選択したカテゴリとアイテムとの関連付けが解除されます。

第 78 章 アイテムへのアセットの追加

このタスクについて

アセットは、アイテム、カテゴリ、属性、および属性値に関連付ける電子メディア・オブジェクトです。アセット・タイプには、画像、ビデオ、オーディオ、およびテキスト・ファイルが含まれます。

各アセットに対し、コンテンツ・ロケーションを指定する必要があります。通常、アセットは外部システム上に存在するデジタル・ベースのオブジェクトです。例えば、オンライン・カタログから利用可能なカテゴリに画像ファイルを割り当てることで、オンラインの顧客はこのカテゴリを表す画像を表示できます。このシナリオでは、画像ファイルのコンテンツ・ロケーションを指定する必要があります。コンテンツ・ロケーションは、画像ファイルの場所を識別するパスです。

アイテムにアセットを追加するには、「アセット (Assets)」画面を使用します。

アイテムにアセットを追加するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**アセットの管理 (Manage Assets)**」をクリックします。
6. 表示された「**アセット (Assets)**」パネルで、「**追加 (Add)**」をクリックします。
7. 「**アセットの詳細 (Asset Detail)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。
 - a. 「**アセット ID (Asset ID)***」ボックスに、アセット固有の識別子 (ID) を入力します。
 - b. 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスに、アセットの簡略説明を入力します。
 - c. 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスに、アセットの詳細説明を入力します。

- d. 「**サーバー (Server)**」ドロップダウン・リストから、このアセット・タイプが置かれているサーバーを選択します。このドロップダウン・リストには、利用可能なすべてのサーバーの場所、または **Applications Manager** で設定されたコードが入力されています。
- e. 「**タイプ (Type)**」ドロップダウン・リストから、アセット・タイプを選択します。選択したアセット・タイプが画像に関連する場合は、サーバーおよびファイル名の指定後、該当する画像が「**アセット (Assets)**」パネルにプレビュー表示されます。
- f. 「**ファイル (File)**」ボックスにファイル名を入力します。
- g. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

アセットがアイテムに追加されます。

第 79 章 アセットの詳細の変更

このタスクについて

アセットの簡略説明と詳細説明を変更するように選択できます。また、サーバー・ロケーション、アセット・タイプ、およびアセットの作成先のファイル名を変更することもできます。

アセットの詳細を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**アセットの管理 (Manage Assets)**」をクリックします。
6. 表示された「**アセット (Assets)**」パネルで、変更するアセットの行を選択します。
7. 「**アセットの詳細 (Asset Detail)**」領域が表示されます。必要な変更を行います。
 - 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスで、アセットに対する新規の簡略説明を入力します。
 - 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、アセットに対する新規の詳細説明を入力します。
 - 「**サーバー (Server)**」ドロップダウン・リストで、このアセット・タイプが置かれている新規のサーバーを選択します。
 - 「**タイプ (Type)**」ドロップダウン・リストから、新規のアセット・タイプを選択します。選択したアセット・タイプが画像に関連する場合は、サーバーおよびファイル名の指定後、該当する画像が「**アセット (Assets)**」パネルにプレビュー表示されます。
 - 「**ファイル (File)**」ボックスに、新規のファイル名を入力します。
 - 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: 「**アセット ID (Asset ID)**」テキスト・ボックスが読み取り専用として表示されます。

アセットの詳細が変更されます。

第 80 章 アイテムからのアセットの削除

このタスクについて

電子メディア・オブジェクトとアイテムとの関連付けをすべて解除するには、アイテムからアセットを削除します。

アイテムからアセットを削除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**アセットの管理 (Manage Assets)**」をクリックします。
6. 表示された「**アセット (Assets)**」パネルで、削除するアセットの行を選択します。
7. 「**削除 (Delete)**」をクリックします。
8. 確認を求めるメッセージが表示されます。選択したアセットをリストから削除するには、「**はい (Yes)**」を選択します。

選択したアセットがアイテムから削除されます。

第 81 章 キーワードとアイテムとの関連付け

このタスクについて

キーワードは、アイテムに関連付ける単語です。顧客はアイテムを検索する際、これらのキーワードを検索条件として使用できます。例えば、「液晶テレビ」アイテムのキーワードは「フラット・スクリーン」、「液晶テレビ」、「テレビ」、「TV」などです。

キーワードをアイテムに関連付けるには、「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面を使用します。

キーワードをアイテムに関連付けるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**エイリアスとキーワードの管理 (Manage Aliases And Keywords)**」をクリックします。

「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面が表示されます。「エイリアス、キーワード、および除外コード (Aliases, Keywords and Exclusion Codes)」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**キーワード (Keywords)**」領域に、アイテムのキーワードを入力します。複数のキーワードを入力するには、各単語をコンマで区切って列挙します。
 7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

キーワードがアイテムに関連付けられます。

第 82 章 キーワードとアイテムとの関連付け解除

このタスクについて

アイテムの代替識別子としてキーワードを使用しないようにするには、キーワードとアイテムとの関連付けを解除します。アイテムに複数のキーワードを関連付けている場合は、特定のキーワードだけの関連付けを解除し、必要なキーワードは残しておくことができます。

キーワードとアイテムとの関連付けを解除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**エイリアスとキーワードの管理 (Manage Aliases And Keywords)**」をクリックします。

「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面が表示されます。「エイリアス、キーワード、および除外コード (Aliases, Keywords and Exclusion Codes)」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**キーワード (Keywords)**」領域で、既存のキーワードを削除します。
 7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

キーワードとアイテムとの関連付けが解除されます。

第 83 章 エイリアスとアイテムとの関連付け

このタスクについて

エイリアスは、アイテムの代替識別子として機能します。1 つのアイテムに対し、1 つ以上のエイリアスを設定できます。エイリアスの例には、「SKU (在庫管理単位)」、「代替アイテム ID」、「UPC (統一商品コード)」、「EAN (欧州統一商品番号)」などがあります。

エイリアスをアイテムに関連付けるには、「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面を使用します。

エイリアスをアイテムに関連付けるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**エイリアスとキーワードの管理 (Manage Aliases And Keywords)**」をクリックします。

「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面が表示されます。「エイリアス、キーワード、および除外コード (Aliases, Keywords and Exclusion Codes)」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**エイリアス (Aliases)**」領域に、設定したエイリアス・タイプの値を入力します。
 7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

エイリアスがアイテムに関連付けられます。

第 84 章 エイリアスとアイテムとの関連付け解除

このタスクについて

アイテムの代替識別子が不要な場合は、エイリアスとアイテムとの関連付けを解除します。

エイリアスとアイテムとの関連付けを解除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**エイリアスとキーワードの管理 (Manage Aliases And Keywords)**」をクリックします。

「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面が表示されます。「エイリアス、キーワード、および除外コード (Aliases, Keywords and Exclusion Codes)」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**エイリアス (Aliases)**」領域で、既存のエイリアス・タイプの値を削除します。
 7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

エイリアスとアイテムとの関連付けが解除されます。

第 85 章 除外コードとアイテムとの関連付け

このタスクについて

準拠している商慣習において、特定の国および地域へのアイテムの出荷が規制されている場合は、アイテムに除外コードを割り当てることができます。例えば、特定の危険物の出荷が禁止されている特定の国および地域が配送先に含まれる場合は、危険物を含む可能性があるアイテムに対し、除外コードを割り当てることができます。

デフォルトでは、IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation には、アイテムの除外コードを処理するロジックは備わっていません。この機能は、アイテム除外コードを処理可能な外部システムに IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation を統合できるようにするために用意されています。

除外コードをアイテムに関連付けるには、「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面を使用します。

除外コードをアイテムに関連付けるには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページの「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で、検索条件を入力して「検索 (Search)」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「エイリアスとキーワードの管理 (Manage Aliases And Keywords)」をクリックします。

「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面が表示されます。「エイリアス、キーワード、および除外コード (Aliases, Keywords and Exclusion Codes)」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「簡略説明 (Short Description)」
 - 「アイテムの特性 (Item Characteristic)」
 - 「ステータス (Status)」
6. 「除外コード (Exclusion Codes)」領域が表示されます。「使用可能なコード (Available Codes)」リストから、アイテムに関連付ける除外コードを選択します。

7. 「右に移動 (Move Right)」アイコンをクリックして、除外コードを「登録コード (Subscribed Codes)」リストに含めます。使用可能なコードすべてを「登録コード (Subscribed Codes)」リストに含めるには、「右に移動 (Move Right)」アイコンをクリックします。
8. 「保存 (Save)」をクリックします。

除外コードがアイテムに関連付けられます。

第 86 章 除外コードとアイテムとの関連付け解除

このタスクについて

準拠している商慣習において、特定の国および地域へのアイテムの出荷が規制されていない場合は、アイテムと除外コードとの関連付けを解除することができます。

除外コードとアイテムとの関連付けを解除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**エイリアスとキーワードの管理 (Manage Aliases And Keywords)**」をクリックします。

「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面が表示されます。「エイリアス、キーワード、および除外コード (Aliases, Keywords and Exclusion Codes)」パネルに、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**除外コード (Exclusion Codes)**」領域が表示されます。「**登録コード (Subscribed Codes)**」リストから、アイテムとの関連付けを解除する除外コードを選択します。
 7. 「**左に移動 (Move Left)**」アイコンをクリックして、除外コードを「**使用可能なコード (Available Codes)**」リストに含めます。登録コードの「**使用可能なコード (Available Codes)**」リストへの関連付けをすべて解除するには、「**左に移動 (Move Left)**」アイコンをクリックします。
 8. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

除外コードとアイテムとの関連付けが解除されます。

第 87 章 アイテムの取引管理および販売の詳細の定義

このタスクについて

注文しようとする顧客が閲覧できるように、アイテムに追加情報を設定できます。この追加情報は、アイテムを販売する営業員が使用することもできます。例えば、アイテムの販売先となる各地域の画像を追加できます。

「取引管理および販売のフィールド (Marketing and Sales Fields)」画面を使用すると、取引管理および販売の詳細を管理できます。

アイテムの取引管理および販売の詳細を定義するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Find Item)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**販売情報の管理 (Manage Sales Information)**」をクリックします。

「**詳細説明 (Extended Description)**」ボックスで、アイテムの詳細説明を入力します。以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
- 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
- 「**ステータス (Status)**」

「**取引管理および販売のフィールド (Merchandising and Sales Fields)**」パネルで、以下のステップを実行します。

- 「**アイテム画像サーバー (Item Image Server)**」ドロップダウン・リストから、アイテム画像が置かれているサーバーの場所を選択します。
- 「**アイテム画像ファイル (Item Image File)**」ボックスに、アイテム画像として使用する画像ファイルの名前を入力します。入力したファイル名が、サーバー上で使用可能なファイル名と正確に一致することを確認してください。
- 「**アイテム画像説明 (Item Image Description)**」ボックスに、アイテム画像の説明を入力します。

メモ:

- アイテム画像は、「**アイテムのメイン画像 (Item Main Image)**」フィールドの隣に表示されます。
 - 「**割り当て先カテゴリー (Assigned to categories)**」フィールドは、アイテムが1つ以上のカテゴリーに割り当てられている場合に限り表示されます。このフィールドの値は、アイテムが割り当てられているカタログ内の該当カテゴリーへのパスを示します。
6. 「**販売のフィールド (Sales fields)**」パネルで、以下のステップを実行します。
- a. 「**コスト通貨 (Cost Currency)**」ドロップダウン・リストから、ユーロ、ドルなどの通貨を選択します。この通貨によってアイテムのコストが決定されます。
 - b. 「**最小オーダー数量 (Minimum Order Quantity)**」テキスト・ボックスに、オーダーが作成可能となるアイテムの最小数量を入力します。顧客が入力した数量が、ここで指定した最小オーダー数量を下回ると、オーダーは作成されません。
 - c. 「**ユニット・コスト (Unit Cost)**」ボックスに、アイテムのコストを入力します。すべての循環棚卸は、アイテムのユニット・コストに基づきます。
 - d. 「**最大オーダー数量 (Maximum Order Quantity)**」ボックスに、オーダーが作成可能となるアイテムの最大数量を入力します。最大オーダー数量が最小オーダー数量より大きくなるように注意してください。顧客が入力した数量が、ここで指定した最大オーダー数量を上回ると、オーダーは作成されません。
 - e. 「**計算したコスト (Computed Cost)**」ボックスに、アイテムに対して計算したコストを入力します。
 - f. 「**出荷割引適用可能 (Eligible for shipping discount)**」ドロップダウン・リストで、出荷割引を適用するアイテムに対しては「**はい (Yes)**」を選択します。
 - g. 「**贈答品包装対応可能 (Gift Wrapping Available)**」ドロップダウン・リストで、贈答品包装に対応可能なアイテムに対しては「**はい (Yes)**」を選択します。
 - h. 「**バンドル価格設定方式 (Bundle Pricing Strategy)**」ドロップダウン・リストから、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - 「**コンポーネントのみを含める (Only include components)**」：バンドル・コンポーネントだけに基づいてバンドル・アイテムのコストを計算します。
 - 「**親のみを含める (Only include parent)**」：バンドル親アイテムだけに基づいてバンドル・アイテムのコストを計算します。
 - 「**親とコンポーネントの両方を含める (Include both parent and components)**」：バンドル親アイテムとそのコンポーネントの両方に基づいてバンドル・アイテムのコストを計算します。

注: 「**バンドル価格設定方式 (Bundle Pricing Strategy)**」ドロップダウン・リストは、バンドル・アイテムに対してのみ表示されます。「**コンポーネント (Components)**」画面で、バンドル・アイテムを設定可能アイテムとして作成した場合は、「**バンドル価格設定方式 (Bundle Pricing Strategy)**」ドロップダウン・リストでは「**親とコンポーネントの両方を含める (Include both parent and components)**」オプションだけを選択するように注意してください。設定

可能なバンドル・アイテムが事前設定されたアイテムとして作成されている場合は、「バンドル価格設定方式 (Bundle Pricing Strategy)」ドロップダウン・リストでは「親のみを含める (Only include parent)」オプションだけを選択するように注意してください。

- i. アイテムが課税対象である場合は、「**課税対象 (Taxable)**」チェック・ボックスを選択します。
 - j. アイテムを個別コンポーネントとして販売しないようにし、バンドル・アイテムまたは物理キット・アイテムのコンポーネントとしてのみ販売可能とする場合は、「**バンドルまたはキット内のコンポーネントとしてのみ販売可能 (Must be sold as a component in a bundle or kit)**」チェック・ボックスを選択します。
 - k. アイテムを作業オーダー内のサービス・ツールとして使用できるようにするには、「**サービス・ツールとして作業オーダーに追加可能 (Can be added to workorder as service tool)**」チェック・ボックスを選択します。この場合でも、サービス・ツールは通常アイテムとして機能し、*IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation* 内でこの在庫を調整および追跡できます。また、作業オーダーのサービスを完了するためにリソースによって使用されるツールとして、作業オーダーと関連付けることもできます。
7. 「**キットのフィールド (Kit fields)**」パネル内の「**計算に使用するコスト要因グループ (Cost Factor Group to be Used for calculations)**」ドロップダウン・リストから、作業中のコスト計算に適用するコスト要因グループを選択します。このリストには、カタログ組織の主要エンタープライズによって定義されたコスト要因グループが表示されます。

注: 「**計算に使用するコスト要因グループ (Cost Factor Group to be Used for calculations)**」を適用できるのは、*IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation* の在庫計算機能を使用しており、このアイテム・タイプを物理キットとして識別している場合だけです。

8. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: 複数のロケールが構成されている場合、「**ローカライズ (Localize)**」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「**ローカライズ (Localize)**」関連タスクが「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルに表示されます。「**簡略説明 (Short Description)**」、「**詳細説明 (Long Description)**」などのローカライズ可能なフィールドは、ユーザーのロケールとは関係なく、常に基本ロケールで表示されます。例えば、*Sterling Business Center* がフランス語にローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが *Sterling Business Center* にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI スtringがフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「**ローカライズ (Localize)**」アイコンまたは「**ローカライズ (Localize)**」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィールドのローカライズの詳細については、『*Sterling Business Center* のフィールドのローカライズ』を参照してください。

アイテムの取引管理および販売の詳細が定義されます。

第 88 章 アイテムへのノードの追加とノード詳細の定義

このタスクについて

アイテムにノードを追加し、このアイテムに対してノード固有の詳細を定義できます。アイテムを含むオーダーをノードにリリースする時点で、ノード・レベルで割り当てた詳細は、このアイテムに対して定義されたすべての関連属性をオーバーライドします。

アイテムへのノードの追加およびノード詳細の定義は、「アイテム・ノード (Item Nodes)」画面で行います。

アイテムにノードを追加し、ノード詳細を定義するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Task)**」パネルで、「**フルフィルメント情報 (Fulfillment Information)**」領域の「**ノード情報の管理 (Manage Node Information)**」をクリックします。

「**アイテム・ノード (Item Nodes)**」画面が表示され、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 表示された「**アイテム・ノード (Item Nodes)**」パネルで、「**追加 (Add)**」をクリックします。
 7. 「**ノードの基本検索 (Basic Node Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下のステップを実行します。
 - a. 検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックします。
 - b. 表示された「**ノード (Nodes)**」パネルでノードを選択します。ノード・リストには、使用可能なすべての出荷ノードが表示されます。
 - c. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

このノードが「ノード (Nodes)」パネルに表示されます。

8. 「ノード (Nodes)」パネルで、詳細を定義するノードに隣接するチェック・ボックスを選択します。
9. 「詳細情報 (Details)」パネルが表示されます。以下のステップを実行します。
 - a. 「**保管タイプ (Storage Type)**」ボックスで、アイテムの保管タイプを入力します。保管タイプは、特定の場所での保管、または倉庫内での特別な方法による保管が必要とされるアイテムに対する、任意の特別属性を示します。例えば、生鮮食料品は冷蔵して保管する必要があります。
 - b. 「**ピッキング・タイプ (Picking Type)**」ボックスに、アイテムのピッキング・タイプを示す値を入力します。ピッキング・タイプは、アイテムを保管場所から検索する方法について指示します。
 - c. 「**アイテム回転コード (Velocity Code)**」ボックスに、アイテムの回転コードを示す値を入力します。アイテム回転コードは、倉庫内でのアイテムの回転率を示します。
 - d. 特定ノードの操作設定が完了したら、「**操作の設定が完了 (Operational Configuration Complete)**」チェック・ボックスを選択します。

注: 「ノード (Node)」フィールドは読み取り専用で表示されます。

10. 「アイテム・ノード (Item Nodes)」画面で「**保存 (Save)**」をクリックします。

ノードが追加され、このノードの詳細情報も定義されます。

第 89 章 ノード詳細の変更

このタスクについて

ノード詳細の変更を選択できます。アイテムを含むオーダーをノードにリリースする時点で、ノード詳細は、このアイテムに対して定義されたすべての関連属性をオーバーライドします。

ノード詳細を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Task)**」パネルで、「**フルフィルメント情報 (Fulfillment Information)**」領域の「**ノード情報の管理 (Manage Node Information)**」をクリックします。

「**アイテム・ノード (Item Nodes)**」画面が表示され、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 表示された「**ノード (Nodes)**」パネルで、詳細を変更するノードに隣接するチェック・ボックスを選択します。
 7. 「**詳細情報 (Details)**」パネルが表示されます。以下の変更を行います。
 - 「**保管タイプ (Storage Type)**」ボックスで、アイテムに対する新規の保管タイプを入力します。保管タイプは、特定の場所での保管、または倉庫内での特別な方法による保管が必要とされるアイテムに対する、任意の特別属性を示します。例えば、生鮮食料品は冷蔵して保管する必要があります。
 - 「**ピッキング・タイプ (Picking Type)**」ボックスに、アイテムの新規ピッキング・タイプを示す値を入力します。ピッキング・タイプは、アイテムを保管場所から検索する方法について指示します。

- 「**アイテム回転コード (Velocity Code)**」ボックスに、アイテムの回転コードを示す新規の値を入力します。アイテム回転コードは、倉庫内でのアイテムの回転率を示します。
- 特定ノードの操作設定が完了したら、「**操作の設定が完了 (Operational Configuration Complete)**」チェック・ボックスを選択します。

注: 「**ノード (Node)**」フィールドは読み取り専用で表示されます。

8. 「**アイテム・ノード (Item Nodes)**」画面で「**保存 (Save)**」をクリックします。

ノードの詳細が変更されます。

第 90 章 アイテムからのノードの削除

このタスクについて

アイテムからノードを削除するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Task)**」パネルで、「**フルフィルメント情報 (Fulfillment Information)**」領域の「**ノード情報の管理 (Manage Node Information)**」をクリックします。

「**アイテム・ノード (Item Nodes)**」画面が表示され、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 表示された「**ノード (Nodes)**」パネルで、削除するノード行に隣接するチェック・ボックスを選択します。
 7. 「**削除 (Delete)**」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックします。

選択したノードがアイテムから削除されます。

第 91 章 アイテム分類の定義

このタスクについて

アイテム分類は、ソーシング、サービスの関連付け、出荷プリファレンスの定義などのタスクに使用できます。アイテム分類を定義すると、*IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation* において特定の用途を持つアイテム属性を特定できます。

アイテムの分類の詳細は、すべて「アイテム分類 (Item Classifications)」画面で定義できます。アイテム属性 (この画面に表示される各フィールド) が分類に関連付けられている場合は、このフィールドに対する分類値を選択できます。アイテム属性が分類に関連付けられていない場合は、このフィールドに手動で値を入力できます。

注: バリエーション・アイテムのすべての子アイテムに対しては、「アイテム分類 (Item Classifications)」画面は読み取り専用で表示されます。バリエーション・アイテムの分類に定義された値は、このバリエーション・アイテムのすべての子アイテムに継承されるためです。

アイテム分類を定義するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で、検索条件を入力して「**検索 (Search)**」をクリックすると、有効なすべてのアイテムが一覧表示されます。または、「**基本検索 (Basic Search)**」または「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示するアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**分類値の管理 (Manage Classification Values)**」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 「**簡略説明 (Short Description)**」
 - 「**アイテムの特性 (Item Characteristic)**」
 - 「**ステータス (Status)**」
6. 「**標準分類 (Standard Classification)**」領域では、すべてのアイテム・フィールドに対して以下を実行できます。

- 「**検索 (Search)**」アイコンをクリックして、選択可能な分類値を一覧表示し、フィールドに対する値を選択します。このオプションは、アイテムが属する分類にアイテム・フィールドが関連付けられている場合だけに使用できます。
- 各フィールドに適切な値を入力します。

次の表は、「**標準分類 (Standard Classification)**」領域に表示される各フィールドを示します。

フィールド

説明

統一コード (Harmonized Code)

アイテムの統一コードです。

商品コード (Commodity Code)

アイテムの商品コードです。

ECCN 番号 (ECCN Number)

アイテムの輸出品管理番号 (ECCN) です。

UNSPSC (UNSPSC)

アイテムの UNSPSC (United Nations Standard Product and Services Code) です。

課税製品クラス (Tax Product Class)

製品の課税製品クラスです。

モデル (Model)

アイテムのモデル番号です。

コスト計上分類 (Cost Posting Classification)

アイテムのコスト計上分類です。

スケジュール・コード (Schedule Code)

アイテムのスケジュール B コードです。

NMFC コード (NMFC Code)

アイテムの NMFC (National Motor Freight Code) です。

NMFC クラス (NMFC Class)

アイテムの NMFC (National Motor Freight Code) クラスです。

NAICS コード (NAICS Code)

アイテムの NAICS (North American Industry Classification System) コードです。

危険物クラス (Hazardous Material Class)

アイテムの危険物クラスです。

危険物を含むアイテムかどうか (Is Hazardous Item)

アイテムが危険物クラスに属するかどうかを示します。

7. 「**組織の分類 (Organization Classifications)**」領域では、すべてのアイテム・フィールドに対して以下を実行できます。

- 「**検索 (Search)**」アイコンをクリックして、選択可能な分類値を一覧表示し、フィールドに対する値を選択します。このオプションは、アイテムが属する分類にアイテム・フィールドが関連付けられている場合だけに使用できます。
- 各フィールドに適切な値を入力します。

次の表は、「**組織の分類 (Organizational Classification)**」領域に表示される各フィールドを示します。

フィールド

説明

アイテム明細 (Product Line)

準拠する商慣習に基づいて定義されたアイテム明細です。

アイテム・タイプ (Item Type)

準拠する商慣習に基づいて定義されたアイテム・タイプです。

8. 「**操作分類 (Operational Classification)**」領域内の各フィールドでは、以下を実行できます。

- 「**検索 (Search)**」アイコンをクリックして、選択可能な分類値を一覧表示し、フィールドに対する値を選択します。このオプションは、アイテムが属する分類にアイテム・フィールドが関連付けられている場合だけに使用できます。
- 各フィールドに適切な値を入力します。

次の表は、「**操作分類 (Operational Classification)**」領域に表示される各フィールドを示します。

フィールド

説明

保管タイプ (Storage Type)

アイテムの保管タイプです。

保管コードは、特定の場所での保管、または倉庫内での特別な方法による保管が必要とされるアイテムに対する、任意の特別属性を示します。

ピッキング・タイプ (Picking Type)

アイテムのピッキング・タイプです。

ピッキング・タイプは、アイテムを保管場所から検索する方法について指示します。

アイテム回転コード (Velocity Code)

アイテムの回転コードです。

アイテム回転コードは、倉庫内でのアイテムの回転率を示します。

9. アイテムの操作設定が完了したら、「**操作分類 (Operational Classification)**」領域で、「**操作の設定が完了 (Operational Configuration Complete)**」チェック・ボックスを選択します。
10. 「**アイテム分類 (Item Classifications)**」画面で「**保存 (Save)**」をクリックします。

アイテムの分類が定義されます。

第 92 章 Sterling Business Center での配達サービスの作成

このタスクについて

配達サービスは、顧客宅までの近距離配達に関連付けに使用されます。顧客宅までの近距離配達はオーダーの出荷とは異なり、定義されたキャパシティー制約を持つ配送業者を使用して、特定のアイテムを配送します。例えば、プロジェクション TV と洗濯機に配達サービスに関連付けることができます。

配達アイテムは、アイテム ID と計測単位によって一意的に定義されます。配達サービスは通常、次のようなアイテムに対して使用します。

- 重量物、特大サイズ、または壊れ物であり、一般の配送業者では輸送できないアイテム
- 特別な器材や人員を使用するなど、特殊な扱いが必要となる製品

配達サービスの作成は、「サービスの作成 (Create Service)」画面で行います。

配達サービスを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**新規サービス (New Service)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**新規サービス (New Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービスの作成 (Create Service)」画面で、以下のステップを実行します。
 - a. 「**作成するサービスのタイプを選択 (Select the type of service to be created)**」領域で、「**配達 (Delivery)**」ラジオ・ボタンを選択します。
 - b. 「**サービス ID (Service ID)***」テキスト・ボックスに、一意のサービス識別子を入力します。
 - c. 「**UOM (UOM)**」リストから、サービスの計測単位を選択します。
 - d. 「**サービス・タイプ (Service Type)***」ドロップダウン・リストで、サービスのタイプを選択します。

選択した「**サービス・タイプ (Service Type)***」に応じて、「**キャパシティーの単位 (Capacity UOM)**」テキスト・ボックスには、選択したサービス・タイプに関連付けられたキャパシティーの計測単位が設定されます。

- e. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

サービスが作成され、「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。

第 93 章 配達サービスに対する主要情報の定義

このタスクについて

サービスを作成した後は、新規作成したサービスに対して詳細情報を定義できます。また、サービス詳細を既に定義している場合は、このサービス詳細を変更することもできます。

サービスの主要情報の定義は、「主要情報 (Primary Information)」画面で行います。

サービスに対して主要情報を定義するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページの「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービスの検索 (Service Search)」画面で「検索 (Search)」をクリックすると、有効なすべてのサービスが一覧表示されます。または、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されたサービス・リストを絞り込みます。
4. 表示された「サービス (Services)」パネルで、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。

読み取り専用の以下のボックスを示す「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。

- 「簡略説明 (Short Description)」
 - 「サービスの特性 (Service Characteristic)」
 - 「ステータス (Status)」
5. 「サービスのステータス (Service Status)」ドロップダウン・リストから、サービスのステータスを選択します。以下のいずれかを選択します。
 - 「保留 (未公開) (Held (Unpublished))」: アイテムを使用不可とする場合に選択します。このようなアイテムは IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation API によって処理されません。
 - 「発行済み (Published)」: アイテムを IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation API で処理可能とする場合に選択します。
 6. 「簡略説明 (Short Description)*」テキスト・ボックスに、サービスの簡略説明を入力します。この説明は、表内にアイテム・リストが表示されるときに併せて表示されます。例えば、「検索結果 (Search Results)」画面などです。
 7. 「詳細説明 (Long Description)」テキスト・ボックスに、サービスの詳細説明を入力します。この説明は、サービス詳細と共に表示されます。例えば、「サービスの詳細 (Service Details)」画面などです。
 8. 「主要フィールド (Primary Fields)」領域は読み取り専用です。ここには以下が表示されます。

- 「サービス・タイプ (Service Type)」
 - 「キャパシティーの単位 (Capacity UOM)」
9. 「サービス数量 (Service Quantity)」領域で、以下のサービス数量のいずれかを示すラジオ・ボタンを選択します。
- 「明細に対して手動で指定 (specified manually on the line)」：オーダー明細でオーダー数量を手動で指定する場合に選択します。
 - 「関連付けられたアイテム明細の数量からコピー (copied from the associated product line's quantity)」：アイテムの各オーダー数量に対し、特定サービス・アイテムのオーダー数量を指定する場合に選択します。
10. 「キャパシティー消費 (Capacity Consumption)」領域で、以下を実行します。
- a. 「固定キャパシティーの <単位数> 単位が明細の各数量に対して消費されま
ず (A fixed capacity of <Number of units> Unit will be consumed for
each quantity on the line)」で、オーダー明細内の 1 アイテムの完了に必要な
となる固定時間数を入力します。例えば、宅配サービスの場合、1 台のテレ
ビを配達するのに要する時間が 2 時間であれば、時間数として「2」と入力
する必要があります。
 - b. 以下のいずれかを選択して、追加キャパシティーを定義します。
 - 「関連付けられたアイテムの設定内 (in the associated product's
configuration)」：関連アイテム明細の数量に基づいて追加可変キャパシテ
ィーを指定する場合に選択します。
 - 「このサービス内 (in this service)」：オーダー数量に基づいて追加可変
キャパシティーを指定する場合に選択します。
 - c. 「追加キャパシティーの <単位数> 単位が明細の各数量に対して消費されま
ず (An additional capacity of <Number of units> Unit will be consumed
for each quantity on the line)」で、明細の各数量に対して消費される追加
単位数を入力します。
- 注：このオプションは、追加キャパシティーを定義する際に「このサービス
内 (In this service)」オプションを選択した場合のみに有効となります。
11. 「主要情報 (Primary Information)」画面の「保存 (Save)」をクリックします。

注：

- 複数のロケールが構成されている場合、「ローカライズ (Localize)」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「ローカライズ (Localize)」関連タスクが「関連タスク (Related Tasks)」パネルに表示されます。「簡略説明 (Short Description)」、「詳細説明 (Long Description)」などのローカライズ可能なフィールドは、ユーザーのロケールとは関係なく、常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center がフランス語にローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI スtringがフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「ローカライズ (Localize)」アイコンまたは「ローカライズ (Localize)」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィールドのローカライズの詳細については、『Sterling Business Center のフィールドのローカライズ』を参照してください。

- * は必須フィールドを示します。

配達サービスの主要情報が定義されます。この後、指示や関連付けの管理といった関連タスクを実行できます。

第 94 章 Sterling Business Center での提供サービスの作成

このタスクについて

提供サービスは、オーダーに対して提供可能な、物理アイテムを表さない任意の追加アクションです。例えば、洗濯機の販売時に設置サービスを提供できます。この場合は、設置サービスを提供サービスとして作成し、顧客が洗濯機を注文する際にこの提供サービスを勧めることができます。

提供サービスは、サービス ID と計測単位によって一意的に定義されます。

注: 提供サービスは、必ずしもアイテムに関連付ける必要はありません。スタンドアロン・サービスとして単独で販売可能な提供サービスを設定することもできます。

提供サービスの作成は、「サービスの作成 (Create Service)」画面で行います。

提供サービスを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**新規サービス (New Service)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**新規サービス (New Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービスの作成 (Create Service)」画面で、以下のステップを実行します。
 - a. 「**作成するサービスのタイプを選択 (Select the type of service to be created)**」領域で、「**提供 (Provided)**」ラジオ・ボタンを選択します。
 - b. 「**サービス ID (Service ID)***」テキスト・ボックスに、一意のサービス識別子を入力します。
 - c. 「**UOM (UOM)**」リストから、サービスの計測単位を選択します。
 - d. 「**サービス・タイプ (Service Type)***」ドロップダウン・リストで、サービスのタイプを選択します。

選択した「**サービス・タイプ (Service Type)***」に応じて、「**キャパシティーの単位 (Capacity UOM)**」テキスト・ボックスには、選択したサービス・タイプに関連付けられたキャパシティーの計測単位が設定されます。

- e. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

サービスが作成され、「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。

第 95 章 提供サービスに対する主要情報の定義

このタスクについて

サービスを作成した後は、新規作成したサービスに対して詳細情報を定義できます。また、サービス詳細を既に定義している場合は、このサービス詳細を変更することもできます。

サービスの主要情報の定義は、「主要情報 (Primary Information)」画面で行います。

サービスに対して主要情報を定義するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページの「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービスの検索 (Service Search)」画面で「検索 (Search)」をクリックすると、有効なすべてのサービスが一覧表示されます。または、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されたサービス・リストを絞り込みます。
4. 表示された「サービス (Services)」パネルで、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。

読み取り専用の以下のボックスを示す「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。

- 「簡略説明 (Short Description)」
 - 「サービスの特性 (Service Characteristic)」
5. 「サービスのステータス (Service Status)」ドロップダウン・リストから、サービスのステータスを選択します。以下のいずれかを選択します。
 - 「保留 (未公開) (Held (Unpublished))」: アイテムを使用不可とする場合に選択します。このようなアイテムは IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation API によって処理されません。
 - 「発行済み (Published)」: アイテムを IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation API で処理可能とする場合に選択します。
 6. 「簡略説明 (Short Description)*」テキスト・ボックスに、サービスの簡略説明を入力します。この説明は、表内にアイテム・リストが表示されるときに併せて表示されます。例えば、「検索結果 (Search Results)」画面などです。
 7. 「詳細説明 (Long Description)」テキスト・ボックスに、サービスの詳細説明を入力します。この説明は、サービス詳細と共に表示されます。例えば、「サービスの詳細 (Service Details)」画面などです。
 8. 「主要フィールド (Primary Fields)」領域で、以下を実行します。
 - a. 提供サービスをいずれかの関連アイテムと共に販売する必要がある場合は、「アイテムとの関連付けが必要 (Association with product is required)」チ

ェック・ボックスを選択します。提供サービスをスタンドアロン・サービスとして単独で販売する場合は、このチェック・ボックスを選択解除します。

- b. 提供サービスを返品オーダーに追加できるようにするには、「返品サービスかどうか (Is Return Service)」チェック・ボックスを選択します。

「サービス・タイプ (Service Type)」と「キャパシティーの単位 (Capacity UOM)」は読み取り専用です。

9. 「サービス数量 (Service Quantity)」領域で、以下のサービス数量のいずれかを示すラジオ・ボタンを選択します。

- 「明細に対して手動で指定 (specified manually on the line)」: オーダー明細でオーダー数量を手動で指定する場合に選択します。
- 「関連付けられたアイテム明細の数量からコピー (copied from the associated product line's quantity)」: アイテムの各オーダー数量に対し、特定サービス・アイテムのオーダー数量を指定する場合に選択します。

10. 「キャパシティー消費 (Capacity Consumption)」領域で、以下を実行します。

- a. 「固定キャパシティーの <時間数> 時間が明細の各数量に対して消費されず (A fixed capacity of <Number of hours> Hour will be consumed for each quantity of the line)」で、オーダー明細内の 1 アイテムの完了に必要なとなる固定時間数を入力します。例えば設置提供サービスの場合、1 台のテレビを設置するのに要する時間が 4 時間であれば、時間数として「4」と入力する必要があります。
- b. 「このサービスに対応するノードに <時間数> 時間前に通知する必要があります (The node fulfilling this service needs to be notified <Number of hours> hour(s) in advance)」で、このサービスを実行するノードに事前に指定しておく必要がある時間数を入力します。
- c. 以下のいずれかを選択して、追加キャパシティーを定義します。
 - 「関連付けられたアイテムの設定内 (in the associated product's configuration)」: 関連アイテム明細の数量に基づいて追加可変キャパシティーを指定する場合に選択します。
 - 「このサービス内 (in this service)」: オーダー数量に基づいて追加可変キャパシティーを指定する場合に選択します。
- d. 「追加キャパシティーの <時間数> 時間が明細の各数量に対して消費されず (An additional capacity of <Number of hours> Hour will be consumed for each quantity of the line)」で、明細の各数量に対して消費される追加単位数を入力します。

注: このオプションは、追加キャパシティーを定義する際に「このサービス内 (In this service)」オプションを選択した場合のみに有効となります。

11. 「主要情報 (Primary Information)」画面の「保存 (Save)」をクリックします。

注:

- 複数のロケールが構成されている場合、「ローカライズ (Localize)」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「ローカライズ (Localize)」関連タスクが「関連タスク (Related Tasks)」パネルに表示されます。「簡略説明 (Short Description)」、「詳細説明 (Long Description)」などのローカライズ可能なフィールドは、ユーザーのロケール

とは関係なく、常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center がフランス語にローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI スtringがフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「ローカライズ (Localize)」ボタンまたは「ローカライズ (Localize)」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィールドのローカライズの詳細については、『Sterling Business Center のフィールドのローカライズ』を参照してください。

- * は必須フィールドを示します。

提供サービスの主要情報が定義されます。この後、指示や関連付けの管理といった関連タスクを実行できます。

第 96 章 Sterling Business Center での返品ピックアップ・サービスの作成

このタスクについて

返品ピックアップ・サービスは、顧客がアイテムを返品しようとする場合に、顧客からのピックアップ・サービスを定義するために使用します。返品ピックアップ・サービスは、サービス ID と計測単位によって一意的に定義されます。

返品ピックアップ・サービスの作成は、「サービスの作成 (Create Service)」画面で行います。

返品ピックアップ・サービスを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**新規サービス (New Service)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**新規サービス (New Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービスの作成 (Create Service)」画面で、以下のステップを実行します。
 - a. 「**作成するサービスのタイプを選択 (Select the type of service to be create)**」領域で、「**返品ピックアップ (Return Pickup)**」ラジオ・ボタンを選択します。
 - b. 「**サービス ID (Service ID)***」テキスト・ボックスに、一意のサービス識別子を入力します。
 - c. 「**UOM (UOM)**」リストから、サービスの計測単位を選択します。
 - d. 「**サービス・タイプ (Service Type)***」ドロップダウン・リストで、サービスのタイプを選択します。

選択した「**サービス・タイプ (Service Type)***」に応じて、「**キャパシティーの単位 (Capacity UOM)**」テキスト・ボックスには、選択したサービス・タイプに関連付けられたキャパシティーの計測単位が設定されます。

- e. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

サービスが作成され、「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。

第 97 章 返品ピックアップ・サービスに対する主要情報の定義

このタスクについて

サービスを作成した後は、新規作成したサービスに対して詳細情報を定義できます。また、サービス詳細を既に定義している場合は、このサービス詳細を変更することもできます。

サービスの主要情報の定義は、「主要情報 (Primary Information)」画面で行います。

サービスに対して主要情報を定義するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページの「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービスの検索 (Service Search)」画面で「検索 (Search)」をクリックすると、有効なすべてのサービスが一覧表示されます。または、「基本検索 (Basic Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されたサービス・リストを絞り込みます。
4. 表示された「サービス (Services)」パネルで、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。

読み取り専用の以下のボックスを示す「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。

- 「簡略説明 (Short Description)」
 - 「サービスの特性 (Service Characteristic)」
 - 「単位 (UOM)」
5. 「サービスのステータス (Service Status)」ドロップダウン・リストから、サービスのステータスを選択します。以下のいずれかを選択します。
 - 「保留 (未公開) (Held (Unpublished))」: アイテムを使用不可とする場合に選択します。このようなアイテムは IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation API によって処理されません。
 - 「発行済み (Published)」: アイテムを IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation API で処理可能とする場合に選択します。
 6. 「簡略説明 (Short Description)*」テキスト・ボックスに、サービスの簡略説明を入力します。この説明は、表内にアイテム・リストが表示されるときに併せて表示されます。例えば、「検索結果 (Search Results)」画面などです。
 7. 「詳細説明 (Long Description)」テキスト・ボックスに、サービスの詳細説明を入力します。この説明は、サービス詳細と共に表示されます。例えば、「サービスの詳細 (Service Details)」画面などです。
 8. 「主要フィールド (Primary Fields)」領域は読み取り専用です。ここには以下が表示されます。

- 「サービス・タイプ (Service Type)」
 - 「キャパシティーの単位 (Capacity UOM)」
9. 「サービス数量 (Service Quantity)」領域で、以下のサービス数量のいずれかを示すラジオ・ボタンを選択します。
- 「明細に対して手動で指定 (specified manually on the line)」：オーダー明細でオーダー数量を手動で指定する場合に選択します。
 - 「関連付けられたアイテム明細の数量からコピー (copied from the associated product line's quantity)」：アイテムの各オーダー数量に対し、特定サービス・アイテムのオーダー数量を指定する場合に選択します。
10. 「キャパシティー消費 (Capacity Consumption)」領域で、以下を実行します。
- a. 「固定キャパシティーの <単位数> 単位が明細の各数量に対して消費されません (A fixed capacity of <Number of units> Unit will be consumed for each quantity on the line)」で、明細内の各数量に対して消費される固定単位数を入力します。
 - b. 以下のいずれかを選択して、追加キャパシティーを定義します。
 - 「関連付けられたアイテムの設定内 (in the associated product's configuration)」：関連アイテム明細の数量に基づいて追加可変キャパシティーを指定する場合に選択します。
 - 「このサービス内 (in this service)」：オーダー数量に基づいて追加可変キャパシティーを指定する場合に選択します。
 - c. 「追加キャパシティーの <単位数> 単位が明細の各数量に対して消費されません (An additional capacity of <Number of units> Unit will be consumed for each quantity on the line)」で、明細の各数量に対して消費される追加単位数を入力します。
- 注：このオプションは、追加キャパシティーを定義する際に「このサービス内 (In this service)」オプションを選択した場合のみ有効となります。
11. 「主要情報 (Primary Information)」画面の「保存 (Save)」をクリックします。

注：

- 複数のロケールが構成されている場合、「ローカライズ (Localize)」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「ローカライズ (Localize)」関連タスクが「関連タスク (Related Tasks)」パネルに表示されます。「簡略説明 (Short Description)」、「詳細説明 (Long Description)」などのローカライズ可能なフィールドは、ユーザーのロケールとは関係なく、常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center がフランス語にローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI スtringがフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「ローカライズ (Localize)」アイコンまたは「ローカライズ (Localize)」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィールドのローカライズの詳細については、『Sterling Business Center のフィールドのローカライズ』を参照してください。
- * は必須フィールドを示します。

返品ピックアップ・サービスの主要情報が定義されます。この後、指示や関連付けの管理といった関連タスクを実行できます。

第 98 章 Sterling Business Center での流通加工サービスの作成

このタスクについて

流通加工サービスは、バイヤー向けにアイテムをカスタマイズするサービス、または、内部の在庫管理を許可するサービスです。これは、カスタマイズしたオーダーを作成する、バイヤー向けに倉庫で特殊プロセスを実行する、顧客に追加サービス(照明器具の設置など)を提供するなど、バイヤーの特別な要件に対応するためのサービスです。

流通加工サービスの作成は、「サービスの作成 (Create Service)」画面で行います。

以下のタイプの流通加工サービスを作成できます。

- キット化サービス: アイテムのコンポーネント組み立てのプロセスです。
- キット化解除サービス: アイテムの分解プロセスです。これは、別のオーダーを完了するためにアイテム・コンポーネントを取得する場合に使用します。
- コンプライアンス・サービス: アイテムを特定のバイヤーに供給するために実行する必要のある流通加工サービスです。このサービスは特注生産オーダーで使用されます。
- 在庫変更サービス: ある単位から別の単位に在庫を変換する手法です。

流通加工サービスを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**新規サービス (New Service)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**新規サービス (New Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービスの作成 (Create Service)」画面で、以下のステップを実行します。
 - a. 「**流通加工サービス (Value-Added Service)**」領域で、いずれかのラジオ・ボタンを選択します。

注: 「サービス・タイプ(Service Type)」、「単位 (UOM)」リスト、および「キャパシティーの単位 (Capacity UOM)」は、流通加工サービスに対しては読み取り専用です。

- b. 「**サービス ID (Service ID)***」テキスト・ボックスに、一意のサービス識別子を入力します。
- c. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。

第 99 章 流通加工サービスに対する主要情報の定義

このタスクについて

サービスを作成した後は、新規作成したサービスに対して詳細情報を定義できます。また、サービス詳細を既に定義している場合は、このサービス詳細を変更することもできます。

サービスに対して主要情報を定義するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページの「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービスの検索 (Service Search)」画面で「検索 (Search)」をクリックすると、有効なすべてのサービスが一覧表示されます。または、「サービスの基本検索 (Basic Service Search)」または「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されたサービス・リストを絞り込みます。
4. 表示された「サービス (Services)」パネルで、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。

読み取り専用の以下のボックスを示す「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。

- 「簡略説明 (Short Description)」
 - 「サービスの特性 (Service Characteristic)」
5. 「サービスのステータス (Service Status)」ドロップダウン・リストから、サービスのステータスを選択します。以下のいずれかを選択します。
 - 「保留 (未公開) (Held (Unpublished))」: アイテムを使用不可とする場合に選択します。このようなアイテムは IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation API によって処理されません。
 - 「発行済み (Published)」: アイテムを IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation API で処理可能とする場合に選択します。
 6. 「簡略説明 (Short Description)*」テキスト・ボックスに、サービスの簡略説明を入力します。この説明は、表内にアイテム・リストが表示されるときに併せて表示されます。例えば、「検索結果 (Search Results)」画面などです。
 7. 「詳細説明 (Long Description)」テキスト・ボックスに、サービスの詳細説明を入力します。この説明は、サービス詳細と共に表示されます。例えば、「サービスの詳細 (Service Details)」画面などです。
 8. 「詳細説明 (Extended Description)」ボックスに、サービスのより詳しい説明を入力します。
 9. 「実行数量 (Run Quantity)」の値を入力します。このテキスト・ボックスは、**キット化** タイプの流通加工サービスを作成した場合 **のみ** に表示されます。

実行数量は、アイテムのオーダーに対応するための在庫が不足している場合に、作成する必要があるアイテム数の計算に使用されます。つまり、コンプライアンス・サービス実行時のアイテム数を示します。コンプライアンス・サービスが適用されたアイテムの製造をグループ化することで、バイヤーの要件を見込んだ在庫を作成できます。

実行数量は、実際のアイテム要求と使用可能な在庫とをまとめ、コンプライアンス・サービスを適応する必要があるアイテム数を判断するために、いくつかのアイテムが必要かを示します。

例えば、実行数量が 10 であり、バイヤーが 8 個のアイテムを要求しているのに対し、手持ちの在庫が 1 個しかない場合は、10 個のアイテムにコンプライアンス・サービスが適用されます。結果としてバイヤーは 8 個のアイテムを受け取りますが、このうち 1 つは現在の在庫から、7 個は新規作成されたもので、新規作成された残りの 3 個のアイテムは、新たに在庫として使用可能になります。

バイヤーが実行数量より多くの数を要求した場合は、実行数量を使用して複数回の実行を作成します。例えば、バイヤーが 22 個のアイテムを要求しているのに対して在庫が 1 個しかない場合、10 個分の実行では要求を満たすことができません。10 個分の実行を 2 回繰り返しても、この要求を満たすことはできませんが、3 回繰り返すことで、この要求に対応できます。したがって、30 個分の実行が 1 回行われます。

実行数量は、予期されるバイヤーの要件に基づいて設定する必要があります。例えば、冷蔵庫や洗濯機などの大型アイテムの場合、それほど大きな数になることはないと考えられます。スポーツ・チームのロゴ入り T シャツなど、バイヤーが大量に購入するようなアイテムの場合は、数量は大きくなります。

10. 要件に基づき、「このサービスを必要とするオーダーのスケジュールリング時に作業オーダーを作成 (Create work order while scheduling an order requiring this service)」チェック・ボックスを選択または選択解除します。これは、**コンプライアンス・タイプ**の流通加工サービスを作成した場合 **のみ** に有効です。

このオプションを選択すると、オーダーのスケジュールリング時に、必要に応じて作業オーダーが自動的に生成されます。このオプションは通常、スケジュールリング・プロセスにおいて、オーダーの一部として供給するアイテムの確保を考慮しなければならない場合や、コンプライアンス・サービス実行のための時間を配分しておく必要がある場合に使用します。

スケジュール処理が実行されると、このプロセスでは、オーダー要件を満たすためにさらなるアイテムを作成する必要性の有無が検出されます。このオプションを使用すると、処理に応じて、作業オーダーを生成すべきかどうかを制御できます。

例えば、出荷する個々の電話機に保証書を添付するというコンプライアンス・サービスがあるとします。電話機の梱包方法を考えると、このサービスは梱包プロセスの一部として実施可能であり、個別の作業オーダーは必要ありません。また、この特定のオーダーのために電話機を別途確保しておく必要もありません。この場合の電話機に特別な扱いが必要となるわけではなく、これらの電話機は他のオーダー需要に対して供給する場合にも使用できるためです。こ

の場合は、「このサービスを必要とするオーダーのスケジューリング時に作業オーダーを作成 (Create work order while scheduling an order requiring this service)」チェック・ボックスを選択解除する必要があります。

別のシナリオとして、出荷する電話機にバイヤーの企業ラベルを貼付するというサービスの場合を考えてみます。このオーダーをスケジュールする場合、プロセスを追跡するために作業オーダーが生成され、カスタマイズする電話機用に在庫が割り当てられます。このようにカスタマイズした電話機は、別のバイヤーからのオーダーの一部として供給することはできません。このシナリオでは、コンプライアンス・サービスを実施するため、「このサービスを必要とするオーダーのスケジューリング時に作業オーダーを作成 (Create work order while scheduling an order requiring this service)」チェック・ボックスを選択して作業オーダーを自動生成し、在庫を割り当てる必要があります。

11. 「主要情報 (Primary Information)」画面の「保存 (Save)」をクリックします。

メモ:

- 複数のロケールが構成されている場合、「ローカライズ (Localize)」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「ローカライズ (Localize)」関連タスクが「関連タスク (Related Tasks)」パネルに表示されます。「簡略説明 (Short Description)」、「詳細説明 (Long Description)」などのローカライズ可能なフィールドは、ユーザーのロケールとは関係なく、常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center をフランス語にローカライズしており、基本ロケールは英語である場合、フランス語ユーザーが Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能なフィールド以外のすべての UI 文字列がフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「ローカライズ (Localize)」アイコンまたは「ローカライズ (Localize)」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィールドのローカライズの詳細については、『Sterling Business Center のフィールドのローカライズ』を参照してください。
- * は必須フィールドを示します。

流通加工サービスの主要情報が定義されます。この後、指示や関連付けの管理といった関連タスクを実行できます。

第 100 章 Sterling Business Center でのサービスの検索

サービスを検索し、その詳細を表示するには、以下のオプションを使用できます。

- 「サービスの基本検索 (Basic Service Search)」: サービスの完全または部分的な識別子、サービスの完全または部分的な説明などの基本条件を指定して、クイック検索を実行できます。
- 「拡張検索 (Advanced Search)」: 選択した条件に基づく検索を実行できます。条件、および対応する演算子を選択してから、対応する値を選択または指定します。

サービスの検索は、「サービスの検索 (Service Search)」画面で行います。

Sterling Business Center でのサービスの基本検索

このタスクについて

サービスの基本検索を実行するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページの「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「サービスの検索 (Service Search)」画面が表示されます。「次を含むサービス ID (Service ID Contains)」テキスト・ボックスに、検索するサービスの完全または部分的な識別子を入力します。
4. 「次を含むサービス説明 (Service Description Contains)」テキスト・ボックスに、検索するサービスの完全または部分的な説明を入力します。
5. 「サービスの特性 (Service Characteristic)」ドロップダウン・リストから、検索するサービスのサービス特性を選択します。
6. 「検索 (Search)」をクリックします。

検索条件と一致するサービスが表示されます。ただし、検索条件に一致するサービスが 1 つしか存在しない場合は、「詳細情報 (Primary Information)」画面が表示されます。

注: 管理組織がサービス組織ではない場合は、管理組織のサービス組織で使用可能なサービスが表示されます。

Sterling Business Center でのサービスの拡張検索

このタスクについて

サービスの拡張検索を実行するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページの「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「サービスの検索 (Service Search)」画面が表示されます。「**拡張検索 (Advanced Search)**」をクリックします。
4. 「サービスの拡張検索 (Advanced Service Search)」パネルが表示されます。「**条件の選択 (Select Criteria)**」ドロップダウン・リストから、検索に含める条件を選択します。例えば、ステータスによってサービスを検索するには、「**条件の選択 (Select Criteria)**」ドロップダウン・リストから「**ステータス (Status)**」を選択します。
5. 「**演算子 (Operator)**」ドロップダウン・リストから、検索条件に使用する演算子を選択します。

対応するフィールドで、条件に対する適切な値を入力または選択します。各フィールドは、選択した演算子に基づいて表示されます。例えば、「**条件の選択 (Select Criteria)**」ドロップダウン・リストから「**有効開始日 (Effective Start Date)**」を選択し、「**演算子 (Operator)**」ドロップダウン・リストから「**範囲内 (Between)**」を選択した場合、適切な日付を入力または選択できる 2 つのフィールドが表示されます。

注: 最低でも 1 つの検索条件および該当する値の選択または入力が必要です。複数の検索条件を選択または入力した場合は、検索結果として、すべての条件に一致するサービスが返されます。

6. 「**検索 (Search)**」をクリックします。

検索条件と一致するサービスが表示されます。ただし、検索条件に一致するサービスが 1 つしか存在しない場合は、「**詳細情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。

注: 管理組織がサービス組織ではない場合は、管理組織のサービス組織で使用可能なサービスが表示されます。

検索条件を追加した Sterling Business Center でのサービスの拡張検索

このタスクについて

検索条件を追加して、より詳細な検索を実行し、検索結果を絞り込むことができます。

検索条件を追加するには、次の手順を実行します。

手順

1. 「サービスの拡張検索 (Advanced Service Search)」画面で、「**さらに条件を追加 (Add More Criteria)**」をクリックします。
2. 検索条件を指定するための新しい行が表示されます。適切な検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。

検索条件と一致するサービスが表示されます。ただし、検索条件に一致するサービスが 1 つしか存在しない場合は、「詳細情報 (Primary Information)」画面が表示されます。

注: 管理組織がサービス組織ではない場合は、管理組織のサービス組織で使用可能なサービスが表示されます。

Sterling Business Center でのサービス検索の保存

このタスクについて

特定のサービスを検索するたびに検索条件を入力しなくても済むように、サービス検索を保存しておくことができます。

サービス検索を保存するには、次の手順を実行します。

手順

1. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
2. 「サービスの検索 (Service Search)」画面が表示されます。適切な検索条件を入力します。または、「**サービスの拡張検索 (Advanced Service Search)**」をクリックして、適切な検索条件を入力します。
3. 「**保存済み検索 (Saved Searches)**」ドロップダウン・メニューから「**保存済み検索の作成 (Create Saved Search)**」を選択します。
4. 「検索の保存 (Save Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**保存済み検索名 (Saved Search Name)***」テキスト・ボックスに、保存する検索の名前を入力します。
5. 保存済み検索をお気に入りとしてマークするには、「**お気に入り検索に含める (Include in favorite searches)**」チェック・ボックスを選択します。保存済み検索をお気に入りとしてマーク付けすることによって、その保存済み検索にホーム・ページから素早く移動することができます。ホーム・ページの「**お気に入り検索 (Favorite Searches)**」パネルには、最近保存したお気に入り検索が最大 5 つ、ハイパーリンクとして表示されます。ホーム・ページのヘッダー・バーの「**お気に入り (Favorites)**」メニューを使用して、お気に入りの保存済み検索にアクセスすることもできます。
6. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

サービス検索が保存されます。保存した検索は、特定のサービスを検索する場合に使用できます。

注: * は必須フィールドを示します。

Sterling Business Center での保存済みサービス検索を使用した検索の実行

このタスクについて

保存済みサービス検索を使用してサービスを検索するには、次の手順を実行します。

手順

1. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
2. 「サービスの基本検索 (Basic Service Search)」画面が表示されます。「**保存済み検索 (Saved Searches)**」をクリックし、保存済みサービス検索のリストを表示します。または、「**拡張検索 (Advanced Search)**」をクリックして「**保存済み検索 (Saved Searches)**」をクリックします。

保存済みサービス検索がメニュー内に表示されます。お気に入りの保存済み検索が存在する場合は、この検索がリストの一番上に表示されます。

注: メニューには、最大 8 つの保存済み検索が表示されます。

3. 以下のいずれかのタスクを実行します。
 - 保存済み検索がメニューに表示されている場合は、この検索をクリックして、対応する検索結果を表示します。
 - 保存済み検索がメニューに表示されていない場合は、「**その他の検索... (More Searches...)**」をクリックします。「サービスの保存済み検索を検索 (Find Saved Searches for Services)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**次を含む保存済み検索名 (Saved Search Name Contains)**」フィールドに、保存済み検索の完全または部分的な名前を入力し、「**保存済み検索 (Saved Searches)**」パネルに表示される保存済み検索リストを絞り込みます。該当する検索結果を参照するには、保存済み検索の名前をダブルクリックします。または、保存済み検索名をクリックして「**選択 (Select)**」をクリックしても、対応する検索結果が表示されます。

注: 「**その他の検索... (More Searches...)**」ボタンは、保存済みサービス検索が 9 つ以上存在する場合のみ表示されます。

検索条件が設定され、検索結果が表示された「サービスの検索 (Service Search)」画面が表示されます。

Sterling Business Center での保存済みサービス検索の変更

このタスクについて

保存済みサービス検索を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページの「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
2. 「サービスの基本検索 (Basic Service Search)」画面が表示されます。「**保存済み検索 (Saved Searches)**」をクリックし、保存済みサービス検索のリストを表示します。または、「**拡張検索 (Advanced Search)**」をクリックして「**保存済み検索 (Saved Searches)**」をクリックします。

保存済みサービス検索がメニュー内に表示されます。お気に入りの保存済み検索が存在する場合は、この検索がリストの一番上に表示されます。

注: メニューには、最大 8 つの保存済み検索が表示されます。

3. 以下のいずれかのタスクを実行します。
 - 保存済み検索がメニューに表示されている場合は、この検索をクリックして、対応する検索結果を表示します。
 - 保存済み検索がメニューに表示されていない場合は、「**その他の検索... (More Searches...)**」をクリックします。「**サービスの保存済み検索を検索 (Find Saved Searches for Services)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**次を含む保存済み検索名 (Saved Search Name Contains)**」フィールドに、保存済み検索の完全または部分的な名前を入力し、「**保存済み検索 (Saved Searches)**」パネルに表示される保存済み検索リストを絞り込みます。該当する検索画面を参照するには、保存済み検索の名前をダブルクリックします。または、保存済み検索名をクリックして「**選択 (Select)**」をクリックしても、対応する検索画面が表示されます。

注: 「**その他の検索... (More Searches...)**」ボタンは、保存済みサービス検索が 9 つ以上存在する場合のみ表示されます。

4. 検索条件が設定された「サービスの検索 (Service Search)」画面が表示されます。適切な情報を変更し、「**保存済み検索 (Saved Searches)**」ドロップダウン・メニューから「**保存済み検索の作成 (Create Saved Search)**」を選択します。
5. 「**検索の保存 (Save Search)**」ダイアログ・ボックスが表示され、元の保存済み検索名が「**保存済み検索名 (Saved Search Name)**」フィールドに設定されます。以下のいずれかのタスクを実行します。
 - 元の保存済み検索を上書きするには、この名前をそのまま使用します。
 - この検索を新規の名前で保存するには、新規の検索名を入力します。
6. 保存済み検索をお気に入りリストに含めるには、「**お気に入り検索に含める (Include in favorite searches)**」チェック・ボックスを選択します。保存済み検索をお気に入りとしてマーク付けすることによって、その保存済み検索にホーム・ページから素早く移動することができます。ホーム・ページの「**お気に入り検索 (Favorite Searches)**」パネルには、最近保存したお気に入り検索が最大 5 つ、ハイパーリンクとして表示されます。ホーム・ページのヘッダー・バーにある「**お気に入り (Favorites)**」メニューを使用して、お気に入りの保存済み検索にアクセスすることもできます。
7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

保存済みサービス検索が変更されます。

第 101 章 手動での指示のサービスへの追加

このタスクについて

サービス指示コードがまだ存在しない場合、またはサービスに対して特別指示を作成する場合、フリー・フォーム・テキストの指示を作成できます。

「サービス指示 (Service Instructions)」画面から、指示を手動でサービスに追加できます。

サービスに指示を手動で追加するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページで「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「指示の管理 (Manage Instructions)」をクリックします。

「サービス指示 (Service Instructions)」画面が表示されます。「サービス指示 (Service Instructions)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「タイプの指示を管理 (Manage instructions for type)」ドロップダウン・リストから指示タイプを選択して、選択した指示タイプに関連するすべての指示を表示します。リストに、構成されたサービス指示タイプがすべて表示されます。
 7. 「アイテムの指示 (Item Instructions)」画面の「指示 (Instructions)」パネルで、以下の手順を実行します。
 - a. 「追加 (Add)」をクリックします。
 - b. 「新規指示 (New Instruction)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「詳細情報 (Details)」領域で、「テキストの手動入力 (Enter text manually)」ラジオ・ボタンを選択します。
 - c. 「テキスト (Text)」ボックスで、指示テキストを入力します。
 - d. 「保存 (Save)」をクリックします。

8. 「サービス指示 (Service Instructions)」画面で「**保存 (Save)**」をクリックします。

指示が手動でサービスに追加されます。

第 102 章 既存指示コードからの指示のサービスへの追加

このタスクについて

定義済みの指示コード・セットをサービスに対して使用することを選択できます。例えば、壊れやすいアイテムに関連付けが可能な、「取り扱い注意」のアイテム指示コードが既にあるとします。

「サービス指示 (Service Instructions)」画面で、既存の指示コードから指示を追加できます。

既存の指示コードからサービスに指示を追加するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**サービス検索 (Service Search)**」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「**サービス (Services)**」パネルに表示される検索結果リストから、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**指示の管理 (Manage Instructions)**」をクリックします。

「サービス指示 (Service Instructions)」画面が表示されます。「サービス指示 (Service Instructions)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**タイプの指示を管理 (Manage instructions for type)**」ドロップダウン・リストから指示タイプを選択して、選択した指示タイプに関連するすべての指示を表示します。リストに、構成されたサービス指示タイプがすべて表示されます。
 7. 「サービス指示 (Service Instructions)」画面の「**指示 (Instructions)**」パネルで、以下の手順を実行します。
 - a. 「**追加 (Add)**」をクリックします。
 - b. 「**新規指示 (New Instruction)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**詳細情報 (Details)**」領域で、「**既存の指示コードを使用 (Use existing instruction code)**」ラジオ・ボタンを選択します。
 - c. 「**指示コード (Instruction Code)**」ドロップダウン・リストから、該当する指示コードを選択します。

- d. 「保存 (Save)」をクリックします。
8. 「サービス指示 (Service Instructions)」画面で「保存 (Save)」をクリックします。

既存の指示コードからの指示コードが、サービスに追加されます。

第 103 章 サービスに対する指示順序の変更

このタスクについて

サービスに対するすべての指示が作成された後で、指示の順序を並べかえることができます。例えば、サービスに対する指示セットで、二重の気泡緩衝材によるアイテムの梱包指示が最初の指示になるようにしたい場合があります。

「サービス指示 (Service Instructions)」画面から、指示の順序を変更できます。

サービスに対する指示順序を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページで「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「指示の管理 (Manage Instructions)」をクリックします。

「サービス指示 (Service Instructions)」画面が表示されます。「サービス指示 (Service Instructions)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「タイプの指示を管理 (Manage instructions for type)」ドロップダウン・リストから指示タイプを選択して、選択した指示タイプに関連するすべての指示を表示します。リストに、構成されたサービス指示タイプがすべて表示されます。
 7. 「アイテムの指示 (Item Instructions)」画面の「指示 (Instructions)」パネルで、以下の手順のいずれを実行します。
 - 指示の横にあるチェック・ボックスを選択して、「上方へ移動 (Move Up)」アイコンまたは「下方へ移動 (Move Down)」アイコンをクリックし、指示の順序を変更します。
 - 行全体を選択して、指示を希望する位置にドラッグ・アンド・ドロップします。
 8. 「サービス指示 (Service Instructions)」画面で「保存 (Save)」をクリックします。

指示の順序が変更されます。

第 104 章 サービスの指示の変更

このタスクについて

指示の説明の変更、手動によるテキストから指示の定義済みセットへの指示タイプの変更、または指示の定義済みセットから手動によるテキストへの指示タイプの変更を選択できます。

「サービス指示 (Service Instructions)」画面で、指示を変更できます。

サービスの指示を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。

「サービス指示 (Service Instructions)」画面が表示されます。「サービス指示 (Service Instructions)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
5. 「**タイプの指示を管理 (Manage Instructions for type)**」ドロップダウン・リストから指示タイプを選択して、選択した指示タイプに関連するすべての指示を表示します。リストに、構成されたサービス指示タイプがすべて表示されます。
 6. 「サービス指示 (Service Instructions)」画面の「指示 (Instructions)」パネルで、以下の手順を実行します。
 - a. 変更する指示行を選択します。

「**詳細情報 (Details)**」領域は、選択した指示の詳細により設定されます。
 - b. 「**詳細情報 (Details)**」領域で、必要な変更を行います。
 7. 「サービス指示 (Service Instructions)」画面で「**保存 (Save)**」をクリックします。

サービスの指示が変更されます。

第 105 章 指示のサービスからの削除

このタスクについて

手動で追加された指示および既存の指示コードから追加された指示を削除できます。サービスに手動で追加された指示を削除する場合、指示はデータベースから削除されます。ただし、既存の指示コードから追加された指示を削除する場合、指示はデータベースから削除されずに関連付けのみサービスから解除されます。

指示をサービスから削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**サービス検索 (Service Search)**」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「**サービス (Services)**」パネルに表示される検索結果リストから、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**指示の管理 (Manage Instructions)**」をクリックします。

「**サービス指示 (Service Instructions)**」画面が表示されます。「**サービス指示 (Service Instructions)**」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**タイプの指示を管理 (Manage instructions for type)**」ドロップダウン・リストから指示タイプを選択して、選択した指示タイプに関連するすべての指示を表示します。リストに、構成されたサービス指示タイプがすべて表示されます。
 7. 「**サービス指示 (Service Instructions)**」画面の「**指示 (Instruction)**」パネルで、以下の手順を実行します。
 - a. サービスから削除する指示を選択します。
 - b. 行がハイライトされて、「**詳細 (Details)**」パネルが使用可能になります。「**削除 (Delete)**」をクリックします。
 - c. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、選択したサービスをリストから削除します。

指示がサービスから削除されます。

第 106 章 サービスの拡張フィールドへの値の割り当て

このタスクについて

「拡張フィールド (Extended Fields)」画面から、すべての拡張フィールドに対して値を指定できます。

「拡張フィールド (Extended Fields)」画面に表示される拡張フィールドは、YFS_ITEM 表から設定されます。拡張された YFS_ITEM 表のすべての列は、「拡張フィールド (Extended Fields)」画面のフィールドとして表示されます。

サービスの拡張フィールドに値を割り当てるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**サービス検索 (Service Search)**」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「**サービス (Services)**」パネルに表示される検索結果リストから、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**拡張フィールドの管理 (Manage Extended Fields)**」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 表示される拡張フィールドの値を入力します。ただし、拡張フィールドが「**分類目的 (Classification Purpose)**」に関連付けられている場合、拡張フィールドの横に「**検索 (Search)**」アイコンが表示されます。「**検索 (Search)**」アイコンをクリックします。拡張フィールドの分類値を備えたダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 分類値をツリーから選択します。
 - b. 「**選択 (Select)**」をクリックして、分類を選択して、ダイアログ・ボックスを閉じます。

分類値が、拡張フィールドに関連するボックスに表示されます。

7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

拡張フィールドに対する値が、サービスに割り当てられます

第 107 章 提供サービスのアイテムへの関連付け

このタスクについて

提供サービスをアイテムに関連付けて、サービスとアイテムの関連を指示できます。例えば、アイテム (テレビ) の提供サービスとしてテレビの取り付けを割り当てられます。関連付けられた提供サービスの場合、詳細 (アイテムの指定数量に必要なサービス数量、サービスに必要なスキル・セットなど) を定義できます。

「提供サービスの関連付け (Provided Service Associations)」画面から、提供サービスをアイテムに関連付けられます。

提供サービスをアイテムに関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**提供サービスの管理 (Manage Provided Services)**」をクリックします。

「提供サービスの関連付け (Provided Service Associations)」画面が表示されます。「**アイテム・サービスの関連付け (Item Service Associations)**」パネルで、以下の読み取り専用ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」パネルで、「**追加 (Add)**」をクリックします。
 7. 「**基本的なサービス検索 (Basic Service Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックします。または、「**基本的なサービス検索 (Basic Service Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、リストされるサービス・リストを絞り込みます。
 8. サービス・リストを備えた「**サービス (Services)**」パネルが表示されます。サービスを選択してから、「**選択 (Select)**」をクリックします。

9. サービスの詳細は、「詳細情報 (Details)」領域に設定されます。以下の手順を実行します。
- a. 「このサービスは <単位数> 数量を配達するのにキャパシティの <数> が必要 (This service requires <number> of capacity to deliver <number of units> quantity)」で、キャパシティおよび数量の適切な値を入力します。例えば、サービス作成時に単位に時間を選択した場合、キャパシティの単位を時間で入力するとともに、サービスの単位数量の数を入力します。
 - b. 提供サービスがアイテムのフローに依存する場合、「関連明細の入力が完了するまでサービスのスケジューリングを保留にする (Hold scheduling the service until the associated line has completed)」チェック・ボックスを選択します。
 - c. 「このサービスは <単位時間数> の完了が必要 (This service must be completed <number of unit of time>)」で、適切な値を入力してオフセット時間を指定し、さらに「<オプションの選択> (<select an option>)」を入力してサービス完了が必要な時期を指定します。オフセット時間は、アイテムの配達前後で、サービスの完了に必要な時間です。オフセット時間がアイテムの配達前に設定されると、ServiceTimeOffset には負の値が設定され、それ以外は正の値が設定されます。
 - d. 「使用可能なスキル (Available Skills)」リストから、サービス・アイテムに関連付けられるスキルを選択します。
 - e. 「右に移動 (Move Right)」アイコンをクリックして、選択したスキルを「関連付けられたスキル (Associated Skills)」リストに移動します。

ヒント: 「右に移動 (Move Right)」アイコンをクリックして、使用可能なスキルをすべて「関連付けられたスキル (Associated Skills)」リストに移動します。

10. 「保存 (Save)」をクリックします。

提供サービスがアイテムに関連付けられます。

第 108 章 アイテムに関連付けられた提供サービスの変更

このタスクについて

関連付けられた提供サービスの詳細 (アイテムの指定数量に必要なサービス数量、サービスに必要なスキル・セットなど) を変更できます。

アイテムに関連付けられた提供サービスを変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**提供サービスの管理 (Manage Provided Services)**」をクリックします。

「提供サービスの関連付け (Provided Service Associations)」画面が表示されます。「**アイテム・サービスの関連付け (Item Service Associations)**」パネルで、以下の読み取り専用ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」パネルから、変更するサービスを選択します。
 7. 選択したサービスに関して、以下を変更できます。
 - a. サービスの単位数
 - b. アイテム数量
 - c. 関連付けられた明細が完了するまでサービス・スケジューリングを保留にするか否か
 - d. オフセット時間
 - e. サービスは配達前に完了が必要か配達後に完了が必要かどうか
 - f. サービス・スキル
 8. 「**アイテムの詳細 (Item Details)**」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

アイテムに関連付けられた提供サービスが変更されます。

第 109 章 アイテムからの提供サービスの関連付け解除

このタスクについて

提供サービスの関連付けをアイテムから解除する場合、関連付けられたサービス・スキルの関連付けもアイテムから解除されます。

「提供サービスの関連付け (Provided Service Associations)」画面で、提供サービスの関連付けをアイテムから解除できます。

提供サービスの関連付けをアイテムから解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**提供サービスの管理 (Manage Provided Services)**」をクリックします。

「提供サービスの関連付け (Provided Service Associations)」画面が表示されます。「**アイテム・サービスの関連付け (Item Service Associations)**」パネルで、以下の読み取り専用ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」パネルで、アイテムから関連付けを解除するサービスを選択します。
 7. 「**詳細情報 (Details)**」領域は、選択したサービスの詳細により有効になります。「**削除 (Remove)**」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、サービスを削除します。

選択したサービスおよび関連付けられたサービス・スキルが、データベースから削除されます。

第 110 章 配達サービスのアイテムへの関連付け

このタスクについて

配達サービスをアイテムに関連付けて、サービスとアイテムの関連を指示できます。例えば、アイテム (洗濯機) の配達サービスとして洗濯機の配達を割り当てられます。関連付けられた配達サービスの場合、詳細 (アイテムの指定数量に必要なサービス数量、サービスに必要なスキル・セットなど) を定義できます。

「配達サービスの関連付け (Delivery Service Associations)」画面から、アイテムの配達サービスを関連付けられます。

配達サービスをアイテムに関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**配達サービスの管理 (Manage Delivery Services)**」をクリックします。

「配達サービスの関連付け (Delivery Service Associations)」画面が、以下の読み取り専用テキスト・ボックスとともに表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」パネルで、「**追加 (Add)**」をクリックします。
 7. 「**基本的なサービス検索 (Basic Service Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックします。または、「**基本的なサービス検索 (Basic Service Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、リストされるサービス・リストを絞り込みます。
 8. サービス・リストを備えた「**サービス (Services)**」パネルが表示されます。サービスを選択してから、「**選択 (Select)**」をクリックします。

9. サービスの詳細は、「詳細情報 (Details)」領域に設定されます。以下の手順を実行します。
- 「このサービスは <単位数> 数量を配達するのにキャパシティの <数> が必要 (This service requires <number> of capacity to deliver <number of units> quantity)」で、キャパシティおよび数量の適切な値を入力します。例えば、サービス作成時に単位に時間を選択した場合、キャパシティの単位を時間で入力するとともに、サービスの単位数の数を入力します。
 - 「使用可能なスキル (Available Skills)」リストから、サービス・アイテムに関連付けられるスキルを選択します。
 - 「右に移動 (Move Right)」アイコンをクリックして、選択したスキルを「関連付けられたスキル (Associated Skills)」リストに移動します。
- ヒント: 「右に移動 (Move Right)」アイコンをクリックして、使用可能なスキルをすべて「関連付けられたスキル (Associated Skills)」リストに移動します。
10. 「保存 (Save)」をクリックします。

配達サービスがアイテムに関連付けられます。

第 111 章 アイテムに関連付けられた配達サービスの変更

このタスクについて

関連付けられた配達サービスの詳細 (アイテムの指定数量に必要なサービス数量、サービスに必要なスキル・セットなど) を変更できます。

アイテムに関連付けられた配達サービスを変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Task)**」パネルで、「**配達サービスの管理 (Manage Delivery Services)**」をクリックします。

「**返品ピックアップ・サービスの関連付け (Return Pickup Service Associations)**」画面が、以下の読み取り専用テキスト・ボックスとともに表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」パネルから、変更するサービスを選択します。
 7. 選択したサービスに関して、以下を変更できます。
 - a. サービスの単位数
 - b. アイテム数量
 - c. サービス・スキル
 8. 「**アイテムの詳細 (Item Details)**」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

アイテムに関連付けられた配達サービスが変更されます。

第 112 章 アイテムからの配達サービスの関連付け解除

このタスクについて

配達サービスの関連付けをアイテムから解除する場合、関連付けられたサービス・スキルの関連付けもアイテムから解除されます。

配達サービスの関連付けをアイテムから解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**配達サービスの管理 (Manage Delivery Services)**」をクリックします。

「配達サービスの関連付け (Delivery Service Associations)」画面が、以下の読み取り専用テキスト・ボックスとともに表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」パネルで、アイテムから関連付けを解除するサービスを選択します。
 7. 「**詳細情報 (Details)**」領域は、選択したサービスの詳細により有効になります。「**削除 (Remove)**」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、サービスを削除します。

選択したサービスおよび関連付けられたサービス・スキルが、データベースから削除されます。

第 113 章 返品ピックアップ・サービスのアイテムへの関連付け

このタスクについて

返品ピックアップ・サービスをアイテムに関連付けて、顧客がアイテムの返品を希望する場合、顧客のロケーションからアイテムがピックアップ可能かどうかを指示できます。

「返品ピックアップ・サービスの関連付け (Return Pickup Service Associations)」画面から、返品ピックアップ・サービスをアイテムに関連付けできます。

返品ピックアップ・サービスをアイテムに関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Task)**」パネルで、「**返品ピックアップ・サービスの管理 (Manage Return Pickup Services)**」をクリックします。

「返品ピックアップ・サービスの関連付け (Return Pickup Service Associations)」画面が、以下の読み取り専用テキスト・ボックスとともに表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」パネルで、「**追加 (Add)**」をクリックします。
 7. 「**基本的なサービス検索 (Basic Service Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックします。または、「**基本的なサービス検索 (Basic Service Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、リストされるサービス・リストを絞り込みます。
 8. サービス・リストを備えた「**サービス (Services)**」パネルが表示されます。サービスを選択してから、「**選択 (Select)**」をクリックします。

9. サービスの詳細は、「詳細情報 (Details)」領域に設定されます。以下の手順を実行します。
- a. 「このサービスは <単位数> 数量を配達するのにキャパシティの <数> が必要 (This service requires <number> of capacity to deliver <number of units> quantity)」で、キャパシティおよび数量の適切な値を入力します。例えば、サービス作成時に単位に時間を選択した場合、キャパシティの単位を時間で入力するとともに、サービスの単位数量の数を入力します。
 - b. 「使用可能なスキル (Available Skills)」リストから、サービス・アイテムに関連付けられるスキルを選択します。
 - c. 「右に移動 (Move Right)」アイコンをクリックして、選択したスキルを「関連付けられたスキル (Associated Skills)」リストに移動します。
- ヒント: 「右に移動 (Move Right)」アイコンをクリックして、使用可能なスキルをすべて「関連付けられたスキル (Associated Skills)」リストに移動します。
10. 「保存 (Save)」をクリックします。

返品ピックアップ・サービスがアイテムに関連付けられます。

第 114 章 アイテムに関連付けられた返品ピックアップ・サービスの変更

このタスクについて

関連付けられた返品ピックアップ・サービスの詳細 (アイテムの指定数量に必要なサービス数量、サービスに必要なスキル・セットなど) を変更できます。

アイテムに関連付けられた返品ピックアップ・サービスを変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Task)**」パネルで、「**返品ピックアップ・サービスの管理 (Manage Return Pickup Services)**」をクリックします。

「返品ピックアップ・サービスの関連付け (Return Pickup Service Associations)」画面が、以下の読み取り専用テキスト・ボックスとともに表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」パネルから、変更するサービスを選択します。
 7. 選択したサービスに関して、以下を変更できます。
 - a. サービスの単位数
 - b. アイテム数量
 - c. サービス・スキル
 8. 「**アイテムの詳細 (Item Details)**」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

アイテムに関連付けられた返品ピックアップ・サービスが変更されます。

第 115 章 アイテムからの返品ピックアップ・サービスの関連付け解除

このタスクについて

返品ピックアップ・サービスの関連付けをアイテムから解除する場合、関連付けられたサービス・スキルの関連付けもアイテムから解除されます。

返品ピックアップ・サービスの関連付けをアイテムから解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Task)**」パネルで、「**返品ピックアップ・サービスの管理 (Manage Return Pickup Services)**」をクリックします。

「**返品ピックアップ・サービスの関連付け (Return Pickup Service Associations)**」画面が、以下の読み取り専用テキスト・ボックスとともに表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」パネルから、変更するサービスを選択します。
 7. 選択したサービスに関して、以下を変更できます。
 - a. サービスの単位数
 - b. アイテム数量

選択したサービスおよび関連付けられたサービス・スキルが、データベースから削除されます。

第 116 章 物理キットまたはバンドル・アイテムに対する手動でのアイテムの割り当ておよびアイテム数量の定義

このタスクについて

物理キットまたはバンドル・アイテムを組み立てるために、手動でアイテムを割り当て、物理キットまたはバンドル・アイテムの一部となるアイテム数量を定義できます。

「コンポーネント (Components)」画面から、物理キットまたはバンドル・アイテムに対して、手動でのアイテムの割り当ておよびアイテム数量の定義ができます。

物理キットまたはバンドル・アイテムに対して、手動でのアイテムの割り当ておよびアイテム数量の定義をするには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**コンポーネントの管理 (Manage Components)**」をクリックします。
 6. 「**コンポーネント (Components)**」パネルは、「**手動で指定 (Specify Manually)**」ラジオ・ボタンがデフォルトで選択された状態で表示されます。「**アイテムの追加 (Add Item)**」をクリックします。
 7. 「**基本的なアイテム検索 (Basic Item Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして、使用可能なすべてのアイテムを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。

8. 表示されるアイテム・リストから、対応するアイテムの横にあるチェック・ボックスを選択します。
9. 「**選択 (Select)**」をクリックして、対応するアイテムをアイテムに追加します。
10. 選択したアイテムがアイテム・リストに追加されます。「**数量 (Quantity)**」ボックスで、アイテム・キットまたはアイテム・バンドルの一部となるアイテムの数量を入力します。ボックスは、ブランクのままにすることも 0 の値を割り当てることもできません。これらのいずれかが発生すると、「**数量 (Quantity)**」ボックスには、アイテムに以前割り当てられた値が表示されます。
11. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

アイテムが物理キットまたはバンドル・アイテムに割り当てられます。また、アイテム数量も定義されます。

第 117 章 物理キットまたはバンドル・アイテムに対する手動でのサービス・アイテムの割り当ておよびサービス数量の定義

このタスクについて

物理キットまたはバンドル・アイテムを組み立てるために、手動でサービスを割り当て、物理キットまたはバンドル・アイテムの一部となるアイテム数量を定義できます。このサービスでは、アイテムを組み立てる方法に関するプロセスが定義されます。

「コンポーネント (Components)」画面から、物理キットまたはバンドル・アイテムに対して、手動でのサービスの割り当ておよびサービス数量の定義ができます。

物理キットまたはバンドル・アイテムに対して、手動でのサービス・アイテムの割り当ておよびサービス数量の定義をするには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**コンポーネントの管理 (Manage Components)**」をクリックします。
 6. 「**コンポーネント (Components)**」パネルは、「**手動で指定 (Specify Manually)**」ラジオ・ボタンがデフォルトで選択された状態で表示されます。「**サービスの追加 (Add Service)**」をクリックします。
 7. 「**基本的なサービス検索 (Basic Service Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして、使用可能なすべてのサービスを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。

8. 表示される「**サービス (Services)**」リストから、対応するサービスの横にあるチェック・ボックスを選択します。
9. 「**選択 (Select)**」をクリックします。
10. 選択したサービスがサービス・リストに追加されます。「**数量 (Quantity)**」ボックスで、アイテムの一部となるサービスの数量を入力します。ボックスは、ブランクのままにすることも 0 の値を割り当てることもできません。これらのいずれかが発生すると、「**数量 (Quantity)**」ボックスには、アイテムに以前割り当てられた値が表示されます。
11. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

サービスが物理キットまたはバンドル・アイテムに割り当てられます。また、サービス数量も定義されます。

第 118 章 物理キットまたはバンドル・アイテムからの既存のアイテムまたはサービスの手動削除

このタスクについて

物理キットまたはバンドル・アイテムから、既存のアイテムまたはサービスを削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**コンポーネントの管理 (Manage Components)**」をクリックします。
 6. 「**コンポーネント (Components)**」パネルは、「**手動で指定 (Specify Manually)**」ラジオ・ボタンがデフォルトで選択された状態で表示されます。アイテムから削除するアイテムまたはサービスを選択します。
 7. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、選択したサービスをリストから削除します。
 9. 選択したアイテムまたはサービスがリストから削除されます。

第 119 章 Sterling Business Center での設定可能アイテムの作成

設定可能アイテムは、モデルを設定可能アイテムに関連付けることにより作成できます。モデルは、該当のアイテムに関する可能かつ有効なすべての設定を表します。アイテムが設定可能アイテムの場合、顧客は、関連付けられたモデルに基づき、Web チャンネル・アプリケーションでアイテムを作成できます。設定可能アイテムの事前設定も、顧客が Web チャンネル・アプリケーションで選択することにより、Sterling Business Center アプリケーションで作成できます。

設定可能アイテムを作成するには、以下のタスクを実行します。

1. コンポーネントがないバンドル・アイテムを、Sterling Business Center アプリケーションで作成します。
2. マスター・カタログで、バンドル・アイテムをカテゴリに割り当てます。
3. バンドル・アイテムのバンドル価格設定方式を「親とコンポーネントの双方を含む (Include both parent and components)」に設定します。
4. Visual Product Modeler アプリケーションでモデルを作成するとともに製品 ID をモデルに関連付けます。この製品 ID が、Visual Product Modeler アプリケーションで作成されたバンドル・アイテムに対応します。モデルの定義について詳しくは、「Visual Modeler 管理ガイド」を参照してください。
5. Visual Product Modeler アプリケーションで定義されたモデルを、バンドル・アイテムに関連付けます。

関連項目:

- Sterling Business Center でのバンドル・アイテムの作成
- カテゴリへのアイテムの割り当て
- アイテムの取引管理および販売の詳細の定義
- バンドル・アイテムへのモデルの関連付け

バンドル・アイテムへのモデルの関連付け

このタスクについて

モデルをバンドル・アイテムに関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページで「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。

3. 表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「**拡張検索 (Advanced Search)**」をクリックして、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、バンドル・アイテムに対応する「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。

「主要情報 (Primary Information)」画面が、以下の読み取り専用ボックスとともに表示されます。

- 簡略説明
- アイテムの特性
- ステータス

5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「**コンポーネントの管理 (Manage Components)**」をクリックします。
6. 「コンポーネント (Components)」パネルが表示されます。「**設定モデルの使用 (Use Configuration Model)**」ラジオ・ボタンを選択します。
7. 「**設定モデル (Configuration Model)***」ボックスの横の「**検索 (Search)**」アイコンをクリックして、使用するモデルを検索します。
8. 「設定モデル (Configuration Model)」ダイアログ・ボックスが表示されます。ロケール固有のモデルのみ表示する「**モデル・グループ (Model Groups)**」ツリーで、使用するモデルをクリックして選択し、さらに「**選択 (Select)**」をクリックします。

選択したモデルが、「**設定モデル (Configuration Model)***」ボックスに表示されます。

9. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

設定可能アイテムを作成後、このアイテムのさまざまな事前設定を引き続き作成できます。

タスクの結果

関連項目:

- Sterling Business Center での事前設定済みアイテムの作成

第 120 章 Sterling Business Center での事前設定済みアイテムの作成

設定可能アイテムを作成後、このアイテムのさまざまな事前設定を作成できます。顧客は、Web チャネル・アプリケーションで、これらの事前設定から選択して、オーダーに適用される事前設定を変更できます。

事前設定済みアイテムを作成するには、以下の手順を実行します。

1. バンドル・アイテムまたは物理キット・アイテムを作成します。
2. バンドル・アイテムを作成した場合、バンドル・アイテムのバンドル価格設定方式を「親のみを含める (Only include parent)」に設定します。
3. 事前設定済みアイテムの作成を完了するには、設定可能アイテムに関連付けられたモデルを使用する必要があります。設定可能アイテムは、この事前設定の定義対象です。

関連項目:

- Sterling Business Center でのバンドル・アイテムの作成または Sterling Business Center での物理キット・アイテムの作成
- アイテムの取引管理および販売の詳細の定義
- モデルを使用しての事前設定済みアイテムとしてのアイテムの作成

モデルを使用しての事前設定済みアイテムとしてのアイテムの作成 このタスクについて

モデルを使用して、事前設定済みアイテムとしてアイテムを作成するには、以下の手順を実行します。

手順

1. 事前設定済みアイテムとして作成するアイテムに対応する「主要情報 (Primary Information)」画面で、以下の手順を実行します。
 - a. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「コンポーネントの管理 (Manage Components)」をクリックします。
 - b. 「コンポーネント (Components)」パネルが表示されます。「設定モデルの使用 (Use Configuration Model)」ラジオ・ボタンを選択します。
 - c. 「設定モデル (Configuration Model)*」ボックスの横の「検索 (Search)」アイコンをクリックして、使用するモデルを検索します。
 - d. 「設定モデル (Configuration Model)」ダイアログ・ボックスが表示されます。ロケール固有のモデルのみ表示する「モデル・グループ (Model Groups)」ツリーで、この事前設定の定義対象の設定可能アイテムに関連付けられたモデルに移動し、「選択 (Select)」をクリックします。
 - e. 選択したモデルが、「設定モデル (Configuration Model)」ボックスに表示されます。

- f. 「事前設定済みかどうか (Is Pre-Configured)」チェック・ボックスを選択します。

注: 「事前設定済みかどうか (Is Pre-Configured)」チェック・ボックスは、「設定モデル (Configuration Model)」ダイアログ・ボックスでモデルを選択した場合のみ使用できます。

2. 「設定の更新 (Update Configuration)」をクリックします。
3. 「アイテム・コンフィギュレーター (Item Configurator)」ダイアログ・ボックスが表示されます。対応する設定のアイテムを選択して、「保存 (Save)」をクリックします。

アイテム ID に関連付けられた選択済みアイテムが「コンポーネント (Components)」パネルに表示されます。ただし、関連付けられたアイテム ID がない選択済みアイテムは、アイテムの指示とみなされて、「コンポーネント (Components)」パネルに表示されません。

4. 「保存 (Save)」をクリックします。

タスクの結果

注: * は必須フィールドを示します。

第 121 章 設定可能アイテムまたは事前設定済みアイテムの設定モデルの変更

このタスクについて

設定可能アイテムまたは事前設定済みアイテムの設定モデルを変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページで「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「拡張検索 (Advanced Search)」をクリックして、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、対応する「アイテム ID (Item ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。

「主要情報 (Primary Information)」画面が、以下の読み取り専用ボックスとともに表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「コンポーネントの管理 (Manage Components)」をクリックします。
 6. 「コンポーネント (Components)」パネルは、設定モデルが「設定モデル (Configuration Model)*」ボックスに設定された状態が表示されます。「設定モデル (Configuration Model)*」ボックスの横の「検索 (Search)」アイコンをクリックして、使用するモデルを検索します。
 7. 確認を求めるメッセージが表示されます。「はい (Yes)」をクリックして、モデルを変更します。
 8. 「設定モデル (Configuration Model)」ダイアログ・ボックスが表示されます。ロケール固有のモデルのみ表示する「モデル・グループ (Model Groups)」ツリーで、使用するモデルに移動してから、「選択 (Select)」をクリックします。

選択したモデルが、「設定モデル (Configuration Model)*」ボックスに表示されます。

メモ:

- 新規モデルが設定可能アイテムに関連付けられる場合、今後、以前の設定はアイテムに適用できません。

- 新規モデルが事前設定済みアイテムに関連付けられる場合、今後、以前の事前設定はアイテムに適用できません。また、「事前設定済みかどうか (IsPreconfigured)」チェック・ボックスを選択して、新規に選択したモデルに対して新規事前設定を定義する必要があります。
9. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

第 122 章 事前設定済みアイテムの設定の変更

このタスクについて

事前設定済みアイテムの設定を変更することができます。例えば、1000 W のスピーカーが使用可能なホーム・シアター・システムがあり、2000 W のスピーカーに設定を変更する場合、スピーカーの設定を変更できます。

事前設定済みアイテムの設定を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「**拡張検索 (Advanced Search)**」をクリックして、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、対応する「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。

「**主要情報 (Primary Information)**」画面が、以下の読み取り専用ボックスとともに表示されます。

- 簡略説明
- アイテムの特性
- ステータス

5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**コンポーネントの管理 (Manage Components)**」をクリックします。
6. 「**コンポーネント (Components)**」パネルは、物理キット・アイテムまたはバンドル・アイテムの事前設定済みアイテムのリストとともに表示されます。「**設定の更新 (Update Configuration)**」をクリックします。
7. 「**アイテム・コンフィギュレーター (Item Configurator)**」ダイアログ・ボックスが、事前設定済みアイテムの詳細とともに表示されます。アイテムを選択することにより事前設定済みアイテムの設定を、適切な設定で変更してから、「**保存 (Save)**」をクリックします。
8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックします。

選択したアイテムが表示されます。

注: * は必須フィールドを示します。

第 123 章 Sterling Business Center でのアイテム詳細のプレビュー

このタスクについて

アイテムが作成され、その属性が定義された後で、アイテムの詳細がエンド・ユーザーに対してどのように表示されるかを、Web チャンネル・アプリケーションでプレビューできます。例えば、アイテムの画像を変更する場合、対応する「アイテムの詳細 (Item Details)」画面で新規画像を使用するとどのように見えるかを、Web チャンネル・アプリケーションでプレビューできます。以下のアイテムの設定を確実に行います。

- アイテムは、Web チャンネル・アプリケーションでゲスト・ユーザーが参照できます。
- アイテムは、カタログ・インデックスが作成されたカタログに割り当てられます。

上記のいずれかの設定が行われない場合、「アイテム詳細のプレビュー (Preview Item Details)」関連タスクをクリックすると、ブランク・ページが表示されます。

注: 「保留 (Held)」ステータスのアイテムおよびサービスの場合、「アイテム詳細のプレビュー (Preview Item Details)」関連タスクは使用できません。

アイテムの詳細をプレビューするには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページで「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」オプションか「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「アイテム詳細のプレビュー (Preview Item Details)」をクリックします。

新規ブラウザー・ウィンドウで、Web チャンネル・アプリケーションの対応するアイテム詳細画面が表示されます。

第 124 章 付加価値サービスへのサービス・アクティビティの追加

このタスクについて

サービス・アクティビティは、付加価値サービスに追加することができ、さらに一連の指示に細分化できます。サービス・アクティビティ指示により、サービス・アクティビティの実行方法の詳細が提供されます。例えば、アクセサリ追加のサービス・アクティビティの場合、パッケージ内でクーポンの配置が必要な場所、適用が必要な特別なラベリング方法などを指示できます。

注: 在庫の更新が `confirmWorkOrder()` API または `confirmWorkOrderActivity()` API を使用して行われるように、少なくとも 1 つのサービス・アクティビティを付加価値サービスに追加する必要があります。

サービス・アクティビティは、「サービス・アクティビティ (Service Activities)」画面で付加価値サービスに追加できます。

サービス・アクティビティを付加価値サービスに追加するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページで「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクもクリックできます。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」オプションか「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「サービス (Services)」パネルで、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「サービス・アクティビティの管理 (Manage Service Activities)」をクリックします。
6. 表示された「アクティビティ (Activities)」パネルで、「追加 (Add)」をクリックします。
7. 「サービス・アクティビティの作成 (Create Service Activity)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「アクティビティ・コード (Activity Code)*」ドロップダウン・リストからサービス・アクティビティを選択し、「保存 (Save)」をクリックします。
8. 「サービス・アクティビティ (Service Activity)」ダイアログ・ボックスが表示されます。定義済みの指示セットの使用、または新規指示の作成か指示の変更を行うかどうかにより、以下のいずれかを実行します。

条件により、以下を実行します。

指示を既に作成済みであり、指示に対する変更はいっさいありません。

「保存 (Save)」をクリックして、「アクティビティーの詳細 (Activity Details)」ダイアログ・ボックスを閉じます。

既に作成済みの指示の順序を変更します。

- a. 指示行を選択してから、「上方へ移動 (Move Up)」アイコンまたは「下方へ移動 (Move Down)」アイコンのいずれかをクリックし、指示を指示リスト上の必要な位置に移動します。指示リスト上の指示の位置は、指示の順序番号を示します。
- b. 「保存 (Save)」をクリックして、「アクティビティーの詳細 (Activity Details)」ダイアログ・ボックスを閉じます。

指示の追加、変更、または削除を行う必要があります。

以下を参照してください。

- サービス・アクティビティー指示の追加
- サービス・アクティビティー指示の変更
- サービス・アクティビティー指示の削除

サービス・アクティビティー指示を追加するには、以下の手順を実行します。

- a. 「指示 (Instructions)」パネルで、「追加 (Add)」をクリックします。
- b. 表示される「サービス・アクティビティー指示 (Service Activity Instruction)」ダイアログ・ボックスで、このサービスに対する既存のサービス・アクティビティー指示を指す「指示の URL (Instruction URL)」を入力します。例えば、販売促進資料を特定のパッケージに入れる既存の手順がある場合があります。
- c. 「指示の使用法 (Instruction Usage)」テキスト・ボックスで、このサービス・アクティビティー指示の使用に必要な方法に関するコメントがあれば入力します。
- d. 「指示テキスト (Instruction Text)*」ボックスで、サービス・アクティビティー指示の詳細を入力します。
- e. 「保存 (Save)」をクリックして、「サービス・アクティビティー指示 (Service Activity Instruction)」ダイアログ・ボックスを閉じます。

サービス・アクティビティー指示を変更するには、以下の手順を実行します。

- a. 「指示 (Instructions)」パネルで、変更する指示を選択します。

「詳細情報 (Details)」領域は、選択した「サービス・アクティビティー指示 (Service Activity Instruction)」の詳細により設定されます。
- b. 「指示の URL (Instruction URL)」テキスト・ボックスで、このサービスに対する既存のサービス・アクティビティー指示を指す URL を変更します。例えば、販売促進資料を特定のパッケージに入れる既存の手順がある場合があります。

- c. 「指示の使用方法 (Instruction Usage)」テキスト・ボックスで、このサービス・アクティビティー指示の使用に必要な方法に関するコメントを変更します (変更がある場合)。
- d. 「指示テキスト (Instruction Text)*」ボックスで、サービス・アクティビティー指示の詳細を変更します。
- e. 別の指示を変更するには、手順の 1 から 4 を繰り返します。

注: 指示間で移動する場合、指示の横にあるチェック・ボックスをクリアしないでください。

- f. 「保存 (Save)」をクリックして、「サービス・アクティビティー (Service Activity)」ダイアログ・ボックスを閉じます。

サービス・アクティビティー指示を削除するには、以下の手順を実行します。

- a. 「指示 (Instructions)」パネルで、削除する指示を選択します。
 - b. 「削除 (Delete)」をクリックします。
9. サービス・アクティビティーが付加価値サービスに追加されます。

第 125 章 付加価値サービスのサービス・アクティビティーの変更

このタスクについて

付加価値サービスのサービス・アクティビティーを変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページで「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクもクリックできます。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」オプションか「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「サービス (Services)」パネルで、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「サービス・アクティビティーの管理 (Manage Service Activities)」をクリックします。
6. 「アクティビティー (Activities)」パネルで、変更するサービス・アクティビティー行をクリックします。
7. 「サービス・アクティビティー (Service Activity)」ダイアログ・ボックスが表示されます。定義済みの指示セットの使用、または新規指示の作成か指示の変更を行うかどうかにより、以下のいずれかを実行します。

条件により、以下を実行します。

指示を既に作成済みであり、指示に対する変更はいっさいありません。

「保存 (Save)」をクリックして、「アクティビティーの詳細 (Activity Details)」ダイアログ・ボックスを閉じます。

既に作成済みの指示の順序を変更します。

- a. 指示行を選択してから、「上方へ移動 (Move Up)」アイコンまたは「下方へ移動 (Move Down)」アイコンのいずれかをクリックし、指示を指示リスト上の必要な位置に移動します。指示リスト上の指示の位置は、指示の順序番号を示します。
- b. 「保存 (Save)」をクリックして、「アクティビティーの詳細 (Activity Details)」ダイアログ・ボックスを閉じます。

指示の追加、変更、または削除を行う必要があります。

以下を参照してください。

- サービス・アクティビティー指示の追加

- サービス・アクティビティー指示の変更
- サービス・アクティビティー指示の削除

サービス・アクティビティー指示を追加するには、以下の手順を実行します。

- 「指示 (Instructions)」パネルで、「追加 (Add)」をクリックします。
- 表示される「サービス・アクティビティー指示 (Service Activity Instruction)」ダイアログ・ボックスで、このサービスに対する既存のサービス・アクティビティー指示を指す「指示の URL (Instruction URL)」を入力します。例えば、販売促進資料を特定のパッケージに入れる既存の手順がある場合があります。
- 「指示の使用法 (Instruction Usage)」テキスト・ボックスで、このサービス・アクティビティー指示の使用に必要な方法に関するコメントがあれば入力します。
- 「指示テキスト (Instruction Text)*」ボックスで、サービス・アクティビティー指示の詳細を入力します。
- 「保存 (Save)」をクリックして、「サービス・アクティビティー指示 (Service Activity Instruction)」ダイアログ・ボックスを閉じます。

サービス・アクティビティー指示を変更するには、以下の手順を実行します。

- 「指示 (Instructions)」パネルで、変更する指示を選択します。

「詳細情報 (Details)」領域は、選択した「サービス・アクティビティー指示 (Service Activity Instruction)」の詳細により設定されます。
- 「指示の URL (Instruction URL)」テキスト・ボックスで、このサービスに対する既存のサービス・アクティビティー指示を指す URL を変更します。例えば、販売促進資料を特定のパッケージに入れる既存の手順がある場合があります。
- 「指示の使用法 (Instruction Usage)」テキスト・ボックスで、このサービス・アクティビティー指示の使用に必要な方法に関するコメントを変更します (変更がある場合)。
- 「指示テキスト (Instruction Text)*」ボックスで、サービス・アクティビティー指示の詳細を変更します。
- 別の指示を変更するには、手順の 1 から 4 を繰り返します。

注: 指示間で移動する場合、指示の横にあるチェック・ボックスをクリアしないでください。

- 「保存 (Save)」をクリックして、「サービス・アクティビティー (Service Activity)」ダイアログ・ボックスを閉じます。

サービス・アクティビティー指示を削除するには、以下の手順を実行します。

- 「指示 (Instructions)」パネルで、削除する指示を選択します。
- 「削除 (Delete)」をクリックします。

タスクの結果

サービス・アクティビティーが変更されます。

第 126 章 付加価値サービスからのサービス・アクティビティーの削除

このタスクについて

付加価値サービスからサービス・アクティビティーを削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページで「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクもクリックできます。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」オプションか「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「サービス (Services)」パネルで、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「サービス・アクティビティーの管理 (Manage Service Activities)」をクリックします。
6. 「サービス・アクティビティー (Service Activities)」パネルから、削除するサービス・アクティビティーを選択します。
7. 「削除 (Delete)」をクリックします。
8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「はい (Yes)」をクリックして、サービス・アクティビティーを削除します。

サービス・アクティビティーが付加価値サービスから削除されます。

注: * は必須フィールドを示します。

第 127 章 提供サービスまたは配達サービスへのサービス・オプションの追加

このタスクについて

サービスに対して追加のキャパシティー要件を追加するために、サービス・オプションを配達サービスまたは提供サービスに追加できます。

例えば、プロジェクション・テレビの配達時に使用する、2 人での配達サービス・アイテムおよび組み立て配達サービス・アイテムを構成済みであると仮定します。2 つの配達オプションは、「ごみの撤去および運搬」という名の配達サービス・アイテムに関連付けることもできます。これらのオプションを使用して、顧客は、残ったごみをプロジェクション TV の箱から配達担当者が撤去することを希望するか、および古いテレビを配達担当者が運搬するかどうかを決めることができます。

「サービス・オプション (Service Options)」画面から、サービス・オプションを配達サービスまたは提供サービスに追加できます。

サービス・オプションを配達サービスまたは提供サービスに追加するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクもクリックできます。
3. 表示された「**サービス検索 (Service Search)**」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**サービス (Services)**」パネルで、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**サービス・オプションの管理 (Manage Service Options)**」をクリックします。

「サービス・オプション (Service Options)」画面が表示されます。「サービス・オプション (Service Options)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 表示された「**オプション (Options)**」パネルで、「**追加 (Add)**」をクリックします。

7. 「基本的なサービス・オプション検索 (Basic Service Option Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**検索 (Search)**」をクリックして、使用可能なサービス・オプションのすべてのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、一覧表示されるサービス・オプションのリストを絞り込みます。
8. 1 つ以上のサービス・オプションを選択します。
9. 「**選択 (Select)**」をクリックします。

「オプション (Options)」パネルで、選択したサービス・オプションがサービス・リストに追加されます。

第 128 章 提供サービスまたは配達サービスからのサービス・オプションの削除

このタスクについて

サービス・オプションを配達サービスまたは提供サービスから削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクもクリックできます。
3. 表示された「**サービス検索 (Service Search)**」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**サービス (Services)**」パネルで、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**サービス・オプションの管理 (Manage Service Options)**」をクリックします。

「**サービス・オプション (Service Options)**」画面が表示されます。「**サービス・オプション (Service Options)**」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**アイテムの詳細 (Item Details)**」画面の「**オプション (Options)**」パネルで、リストから削除するサービス・オプションを選択します。
 7. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、選択したサービスをリストから削除します。

「**オプション (Options)**」パネルで、選択したサービスがサービス・リストから削除されます。

第 129 章 提供サービスまたは配達サービスへのサービス・スキルの関連付け

このタスクについて

「サービス・スキル (Service Skills)」画面から、サービス・スキルを提供サービスまたは配達サービスに関連付けできます。例えば、電気工事を取り付けサービスのサービス・スキルとして関連付けた方がよい場合があります。

サービス・スキルを提供サービスまたは配達サービスに関連付けするには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクもクリックできます。
3. 表示された「**サービス検索 (Service Search)**」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**サービス (Services)**」パネルで、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**スキルの管理 (Manage Skills)**」をクリックします。
6. 「**サービス・スキル (Service Skills)**」画面が表示されます。「**サービス・スキル (Service Skills)**」パネルで、以下の読み取り専用ボックスが表示されます。
 - 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
7. 「**このサービスに必要なスキル・セットを選択 (Select the skill sets required for this service)**」領域で、以下の手順を実行します。
 - a. 「**使用可能なスキル (Available Skills)**」リストから、サービス・アイテムに関連付けられるスキルを選択します。
 - b. 「**右に移動 (Move Right)**」アイコンをクリックして、選択したスキルを「**必要なスキル (Required Skills)**」リストに移動します。

ヒント: 「**すべて右に移動 (Move All - Right)**」アイコンをクリックして、使用可能なスキルをすべて必要なスキル・リストに移動します。
8. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

選択したスキルは、提供サービスまたは配達サービスに関連付けられます。また、いずれかのサービス実行用に含まれます。

第 130 章 提供サービスまたは配達サービスからのサービス・スキルの関連付け解除

このタスクについて

提供サービスまたは配達サービスからサービス・スキルの関連付けを解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページで「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクもクリックできます。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」オプションか「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「サービス (Services)」パネルで、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「スキルの管理 (Manage Skills)」をクリックします。
6. 「サービス・スキル (Service Skills)」画面が表示されます。「サービス・スキル (Service Skills)」パネルで、以下の読み取り専用ボックスが表示されます。
 - 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
7. 「スキル (Skills)」領域で、以下の手順を実行します。
 - a. 「必要なスキル (Required Skills)」リストで、サービス・アイテムから関連付けを解除するスキルを選択します。
 - b. 「左に移動 (Move Left)」アイコンをクリックして、選択したスキルを「必要なスキル (Required Skills)」リストから移動します。

ヒント: 「すべて左に移動 (Move All - Left)」アイコンをクリックして、必要なスキルをすべて使用可能なスキル・リストに移動します。
8. 「保存 (Save)」をクリックします。

選択したスキルは、提供サービスまたは配達サービスから関連付けが解除されるのに加えて、いずれのサービスの実行からも除外されます。

第 131 章 キット化サービスおよびキット化解除サービスの物理キット・アイテムまたは動的物理キット・アイテムへの関連付け

このタスクについて

アイテム・タイプが物理キットまたは動的物理キットの場合のみ、キット化サービスおよびキット化解除サービスを、「その他のサービスの関連付け (Other Service Associations)」画面から関連付けできます。

キット化サービスおよびキット化解除サービスを物理キット・アイテムまたは動的物理キット・アイテムに関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「アイテムの検索 (Find Item)」を選択します。または、ホーム・ページで「アイテムの検索 (Find Item)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「アイテムの検索 (Item Search)」画面で検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」オプションか「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「アイテム (Items)」パネルで、「アイテム ID (Item ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、「アイテム ID (Item ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「その他のサービスの管理 (Manage Other Services)」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「キット化サービス (Kitting Service)」テキスト・ボックスで、「検索 (Search)」アイコンをクリックして以下の手順を実行します。
 - a. 表示された「基本的なサービス検索 (Basic Service Search)」ダイアログ・ボックスで、「検索 (Search)」をクリックします。または、「基本検索 (Basic Search)」オプションか「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
 - b. リストから希望するサービスを選択します。
 - c. 「保存 (Save)」をクリックします。
 7. 「キット化解除サービス (DeKitting Service)」テキスト・ボックスで、「検索 (Search)」アイコンをクリックして以下の手順を実行します。
 - a. 表示された「基本的なサービス検索 (Basic Service Search)」ダイアログ・ボックスで、「検索 (Search)」をクリックします。または、「基本検索 (Basic

Search) オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。

- b. リストから希望するサービスを選択します。
 - c. 「**保存 (Save)**」をクリックします。
8. 「その他のサービスの関連付け (Other Service Associations)」画面で「**保存 (Save)**」をクリックします。

キット化サービスまたはキット化解除サービスが物理キット・アイテムまたは動的物理キット・アイテムに関連付けられます。

第 132 章 物理キット・アイテムまたは動的物理キット・アイテムからのキット化サービスおよびキット化解除サービスの関連付け解除

このタスクについて

物理キット・アイテムまたは動的物理キット・アイテムからキット化サービスおよびキット化解除サービスの関連付けを解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのアイテムのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**アイテム (Items)**」パネルで、「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**アイテム ID (Item ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**その他のサービスの管理 (Manage Other Services)**」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - アイテムの特性
 - ステータス
6. 「**キット化サービス (Kitting Service)**」テキスト・ボックスで、以下の手順を実行します。
 - a. キット化サービスのテキストをすべて選択します。
 - b. 「**削除 (Delete)**」をクリックします。
 7. 「**キット化解除サービス (De-kitting Service)**」ボックスで、以下の手順を実行します。
 - a. キット化サービスのテキストをすべて選択します。
 - b. 「**削除 (Delete)**」をクリックします。
 8. 「**その他のサービスの関連付け (Other Service Associations)**」画面で「**保存 (Save)**」をクリックします。

キット化サービスまたはキット化解除サービスの関連付けが物理キット・アイテムまたは動的物理キット・アイテムから解除されます。

第 133 章 サービスの取引管理および販売の詳細定義

このタスクについて

サービスに対して、顧客が発注時に見ることができる追加情報を提供することができます。この追加情報は、販売チームがアイテムを販売する際にも使用できます。例えば、製品が販売されるロケールごとに画像を追加する場合があります。ただし、付加価値サービスの取引管理および販売の詳細は定義できません。

サービスの取引管理および販売の詳細は、「取引管理および販売のフィールド (Merchandising and Sales Fields)」画面で定義できます。

サービスの取引管理および販売の詳細を定義するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「サービス (Services)」パネルで、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**サービス ID (Service ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**販売情報の管理 (Manage Sales Information)**」をクリックします。

以下の読み取り専用テキスト・ボックスを持つ詳細画面が表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**詳細説明 (Extended Description)**」ボックスで、あらゆるメモや取扱指示を含む、サービスに関する詳細の説明を入力します。
 7. 「**取引管理および販売のフィールド (Merchandising and Sales Fields)**」パネルで、以下の手順を実行します。
 - a. 「**サーバー・ロケーション (Server Location)**」ドロップダウン・リストから、画像が配置されるサーバーのロケーションを選択します。
 - b. 「**画像ファイル名 (Image Filename)**」ボックスで、画像の名前を入力します。
 - c. 「**画像の説明 (Image Description)**」ボックスで、画像の説明を入力します。

メモ:

- d. アイテムの画像が「**アイテムのメイン画像 (Item Main Image)**」フィールドの横に表示されます。

「**カテゴリに割り当て (Assigned to categories)**」フィールドは、サービスが少なくとも 1 つのカテゴリに割り当てられる場合のみ表示されます。このフィールドの値は、サービスが割り当てられるカタログ内の対応するカテゴリへのパスを示します。

8. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: 複数のロケールが構成されている場合、「**ローカライズ (Localize)**」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「**ローカライズ (Localize)**」関連タスクが「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルに表示されます。「**簡略説明 (Short Description)**」や「**詳細説明 (Long Description)**」などのローカライズ可能フィールドは、ユーザーのロケールに関係なく常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center がフランス語にローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI スtringがフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「**ローカライズ (Localize)**」アイコンまたは「**ローカライズ (Localize)**」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィールドのローカライズの詳細については、『Sterling Business Center のフィールドのローカライズ』を参照してください。

サービスの取引管理および販売の詳細が定義されます。

第 134 章 キーワードのサービスへの関連付け

このタスクについて

キーワードは、サービスの代替 ID として機能します。キーワードは、サービス検索時に Web チャネル・アプリケーションで顧客が使用できる文字列のリストです。例えば、サービス配達キーワードは、宅配、配達などです。ただし、キーワードを付加価値サービスに関連付けることはできません。

キーワードは、「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面からサービスに関連付けられます。

キーワードをサービスに関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「サービス (Services)」パネルで、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**サービス ID (Service ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**エイリアスとキーワードの管理 (Manage Aliases And Keywords)**」をクリックします。

「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面が表示されます。「エイリアス、キーワード、および除外コード (Aliases, Keywords and Exclusion Codes)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**キーワード (Keywords)**」領域で、アイテムのキーワードを入力します。各単語をコンマで区切るにより、複数のキーワードを入力できます。
 7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

キーワードがサービスに関連付けられます。

第 135 章 サービスからのキーワードの関連付け解除

このタスクについて

キーワードの関連付けをサービスから解除して、キーワードがサービスの代替 ID として機能しないようにできます。複数のキーワードをサービスに関連付けしている場合、特定キーワードの関連付けを解除して、必要なキーワードは維持できます。

キーワードの関連付けをサービスから解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**サービス検索 (Service Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**サービス (Services)**」パネルで、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**サービス ID (Service ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**エイリアスとキーワードの管理 (Manage Aliases And Keywords)**」をクリックします。

「**エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)**」画面が表示されます。「**エイリアス、キーワード、および除外コード (Aliases, Keywords and Exclusion Codes)**」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**キーワード (Keywords)**」領域で、既存のキーワードを削除します。
 7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

キーワードの関連付けがサービスから解除されます。

第 136 章 エイリアスのサービスへの関連付け

このタスクについて

エイリアスは、サービスの代替 ID として機能します。1 つ以上のエイリアスをサービスに対して設定できます。エイリアスの例には、SKU (Stock Keeping Unit)、代替アイテム ID、UPC (汎用製品コード)、EAN (欧州品目番号) などが含まれますが、これに限定されません。

エイリアスは、「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面からサービスに関連付けられます。

エイリアスをサービスに関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「サービス (Services)」パネルで、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**サービス ID (Service ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**エイリアスとキーワードの管理 (Manage Aliases And Keywords)**」をクリックします。

「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面が表示されます。「エイリアス、キーワード、および除外コード (Aliases, Keywords and Exclusion Codes)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**エイリアス (Aliases)**」領域で、設定されたエイリアス・タイプの値を入力します。
 7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

エイリアスがサービスに関連付けられます。

第 137 章 サービスからのエイリアスの関連付け解除

このタスクについて

サービスの代替 ID が必要ない場合、エイリアスの関連付けをサービスから解除できます。

エイリアスの関連付けをサービスから解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**サービス検索 (Service Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**サービス (Services)**」パネルで、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**サービス ID (Service ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**エイリアスとキーワードの管理 (Manage Aliases And Keywords)**」をクリックします。

「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面が表示されます。「エイリアス、キーワード、および除外コード (Aliases, Keywords and Exclusion Codes)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**エイリアス (Aliases)**」領域で、既存のエイリアス・タイプの値を削除します。
 7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

エイリアスの関連付けがサービスから解除されます。

第 138 章 除外コードのサービスへの関連付け

このタスクについて

準拠している商慣習において、特定の国および地域へのサービスの出荷が規制されている場合は、サービスに除外コードを割り当てることができます。例えば、特定の危険物の出荷が禁止されている特定の国および地域が配送先に含まれる場合は、危険物を含む可能性があるサービスに対し、除外コードを割り当てることができます。

デフォルトでは、*IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation* は、サービス除外コードを処理するロジックを提供しません。この機能は、*IBM Sterling Selling and Fulfillment Foundation* がサービス除外コードを処理できる外部システムを統合できるように提供されます。

除外コードは、「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面からサービスに関連付けられます。

除外コードをサービスに関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページで「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面で検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」オプションか「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「サービス (Services)」パネルで、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、「サービス ID (Service ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「エイリアスとキーワードの管理 (Manage Aliases And Keywords)」をクリックします。

「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面が表示されます。「エイリアス、キーワード、および除外コード (Aliases, Keywords and Exclusion Codes)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「除外コード (Exclusion Codes)」領域が表示されます。「使用可能なコード (Available Codes)」リストから、アイテムに関連付ける除外コードを選択します。

7. 「右に移動 (Move Right)」アイコンをクリックして、除外コードを「登録コード (Subscribed Codes)」リストに含めます。使用可能なコードすべてを「登録コード (Subscribed Codes)」リストに含めるには、「すべて右に移動 (Move All - Right)」アイコンをクリックします。
8. 「保存 (Save)」をクリックします。

除外コードがサービスに関連付けられます。

第 139 章 サービスからの除外コードの関連付け解除

このタスクについて

準拠している商慣習において、特定の国および地域へのサービスの出荷が規制されていない場合は、サービスと除外コードとの関連付けを解除できます。

除外コードの関連付けをサービスから解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**サービス検索 (Service Search)**」画面で検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**サービス (Services)**」パネルで、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**サービス ID (Service ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**エイリアスとキーワードの管理 (Manage Aliases And Keywords)**」をクリックします。

「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面が表示されます。「エイリアス、キーワード、および除外コード (Aliases, Keywords and Exclusion Codes)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**除外コード (Exclusion Codes)**」領域が表示されます。「**登録コード (Subscribed Codes)**」リストで、アイテムから関連付けを解除する除外コードを選択します。
 7. 「**左に移動 (Move Left)**」アイコンをクリックして、除外コードを「**使用可能なコード (Available Codes)**」リストに含めます。登録コードの「**使用可能なコード (Available Codes)**」リストへの関連付けをすべて解除するには、「**すべて左に移動 (Move All - Left)**」アイコンをクリックします。
 8. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

除外コードの関連付けがサービスから解除されます。

第 140 章 クロスセル・サービスのサービスへの関連付け

このタスクについて

クロスセル・サービスを既存サービスに割り当てて、追加サービスやアクセサリ・サービスの販売を促進します。これは、元のサービスと組み合わせる場合、より望ましいパッケージになります。例えば、建築物の供給業者は、床板の取り付けを床板資材の配達に関連付けできます。床板資材の配達とともに床板の取り付けを行うと、顧客に適切なパッケージが提供されます。

クロスセル・サービスは、「サービスの関連付け (Service Associations)」画面からサービスに関連付けることができます。

クロスセル・サービスをサービスに関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページで「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. アイテムの詳細が「主要情報 (Primary Information)」画面に表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「クロスセルの管理 (Manage Cross-Sells)」を選択します。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「クロスセルの関連付け (Cross-Sell Associations)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「サービス (Services)」領域で、「追加 (Add)」をクリックします。
 7. 「関連付けサービスの追加 (Add Association Service)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「サービス ID (Service ID)*」テキスト・ボックスで、「検索 (Search)」アイコンをクリックしてサービス ID を検索します。「基本的なサービス検索 (Basic Service Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「検索 (Search)」をクリックして、使用可能なアイテムのリストを表示します。「基

本検索 (Basic Search)」オプションか「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。

- b. 表示された検索結果リストから、代替サービスとして関連付けが必要なサービスを選択して、「選択 (Select)」をクリックします。
- c. 「有効開始日 (Effective Start Date)*」を選択します。「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日は、代替アイテムがサービスに関連付けられる開始日付です。
- d. 「有効終了日 (Effective End Date)*」を選択します。「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日は、代替アイテムがその日までサービスに関連付けられる日付です。
- e. 「関連付けられた数量 (Associated Quantity)*」テキスト・ボックスで、関連付けられたサービスの数量を入力します。
- f. 「優先度 (Priority)」フィールドで、関連付けられたサービスの優先度を入力します。スケジューリング時にサービスが自動的に代替される場合、最優先のサービスが最初に考慮されます。最優先の関連付けは、Web チャネル・アプリケーションに表示される関連付けリストの先頭に表示されます。
- g. 「保存 (Save)」をクリックして詳細を保存してから、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

クロスセル・サービスがサービスに関連付けられます。

第 141 章 クロスセル・サービスの詳細の変更

このタスクについて

関連付けが有効な日付範囲を変更できます。関連付けられた数量および関連付けられたアイテムの優先度も変更できます。

クロスセル・サービスの詳細は、「サービスの関連付け (Service Associations)」画面から変更できます。

クロスセル・サービスの詳細を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. アイテムの詳細が「**主要情報 (Primary Information)**」画面に表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**クロスセルの管理 (Manage Cross-Sells)**」をクリックします。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「**クロスセルの関連付け (Cross-Sell Associations)**」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」領域で、詳細を変更する該当サービスの横にあるチェック・ボックスを選択してから、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けサービスの変更 (Modify Association Service)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の変更を実行します。
 - 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、新規日付を選択します。有効開始日は、アイテムがサービスに関連付けられる開始日付です。
 - 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、新規日付を選択します。有効終了日は、アイテムがその日までサービスに関連付けられる日付です。

- 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」テキスト・ボックスで、関連付けられたサービスの新しい数量を入力します。
- 「**優先度 (Priority)**」フィールドで、関連付けられたサービスの新しい優先度を入力します。スケジューリング時にサービスが自動的に代替される場合、最優先のサービスが最初に考慮されます。最優先の関連付けは、Web チャンネル・アプリケーションに表示される関連付けリストの先頭に表示されます。
- 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存してから、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

クロスセル・サービスの詳細が変更されます。

第 142 章 サービスからのクロスセル・サービスの関連付け解除

このタスクについて

クロスセル・サービスの関連付けをサービスから解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**サービス検索 (Service Search)**」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「**サービス (Services)**」パネルに表示される検索結果リストから、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. アイテムの詳細が「**主要情報 (Primary Information)**」画面に表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**クロスセルの管理 (Manage Cross-Sells)**」を選択します。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「**クロスセルの関連付け (Cross-Sell Associations)**」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」領域で、サービスから関連付けを解除するアイテムを選択します。
 7. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、サービスの関連付けを解除します。

選択したサービスがサービスから削除されます。

第 143 章 アップセル・サービスのサービスへの関連付け

このタスクについて

元のサービスと比べてさらに価値がある代替サービスを割り当てることができます。このような代替サービスは、アップセル・サービスと呼ばれます。

例えば、在庫にはインストールと配達の 2 つのサービスを提供するコンピューターがある場合があります。モノグラム・タイプのサービスが付いたシャツのカタログ・アイテムを作成する場合、アップセル・アイテムとしてシャツの配達を関連付けることが可能で、これはさらに高価です。顧客がモノグラム付きのシャツを注文する場合、お客様は顧客にシャツの配達に関して通知できます。

アップセル・サービスは、「サービスの関連付け (Service Associations)」画面からサービスに関連付けできます。

アップセル・サービスをサービスに関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」パネルが表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**アップセルの管理 (Manage Up-Sells)**」をクリックします。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「**アップセルの関連付け (Up-Sell Associations)**」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
6. 「**サービス (Services)**」領域で、「**追加 (Add)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けサービスの追加 (Add Association Service)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「**サービス ID (Service ID)***」テキスト・ボックスで、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックしてサービス ID を検索します。「**基本的なサービス検索 (Basic Service Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**検索 (Search)**」をクリックして、使用可能なアイテムのリストを表示します。「**基**

本検索 (Basic Search)」オプションか「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。

- b. 表示された検索結果リストから、代替サービスとして関連付けが必要なサービスを選択して、「選択 (Select)」をクリックします。
- c. 「有効開始日 (Effective Start Date)*」を選択します。「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日は、代替アイテムがサービスに関連付けられる開始日付です。
- d. 「有効終了日 (Effective End Date)*」を選択します。「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日は、代替アイテムがその日までサービスに関連付けられる日付です。
- e. 「関連付けられた数量 (Associated Quantity)*」テキスト・ボックスで、関連付けられたサービスの数量を入力します。
- f. 「優先度 (Priority)」フィールドで、関連付けられたサービスの優先度を入力します。スケジューリング時にサービスが自動的に代替される場合、最優先のサービスが最初に考慮されます。最優先の関連付けは、Web チャネル・アプリケーションに表示される関連付けリストの先頭に表示されます。
- g. 「保存 (Save)」をクリックして詳細を保存してから、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

アップセル・サービスがサービスに関連付けられます。

第 144 章 アップセル・サービスの詳細の変更

このタスクについて

関連付けが有効な日付範囲を変更できます。関連付けられた数量および関連付けられたアイテムの優先度も変更できます。

アップセル・サービスの詳細は、「サービスの関連付け (Service Associations)」画面から変更できます。

アップセル・サービスの詳細を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. アイテムの詳細が「**主要情報 (Primary Information)**」画面に表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**アップセルの管理 (Manage Up-Sells)**」をクリックします。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「**アップセルの関連付け (Up-Sell Associations)**」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」領域で、詳細を変更する該当サービスの横にあるチェック・ボックスを選択してから、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けサービスの変更 (Modify Association Service)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の変更を実行します。
 - 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、新規日付を選択します。有効開始日は、アイテムがサービスに関連付けられる開始日付です。
 - 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、新規日付を選択します。有効終了日は、アイテムがその日までサービスに関連付けられる日付です。

- 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」テキスト・ボックスで、関連付けられたサービスの新しい数量を入力します。
- 「**優先度 (Priority)**」フィールドで、関連付けられたサービスの新しい優先度を入力します。スケジューリング時にサービスが自動的に代替される場合、最優先のサービスが最初に考慮されます。最優先の関連付けは、Web チャンネル・アプリケーションに表示される関連付けリストの先頭に表示されます。
- 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存してから、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

アップセル・サービスの詳細が変更されます。

第 145 章 サービスからのアップセル・サービスの関連付け解除

このタスクについて

アップセル・サービスの関連付けをサービスから解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**サービス検索 (Service Search)**」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「**サービス (Services)**」パネルに表示される検索結果リストから、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」パネルが表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**アップセルの管理 (Manage Up-Sells)**」をクリックします。

「**サービスの関連付け (Service Associations)**」画面が表示されます。「**アップセルの関連付け (Up-Sell Associations)**」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」領域で、サービスから関連付けを解除するアイテムを選択します。
 7. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、サービスの関連付けを解除します。

選択したサービスがサービスから削除されます。

第 146 章 交換サービスのサービスへの関連付け

このタスクについて

サービスに対する交換の関連付けをセットアップして、サービスを 1 つ以上のサービスで交換できるように指示できます。あるサービスが交換サービスに関連付けられている場合、サービスの有効日が期限切れになると、元のサービスは自動的に交換されます。例えば、サービス A がサービス B で交換されるように設定することが可能です。さらに、サービス B はサービス C で交換されます。ただし、サービス A が直接、サービス B および C の両方で交換されるようには指定できません。

サービスの交換を設定する場合、交換元のサービスと類似した同程度の価格のサービスを指定するのが適切です。

交換サービスは、「サービスの関連付け (Service Associations)」画面からサービスに関連付けできます。

注: 親バンドル・アイテム・タイプは、交換アイテムとして個別のアイテムを持つことはできません。

サービスに対する交換品の関連付けを管理するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**サービス検索 (Service Search)**」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「**サービス (Services)**」パネルに表示される検索結果リストから、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**交換の管理 (Manage Supersessions)**」をクリックします。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「**交換品の関連付け (Supersession Associations)**」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」領域で、「**追加 (Add)**」をクリックします。

7. 「関連付けサービスの追加 (Add Association Service)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「サービス ID (Service ID)*」テキスト・ボックスで、「検索 (Search)」アイコンをクリックしてサービス ID を検索します。「基本的なサービス検索 (Basic Service Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「検索 (Search)」をクリックして、使用可能なアイテムのリストを表示します。「基本検索 (Basic Search)」オプションか「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
 - b. 表示された検索結果リストから、代替サービスとして関連付けが必要なサービスを選択して、「選択 (Select)」をクリックします。
 - c. 「有効開始日 (Effective Start Date)*」を選択します。「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日は、代替アイテムがサービスに関連付けられる開始日付です。
 - d. 「有効終了日 (Effective End Date)*」を選択します。「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日は、代替アイテムがその日までサービスに関連付けられる日付です。
 - e. 「関連付けられた数量 (Associated Quantity)*」テキスト・ボックスで、関連付けられたサービスの数量を入力します。
 - f. 「優先度 (Priority)」フィールドで、関連付けられたサービスの優先度を入力します。スケジューリング時にサービスが自動的に代替される場合、最優先のサービスが最初に考慮されます。最優先の関連付けは、Web チャネル・アプリケーションに表示される関連付けリストの先頭に表示されます。
 - g. 「保存 (Save)」をクリックして詳細を保存してから、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

交換サービスがサービスに関連付けられます。

第 147 章 交換サービスの詳細の変更

このタスクについて

関連付けが有効な日付範囲を変更できます。関連付けられた数量および関連付けられたアイテムの優先度も変更できます。

交換サービスの詳細は、「サービスの関連付け (Service Associations)」画面から変更できます。

交換サービスの詳細を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. アイテムの詳細が「**主要情報 (Primary Information)**」画面に表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**交換の管理 (Manage Supersessions)**」をクリックします。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「**交換品の関連付け (Supersession Associations)**」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」領域で、詳細を変更する該当サービスの横にあるチェック・ボックスを選択してから、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けサービスの変更 (Modify Association Service)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の変更を実行します。
 - 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、新規日付を選択します。有効開始日は、アイテムがサービスに関連付けられる開始日付です。
 - 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、新規日付を選択します。有効終了日は、アイテムがその日までサービスに関連付けられる日付です。

- 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」テキスト・ボックスで、関連付けられたサービスの新しい数量を入力します。
- 「**優先度 (Priority)**」フィールドで、関連付けられたサービスの新しい優先度を入力します。スケジューリング時にサービスが自動的に代替される場合、最優先のサービスが最初に考慮されます。最優先の関連付けは、Web チャンネル・アプリケーションに表示される関連付けリストの先頭に表示されます。
- 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存してから、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

交換サービスの詳細が変更されます。

第 148 章 サービスからの交換サービスの関連付け解除

このタスクについて

交換サービスの関連付けをサービスから解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページで「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「交換の管理 (Manage Supersessions)」をクリックします。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「交換品の関連付け (Supersession Associations)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「サービス (Services)」領域で、サービスから関連付けを解除するアイテムを選択します。
 7. 「削除 (Remove)」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「はい (Yes)」をクリックして、サービスの関連付けを解除します。

選択したサービスがサービスから削除されます。

第 149 章 優先代替品サービスのサービスへの関連付け

このタスクについて

優先代替品は、オーダーにおいて元のサービスを実行する前に実行が必要なサービスです。システムはオーダーの検査を行い、元のサービスが使用できる場合でも、優先代替品サービスを出荷することによりオーダーを実行します。例えば、サービス 1 に対してオーダーが起票され、優先代替品がサービス 2 の場合、サービス 2 がなくなってからサービス 1 が出荷されます。

注: タグ管理されたサービスは、優先代替品として使用できません。

優先代替品サービスは、「サービスの関連付け (Service Associations)」画面からサービスに関連付けできます。

優先代替品サービスをサービスに関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページで「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「推奨代替の管理 (Manage Preferred Substitutions)」をクリックします。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「優先代替品の関連付け (Substitution Associations)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「サービス (Services)」領域で、「追加 (Add)」をクリックします。
 7. 「関連付けサービスの追加 (Add Association Service)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「サービス ID (Service ID)*」テキスト・ボックスで、「検索 (Search)」アイコンをクリックしてサービス ID を検索します。「基本的なサービス検索 (Basic Service Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「検索

(Search)」をクリックして、使用可能なアイテムのリストを表示します。「基本検索 (Basic Search)」オプションか「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込めます。

- b. 表示された検索結果リストから、代替サービスとして関連付けが必要なサービスを選択して、「選択 (Select)」をクリックします。
- c. 「有効開始日 (Effective Start Date)*」を選択します。「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日は、代替アイテムがサービスに関連付けられる開始日付です。
- d. 「有効終了日 (Effective End Date)*」を選択します。「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日は、代替アイテムがその日までサービスに関連付けられる日付です。
- e. 「関連付けられた数量 (Associated Quantity)*」テキスト・ボックスで、関連付けられたサービスの数量を入力します。
- f. 「優先度 (Priority)」フィールドで、関連付けられたサービスの優先度を入力します。スケジューリング時にサービスが自動的に代替される場合、最優先のサービスが最初に考慮されます。最優先の関連付けは、Web チャネル・アプリケーションに表示される関連付けリストの先頭に表示されます。
- g. 「保存 (Save)」をクリックして詳細を保存してから、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

8. 「保存 (Save)」をクリックします。

優先代替品サービスがサービスに関連付けられます。

第 150 章 優先代替品サービスの詳細の変更

このタスクについて

関連付けが有効な日付範囲を変更できます。関連付けられた数量および関連付けられたアイテムの優先度も変更できます。

優先代替品サービスの詳細は、「サービスの関連付け (Service Associations)」画面から変更できます。

優先代替品サービスの詳細を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. アイテムの詳細が「**主要情報 (Primary Information)**」画面に表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**推奨代替の管理 (Manage Preferred Substitutions)**」をクリックします。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「**推奨代替品の関連付け (Preferred Substitution Associations)**」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」領域で、詳細を変更する該当サービスの横にあるチェック・ボックスを選択してから、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けサービスの変更 (Modify Association Service)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の変更を実行します。
 - 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、新規日付を選択します。有効開始日は、アイテムがサービスに関連付けられる開始日付です。
 - 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、新規日付を選択します。有効終了日は、アイテムがその日までサービスに関連付けられる日付です。

- 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」テキスト・ボックスで、関連付けられたサービスの新しい数量を入力します。
- 「**優先度 (Priority)**」フィールドで、関連付けられたサービスの新しい優先度を入力します。スケジューリング時にサービスが自動的に代替される場合、最優先のサービスが最初に考慮されます。最優先の関連付けは、Web チャンネル・アプリケーションに表示される関連付けリストの先頭に表示されます。
- 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存してから、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

優先代替品サービスの詳細が変更されます。

第 151 章 サービスからの優先代替品サービスの関連付け解除

このタスクについて

優先代替品サービスの関連付けをサービスから解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページで「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「推奨代替の管理 (Manage Preferred Substitutions)」をクリックします。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「優先代替品の関連付け (Substitution Associations)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「サービス (Services)」領域で、サービスから関連付けを解除するアイテムを選択します。
 7. 「削除 (Remove)」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「はい (Yes)」をクリックして、サービスの関連付けを解除します。

選択したサービスがサービスから削除されます。

第 152 章 代替サービスのサービスへの関連付け

このタスクについて

サービスに対して代替サービスをセットアップできます。これにより、代替品として元のサービスと類似のサービスを選択するオプションが得られます。顧客が元のサービスに対してオーダーを起票し、元のサービスが使用できない場合、顧客には代替サービスを選択してオーダーを起票するオプションが提供されます。

代替サービスは、「サービスの関連付け (Service Associations)」画面からサービスに関連付けできます。

注: 親バンドル・アイテム・タイプは、代替アイテムとして個別のアイテムを持つことはできません。

代替サービスをサービスに関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページで「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「代替の管理 (Manage Alternative)」をクリックします。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「代替品の関連付け (Alternate Associations)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「サービス (Services)」領域で、「追加 (Add)」をクリックします。
 7. 「関連付けサービスの追加 (Add Association Service)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「サービス ID (Service ID)*」テキスト・ボックスで、「検索 (Search)」アイコンをクリックしてサービス ID を検索します。「基本的なサービス検索 (Basic Service Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「検索 (Search)」をクリックして、使用可能なアイテムのリストを表示します。「基

本検索 (Basic Search)」オプションか「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。

- b. 表示された検索結果リストから、代替サービスとして関連付けが必要なサービスを選択して、「選択 (Select)」をクリックします。
- c. 「有効開始日 (Effective Start Date)*」を選択します。「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日は、代替アイテムがサービスに関連付けられる開始日付です。
- d. 「有効終了日 (Effective End Date)*」を選択します。「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日は、代替アイテムがその日までサービスに関連付けられる日付です。
- e. 「関連付けられた数量 (Associated Quantity)*」テキスト・ボックスで、関連付けられたサービスの数量を入力します。
- f. 「優先度 (Priority)」フィールドで、関連付けられたサービスの優先度を入力します。スケジューリング時にサービスが自動的に代替される場合、最優先のサービスが最初に考慮されます。最優先の関連付けは、Web チャネル・アプリケーションに表示される関連付けリストの先頭に表示されます。
- g. 「保存 (Save)」をクリックして詳細を保存してから、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

8. 「保存 (Save)」をクリックします。

代替サービスがサービスに関連付けられます。

第 153 章 代替サービスの詳細の変更

このタスクについて

関連付けが有効な日付範囲を変更できます。関連付けられた数量および関連付けられたアイテムの優先度も変更できます。

代替サービスの詳細は、「サービスの関連付け (Service Associations)」画面から変更できます。

代替サービスの詳細を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. アイテムの詳細が「**主要情報 (Primary Information)**」画面に表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**代替の管理 (Manage Alternative)**」をクリックします。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「**代替品の関連付け (Alternate Associations)**」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」領域で、詳細を変更する該当サービスの横にあるチェック・ボックスを選択してから、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けサービスの変更 (Modify Association Service)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の変更を実行します。
 - 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、新規日付を選択します。有効開始日は、アイテムがサービスに関連付けられる開始日付です。
 - 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、新規日付を選択します。有効終了日は、アイテムがその日までサービスに関連付けられる日付です。

- 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」テキスト・ボックスで、関連付けられたサービスの新しい数量を入力します。
- 「**優先度 (Priority)**」フィールドで、関連付けられたサービスの新しい優先度を入力します。スケジューリング時にサービスが自動的に代替される場合、最優先のサービスが最初に考慮されます。最優先の関連付けは、Web チャンネル・アプリケーションに表示される関連付けリストの先頭に表示されます。
- 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存してから、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

代替サービスの詳細が変更されます。

第 154 章 サービスからの代替サービスの関連付け解除

このタスクについて

代替サービスの関連付けをサービスから解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページで「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「代替の管理 (Manage Alternative)」をクリックします。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「代替品の関連付け (Alternate Associations)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「サービス (Services)」領域で、サービスから関連付けを解除するアイテムを選択します。
 7. 「削除 (Remove)」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「はい (Yes)」をクリックして、サービスの関連付けを解除します。

選択したサービスがサービスから削除されます。

第 155 章 競合サービスのサービスへの関連付け

このタスクについて

競合品の関連付けにより、サービスの 2 つの競合するブランドを関連付けられます。顧客が元のサービスに対してオーダーを起票する場合、顧客には競合サービスを表示してサービスを比較するオプションが提供されます。

競合サービスは、「アイテムの関連付け (Item Associations)」画面からサービスに関連付けできます。

競合サービスをサービスに関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「**サービス検索 (Service Search)**」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「**サービス (Services)**」パネルに表示される検索結果リストから、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**競合品の管理 (Manage Competitive)**」をクリックします。

「**サービスの関連付け (Service Associations)**」画面が表示されます。「**競合品の関連付け (Competitive Associations)**」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」領域で、「**追加 (Add)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けサービスの追加 (Add Association Service)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「**サービス ID (Service ID)***」テキスト・ボックスで、「**検索 (Search)**」アイコンをクリックしてサービス ID を検索します。「**基本的なサービス検索 (Basic Service Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**検索 (Search)**」をクリックして、使用可能なアイテムのリストを表示します。「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
 - b. 表示された検索結果リストから、代替サービスとして関連付けが必要なサービスを選択して、「**選択 (Select)**」をクリックします。

- c. 「有効開始日 (Effective Start Date)*」を選択します。「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効開始日は、代替アイテムがサービスに関連付けられる開始日付です。
- d. 「有効終了日 (Effective End Date)*」を選択します。「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択します。有効終了日は、代替アイテムがその日までサービスに関連付けられる日付です。
- e. 「関連付けられた数量 (Associated Quantity)*」テキスト・ボックスで、関連付けられたサービスの数量を入力します。
- f. 「優先度 (Priority)」フィールドで、関連付けられたサービスの優先度を入力します。スケジューリング時にサービスが自動的に代替される場合、最優先のサービスが最初に考慮されます。最優先の関連付けは、Web チャネル・アプリケーションに表示される関連付けリストの先頭に表示されます。
- g. 「保存 (Save)」をクリックして詳細を保存してから、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

競合サービスがサービスに関連付けられます。

第 156 章 競合サービスの詳細の変更

このタスクについて

関連付けが有効な日付範囲を変更できます。関連付けられた数量および関連付けられたアイテムの優先度も変更できます。

競合サービスの詳細は、「サービスの関連付け (Service Associations)」画面から変更できます。

競合サービスの詳細を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. アイテムの詳細が「**主要情報 (Primary Information)**」画面に表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**競合品の管理 (Manage Competitive)**」をクリックします。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「**競合品の関連付け (Competitive Associations)**」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「**サービス (Services)**」領域で、詳細を変更する該当サービスの横にあるチェック・ボックスを選択してから、「**変更 (Modify)**」をクリックします。
 7. 「**関連付けサービスの変更 (Modify Association Service)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の変更を実行します。
 - 「**有効開始日 (Effective Start Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、新規日付を選択します。有効開始日は、アイテムがサービスに関連付けられる開始日付です。
 - 「**有効終了日 (Effective End Date)***」を選択します。「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして、カレンダーを表示し、新規日付を選択します。有効終了日は、アイテムがその日までサービスに関連付けられる日付です。

- 「**関連付けられた数量 (Associated Quantity)***」テキスト・ボックスで、関連付けられたサービスの新しい数量を入力します。
- 「**優先度 (Priority)**」フィールドで、関連付けられたサービスの新しい優先度を入力します。スケジューリング時にサービスが自動的に代替される場合、最優先のサービスが最初に考慮されます。最優先の関連付けは、Web チャンネル・アプリケーションに表示される関連付けリストの先頭に表示されます。
- 「**保存 (Save)**」をクリックして詳細を保存してから、ダイアログ・ボックスを閉じます。

注: * は必須フィールドを示します。

競合サービスの詳細が変更されます。

第 157 章 サービスからの競合サービスの関連付け解除

このタスクについて

競合サービスの関連付けをサービスから解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サービスの検索 (Find Service)」を選択します。または、ホーム・ページで「サービスの検索 (Find Service)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「検索 (Search)」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」を使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 「サービス (Services)」パネルに表示される検索結果リストから、「サービス ID (Service ID)」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「主要情報 (Primary Information)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「競合品の管理 (Manage Competitive)」をクリックします。

「サービスの関連付け (Service Associations)」画面が表示されます。「競合品の関連付け (Competitive Associations)」パネルで、以下の読み取り専用テキスト・ボックスが表示されます。

- 簡略説明
 - サービスの特性
 - ステータス
6. 「サービス (Services)」領域で、サービスから関連付けを解除するアイテムを選択します。
 7. 「削除 (Remove)」をクリックします。
 8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「はい (Yes)」をクリックして、サービスの関連付けを解除します。

選択したサービスがサービスから解除されます。

第 158 章 アセットのサービスへの追加

このタスクについて

アセットは、電子メディア・オブジェクトであり、アイテム、カテゴリ、属性、および属性値と関連付けます。アセット・タイプには、画像、ビデオ、オーディオ、およびテキスト・ファイルが含まれます。

アセットごとにコンテンツ・ロケーションを指定する必要があります。一般的に、アセットは外部システムに常駐するデジタル・ベースのオブジェクトです。例えば、オンライン・カタログから使用できるカテゴリに画像ファイルを割り当てて、オンライン顧客に、このカテゴリを表す画像を表示させることができます。このようなシナリオでは、画像ファイルのコンテンツ・ロケーションを指定する必要があります。コンテンツ・ロケーションは、画像ファイルのロケーションを示すパスです。

アセットは、「アセット (Assets)」画面からサービスに追加できます。

アセットをサービスに追加するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクもクリックできます。
3. 表示された「**サービス検索 (Service Search)**」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**サービスの基本検索 (Basic Service Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**サービス (Services)**」パネルで、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**サービス ID (Service ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**アセットの管理 (Manage Assets)**」をクリックします。
6. 「**アセット (Assets)**」パネルが表示されます。「**追加 (Add)**」をクリックします。
7. 「**アセットの詳細 (Asset Detail)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「**アセット ID (Asset ID)***」ボックスで、アセットの固有識別子 (ID) を入力します。
 - b. 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスで、アセットの簡単な説明を入力します。
 - c. 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、アセットの詳細な説明を入力します。

- d. 「**サーバー (Server)**」ドロップダウン・リストから、このアセット・タイプがあるサーバーを選択します。ドロップダウン・リストには、使用可能なすべてのサーバー・ロケーションまたは Applications Manager で設定されたコードのいずれかが含まれます。
- e. 「**タイプ (Type)**」ドロップダウン・リストから、アセット・タイプを選択します。選択したアセット・タイプが画像に関連する場合、対応する画像のプレビューが、サーバーおよびファイル名の指定後に「アセット (Assets)」パネルに表示されます。
- f. 「**ファイル (File)**」ボックスで、ファイルの名前を入力します。
- g. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

新規アセットが、選択したサービスに追加されます。

第 159 章 サービスのアセットの変更

このタスクについて

アセットの簡略説明と詳細説明を変更するように選択できます。また、サーバー・ロケーション、アセット・タイプ、およびアセットの作成先のファイル名を変更することもできます。

サービスのアセットを変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクもクリックできます。
3. 表示された「**サービス検索 (Service Search)**」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**サービスの基本検索 (Basic Service Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「**サービス (Services)**」パネルで、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**サービス ID (Service ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**アセットの管理 (Manage Assets)**」をクリックします。
6. 「**アセット (Assets)**」パネルが表示されます。変更するアセットの横にあるチェック・ボックスを選択します。
7. 「**アセットの詳細 (Asset Detail)**」領域が表示されます。以下の手順を実行して、必要な変更を行います。
 - 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスで、アセットの新しい簡略説明を入力します。
 - 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、アセットの新しい詳細説明を入力します。
 - 「**サーバー (Server)**」ドロップダウン・リストから、このアセット・タイプがある新しいサーバーを選択します。
 - 「**タイプ (Type)**」ドロップダウン・リストから、新しいアセット・タイプを選択します。選択したアセット・タイプが画像に関連する場合、対応する画像のプレビューが、サーバーおよびファイル名の指定後に「**アセット (Assets)**」パネルに表示されます。
 - 「**ファイル (File)**」ボックスで、新規ファイル名を入力します。
 - 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: 「**アセット ID (Asset ID)**」テキスト・ボックスが読み取り専用として表示されます。

アセットが変更されます。

第 160 章 アセットのサービスからの削除

このタスクについて

アセットをサービスから削除して、電子メディア・オブジェクトがサービスに追加されないようにできます。

アセットをサービスから削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクもクリックできます。
3. 表示された「サービス検索 (Service Search)」画面から、「**検索 (Search)**」をクリックして使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**サービスの基本検索 (Basic Service Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「サービス (Services)」パネルで、「**サービス ID (Service ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、「**サービス ID (Service ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**主要情報 (Primary Information)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**アセットの管理 (Manage Assets)**」をクリックします。
6. 「**アセット (Assets)**」パネルが表示されます。削除するアセットの横にあるチェック・ボックスを選択します。
7. 「**削除 (Delete)**」をクリックします。
8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、アセットを削除します。

アセットが対応するサービスから削除されます。

第 161 章 新規検索インデックスの生成

このタスクについて

IBM アプリケーションがアイテム検索を実行する場合、インデックスに対して検索します。検索インデックスは、Sterling Business Center アプリケーションのインデックス構築機能により生成されるファイル・セットです。これにより高速かつ、より効率的な検索を行えます。一般的に、検索インデックスは、新規カタログが定義される場合、または既存カタログに多数の変更が行われる場合に生成されます。カタログ定義を満たすように検索インデックスを更新するために、新規検索インデックスが生成されます。

注: 新規検索インデックス生成時には、許可された値を使用する属性および使用法 (フィルター用) のみ使用されます。

新規検索インデックスは、「アイテム・カタログ・インデックス・リスト (Item Catalog Index List)」画面から生成できます。

新規検索インデックスを生成するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログ・インデックスの管理 (Manage Catalog Indexes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログ・インデックスの管理 (Manage Catalog Indexes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**アイテム・カタログ・インデックス・リスト (Item Catalog Index List)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**インデックスの作成 (Create Index)**」をクリックします。
4. 「**インデックスを作成するカタログの選択 (Catalog To Build The Index)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。対応するカタログ ID を含む行をクリックしてから、「**選択 (Select)**」をクリックします。

ステータスが「**進行中 (In Progress)**」の新規レコードが、「**インデックス・リスト (Index List)**」パネル内の表に追加されます。

新規検索インデックス生成時は、許可された値を使用する使用法「**フィルター用**」の属性のみ考慮されます。

第 162 章 インクリメンタル検索インデックスの生成

このタスクについて

長期間にわたり、新規製品、機能、データ・シートなどを製品カタログに追加することがあります。また、特定の検索特性は他の検索特性より重要であるため別に評価が必要であると、ユーザーが決めることがあります。このような状況の場合、既存インデックスの構築以来製品カタログが変更されていることもあるため、既存インデックスを基に新規インデックスを生成する必要があります。対応するカタログに対してわずかな変更のみ行っている場合、インクリメンタル・インデックスの構築がインデックス生成の最適な方法です。このような場合、インクリメンタル・インデックスの構築は、新規インデックスの作成より完了までの時間が短くて済みます。

インクリメンタル検索インデックスの生成は、「アイテム・カタログ・インデックス・リスト (Item Catalog Index List)」画面から生成できます。

インクリメンタル検索インデックスを生成するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログ・インデックスの管理 (Manage Catalog Indexes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログ・インデックスの管理 (Manage Catalog Indexes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**アイテム・カタログ・インデックス・リスト (Item Catalog Index List)**」画面が表示されます。対応するインデックスの横にあるチェック・ボックスを選択します。複数のインクリメンタル探索インデックスを生成するには、必要なインデックスの横にあるチェック・ボックスを選択します。
4. 「**インクリメンタル・ビルド (Incremental Build)**」をクリックします。

注: このボタンは、「**アクティブ (Active)**」ステータスまたは「**完了 (Complete)**」ステータスにあるレコードを選択した場合のみ使用できます。

ステータスが「**進行中 (In Progress)**」の新規レコードが、「**インデックス・リスト (Index List)**」パネル内の表に追加されます。

第 163 章 検索インデックスのアクティブ化

このタスクについて

新規インデックス構築の完了後、アイテム検索の実行時にインデックスが使用できるように、インデックスをアクティブ化できます。

注: カタログ編成およびサブカタログ編成の場合、一度に 1 つのインデックス・ファイルのみアクティブ化できます。

インデックスは、新規検索インデックスまたはインクリメンタル検索インデックス構築後に、「アイテム・カタログ・インデックス・リスト (Item Catalog Index List)」画面からアクティブ化できます。

検索インデックス・ファイルをアクティブ化するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「カタログ・インデックスの管理 (Manage Catalog Indexes)」を選択します。または、ホーム・ページで「カタログ・インデックスの管理 (Manage Catalog Indexes)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「アイテム・カタログ・インデックス・リスト (Item Catalog Index List)」画面が表示されます。アクティブ化対象に該当するインデックスの横にあるチェック・ボックスを選択します。
4. 「アクティブ化 (Activate)」をクリックします。このボタンは、「完了 (Complete)」ステータスにあるレコードを選択した場合のみ使用できます。

注: インデックスをアクティブ化した場合、インデックスのステータスは「アクティブ (Active)」として表示されます。

検索インデックスがアクティブ化されます。

第 164 章 検索インデックスの削除

このタスクについて

アクティブな検索インデックスは削除できません。

検索インデックスは、「アイテム・カタログ・インデックス・リスト (Item Catalog Index List)」画面から削除できます。

検索インデックスを削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログ・インデックスの管理 (Manage Catalog Indexes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログ・インデックスの管理 (Manage Catalog Indexes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「アイテム・カタログ・インデックス・リスト (Item Catalog Index List)」画面が表示されます。「**インデックス・リスト (Index List)**」パネルで、削除するインデックスの横にあるチェック・ボックスを選択します。
4. 「**削除 (Delete)**」をクリックします。
5. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、インデックスを削除します。

検索インデックスが削除されます。

第 165 章 日付別検索インデックスの削除

このタスクについて

日付別検索インデックスは、「アイテム・カタログ・インデックス・リスト (Item Catalog Index List)」画面から削除できます。

指定された日付より古い検索インデックスを削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログ・インデックスの管理 (Manage Catalog Indexes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログ・インデックスの管理 (Manage Catalog Indexes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「アイテム・カタログ・インデックス・リスト (Item Catalog Index List)」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**古いインデックスの削除 (Delete Old Indexes)**」をクリックします。
4. 「**古いインデックスの削除 (Delete Old Indexes)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「**次の指定より古いインデックスを削除する (Delete Indexes Older Than)***」ボックスで、日付を入力します。または、「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして日付を選択します。日付より古いインデックスが削除されます。

注: アクティブなインデックスは削除できないため、日付が、アクティブなインデックスの作成タイム・スタンプよりも新しくならないようにしてください。

- b. 「**確認 (Confirm)**」をクリックします。
- c. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、日付より古い検索インデックスを削除します。

注: * は必須フィールドを示します。

日付より古い検索インデックスが削除されます。

第 166 章 Sterling Business Center でのアイテムの削除

このタスクについて

もはや必要がない既存アイテムを削除できます。ただし、アイテムは「**保留 (Held)**」ステータスにある場合のみ削除できます。

注: アイテムを削除する前に、アイテムが、在庫、オーダー、出荷通知、返品、分配ルール、および/または価格セットに関する既存のトランザクション・データで使用される可能性があることを考慮する必要があります。また、設定によっては、外部システムもこのアイテムを参照する可能性があります。

アイテムは、「**主要情報 (Primary Information)**」画面から削除できます。

アイテムを削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**アイテムの検索 (Find Item)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**アイテムの検索 (Find Item)**」ハイパーリンクもクリックできます。
3. 「**基本的なアイテム検索 (Basic Item Search)**」画面が表示されます。使用可能なすべてのアイテムのリストを参照するには、「**検索 (Search)**」をクリックします。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるアイテムのリストを絞り込めます。
4. アイテムのリストが表示された「**アイテム (Item)**」パネルで、削除するアイテムの「**アイテム ID (Item ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. アイテムの詳細が「**主要情報 (Primary Information)**」画面に表示されます。「**削除 (Delete)**」をクリックします。

注: 「**削除 (Delete)**」ボタンは、アイテムを削除するユーザー特権がある場合のみ表示されます。

6. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、サービスを削除します。

アイテムが削除されて、アイテム・リストが更新されます。

第 167 章 Sterling Business Center でのサービスの削除

このタスクについて

もはや必要がない既存サービスを削除できます。ただし、サービスは「**保留 (Held)**」ステータスにある場合のみ削除できます。

注: サービスを削除する前に、サービスが、在庫、オーダー、出荷通知、返品、分配ルール、または価格セットに関する既存のトランザクション・データで使用される可能性があることを考慮する必要があります。また、設定によっては、外部システムもこのサービスを参照する可能性があります。

サービスは、「**主要情報 (Primary Information)**」画面から削除できます。

サービスを削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**サービスの検索 (Find Service)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**サービスの検索 (Find Service)**」ハイパーリンクもクリックできます。
3. 「サービスの検索 (Service Search)」画面が表示されます。「**検索 (Search)**」をクリックして、使用可能なすべてのサービスのリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」オプションか「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示されるサービスのリストを絞り込みます。
4. 表示された「サービス (Services)」パネルで、削除するサービスの「**サービス ID (Service ID)**」をクリックします。
5. サービスの詳細が「**主要情報 (Primary Information)**」画面に表示されます。「**削除 (Delete)**」をクリックします。

注: 「**削除 (Delete)**」ボタンは、サービスを削除するユーザー特権がある場合のみ使用可能です。

6. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、サービスを削除します。

サービスが削除されて、サービス・リストが更新されます。

第 168 章 属性ドメインの詳細の定義

このタスクについて

属性ドメインは、類似の属性タイプを含む属性グループのセットです。例えば、アイテム属性ドメインは、アイテムに使用される属性グループを含みます。属性グループおよびそれに関連付けられた属性は、ItemAttribute ドメイン配下に作成できます。属性ドメインの固有識別子 (ID) は ItemAttribute であり、この属性ドメイン ID は、Applications Manager でのカタログ編成作成時に作成されます。

属性ドメインの詳細は、「属性の管理 (Attribute Management)」画面から定義できます。

属性ドメインの詳細を定義するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「属性の管理 (Manage Attributes)」を選択します。または、ホーム・ページで「属性の管理 (Manage Attributes)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。以下の手順を実行します。
 - 「簡略説明 (Short Description)*」テキスト・ボックスで属性ドメインの簡略説明を入力します。「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリー内の属性ドメインは、この説明により識別されます。
 - 「詳細説明 (Long Description)」テキスト・ボックスで、属性ドメインの詳細説明を入力します。この詳細説明には、通常、属性ドメインに関するあらゆる追加情報が含まれます。

メモ:

- 「属性ドメイン ID (Attribute Domain ID)」は読み取り専用ボックスです。
 - * は必須フィールドを示します。
4. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面で、「保存 (Save)」をクリックします。

注: 複数のロケールが構成されている場合、「ローカライズ (Localize)」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「ローカライズ (Localize)」関連タスクが「関連タスク (Related Tasks)」パネルに表示されます。「簡略説明 (Short Description)」や「詳細説明 (Long Description)」などのローカライズ可能フィールドは、ユーザーのロケールに関係なく常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center がフランス語にローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI ストリングがフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「ローカライズ (Localize)」アイコンま

たは「ローカライズ (Localize)」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィールドのローカライズの詳細については、『Sterling Business Center のフィールドのローカライズ』を参照してください。

属性ドメインの詳細が定義されます。属性ドメインの属性グループを作成し、対応する属性をこれらの属性グループに関連付けられるようになりました。

第 169 章 属性グループの作成

このタスクについて

属性グループは、共通の目的を共有する属性のセットをグループ化するために使用されます。例えば、エンターテインメントという名の属性グループを定義できます。このグループには、アイテムのさまざまなタイプのエンターテインメント関連属性が含まれます。

属性グループの複数レベルを作成できます。これにより、属性の優先順位付けおよび編成を行うことで、多数の属性を管理できます。属性ドメインの属性グループ、または既存の属性グループのサブグループである属性グループを作成できます。

属性グループは、「属性の管理 (Attribute Management)」画面から作成できます。

属性グループを作成するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
 2. 「アイテム (Item)」メニューから、「属性の管理 (Manage Attributes)」を選択します。または、ホーム・ページで「属性の管理 (Manage Attributes)」ハイパーリンクをクリックします。
 3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「アイテム属性 (Item Attributes)」パネルで、以下のツリーのいずれかを選択します。
 - 属性ドメイン - 属性グループは属性ドメインの直下に作成されます。
 - 既存属性グループ - 属性グループは既存属性グループの配下に作成されます。
- 注: ユーザーが、Web チャネル・アプリケーションでアイテムに割り当てられた属性を見る場合、属性および属性に割り当てられた値は「アイテム属性 (Item Attributes)」パネルのツリーで指定されたグループ化に基づいて表示されます。
4. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「属性グループの作成 (Create Attribute Group)」をクリックします。
 5. 「属性グループの詳細 (Attribute Group Details)」パネルが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「属性グループ ID (Attribute Group ID)*」ボックスで、属性グループの識別子 (ID) を入力します。この ID は、対応する属性ドメイン全体で固有にする必要があります。定義後には変更できません。
 - b. 「簡略説明 (Short Description)*」ボックスで、属性グループの簡略説明を入力します。「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリー内の属性グループは、この説明により識別されます。この簡略説明は、アイテム属性を表示する、Web チャネル・アプリケーションおよび Sterling Business Center 内のその他の画面でも表示されます。

- c. 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、属性グループの詳細説明を入力します。この詳細説明には、通常、属性グループに関するあらゆる追加情報が含まれます。
6. 「**属性の管理 (Attribute Management)**」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

新しい属性グループが作成されて、「**アイテム属性 (Item Attributes)**」ツリーに階層的に表示されます。

第 170 章 属性グループの変更

このタスクについて

属性グループを変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「属性の管理 (Manage Attributes)」を選択します。または、ホーム・ページで「属性の管理 (Manage Attributes)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリー内のツリーから、変更する属性グループを選択します。
4. 選択した属性グループの詳細を含む「属性グループの詳細 (Attribute Group Details)」パネルが表示されます。以下の必要な変更を行います。
 - 「簡略説明 (Short Description)*」テキスト・ボックスで、属性グループの簡略説明を変更できます。
 - 「詳細説明 (Long Description)」テキスト・ボックスで、属性グループの詳細説明を変更できます。

注: 属性グループ ID は読み取り専用ボックスです。

5. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面で、「保存 (Save)」をクリックします。

メモ:

- * は必須フィールドを示します。
- 複数のロケールが構成されている場合、「ローカライズ (Localize)」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「ローカライズ (Localize)」関連タスクが「関連タスク (Related Tasks)」パネルに表示されます。「簡略説明 (Short Description)」や「詳細説明 (Long Description)」などのローカライズ可能フィールドは、ユーザーのロケールに関係なく常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center がフランス語にローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI スtring がフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「ローカライズ (Localize)」アイコンまたは「ローカライズ (Localize)」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィールドのローカライズの詳細については、『Sterling Business Center のフィールドのローカライズ』を参照してください。

属性グループが変更されて、変更された簡略説明が「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリー内に階層的に表示されます。

第 171 章 属性の作成

属性作成の概要

属性は、対応するアイテムを定義する特性または仕様です。例えば、コンピュータの属性には以下を含めることができます。

- CPU のタイプ
- ハード・ディスク・サイズ (GB)
- USB ポートの数

属性は、属性が作成される属性グループに対して一意です。以下の属性タイプが作成できます。

- 有効値のある属性 - テキスト属性、ブール属性、または数値属性を作成し、属性ごとに有効な値を定義できます。
- アイテムのフィールドを参照する属性 - すぐに使用可能なアイテム・フィールドを参照する属性を作成できます。これにより、この属性の値は、「アイテムの管理 (item administration)」画面で指定できます。
- 派生属性 - 属性を別の属性から求めて派生属性の範囲を定義できます。これらの範囲は、Web チャネル・アプリケーションでアイテムまたはカテゴリーを検索する際に使用されます。
- 計算した属性 - 価格設定の管理に固有の計算した属性を作成できます。

注: 新規検索インデックス生成時には、許可された値を使用する属性および使用方法 (フィルター用) のみ使用されます。

属性は、「属性の管理 (Attribute Management)」画面から作成できます。

属性の作成

このタスクについて

属性を作成するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「属性の管理 (Manage Attributes)」を選択します。または、ホーム・ページで「属性の管理 (Manage Attributes)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「アイテム属性 (Item Attributes)」パネルのツリーから、その配下に属性を作成する属性グループを選択します。ユーザーが、Web チャネル・アプリケーションでアイテムの属性を見る場合、属性および属性に割り当てられた値は「アイテム属性 (Item Attributes)」パネルのツリーで指定されたグループ化に基づいて表示されます。

4. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「属性の作成 (Create Attribute)」をクリックします。
5. 「属性の詳細の管理 (Manage Attribute Details)」パネルが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「属性 ID (Attribute ID)*」ボックスで、属性の固有識別子 (ID) を入力します。この ID は、定義後は変更できません。属性 ID にはスペースも特殊文字も入れないでください。
 - b. 「簡略説明 (Short Description)*」ボックスで、属性の簡略説明を入力します。「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリー内の属性は、この説明により識別されます。この簡略説明は、アイテム属性を表示する、Web チャネル・アプリケーションおよび Sterling Business Center 内のその他の画面でも表示されます。
 - c. 「詳細説明 (Long Description)」フィールドで、属性の詳細説明を入力します。この詳細説明には、通常、属性に関するあらゆる追加情報が含まれます。
 - d. 「接尾辞 (Postfix)」ドロップダウン・リストから、属性の接尾辞を選択します。属性がそれに対応する値とともに表示される場合、選択された接尾辞が値に付加されます。例えば、長さの単位を定義するのにインチを選択できます。属性作成時に、「属性の詳細の管理 (Manage Attribute Details)」パネルで「接尾辞の管理 (Manage Postfix)」をクリックすることにより、接尾辞を「接尾辞 (Postfix)」ドロップダウン・リストに追加する必要があります。接尾辞を追加後に、「属性の詳細の管理 (Manage Attribute Details)」パネルで「接尾辞の管理 (Manage Postfix)」をクリックすることにより、接尾辞の変更および削除もできます。
 - e. 「属性タイプ (Attribute Type)」領域の下にあるラジオ・ボタンから、作成する属性のタイプを選択し、「属性タイプ固有フィールド (Attribute Type Specific Fields)」領域内の属性タイプ・フィールドを指定します (「属性タイプ (Attribute Type)」領域内のラジオ・ボタンが選択される場合、対応する説明が「属性タイプの固有情報 (Attribute Type Specific Information)」領域に表示されます)。

以下でこのタスクの詳細を説明します。

属性タイプ領域で、属性タイプを選択する場合、
属性タイプ固有フィールド領域で以下の手順を実行します。

有効値のある属性

「値タイプ (Value Type)*」ドロップダウン・リストから、属性の形式を選択します。

- テキスト属性 - 1 つ以上を選択できる、フリー・フォーム・テキストまたは値のリストです。
- 数値属性 - あらゆる数値、整数、浮動値などを取ることができます。
- ブール属性 - 有効値は True または False です。

アイテムのフィールドを参照してください

- 1) 「参照タイプ (Reference Type)」の下で、「アイテムのフィールド (Item Field)」ラジオ・ボタンまたは「アイテムのエイリアス

(Item Alias)」ラジオ・ボタンを選択します。「アイテムのフィールド (Item Field)」ラジオ・ボタンを選択する場合、「アイテムのフィールド (Item Field)*」ドロップダウン・リストが表示されます。選択しない場合、「アイテムのエイリアス (Item Alias)*」ドロップダウン・リストが表示されます。

- 2) 表示されるドロップダウン・リストから、適切な値を選択します。「アイテムのフィールド (Item Field)*」ドロップダウン・リストに表示されるオプションは、すぐに使用可能なフィールドです。アイテムの管理に関連する画面で表示されます。「アイテムのエイリアス (Item Alias)*」ドロップダウン・リストに表示されるアイテムのエイリアスは、Sterling Business Center のアイテム管理画面内の「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面で表示されます。

別の属性から派生

- 1) 「派生元 (Derived From)*」ボックスの横にある「検索 (Search)」アイコンをクリックして、派生元の数値属性を探します。
- 2) 「属性検索 (Attribute Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。数値属性を選択してから、「選択 (Select)」をクリックします。数値属性以外の属性は、「属性検索 (Attribute Search)」ダイアログ・ボックス内のツリーで使用できません。

計算した属性

この属性タイプのセットアップに関する情報が表示されます。

- f. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面で、「保存 (Save)」をクリックします。

メモ:

- g. * は必須フィールドを示します。
- h. 計算した属性として属性を作成する場合、またはアイテムのフィールドを参照する属性として属性を作成する場合、属性のタイプは変更できません。
- i. 計算した属性ではない属性を作成する場合、属性を計算した属性になるようには変更できません。つまり、属性タイプを変更する場合、属性を削除してから、該当の属性タイプの新規属性を作成します。
- j. 新規検索インデックス生成時には、許可された値を使用する属性および使用法 (フィルター用) のみ考慮されます。

新規属性は、対応する詳細パネルとともに、「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリー内の選択した属性グループの下に表示されます。例えば、テキスト属性を作成した場合、「テキスト属性のプロパティ (Text Attribute Properties)」パネルが表示されます。テキスト属性のプロパティを定義できるようになりました。

タスクの結果

関連項目:

- 接尾辞の属性値への追加

- 属性値の接尾辞の変更
- 接尾辞の属性値からの削除

第 172 章 属性の詳細の変更

このタスクについて

属性の詳細は変更することができます。ただし、属性タイプが「計算した属性 (Computed Attribute)」の場合、属性タイプは変更できません。

属性の詳細を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「属性の管理 (Manage Attributes)」を選択します。または、ホーム・ページで「属性の管理 (Manage Attributes)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリーから、詳細を変更する属性を選択します。
4. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「属性の詳細 (Attribute Details)」をクリックします。
5. 「属性の詳細の管理 (Manage Attribute Details)」パネルが表示されます。以下の必要な変更を行います。
 - 「簡略説明 (Short Description)*」テキスト・ボックスで、属性の簡略説明を変更します。「アイテム属性 (Item Attributes)」パネル内の属性は、この説明により識別されます。この簡略説明は、アイテム属性を表示する、Web チャネル・アプリケーションおよび Sterling Business Center 内のその他の画面でも表示されます。
 - 「詳細説明 (Long Description)」フィールドで、属性の詳細説明を変更します。この詳細説明には、通常、属性に関するあらゆる追加情報が含まれます。
 - 「接尾辞 (Postfix)」ドロップダウン・リストから、新しい接尾辞を選択します。
 - 「属性タイプ (Attribute Type)」領域の下にあるラジオ・ボタンから、属性の新規タイプを選択し、「属性タイプ固有フィールド (Attribute Type Specific Fields)」領域内の属性タイプ・フィールドを指定します (「属性タイプ (Attribute Type)」領域内のラジオ・ボタンが選択される場合、対応する説明が「属性タイプの固有情報 (Attribute Type Specific Information)」領域に表示されます)。

以下でこのタスクの詳細を説明します。

属性タイプ領域で、属性タイプを選択する場合、
属性タイプ固有フィールド領域で以下の手順を実行します。

有効値のある属性

「値タイプ (Value Type)*」ドロップダウン・リストから、属性の形式を選択します。

- テキスト属性 - 1 つ以上を選択できる、フリー・フォーム・テキストまたは値のリストです。
- 数値属性 - あらゆる数値、整数、浮動値などを取ることができません。
- ブール属性 - 有効値は True または False です。

アイテムのフィールドを参照してください

- a. 「参照タイプ (Reference Type)」の下で、「アイテムのフィールド (Item Field)」ラジオ・ボタンまたは「アイテムのエイリアス (Item Alias)」ラジオ・ボタンを選択します。「アイテムのフィールド (Item Field)」ラジオ・ボタンを選択する場合、「アイテムのフィールド (Item Field)*」ドロップダウン・リストが表示されます。選択しない場合、「アイテムのエイリアス (Item Alias)*」ドロップダウン・リストが表示されます。
- b. 表示されるドロップダウン・リストから、適切な値を選択します。「アイテムのフィールド (Item Field)*」ドロップダウン・リストに表示されるオプションは、すぐに使用可能なフィールドです。アイテムの管理に関連する画面で表示されます。「アイテムのエイリアス (Item Alias)*」ドロップダウン・リストに表示されるアイテムのエイリアスは、Sterling Business Center のアイテム管理画面内の「エイリアスとキーワード (Aliases and Keywords)」画面で表示されます。

別の属性から派生

- a. 「派生元 (Derived From)*」ボックスの横にある「検索 (Search)」アイコンをクリックして、派生元の数値属性を探します。
- b. 「属性検索 (Attribute Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。数値属性を選択してから、「選択 (Select)」をクリックします。数値属性以外の属性は、「属性検索 (Attribute Search)」ダイアログ・ボックス内のツリーで使用できません。

計算した属性

この属性タイプのセットアップに関する情報が表示されます。

6. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面で、「保存 (Save)」をクリックします。

注:

- 複数のロケールが構成されている場合、「ローカライズ (Localize)」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「ローカライズ (Localize)」関連タスクが「関連タスク (Related Tasks)」パネルに表示されます。「簡略説明 (Short Description)」や「詳細説明 (Long Description)」などのローカライズ可能フィールドは、ユーザーのロケールに関係なく常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center がフランス語にローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI スtringがフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「ローカライズ (Localize)」アイコンまたは「ローカライズ (Localize)」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィ

ワールドのローカライズの詳細については、『Sterling Business Center のワールドのローカライズ』を参照してください。

- * は必須フィールドを示します。

属性は変更されて、「**アイテム属性 (Item Attributes)**」ツリー内の選択した属性グループの下に表示されます。

第 173 章 属性グループおよび属性の順序の変更

このタスクについて

属性グループおよび属性を論理的にグループ化するために、属性グループおよび属性の順序を変更できます。属性グループおよび属性の順序は、対応するアイテムの詳細を顧客が表示する際に、Web チャンネル・アプリケーション内での属性の表示順序を決定します。

属性グループおよび属性の順序を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**属性の管理 (Manage Attributes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**属性の管理 (Manage Attributes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「**アイテム属性 (Item Attributes)**」パネルのツリーで、以下のタスクのいずれかを実行して、属性グループおよび属性の順序を変更します。
 - 順序を変更する属性グループまたは属性を選択してから、「**上方へ移動 (Move Up)**」アイコンをクリックしてツリー表示で現在の位置から 1 つ上の位置に移動するか、「**下方へ移動 (Move Down)**」アイコンをクリックしてツリー表示で現在の位置から 1 つ下の位置に移動します。これらのアイコンにより、同じ属性グループ内で、属性グループまたは属性を 1 つ上か 1 つ下の位置にのみ移動できます。
 - 属性グループまたは属性を選択してから、それを配置したい位置にドラッグします。選択した属性グループまたは属性の位置が変更されます。

属性グループおよび属性の順序が変更されます。

メモ:

- 属性を、異なる属性グループ間で移動することはできません。
- 子属性グループを、異なる親属性グループ間で移動することはできません。

第 174 章 値のリストのテキスト属性への割り当て

このタスクについて

テキスト属性には、定義された値のリスト (大、中、小など) を割り当てられます。属性に複数の値を割り当てられるかどうか、およびデフォルト値を割り当てられるかどうかを指定できます。

テキスト属性のプロパティは、「有効値のある属性 (Attribute with valid values)」ラジオ・ボタンを選択しており、かつ属性作成時に「属性の詳細の管理 (Manage Attribute Details)」パネルの「値タイプ (Value Type)*」ドロップダウン・リストから「テキスト属性 (Text Attribute)」オプションを選択した場合にのみ定義できます。

値のリストは、「属性の管理 (Attribute Management)」画面からテキスト属性に割り当てることができます。

値のリストをテキスト属性に割り当てるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「属性の管理 (Manage Attributes)」を選択します。または、ホーム・ページで「属性の管理 (Manage Attributes)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリーから、対応する属性を選択します。
4. 表示された「テキスト属性のプロパティ (Text Attribute Properties)」パネルで、「定義済みの値リスト (Defined List Of Values)」ラジオ・ボタンを選択します。
5. 「複数の値の割り当てを許可 (Allow assignment of multiple values)」チェック・ボックスを選択し、属性がアイテムのカテゴリに割り当てられる際に複数の値が割り当てられるようにします。
6. 「関連付けられたアイテムでは割り当て値は必須です (Assigned Value is Mandatory for Associated Items)」チェック・ボックスを選択して、この属性に対する値の割り当てを必須にします。このチェック・ボックスを選択する場合、属性のデフォルト値を削除することはできません。
7. 「有効値 (Valid Values)」領域で、「追加 (Add)」をクリックします。
8. 「新しい値 (New Value)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「値 (Value)*」ボックスで、値の ID を入力します。
 - b. 「簡略説明 (Short Description)*」ボックスで、値の簡略説明を入力します。
 - c. 「保存 (Save)」をクリックします。

値がテキスト属性に割り当てられて、「有効値 (Valid Values)」パネルに表示されます。

注: 新規のテキスト属性値をアイテムに割り当てる場合、デフォルトでは、既存のテキスト属性値リストの最後に追加されます。既存のテキスト属性値リストが複数ページにわたる場合、新規追加したテキスト属性値は、最後のページに最後の項目として表示されます。

9. 「有効値 (Valid Values)」パネルで、「**デフォルト (Default)**」チェック・ボックスを選択し、この値を属性のデフォルト値にします。

注: 値が属性のデフォルト値に指定されて、この属性がカテゴリーに割り当てられる場合、この値は、カテゴリーに関連する「属性の管理 (Attribute Management)」画面の対応するフィールドでデフォルトとして表示されます。ただし、「**保存 (Save)**」をクリックしない限り、この値はデフォルトとしてカテゴリー内のアイテムに割り当てられません。

10. 値のリストをテキスト属性に割り当てるには、手順の 7 から 9 を繰り返します。
11. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

メモ:

- 複数のロケールが構成されている場合、「**ローカライズ (Localize)**」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「**ローカライズ (Localize)**」関連タスクが「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルに表示されます。「**簡略説明 (Short Description)**」や「**詳細説明 (Long Description)**」などのローカライズ可能フィールドは、ユーザーのロケールに関係なく常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center がフランス語にローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI スtring がフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「**ローカライズ (Localize)**」アイコンまたは「**ローカライズ (Localize)**」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィールドのローカライズの詳細については、『Sterling Business Center のフィールドのローカライズ』を参照してください。
- * は必須フィールドを示します。

テキスト属性の値を保存した後で、「**アセット <アセットの数> (Asset <number of assets>)**」ハイパーリンクをクリックすることにより、テキスト属性の値のそれぞれに対してアセットを管理できます。括弧内の数は、現在のテキスト属性の値に関連付けられているアセットの数を示します。

属性値の順序は、「**上方へ移動 (Move Up)**」アイコンまたは「**下方へ移動 (Move Down)**」アイコンをクリックすることで変更できます。ただし、テキスト属性値の順序変更は、1 枚の結果ページ内に制限されます。例えばテキスト属性値のリストが 1 ページを超える場合、テキスト属性値をページ 1 からページ 2 に移動したり、ページ 2 からページ 1 に移動したりすることはできません。

タスクの結果

関連項目:

- 許容される値アセットのテキスト属性への追加
- テキスト属性の許容される値アセットの変更
- 許容される値アセットのテキスト属性からの削除

第 175 章 フリー・フォーム・テキスト値のテキスト属性への割り当て

このタスクについて

テキスト属性にはフリー・フォーム・テキストを割り当てることができます。属性に複数の値を割り当てられるかどうか、フリー・フォーム・テキストの最大文字長、およびデフォルト値を指定できます。

テキスト属性のプロパティは、「有効値のある属性 (Attribute with valid values)」ラジオ・ボタンを選択しており、かつ属性作成時に「属性の詳細の管理 (Manage Attribute Details)」パネルの「値タイプ (Value Type)*」ドロップダウン・リストから「テキスト属性 (Text Attribute)」オプションを選択した場合にのみ定義できます。

フリー・フォーム・テキスト値は、「属性の管理 (Attribute Management)」画面からテキスト属性に割り当てられます。

フリー・フォーム・テキスト値をテキスト属性に割り当てするには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「属性の管理 (Manage Attributes)」を選択します。または、ホーム・ページで「属性の管理 (Manage Attributes)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリーから、対応する属性を選択します。
4. 表示された「テキスト属性のプロパティ (Text Attribute Properties)」パネルで、「フリー・フォーム・テキスト (Free Form Text)」ラジオ・ボタンを選択します。
5. 「最大文字長 (Max Character Length)」ボックスで、値のとりうる最大文字長を入力します。
6. 「複数の値の割り当てを許可 (Allow assignment of multiple values)」チェック・ボックスを選択し、属性がアイテムのカテゴリに割り当てられる際に複数の値が割り当てられるようにします。
7. 「関連付けられたアイテムでは割り当て値は必須です (Assigned Value is Mandatory for Associated Items)」チェック・ボックスを選択して、この属性に対する値の割り当てを必須にします。このチェック・ボックスを選択する場合、属性のデフォルト値を削除することはできません。
8. 「デフォルト値 (Default Values)」領域で、「追加 (Add)」をクリックします。
9. 「新しい値 (New Value)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「値 (Value)*」ボックスで、値の ID を入力します。

b. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

メモ:

- 値が属性のデフォルト値に指定されて、この属性がカテゴリーに割り当てられる場合、この値は、カテゴリーに関連する「**属性の管理 (Attribute Management)**」画面の対応するフィールドでデフォルトとして表示されます。ただし、「**保存 (Save)**」をクリックしない限り、この値はデフォルトとしてカテゴリー内のアイテムに割り当てられません。
- 新規のテキスト属性値をアイテムに割り当てる場合、デフォルトでは、既存のテキスト属性値リストの最後に追加されます。既存のテキスト属性値リストが複数ページにわたる場合、新規追加したテキスト属性値は、最後のページに最後の項目として表示されます。

10. 「**属性の管理 (Attribute Management)**」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

新しいフリー・フォーム・テキスト値が、テキスト属性に割り当てられます。属性値の順序は、「**上方へ移動 (Move Up)**」アイコンまたは「**下方へ移動 (Move Down)**」アイコンをクリックすることで変更できます。ただし、テキスト属性値の順序変更は、1 枚の結果ページ内に制限されます。例えばテキスト属性値のリストが 1 ページを超える場合、テキスト属性値をページ 1 からページ 2 に移動したり、ページ 2 からページ 1 に移動したりすることはできません。

第 176 章 値のテキスト属性からの削除

このタスクについて

値をテキスト属性から削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**属性の管理 (Manage Attributes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**属性の管理 (Manage Attributes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**属性の管理 (Attribute Management)**」画面が表示されます。「**アイテム属性 (Item Attributes)**」パネルのツリーから、プロパティーを削除するテキスト属性を選択します。
4. 「**テキスト属性のプロパティー (Text Attribute Properties)**」パネルが表示されます。削除する値に対応するチェック・ボックスを選択し、「**その他のアクション (More Actions)**」ドロップダウン・メニューから「**削除 (Delete)**」を選択します。
5. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、値を削除します。

選択した値がテキスト属性から削除されます。

第 177 章 許容される値アセットのテキスト属性への追加

このタスクについて

アセットは、電子メディア・オブジェクトであり、アイテム、カテゴリ、属性、および属性値と関連付けます。アセット・タイプには、画像、ビデオ、オーディオ、およびテキスト・ファイルが含まれます。アセットは、テキスト属性の、許容される値に追加できます。

許容される値アセットは、「属性の管理 (Attribute Management)」画面からテキスト属性に追加できます。

許容される値アセットをテキスト属性に追加するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**属性の管理 (Manage Attributes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**属性の管理 (Manage Attributes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「**アイテム属性 (Item Attributes)**」ツリーから、対応する属性を選択します。
4. 「テキスト属性のプロパティ (Text Attribute Properties)」パネルが表示されます。「有効値 (Valid Values)」パネルで、「**アセット <数> (Assets <number>)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「許容される値アセットの管理 (Manage Allowed Value Assets)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**追加 (Add)**」をクリックします。
6. 「アセットの追加 (Add Asset)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「**アセット ID (Asset ID)***」ボックスで、アセットの固有識別子 (ID) を入力します。
 - b. 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスで、アセットの簡略説明を入力します。
 - c. 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、アセットの詳細説明を入力します。
 - d. 「**サーバー (Server)**」ドロップダウン・リストから、このアセット・タイプがあるサーバーを選択します。ドロップダウン・リストは、使用可能なすべてのサーバー・ロケーションまたは Applications Manager で設定されたコードのいずれかにより設定されます。
 - e. 「**タイプ (Type)**」ドロップダウン・リストから、アセット・タイプを選択します。選択したアセット・タイプが画像に関連する場合、サーバーおよびファイル名が指定されてから、対応する画像のプレビューが「アセット (Assets)」パネルに表示されます。
 - f. 「**ファイル (File)**」ボックスで、ファイル名を入力します。

g. 「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

許容される値アセットがテキスト属性へ追加されます。

第 178 章 テキスト属性の許容される値アセットの変更

このタスクについて

アセットの簡略説明と詳細説明を変更するように選択できます。また、サーバー・ロケーション、アセット・タイプ、およびアセットの作成先のファイル名を変更することもできます。

テキスト属性の許容される値アセットを変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**属性の管理 (Manage Attributes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**属性の管理 (Manage Attributes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「**アイテム属性 (Item Attributes)**」ツリーから、アセットを管理する属性を選択します。
4. 「**テキスト属性のプロパティ (Text Attribute Properties)**」パネルが表示されます。「**有効値 (Valid Values)**」パネルで、「**アセット <数> (Assets <number>)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「許容される値アセットの管理 (Manage Allowed Value Assets)」ダイアログ・ボックスが表示されます。変更するアセットの横にあるチェック・ボックスを選択します。
6. 「**アセットの詳細 (Asset Detail)**」領域が表示されます。以下の手順を実行して、必要な変更を行います。
 - 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスで、アセットの新しい簡略説明を入力します。
 - 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、アセットの新しい詳細説明を入力します。
 - 「**サーバー (Server)**」ドロップダウン・リストから、このアセット・タイプがある新しいサーバーを選択します。
 - 「**タイプ (Type)**」ドロップダウン・リストから、新しいアセット・タイプを選択します。選択したアセット・タイプが画像に関連する場合、対応する画像のプレビューが、サーバーおよびファイル名の指定後に「**アセット (Assets)**」パネルに表示されます。
 - 「**ファイル (File)**」ボックスで、新規ファイル名を入力します。
 - 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: 「**アセット ID (Asset ID)**」テキスト・ボックスが読み取り専用として表示されます。

許容される値アセットが変更されます。

第 179 章 許容される値アセットのテキスト属性からの削除

このタスクについて

アセットを属性から削除して、電子メディア・オブジェクトが属性に関連付けられないようにできます。

アセットを属性から削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**属性の管理 (Manage Attributes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**属性の管理 (Manage Attributes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**属性の管理 (Attribute Management)**」画面が表示されます。「**アイテム属性 (Item Attributes)**」ツリーから、アセットを管理する属性を選択します。
4. 「**テキスト属性のプロパティ (Text Attribute Properties)**」パネルが表示されます。「**有効値 (Valid Values)**」パネルで、「**アセット <数> (Assets <number>)**」ハイパーリンクをクリックします。
5. 「**許容される値アセットの管理 (Manage Allowed Value Assets)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。削除するアセットの横にあるチェック・ボックスを選択します。
6. 「**削除 (Delete)**」をクリックします。
7. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、アセットを削除します。

許容される値アセットがテキスト属性から削除されます。

第 180 章 ブール属性のプロパティの定義

このタスクについて

ブール属性のプロパティを定義して、「属性の管理 (Attribute Management)」画面からデフォルト値を True または False に定義できます。

ブール属性のプロパティは、「有効値のある属性 (Attribute with valid values)」ラジオ・ボタンを選択しており、かつ属性作成時に「属性の詳細の管理 (Manage Attribute Details)」パネルの「値タイプ (Value Type)*」ドロップダウン・リストから「ブール属性 (Boolean Attribute)」オプションを選択した場合にのみ管理できます。

ブール属性のプロパティを定義するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「属性の管理 (Manage Attributes)」を選択します。または、ホーム・ページで「属性の管理 (Manage Attributes)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリーから、対応する属性を選択します。
4. 「ブール属性の詳細 (Boolean Attribute Details)」パネルが表示されます。デフォルト値を False にするには、「デフォルトは False (Default to False)」ラジオ・ボタンを選択し、それ以外の場合は「デフォルトは True (Default to True)」ラジオ・ボタンを選択します。

注: 値が属性のデフォルト値に指定されて、この属性がカテゴリーに割り当てられる場合、この値は、カテゴリーに関連する「属性の管理 (Attribute Management)」画面の対応するフィールドでデフォルトとして表示されます。ただし、「保存 (Save)」をクリックしない限り、この値はデフォルトとしてカテゴリー内のアイテムに割り当てられません。

5. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面で、「保存 (Save)」をクリックします。

ブール属性のプロパティが定義されます。

第 181 章 数値属性のプロパティの定義

数値属性は、数値、整数、10 進数などを取ることができます。

数値属性のプロパティは、「有効値のある属性 (Attribute with valid values)」ラジオ・ボタンを選択しており、かつ属性作成時に「属性の詳細の管理 (Manage Attribute Details)」パネルの「値タイプ (Value Type)*」ドロップダウン・リストから「数値属性 (Number Attribute)」オプションを選択した場合にのみ定義できます。

数値属性のプロパティの定義には、以下のタスクが関係します。

- すべての数値の数値属性への割り当て
- 特定の数値の数値属性への割り当て

第 182 章 すべての数値の数値属性への割り当て

このタスクについて

すべての数値は、「有効値のある属性 (Attribute with valid values)」ラジオ・ボタンを選択しており、かつ属性作成時に「属性の詳細の管理 (Manage Attribute Details)」パネルの「値タイプ (Value Type)*」ドロップダウン・リストから「数値属性 (Number Attribute)」オプションを選択した場合にのみ数値属性に割り当てることができます。

すべての数値は、「属性の管理 (Attribute Management)」画面から少数または整数の形式で数値属性に割り当てることができます。

すべての数値を数値属性に割り当てするには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「属性の管理 (Manage Attributes)」を選択します。または、ホーム・ページで「属性の管理 (Manage Attributes)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリーから、対応する属性を選択します。
4. 「数値属性のプロパティ (Number Attribute Properties)」パネルが表示されます。この属性に対して少数値を許可するには、「小数値使用許可 (Allow Decimal Values)」チェック・ボックスを選択します。
5. 「すべての番号 (All Numbers)」ラジオ・ボタンを選択します。
6. 「デフォルト値 (Default Value)」フィールドで、デフォルト値を入力します。「複数の値の割り当てを許可 (Allow assignment of multiple values)」チェック・ボックスを選択しており、複数のデフォルト値が必要な場合は、複数の値をセミコロンで区切って入力します。

注: 値が属性のデフォルト値に指定されて、この属性がカテゴリーに割り当てられる場合、この値は、カテゴリーに関連する「属性の管理 (Attribute Management)」画面の対応するフィールドでデフォルトとして表示されます。ただし、「保存 (Save)」をクリックしない限り、この値はデフォルトとしてカテゴリー内のアイテムに割り当てられません。

7. 複数のデフォルト値を許可するには、カテゴリーまたはアイテムへの属性の割り当て時に「複数の値の割り当てを許可 (Allow assignment of multiple values)」チェック・ボックスを選択します。
8. 「関連付けられたアイテムでは割り当て値は必須です (Assigned Value is Mandatory for Associated Items)」チェック・ボックスを選択して、この属性値を必須にします。
9. 「保存 (Save)」をクリックします。

すべての数値が数値属性に割り当てられます。

第 183 章 特定の数値の数値属性への割り当て

このタスクについて

特定の数値は、「有効値のある属性 (Attribute with valid values)」ラジオ・ボタンを選択しており、かつ属性作成時に「属性の詳細の管理 (Manage Attribute Details)」パネルの「値タイプ (Value Type)*」ドロップダウン・リストから「数値属性 (Number Attribute)」オプションを選択した場合にのみ数値属性に割り当てることができます。

「属性の管理 (Attribute Management)」画面から、許可される数値の範囲 (「60 から 180 (60-180)」など) を指定して、任意の数値または増分値の範囲を数値属性に割り当てることができます。

特定の数値を数値属性に割り当てするには、以下の手順を実行します。:

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「属性の管理 (Manage Attributes)」を選択します。または、ホーム・ページで「属性の管理 (Manage Attributes)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリーから、対応する属性を選択します。
4. 「数値属性のプロパティ (Number Attribute Properties)」パネルが表示されます。この属性に対して少数値を許可するには、「少数値使用許可 (Allow Decimal Values)」チェック・ボックスを選択します。
5. 「特定番号 (Specific Numbers)」ラジオ・ボタンを選択します。
6. 「値 (Values)*」ボックスに、セミコロンで区切った複数の値、またはダッシュ (-) を使用した数値の範囲を入力します。例えば、「2; 3; 4; 6; 9; 10; 11」または「2-6; 9-11」のように入力できます。
7. 「増分基準 (Increment By)」ボックスには、数値範囲に対する増分を入力できます。例えば、「値 (Values)」ボックスに「10-20」と入力し、増分を「2」とした場合、許可される値のリストは、10、12、14、16、18、および 20 となります。
8. 「デフォルト値 (Default Value)」ボックスで、デフォルト値を入力します。「複数の値の割り当てを許可 (Allow assignment of multiple values)」チェック・ボックスを選択しており、複数のデフォルト値が必要な場合は、複数の値をセミコロンで区切って入力することもできます。

注: 値が属性のデフォルト値に指定されて、この属性がカテゴリーに割り当てられる場合、この値は、カテゴリーに関連する「属性の管理 (Attribute Management)」画面の対応するフィールドでデフォルトとして表示されます。ただし、「保存 (Save)」をクリックしない限り、この値はデフォルトとしてカテゴリー内のアイテムに割り当てられません。

9. 複数のデフォルト値を許可するには、カテゴリまたはアイテムへの属性の割り当て時に「**複数の値の割り当てを許可 (Allow assignment of multiple values)**」チェック・ボックスを選択します。
10. 「**関連付けられたアイテムでは割り当て値は必須です (Assigned Value is Mandatory for Associated Items)**」チェック・ボックスを選択して、この属性値を必須にします。
11. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

特定の数値が数値属性に割り当てられます。

第 184 章 派生属性の表示

このタスクについて

派生属性は、他の属性値から派生した値を持つ属性です。値の派生元にできるのは、数値属性の形式を持つ属性のみです。

派生属性は、「属性の管理 (Attribute Management)」画面から表示できます。

派生属性を表示するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**属性の管理 (Manage Attributes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**属性の管理 (Manage Attributes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「**アイテム属性 (Item Attributes)**」ツリーから、属性を選択します。
4. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**派生属性の表示 (View Derived Attributes)**」をクリックします。この関連タスクは、派生属性が関連付けられている属性を選択した場合のみ有効になります。

派生属性がリストされた「**派生属性 (Derived Attributes)**」パネルが表示されません。

第 185 章 派生属性の範囲の定義

このタスクについて

派生属性の範囲を定義して、アイテムの検索時に、定義された範囲内のアイテムが表示されるようにできます。

例えば、シャツの「サイズ (Size)」属性の範囲を「32 から 36 (32-36)」のように定義できます。データベース内のシャツは、それぞれ特定のサイズ範囲に割り当てられます。顧客が特定のシャツ・サイズを検索すると、割り当てられた範囲にそのシャツ・サイズがマップされ、その範囲内のすべてのシャツが表示されます。したがって、顧客がシャツの検索条件として 32 インチを入力すると、32 インチから 36 インチの範囲内にあるシャツがすべて表示されます。

派生属性の範囲を定義するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
 2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**属性の管理 (Manage Attributes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**属性の管理 (Manage Attributes)**」ハイパーリンクをクリックします。
 3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「**アイテム属性 (Item Attributes)**」ツリーから、範囲を定義する派生属性を選択します。
 4. 「派生属性の値範囲 (Derived Attribute Value Ranges)」が表示されます。「**追加 (Add)**」をクリックします。
 5. 表示される新規行で、以下の手順を実行します。
 - a. 「**下限: (From)***」ボックスをクリックし、開始範囲を入力します。
 - b. 「**上限: (To)***」ボックスをクリックし、終了範囲を入力します。
 - c. 「**説明 (Description)***」ボックスをクリックし、値の範囲の説明を入力します。例えば、「下限: (From)」パネルに「100」を入力して「上限: (To)」パネルに「250」を入力した場合、「**説明 (Description)**」テキスト・ボックスには「100-250」、「> 100」、または「100 以上」と入力することができます。
- 新しい値はリストの最後に追加されます。保存されるまで値の順序を変更することはできません。
6. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

メモ:

- 複数のロケールが構成されている場合、「**ローカライズ (Localize)**」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「**ローカライズ (Localize)**」関連タスクが「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルに表示されます。「**簡略説明 (Short Description)**」や「**詳細説明 (Long Description)**」などのローカライズ可能フィールドは、ユーザーのロケールに関係なく常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center がフランス語に

ローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI スtringがフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「**ローカライズ (Localize)**」アイコンまたは「**ローカライズ (Localize)**」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィールドのローカライズの詳細については、『Sterling Business Center のフィールドのローカライズ』を参照してください。

- * は必須フィールドを示します。

派生値の範囲が定義されます。

第 186 章 派生属性の値範囲の順序の変更

このタスクについて

派生属性の値範囲の順序を論理的に変更できます。派生属性の値範囲の順序は、対応するアイテムの詳細を顧客が表示する際に、Web チャネル・アプリケーション内での範囲の表示順序を決定します。

派生属性の値範囲の順序を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**属性の管理 (Manage Attributes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**属性の管理 (Manage Attributes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**属性の管理 (Attribute Management)**」画面が表示されます。「**アイテム属性 (Item Attributes)**」ツリーから、範囲を定義する派生属性を選択します。
4. 「**派生属性の値範囲 (Derived Attribute Value Ranges)**」が表示されます。順序を変更する派生属性の値範囲を選択してから、「**上方へ移動 (Move Up)**」アイコンをクリックして「**派生属性の値範囲 (Derived Attribute Value Ranges)**」パネル内で現在の位置から 1 つ上の位置に移動するか、「**下方へ移動 (Move Down)**」アイコンをクリックして「**派生属性の値範囲 (Derived Attribute Value Ranges)**」パネル内で現在の位置から 1 つ下の位置に移動します。

派生属性の値範囲の順序が変更されます。

第 187 章 派生属性から範囲を削除

このタスクについて

派生属性から範囲を削除するには:

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「属性の管理 (Manage Attributes)」を選択します。または、ホーム・ページで「属性の管理 (Manage Attributes)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリーから、範囲を定義する派生属性を選択します。
4. 「派生属性の値範囲 (Derived Attribute Value Ranges)」パネルで、「下限: (From)」の横にあるチェック・ボックスを選択します。この値は削除する値に対応しています。
5. 「その他のアクション (More Actions)」ドロップダウン・メニューから、「削除 (Delete)」を選択します。
6. 確認を求めるメッセージが表示されます。値を削除する場合は「はい (Yes)」をクリックします。

派生属性から範囲が削除されます。

第 188 章 接尾辞の属性値への追加

このタスクについて

接尾辞は、属性の割り当て値に追加する演算子です。例えば、「画面サイズ (Screen Size)」属性に「26 インチ (26 inches)」などの値を割り当てることができます。26 は数値属性値で、**インチ** が接尾辞になります。

接尾辞は、属性の作成時または属性の作成後、「属性の詳細の管理 (Manage Attribute Details)」パネルの「**接尾辞 (Postfix)**」ドロップダウン・リストに追加できます。

接尾辞を追加するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**属性の管理 (Manage Attributes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**属性の管理 (Manage Attributes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「**アイテム属性 (Item Attributes)**」ツリーから、接尾辞を管理する数値属性を選択します。

「**数値属性のプロパティ (Number Attribute Properties)**」パネルが表示されません。
4. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**属性の詳細 (Attribute Details)**」をクリックします。
5. 「属性の詳細 (Attribute Details)」パネルが表示されます。「**接尾辞の管理 (Manage Postfix)**」をクリックします。
6. 「**接尾辞の管理 (Manage Postfix)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**追加 (Add)**」をクリックします。
7. 「**新しい値 (New Value)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「**値 (Value)***」ボックスで、値の ID を入力します。
 - b. 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスで、値の簡略説明を入力します。
 - c. 「**説明 (Description)**」ボックスで、値についての詳細説明を入力します。
 - d. 「**保存 (Save)**」をクリックします。
8. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

新しい接尾辞が「**属性の詳細の管理 (Manage Attribute Details)**」パネルの「**接尾辞 (Postfix)**」ドロップダウン・リストに表示されます。

第 189 章 属性値の接尾辞の変更

このタスクについて

属性の接尾辞を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「属性の管理 (Manage Attributes)」を選択します。または、ホーム・ページで「属性の管理 (Manage Attributes)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリーから、接尾辞を管理する数値属性を選択します。

「数値属性のプロパティ (Number Attribute Properties)」パネルが表示されません。
4. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「属性の詳細 (Attribute Details)」をクリックします。
5. 「属性の詳細 (Attribute Details)」パネルが表示されます。「接尾辞の管理 (Manage Postfix)」をクリックします。
6. 「接尾辞の管理 (Manage Postfix)」ダイアログ・ボックスが表示されます。接尾辞の詳細を含む行で必要な変更を行います。
 - 「簡略説明 (Short Description)*」ボックスをクリックして、接尾辞の簡単な説明を変更します。
 - 「説明 (Description)」ボックスをクリックして、接尾辞の詳細な説明を変更します。
7. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面で、「保存 (Save)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

接尾辞の詳細が変更されます。

第 190 章 接尾辞の属性値からの削除

このタスクについて

接尾辞は、「属性の詳細の管理 (Manage Attribute Details)」パネルの「接尾辞 (Postfix)」ドロップダウン・リストから削除できます。

接尾辞を削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「属性の管理 (Manage Attributes)」を選択します。または、ホーム・ページで「属性の管理 (Manage Attributes)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリーから、接尾辞を管理する数値属性を選択します。

「数値属性のプロパティ (Number Attribute Properties)」パネルが表示されません。

4. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「属性の詳細 (Attribute Details)」をクリックします。
5. 「属性の詳細 (Attribute Details)」パネルが表示されます。「接尾辞の管理 (Manage Postfix)」をクリックします。
6. 「接尾辞の管理 (Manage Postfix)」ダイアログ・ボックスが表示されます。削除する接尾辞の横にあるチェック・ボックスを選択し、「削除 (Remove)」をクリックします。
7. 確認を求めるメッセージが表示されます。「はい (Yes)」をクリックして、接尾辞を削除します。

接尾辞が、「属性の管理の詳細 (Manage Attribute Details)」パネルの「接尾辞 (Postfix)」ドロップダウン・リストから削除されます。

第 191 章 アセットの属性への追加

このタスクについて

アセットは、電子メディア・オブジェクトであり、アイテム、カテゴリ、属性、および属性値と関連付けます。アセット・タイプには、画像、ビデオ、オーディオ、およびテキスト・ファイルが含まれます。

アセットごとにコンテンツ・ロケーションを指定する必要があります。一般的に、アセットは外部システムに常駐するデジタル・ベースのオブジェクトです。例えば、オンライン・カタログから使用できるカテゴリに画像ファイルを割り当てて、オンライン顧客に、このカテゴリを表す画像を表示させることができます。このようなシナリオでは、画像ファイルのコンテンツ・ロケーションを指定する必要があります。コンテンツ・ロケーションは、画像ファイルのロケーションを示すパスです。

アセットは、「有効値のある属性 (Attribute with valid values)」ラジオ・ボタンを選択しているか、属性作成時に「属性の詳細の管理 (Manage Attribute Details)」パネルで「アイテム・フィールドを参照 (Refers to an item field)」ラジオ・ボタンを選択した場合のみ属性に追加できます。

アセットは、「属性の管理 (Attribute Management)」画面から属性に追加できます。

アセットを属性に追加するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「属性の管理 (Manage Attributes)」を選択します。または、ホーム・ページで「属性の管理 (Manage Attributes)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「アイテム属性 (Item Attributes)」ツリーから、アセットを管理する属性を選択します。
4. 「属性の詳細 (Attribute Details)」パネルが表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「アセットの管理 (Manage Assets)」をクリックします。
5. 「属性アセット (Attribute Assets)」パネルが表示されます。「追加 (Add)」をクリックします。
6. 「アセットの詳細 (Asset Detail)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「アセット ID (Asset ID)*」ボックスで、アセットの固有識別子 (ID) を入力します。
 - b. 「簡略説明 (Short Description)*」ボックスで、アセットの簡単な説明を入力します。
 - c. 「詳細説明 (Long Description)」ボックスで、アセットの詳細な説明を入力します。

- d. 「**サーバー (Server)**」ドロップダウン・リストから、このアセット・タイプがあるサーバーを選択します。ドロップダウン・リストには、使用可能なすべてのサーバー・ロケーションまたは Applications Manager で設定されたコードのいずれかが含まれます。
 - e. 「**タイプ (Type)**」ドロップダウン・リストから、アセット・タイプを選択します。選択したアセット・タイプが画像に関連する場合、サーバーおよびファイル名が指定されてから、対応する画像のプレビューが「アセット (Assets)」パネルに表示されます。
 - f. 「**ファイル (File)**」ボックスで、ファイルの名前を入力します。
 - g. 「**保存 (Save)**」をクリックします。
7. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

新しいアセットが選択した属性に追加されます。

第 192 章 アセットの属性の変更

このタスクについて

アセットの簡略説明と詳細説明を変更するように選択できます。また、サーバー・ロケーション、アセット・タイプ、およびアセットの作成先のファイル名を変更することもできます。

アセットの属性を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**属性の管理 (Manage Attributes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**属性の管理 (Manage Attributes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「**アイテム属性 (Item Attributes)**」ツリーから、アセットを管理する属性を選択します。
4. 「属性の詳細 (Attribute Details)」パネルが表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**アセットの管理 (Manage Assets)**」をクリックします。
5. 「属性アセット (Attribute Assets)」パネルが表示されます。変更するアセットの横にあるチェック・ボックスを選択します。
6. 「**アセットの詳細 (Asset Detail)**」領域が表示されます。以下の必要な変更を行います。
 - 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスで、アセットの簡単な説明を新規に入力します。
 - 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、アセットの詳細な説明を新規に入力します。
 - 「**サーバー (Server)**」ドロップダウン・リストから、このアセット・タイプがある新しいサーバーを選択します。
 - 「**タイプ (Type)**」ドロップダウン・リストから、新しいアセット・タイプを選択します。選択したアセット・タイプが画像に関連する場合、対応する画像のプレビューが、サーバーおよびファイル名の指定後に「**アセット (Assets)**」パネルに表示されます。
 - 「**ファイル (File)**」ボックスで、ファイルの新規名を入力します。
 - 「**保存 (Save)**」をクリックします。
7. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

アセットが変更されます。

第 193 章 アセットの属性からの削除

このタスクについて

アセットを属性から削除して、電子メディア・オブジェクトが属性に関連付けられないようにできます。

アセットを属性から削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**属性の管理 (Manage Attributes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**属性の管理 (Manage Attributes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「**アイテム属性 (Item Attributes)**」ツリーから、アセットを削除する属性を選択します。
4. 「属性の詳細 (Attribute Details)」パネルが表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**アセットの管理 (Manage Assets)**」をクリックします。
5. 「属性アセット (Attribute Assets)」パネルが表示されます。削除するアセットの横にあるチェック・ボックスを選択します。
6. 「**削除 (Delete)**」をクリックします。
7. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、アセットを削除します。

アセットが対応する属性から削除されます。

第 194 章 属性の削除

このタスクについて

属性を削除する前に、その属性がアイテムやカテゴリに割り当てられていないことを確認してください。割り当てを解除しないと、属性の詳細がアプリケーションや Web チャンネル・アプリケーションに正しく表示されなくなります。

属性を削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**属性の管理 (Manage Attributes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**属性の管理 (Manage Attributes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**属性の管理 (Attribute Management)**」画面が表示されます。「**アイテム属性 (Item Attributes)**」パネルのツリーから、削除する属性を選択します。
4. 「**属性の詳細の管理 (Manage Attribute Details)**」パネルが表示されます。「**削除 (Delete)**」をクリックします。
5. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、属性を削除します。

属性が削除され、その属性が属していた属性グループに関連する「**属性グループの詳細 (Attribute Group Details)**」パネルが表示されます。

第 195 章 属性グループの削除

このタスクについて

属性グループを削除する前に、その属性グループの属性がアイテムやカテゴリに割り当てられていないことを確認してください。割り当てを解除しないと、割り当てられた属性の詳細が Sterling Business Center や Web チャネル・アプリケーションに正しく表示されなくなります。

属性グループを削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**属性の管理 (Manage Attributes)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**属性の管理 (Manage Attributes)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「属性の管理 (Attribute Management)」画面が表示されます。「**アイテム属性 (Item Attributes)**」パネルのツリーから、削除する属性グループを選択します。
4. 選択した属性グループの詳細を含む「属性グループの詳細 (Attribute Group Details)」パネルが表示されます。「**削除 (Delete)**」をクリックします。
5. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、属性グループを削除します。

選択した属性グループが子グループや属性を含めすべて削除され、親属性グループの詳細が「属性グループの詳細 (Attribute Group Details)」パネルに表示されません。属性グループに親属性グループがない場合は、属性ドメインの詳細が「**属性ドメインの詳細 (Attribute Domain Details)**」パネルに表示されます。

第 196 章 組織のサブカタログ組織リストへの追加

サブカタログ組織の概要

サブカタログ組織は、カタログ組織によって権限を付与されたエンタープライズであり、マスター・カタログ内の複数のカテゴリを管理したり、マスター・カタログ内のカテゴリに対する他の組織のアクセスを許可または拒否するカタログ資格を定義したりします。サブカタログ組織は、ベンダー・エンタープライズまたはセラー・エンタープライズのいずれかになります。サブカタログ組織には次の機能があります。

- マスター・カタログ内のサブカタログ組織に割り当てられたカテゴリの管理
- マスター・カタログのカテゴリ内のサブカタログ組織に割り当てられたアイテムの管理
- カatalog組織属性のカテゴリへの割り当て
- マスター・カタログからサブカタログ組織のカテゴリへのアイテムの割り当て

組織を追加できるのは、Applications Manager で既に設定されているサブカタログ組織リストのみです。

組織は、「サブカタログ組織 (Subcatalog Organizations)」画面からサブカタログ組織として追加できます。

組織のサブカタログ組織リストへの追加

このタスクについて

組織をサブカタログ組織として追加するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サブカタログ組織の管理 (Manage Subcatalog Organizations)」を選択します。または、ホーム・ページで「サブカタログ組織の管理 (Manage Subcatalog Organizations)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「サブカタログ組織 (Subcatalog Organizations)」画面が表示されます。「追加 (Add)」をクリックします。
4. 「組織の基本検索 (Basic Organization Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックします。
 - b. 組織のリストが表示されます。対応する組織コードの横にあるチェック・ボックスを選択します。
 - c. 「保存 (Save)」をクリックします。

選択した組織がサブカタログ組織として追加されます。

第 197 章 組織のサブカタログ組織リストからの削除

このタスクについて

以降、この組織をサブカタログ組織として使用しない場合は、組織を削除することができます。

サブカタログ組織は、「サブカタログ組織 (Subcatalog Organizations)」画面から削除できます。

組織をサブカタログ組織リストから削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「サブカタログ組織の管理 (Manage Subcatalog Organizations)」を選択します。または、ホーム・ページで「サブカタログ組織の管理 (Manage Subcatalog Organizations)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「サブカタログ組織 (Subcatalog Organizations)」画面が表示されます。削除するサブカタログ組織の横にあるチェック・ボックスを選択します。
4. 「削除 (Remove)」をクリックします。
5. 確認を求めるメッセージが表示されます。「はい (Yes)」をクリックして、サブカタログ組織を削除します。

組織がサブカタログ組織から削除されます。

第 198 章 Sterling Business Center での顧客資格の作成

このタスクについて

顧客資格を作成することで、エンタープライズは、顧客が購入可能なアイテムを定義できるようになります。例えば、エンタープライズは顧客に対して、「アパレル (Apparel)」カテゴリのアイテムの購入を禁止し、「電化製品 (Electronics)」カテゴリのアイテムの購入を許可することができます。

顧客資格は、「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面から作成できます。

顧客資格を作成するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**新規顧客資格 (New Customer Entitlement)**」を選択します。または、ホーム・ページで、「**顧客資格 (Customer Entitlements)**」の下の「**新規資格 (New Entitlement)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「資格の詳細 (Entitlement Detail)」パネルが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「**資格 ID (Entitlement ID)***」ボックスで、資格の固有識別子 (ID) を入力します。この ID は定義後は変更できないため、検索条件として使用できます。

注: 顧客資格とセラー資格では同じ ID を共有できません。例えば、「ABC」というセラー資格が資格 ID として存在する場合に、顧客資格の「**資格 ID (Entitlement ID)***」ボックスに「ABC」と入力すると、エラー・メッセージが表示されます。

 - b. 「**説明 (Description)***」ボックスで、資格についての簡単な説明を入力します。この説明は、検索条件として使用できます。
 - c. 「**有効開始日 (Effective Start Date)**」ボックスで、開始日を入力します。または、「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして開始日を選択します。開始日は、資格が有効になる開始日を示します。
 - d. 「**有効終了日 (Effective End Date)**」ボックスで、終了日を入力します。または、「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして終了日を選択します。終了日は、資格が有効である期日を示します。
4. 「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

新しい資格が作成されます。これにより、次のタスクを実行することで、ルールを作成し、顧客を資格に関連づけることができますようになります。

- 顧客資格を施行するためのルールを指定します。

- 顧客に割り当てるアイテムを指定します。
- 顧客資格に顧客を割り当てます。

第 199 章 Sterling Business Center での顧客資格の検索

以下のいずれかのオプションを使用して顧客資格を検索し、その詳細を表示できます。

- **基本検索 (Basic Search):** この検索タイプを使用すると、顧客資格の完全または部分的な ID や、顧客資格の完全または部分的な説明など、基本的な条件を指定したクイック検索を実行できます。
- **拡張検索 (Advanced Search):** この検索タイプを使用すると、選択した条件に基づく検索を実行できます。条件および対応する演算子を選択してから、対応する値を選択または指定できます。

顧客資格は、「顧客資格の検索 (Customer Entitlement Search)」画面から検索できます。

Sterling Business Center での資格の基本検索

このタスクについて

資格の基本検索を行うには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**顧客資格の検索 (Find Customer Entitlement)**」を選択します。または、ホーム・ページで、「**顧客資格 (Customer Entitlements)**」の下の「**資格の検索 (Find Entitlement)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**資格の検索 (Entitlement Search)**」画面が表示されます。「**次を含む資格 ID (Entitlement ID Contains)**」テキスト・ボックスで、検索対象の資格の完全または部分的な ID を入力します。
4. 「**次を含む資格説明 (Entitlement Description Contains)**」ボックスで、検索対象の資格の完全または部分的な説明を入力します。
5. 現在の日付が有効範囲に属する資格を含めるには、「**有効日付範囲に本日が含まれる資格のみを含める (Only include entitlements for which today is within the effective date range)**」チェック・ボックスを選択します。
6. 「**検索 (Search)**」をクリックします。

検索条件に一致する資格が表示されます。ただし、検索条件に一致する顧客資格が 1 つのみの場合は、「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面が表示されません。

注: 管理組織が資格組織ではない場合、その管理組織の資格組織で使用可能な資格が表示されます。

Sterling Business Center での資格の拡張検索

このタスクについて

資格の拡張検索を行うには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「顧客資格の検索 (Find Customer Entitlement)」を選択します。または、ホーム・ページで、「顧客資格 (Customer Entitlements)」の下の「資格の検索 (Find Entitlement)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「資格の検索 (Entitlement Search)」画面が表示されます。「拡張検索 (Advanced Search)」をクリックします。
4. 「資格の拡張検索 (Advanced Entitlement Search)」パネルが表示されます。「条件の選択 (Select Criteria)」ドロップダウン・リストから、検索に含める条件を選択します。例えば、ステータスで資格を検索するには、「条件の検索 (Select Criteria)」ドロップダウン・リストから「ステータス (Status)」を選択します。
5. 「演算子 (Operator)」ドロップダウン・リストから、検索条件に使用する演算子を選択します。

対応するフィールドで、適切な値を入力するか選択します。選択した演算子に基づいてフィールドが表示されます。例えば、「条件の選択 (Select Criteria)」ドロップダウン・リストから「有効開始日 (Effective Start Date)」を選択し、「演算子 (Operator)」ドロップダウン・リストから「範囲内 (Between)」を選択した場合、適切な日付を入力または選択する 2 つのフィールドが表示されます。

注: 少なくとも 1 つの検索条件と 1 つの対応する値を選択または入力する必要があります。複数の検索条件を選択または入力した場合、すべての条件に一致する資格が返されます。

6. 「検索 (Search)」をクリックします。

検索条件に一致する資格が表示されます。ただし、検索条件に一致する顧客資格が 1 つしかない場合は、「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面が表示されません。

注: 管理組織が資格組織ではない場合、その管理組織の資格組織で使用可能な資格が表示されます。

Sterling Business Center での資格の拡張検索への検索条件の追加

このタスクについて

追加の検索条件を含めて、より詳細な検索を実行したり、検索結果を絞り込んだりすることができます。

追加の検索条件を含めるには、以下の手順を実行します。

手順

1. 「資格の拡張検索 (Advanced Entitlement Search)」画面で、「さらに条件を追加 (Add More Criteria)」をクリックします。
2. 追加の検索条件を指定する新しい行が表示されます。適切な検索条件を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。

検索条件に一致する資格が表示されます。ただし、検索条件に一致する顧客資格が 1 つのみの場合は、「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面が表示されます。

注: 管理組織が資格組織ではない場合、その管理組織の資格組織で使用可能な資格が表示されます。

第 200 章 顧客資格ルールを作成

顧客資格ルールの概要

顧客資格ルールを作成して、顧客資格に基づいて顧客に割り当てられるアイテムを含めたり除外したりすることができます。例えば、「電子 (Electronic)」カテゴリで、240 ボルトのアイテムを除くすべてのアイテムを顧客が購入できるアイテム資格ルールを作成できます。したがって、「電子 (Electronic)」カテゴリに 100 個のアイテムがあり、その 20 個のアイテムに電圧属性として 240 ボルト値が割り当てられている場合、顧客は残りの 80 個のアイテムのみを購入できることとなります。

次のパラメーターに基づいて資格ルールを作成し、アイテムを含めたり除外したりすることができます。

- カテゴリ - 特定のカテゴリ下のすべてのアイテムが対象となることを示します。
- 属性値 - 割り当て済みの属性値を持つすべてのアイテムが対象となることを示します。
- アイテムのリスト - 特定のアイテム・リスト内にあるすべてのアイテムが対象となることを示します。

注: 一括出荷バンドル・アイテムの顧客資格が、バンドル内の親アイテムとコンポーネント・アイテムとで、同じであることを確認してください。

顧客資格ルールは、「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面から作成できます。

顧客資格ルールの作成

このタスクについて

顧客資格ルールを作成するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「顧客資格の検索 (Find Customer Entitlement)」を選択します。または、ホーム・ページで、「顧客資格 (Customer Entitlements)」の下の「資格の検索 (Find Entitlement)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「顧客資格の検索 (Customer Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。

4. 「資格 (Entitlements)」パネルに検索結果が表示されます。ルールを管理する資格に対応する「資格 ID (Entitlement ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「資格 ID (Entitlement ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「資格項目リストの作成基準 (Create Entitlement Item List By)」領域が表示されたら、「すべてのアイテム (all items)」ボックスの横にあるラジオ・ボタンのいずれかを選択します。
 - **含める (Including)** - 対応するカタログ内のすべてのアイテムを含むルールを作成するには、このラジオ・ボタンをクリックします。
 - **除外 (Excluding)** - 対応するカタログ内のすべてのアイテムを除外するルールを作成するには、このラジオ・ボタンをクリックします。
6. 「その後、次の条件が適用されます (Then Apply The Following Criteria)」領域で、以下に示すようにルールを定義します。

フィールド

説明

テキスト・ボックス*

ルールのシーケンス番号を入力します。

注: 必ずルールに固有のシーケンスを指定してください。

ラジオ・ボタン

次のいずれかのラジオ・ボタンを選択します。

- **含む (Include)** - 資格内のアイテムを含めるには、このラジオ・ボタンを選択します。
- **除外 (Exclude)** - 資格内のアイテムを除外するには、このラジオ・ボタンを選択します。

次に該当するすべてのアイテム

次のいずれかのラジオ・ボタンを選択します。

- 「**カテゴリとの関連付けあり (is associated with the category)**」 - 資格内の特定のカテゴリに関連付けられたすべてのアイテムを含めるか除外するには、このラジオ・ボタンを選択します。「**検索**」アイコンをクリックして、アイテムが関連付けられるカテゴリを検索します。「**ツリー (Tree)**」パネルが表示されます。必要なカテゴリを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。選択したカテゴリがボックスに表示されます。
- 「**次のリストの一部 (are part of the list of)**」 - 資格内の特定のアイテムを含めるか除外するには、このラジオ・ボタンを選択します。「**アイテム (Items)**」パネルが表示されます。「**アイテムの追加 (Add Items)**」をクリックして、資格に含めるか資格から除外するアイテムに対応するアイテム ID を追加します。「**基本的なアイテム検索 (Basic Item Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックします。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。表示される「**アイテム (Items)**」パネルで、追加する「**アイテム ID (Item ID)**」の横にあるチェック・ボックスを選択して、「**選択 (Select)**」をクリ

ックします。選択した「**アイテム ID (Item ID)**」が「**アイテム (Items)**」パネルのリストに追加されます。また、「**アイテム (Items)**」パネルで「**アイテム ID (Item ID)**」の横にある「**削除 (Delete)**」アイコンをクリックして、アイテムをリストから削除することもできます。「**アイテム (Items)**」パネルのリストからアイテム削除するには、削除する「**アイテム ID (Item ID)**」の横にあるチェック・ボックスを選択し、「**削除 (Remove)**」をクリックします。

注: 「**アイテム (Items)**」パネルのリストに追加したアイテム数が 15 より多い場合は、「**さらに表示 (View More)**」リンクが表示されます。「**さらに表示 (View More)**」リンクをクリックすると、「**資格ルール詳細アイテム (Entitlement Rule Detail Items)**」ダイアログ・ボックスにアイテムの完全なリストが表示されます。

- アイテムを追加するには、「**追加 (Add)**」をクリックします。表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」ダイアログ・ボックスで検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。検索条件と一致するアイテムのリストが表示されます。リストに追加するアイテムを選択し、「**保存 (Save)**」をクリックします。1 つまたは複数の新規アイテムがリストに追加されます。
- リストからアイテム削除するには、削除するアイテム ID の横にあるチェック・ボックスを選択し、「**削除 (Remove)**」をクリックします。または、「**アイテムの検索 (Find item(s))**」ボックスを使用して、「**資格ルール詳細アイテム (Entitlement Rule Detail Items)**」ダイアログ・ボックスに表示されているアイテムのリストにフィルターを掛けることができます。削除するアイテム ID の全体または一部を入力し、「**GO (Go)**」アイコンをクリックします。なお、ID の一部を入力した場合は、「**次から始まる (Starts With)**」タイプで検索します。検索条件と一致するアイテムのリストが表示されます。削除するアイテムを選択して、「**削除 (Remove)**」をクリックします。
- 「**次の属性を持つ (have the attribute)**」 - 資格内で、選択したアイテム属性に特定の値を持つすべてのアイテムを含めるか除外するには、このラジオ・ボタンを選択します。検索ウィジェットが表示されます。「**検索**」アイコンをクリックして、アイテム属性を検索します。「**属性検索 (Attribute Search)**」パネルが表示されます。必要な属性を選択します。「**次の値を指定 (Specify Value For)**」領域で、データ型に基づき、以下を実行して属性値を割り当てることができます。
 - テキスト・データ型の場合、対応するフィールドに新しい値を入力します。

注: テキスト属性に対して定義されている許容値の数が 30 以下の場合は、ドロップダウン・リストが表示されます。テキスト属性値の数が 30 を超える場合は、ドロップダウン・リストが、検索アイコン付きテキスト・ボックスに置き換わります。この検索アイコンを使用して、テキスト属性値を検索することができます。検索アイコンをクリックすると、「**許容値の検索 (Allowed Values Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。テキスト属性値を検索するために、テキス

ト属性値またはテキスト属性値の説明を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。入力した検索条件と一致する許容値のリストが表示されます。

必要なテキスト属性値を選択して、「**選択 (Select)**」をクリックします。既存のテキスト属性値をクリアするには、検索アイコンの横にある「**削除 (Delete)**」アイコンを使用します。

- ブール・データ型の場合、対応するチェック・ボックスを選択またはクリアします。

- 数値データ型の場合、対応するフィールドに新しい値を入力します。

- 属性に複数の値が許可されている場合は、「**変更 (Modify)**」ハイパーリンクをクリックします。表示される「複数属性値の選択 (Select Multi Attribute Values)」ダイアログ・ボックスで、以下の手順を実行します。

- i. 「**追加 (Add)**」アイコンをクリックして、別の値を追加します。
- ii. 表示されるドロップダウン・リストから必要な値を選択します。
- iii. 複数の値を追加するには、手順 i および ii を繰り返します。
- iv. 「**選択 (Select)**」をクリックします。

選択した値が、「**次の値を指定 (Specify Value For)**」領域の「**値 (Values)**」ボックスに表示されます。

ヒント: 値を削除するには、それぞれの値の横にある「**削除 (Delete)**」アイコンをクリックします。

注: 3 つの基本的なデータ型がありますが、各データ型の表示方法は、「属性の管理 (Attribute Management)」での属性の設定方法によって異なります。例えば、数値データ型の場合、値がテキスト・ボックスではなく、ドロップダウン・リストにリストされることがあります。

「**選択 (Select)**」をクリックします。選択した属性とその値がルールを含む行に表示されます。

7. 別のルールを追加するには、「**追加 (Add)**」アイコンをクリックします。
8. 新しい行が追加されます。手順 2 を繰り返して、ルールを定義します。
9. 「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

ルールまたはルールのリストが作成されます。

第 201 章 顧客資格ルールの変更

このタスクについて

顧客資格ルールを変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「顧客資格の検索 (Find Customer Entitlement)」を選択します。または、ホーム・ページで、「顧客資格 (Customer Entitlements)」の下の「資格の検索 (Find Entitlement)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「顧客資格の検索 (Customer Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「資格 (Entitlements)」パネルに検索結果が表示されます。ルールを管理する資格に対応する「資格 ID (Entitlement ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「資格 ID (Entitlement ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「資格項目リストの作成基準 (Create Entitlement Item List By)」領域で、「すべてのアイテム (all items)」ボックスの横にあるラジオ・ボタンのいずれかを選択します。
 - 含める (Including) - 対応するカタログ内のすべてのアイテムを含むルールを作成するには、このラジオ・ボタンをクリックします。
 - 除外 (Excluding) - 対応するカタログ内のすべてのアイテムを除外するルールを作成するには、このラジオ・ボタンをクリックします。
6. 「その後、次の条件が適用されます (Then Apply The Following Criteria)」領域で、以下に示すように必要な変更を行います。

フィールド

説明

テキスト・ボックス

ルールの新しいシーケンス番号を入力します。

注: 必ずルールに固有のシーケンスを指定してください。

ラジオ・ボタン

次のいずれかのラジオ・ボタンを選択します。

- 含む (Include) - 資格内のアイテムを含めるには、このラジオ・ボタンを選択します。
- 除外 (Exclude) - 資格内のアイテムを除外するには、このラジオ・ボタンを選択します。

次に該当するすべてのアイテム

次のいずれかのラジオ・ボタンを選択します。

- 「**カテゴリとの関連付けあり (is associated with the category)**」 - 資格内の特定のカテゴリに関連付けられたすべてのアイテムを含めるか除外するには、このラジオ・ボタンを選択します。「**検索**」アイコンをクリックして、アイテムが関連付けられるカテゴリを検索します。「**ツリー (Tree)**」パネルが表示されます。必要なカテゴリを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。選択したカテゴリがボックスに表示されます。
- 「**次のリストの一部 (are part of the list of)**」 - 資格内の特定のアイテムを含めるか除外するには、このラジオ・ボタンを選択します。「**アイテム (Items)**」パネルが表示されます。「**アイテムの追加 (Add Items)**」をクリックして、資格に含めるか資格から除外するアイテムに対応するアイテム ID を追加します。「**基本的なアイテム検索 (Basic Item Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックします。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。表示される「**アイテム (Items)**」パネルで、追加する「**アイテム ID (Item ID)**」の横にあるチェック・ボックスを選択して、「**選択 (Select)**」をクリックします。選択した「**アイテム ID (Item ID)**」が「**アイテム (Items)**」パネルのリストに追加されます。また、「**アイテム (Items)**」パネルで「**アイテム ID (Item ID)**」の横にある「**削除 (Delete)**」アイコンをクリックして、アイテムをリストから削除することもできます。「**アイテム (Items)**」パネルのリストからアイテム削除するには、削除する「**アイテム ID (Item ID)**」の横にあるチェック・ボックスを選択し、「**削除 (Remove)**」をクリックします。

注: 「**アイテム (Items)**」パネルのリストに追加したアイテム数が 15 より多い場合は、「**さらに表示 (View More)**」リンクが表示されます。「**さらに表示 (View More)**」リンクをクリックすると、「**資格ルール詳細アイテム (Entitlement Rule Detail Items)**」ダイアログ・ボックスにアイテムの完全なリストが表示されます。

- アイテムを追加するには、「**追加 (Add)**」をクリックします。表示された「**アイテムの検索 (Item Search)**」ダイアログ・ボックスで検索条件を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。検索条件と一致するアイテムのリストが表示されます。リストに追加するアイテムを選択し、「**保存 (Save)**」をクリックします。1 つまたは複数の新規アイテムがリストに追加されます。
- リストからアイテム削除するには、削除するアイテム ID の横にあるチェック・ボックスを選択し、「**削除 (Remove)**」をクリックします。または、「**アイテムの検索 (Find item(s))**」ボックスを使用して、「**資格ルール詳細アイテム (Entitlement Rule Detail Items)**」ダイアログ・ボックスに表示されているアイテムのリストにフィルターを掛けることができます。削除するアイテム ID の全体または一部を入力し、「**GO (Go)**」アイコンをクリックします。なお、ID の一部を入力した場合は、「次から始まる (Starts

With)」タイプで検索します。検索条件と一致するアイテムのリストが表示されます。削除するアイテムを選択して、「**削除 (Remove)**」をクリックします。

- 「**次の属性を持つ (have the attribute)**」 - 資格内で、選択したアイテム属性に特定の値を持つすべてのアイテムを含めるか除外するには、このラジオ・ボタンを選択します。検索ウィジェットが表示されます。「**検索**」アイコンをクリックして、アイテム属性を検索します。「**属性検索 (Attribute Search)**」パネルが表示されます。必要な属性を選択します。「**次の値を指定 (Specify Value For)**」領域で、データ型に基づき、以下を実行して属性値を割り当てることができます。

- テキスト・データ型の場合、対応するフィールドに新しい値を入力します。

注: テキスト属性に対して定義されている許容値の数が 30 以下の場合、ドロップダウン・リストが表示されます。テキスト属性値の数が 30 を超える場合は、ドロップダウン・リストが、検索アイコン付きテキスト・ボックスに置き換わります。この検索アイコンを使用して、テキスト属性値を検索することができます。検索アイコンをクリックすると、「**許容値の検索 (Allowed Values Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。テキスト属性値を検索するために、テキスト属性値またはテキスト属性値の説明を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。入力した検索条件と一致する許容値のリストが表示されます。必要なテキスト属性値を選択して、「**選択 (Select)**」をクリックします。既存のテキスト属性値をクリアするには、検索アイコンの横にある「**削除 (Delete)**」アイコンを使用します。

- ブール・データ型の場合、対応するチェック・ボックスを選択またはクリアします。

- 数値データ型の場合、対応するフィールドに新しい値を入力します。

- 属性に複数の値が許可されている場合は、「**変更 (Modify)**」ハイパーリンクをクリックします。表示される「**複数属性値の選択 (Select Multi Attribute Values)**」ダイアログ・ボックスで、以下の手順を実行します。

- i. 「**追加 (Add)**」アイコンをクリックして、別の値を追加します。
- ii. 表示されるドロップダウン・リストから必要な値を選択します。
- iii. 複数の値を追加するには、手順 i および ii を繰り返します。
- iv. 「**選択 (Select)**」をクリックします。

選択した値が、「**次の値を指定 (Specify Value For)**」領域の「**値 (Values)**」ボックスに表示されます。

ヒント: 値を削除するには、それぞれの値の横にある「**削除 (Delete)**」アイコンをクリックします。

注: 3つの基本的なデータ型がありますが、各データ型の表示方法は、「属性の管理 (Attribute Management)」での属性の設定方法によって異なります。例えば、数値データ型の場合、値がテキスト・ボックスではなく、ドロップダウン・リストにリストされることがあります。

「**選択 (Select)**」をクリックします。選択した属性とその値がルールを含む行に表示されます。

7. 「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

顧客資格ルールが変更されます。

第 202 章 顧客資格ルールの削除

このタスクについて

顧客資格ルールを削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「顧客資格の検索 (Find Customer Entitlement)」を選択します。または、ホーム・ページで、「顧客資格 (Customer Entitlements)」の下の「資格の検索 (Find Entitlement)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「顧客資格の検索 (Customer Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「資格 (Entitlements)」パネルに検索結果が表示されます。ルールを管理する資格に対応する「資格 ID (Entitlement ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「資格 ID (Entitlement ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「その後、次の条件が適用されます (Then Apply The Following Criteria)」領域で、顧客資格から削除するルールの横にある「削除 (Delete)」アイコンをクリックします。
6. 確認を求めるメッセージが表示されます。「はい (Yes)」をクリックして、ルールを削除します。
7. 「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面で、「保存 (Save)」をクリックします。

ルールが顧客資格から削除されます。

第 203 章 一般顧客グループの顧客資格への関連付け

このタスクについて

一般顧客グループを顧客資格に関連付けることで、一般顧客グループは、顧客資格内で割り当てられるアイテムにアクセスできるようになります。以下の顧客を顧客資格に関連付けることができます。

- 匿名顧客
- 企業顧客
- 消費者顧客

一般顧客グループは、「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面から顧客資格に関連付けることができます。

一般顧客グループを顧客資格に関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「顧客資格の検索 (Find Customer Entitlement)」を選択します。または、ホーム・ページで、「顧客資格 (Customer Entitlements)」の下の「資格の検索 (Find Entitlement)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「顧客資格の検索 (Customer Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「資格 (Entitlement)」パネルに検索結果が表示されます。一般顧客グループを関連付ける資格に対応する「資格 ID (Entitlement ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「資格 ID (Entitlement ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「資格の詳細 (Entitlement Detail)」パネルが表示されます。「顧客の割り当て (Customers Assignments)」タブをクリックします。
6. 「顧客の割り当て (Customer Assignments)」領域で、「一般割り当て (Generic Assignments)」タブをクリックします。
7. 表示される「一般割り当て (Generic Assignments)」領域で、次のいずれかのラジオ・ボタンを選択します。
 - 「この資格はすべての顧客に適用可能 (This entitlement is applicable for all customers)」 - すべての顧客に対して資格を割り当てるには、このラジオ・ボタンを選択します。
 - 「この資格は次の顧客に適用可能 (This entitlement is applicable to the following customers)」 - 特定の顧客にのみ資格を割り当てるには、このラジオ・ボタンを選択した後、次のチェック・ボックスを選択します。

- **匿名ユーザー (Anonymous Users)** - 匿名ユーザーに資格を割り当てるには、このチェック・ボックスを選択します。匿名ユーザーとは、ログインすることなく IBM Sterling Web を参照するユーザーです。匿名ユーザーは、IBM Sterling Web にログインすることなくカートにアイテムを追加できます。このチェック・ボックスを選択すると、製品カタログを参照する際、価格リストに定義された価格が匿名ユーザーに対して表示されます。

- **すべての消費者顧客 (All consumer customers)**- すべての消費者顧客に資格を割り当てるには、このチェック・ボックスを選択します。

- **すべてのビジネス顧客 (All business customers)** - すべてのビジネス顧客に資格を割り当てるには、このチェック・ボックスを選択します。

注: 「一般割り当て (Generic Assignments)」領域で「この資格はどの顧客にも割り当て不可 (This entitlement is not assigned to any customer)」ラジオ・ボタンまたは「この資格はすべての顧客に適用可能 (This entitlement is applicable for all customers)」ラジオ・ボタンが選択されている場合、「この資格は次の顧客に適用可能 (This entitlement is applicable to the following customers)」ラジオ・ボタンおよび対応する領域のチェック・ボックスは使用できません。

8. 「顧客資格 (Customer Entitlement)」領域で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

一般顧客グループが対応する顧客資格に関連付けられます。

第 204 章 顧客を指定しない顧客資格の定義

このタスクについて

顧客を指定せずに顧客資格を定義することで、その顧客資格内のアイテムに誰もアクセスしないようにできます。

顧客を指定しない顧客資格は、「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面から定義できます。

顧客を指定せずに顧客資格を定義するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「顧客資格の検索 (Find Customer Entitlement)」を選択します。または、ホーム・ページで、「顧客資格 (Customer Entitlements)」の下の「資格の検索 (Find Entitlement)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「顧客資格の検索 (Customer Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「資格 (Entitlement)」パネルに検索結果が表示されます。一般顧客グループの関連付けを解除する資格に対応する「資格 ID (Entitlement ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「資格 ID (Entitlement ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「資格の詳細 (Entitlement Details)」画面が表示されます。「顧客の割り当て (Customers Assignments)」タブをクリックします。
6. 「顧客の割り当て (Customer Assignments)」領域で、「一般割り当て (Generic Assignments)」タブをクリックします。
7. 表示される「一般割り当て (Generic Assignments)」領域で、「この資格はどの顧客にも割り当て不可 (This entitlement is not assigned to any customer)」ラジオ・ボタンを選択します。このラジオ・ボタンは、顧客資格ルール作成時にデフォルトで選択されています。
8. 「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面で、「保存 (Save)」をクリックします。

対応する顧客資格が顧客を指定せずに定義されます。

第 205 章 顧客資格への顧客プロフィール条件の追加

このタスクについて

特定のプロフィール属性を持つ顧客のグループに資格を割り当てることができます。顧客プロフィールは一連のデータであり、企業顧客を顧客資格に関連付けるための条件として使用できます。顧客プロフィール条件を追加することで、定義された顧客プロフィール条件に属する企業顧客は、顧客資格内のアイテムにアクセスできるようになります。例えば、ある 1 つの資格を、同じ地域に属するすべての顧客に割り当てることができます。

顧客プロフィール条件は、「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面から顧客資格に追加できます。

顧客プロフィール条件を顧客資格に追加するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**顧客資格の検索 (Find Customer Entitlement)**」を選択します。または、ホーム・ページで、「**顧客資格 (Customer Entitlements)**」の下の「**資格の検索 (Find Entitlement)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「顧客資格の検索 (Customer Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「**資格 (Entitlement)**」パネルに検索結果が表示されます。顧客プロフィール条件を追加する資格に対応する「**資格 ID (Entitlement ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「**資格 ID (Entitlement ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**資格の詳細 (Entitlement Detail)**」パネルが表示されます。「**顧客の割り当て (Customers Assignments)**」タブをクリックします。
6. 「**顧客の割り当て (Customers Assignments)**」領域で、「**顧客プロフィールの割り当て (Customer Profile Assignments)**」タブをクリックします。

メモ:

- 「この資格はどの顧客にも割り当て不可 (This entitlement is not assigned to any customer)」ラジオ・ボタンまたは「この資格はすべての顧客に適用可能 (This entitlement is applicable for all customers)」ラジオ・ボタンが選択されている場合、「顧客プロフィールの割り当て (Customer Profile Assignments)」タブは使用できません。
- 「この資格は次の顧客に適用可能 (This entitlement is applicable to the following customers)」領域で、「すべての消費者顧客 (All consumer customers)」チェック・ボックスおよび「すべてのビジネス顧客 (All business customers)」チェック・ボックスが選択されている場合、「顧客プロフィールの割り当て (Customer Profile Assignments)」タブは使用できません。

- customers)」チェック・ボックスの両方が選択されている場合、「顧客プロフィールの割り当て (Customer Profile Assignments)」タブは使用できません。
7. 表示される「顧客プロフィールの割り当て (Customer Profile Assignments)」領域で、「追加 (Add)」をクリックします。
 8. 「顧客ルール (Customer Rule)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「垂直 (Vertical)」ドロップダウン・リストから、「教育 (Education)」や「行政 (Government)」など顧客の垂直市場を選択します。
 - b. 「関係タイプ (Relationship Type)」ドロップダウン・リストから、「販売店 (Reseller)」、「小売店 (Retailer)」、「流通業者 (Distributor)」など顧客の関係タイプを選択します。関係タイプは、顧客が持つエンタープライズとの関係タイプを示します。
 - c. 「メンバーシップ・レベル (Membership Level)」ドロップダウン・リストから、「ゴールド (Gold)」、「シルバー (Silver)」、「プラチナ (Platinum)」など顧客のメンバーシップ・レベルを選択します。
 - d. 「地域 (Region)」フィールドで、「検索 (Search)」アイコンをクリックします。「地域 (Regions)」ダイアログ・ボックスが表示されます。該当する地域を選択します。
- 注: 少なくとも 1 つの条件を選択する必要があります。
9. 「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面で、「保存 (Save)」をクリックします。

定義済みの顧客プロフィール条件が「顧客プロフィールの割り当て (Customer Profile Assignments)」領域に表示されます。この条件を満たす企業顧客は、対応する顧客資格に自動的に関連付けられます。

第 206 章 顧客資格の顧客プロフィール条件の変更

このタスクについて

顧客資格の顧客プロフィール条件を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「顧客資格の検索 (Find Customer Entitlement)」を選択します。または、ホーム・ページで、「顧客資格 (Customer Entitlements)」の下の「資格の検索 (Find Entitlement)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「顧客資格の検索 (Customer Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「資格 (Entitlement)」パネルに検索結果が表示されます。顧客プロフィールを管理する資格に対応する「資格 ID (Entitlement ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「資格 ID (Entitlement ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「資格の詳細 (Entitlement Detail)」パネルが表示されます。「顧客の割り当て (Customers Assignments)」タブをクリックします。
6. 「顧客の割り当て (Customers Assignments)」領域で、「顧客プロフィールの割り当て (Customer Profile Assignments)」タブをクリックします。

メモ:

- 「この資格はどの顧客にも割り当て不可 (This entitlement is not assigned to any customer)」ラジオ・ボタンまたは「この資格はすべての顧客に適用可能 (This entitlement is applicable for all customers)」ラジオ・ボタンが選択されている場合、「顧客プロフィールの割り当て (Customer Profile Assignments)」タブは使用できません。
 - 「この資格は次の顧客に適用可能 (This entitlement is applicable to the following customers)」領域で、「すべての消費者顧客 (All consumer customers)」チェック・ボックスおよび「すべてのビジネス顧客 (All business customers)」チェック・ボックスの両方が選択されている場合、「顧客プロフィールの割り当て (Customer Profile Assignments)」タブは使用できません。
7. 「顧客プロフィールの割り当て (Customer Profile Assignments)」領域で、変更する顧客プロフィール条件の横にあるチェック・ボックスを選択します。
 8. 「変更 (Modify)」をクリックします。
 9. 「顧客ルール (Customer Rule)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の必要な変更を行います。

- 「**垂直 (Vertical)**」ドロップダウン・リストから、顧客の新規垂直市場を選択します。
 - 「**関係タイプ (Relationship Type)**」ドロップダウン・リストから、顧客の新規関係タイプを選択します。
 - 「**メンバーシップ・レベル (Membership Level)**」ドロップダウン・リストから、新規メンバーシップ・レベルを選択します。
 - 「**地域 (Region)**」ボックスの横にある「**検索 (Search)**」アイコンをクリックして、顧客が属する必要のある新規地域を検索します。
 - 「**保存 (Save)**」をクリックします。
10. 「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

顧客プロフィール条件が変更されます。

第 207 章 顧客プロフィール条件の顧客資格からの削除

このタスクについて

顧客プロフィール条件を顧客資格から削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「顧客資格の検索 (Find Customer Entitlement)」を選択します。または、ホーム・ページで、「顧客資格 (Customer Entitlements)」の下の「資格の検索 (Find Entitlement)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「顧客資格の検索 (Customer Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「資格 (Entitlement)」パネルに検索結果が表示されます。顧客プロフィール条件を削除する資格に対応する「資格 ID (Entitlement ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「資格 ID (Entitlement ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「資格の詳細 (Entitlement Detail)」パネルが表示されます。「顧客の割り当て (Customers Assignments)」タブをクリックします。
6. 「顧客の割り当て (Customers Assignments)」領域で、「顧客プロフィールの割り当て (Customer Profile Assignments)」タブをクリックします。

メモ:

- 「この資格はどの顧客にも割り当て不可 (This entitlement is not assigned to any customer)」ラジオ・ボタンまたは「この資格はすべての顧客に適用可能 (This entitlement is applicable for all customers)」ラジオ・ボタンが選択されている場合、「顧客プロフィールの割り当て (Customer Profile Assignments)」タブは使用できません。
 - 「この資格は次の顧客に適用可能 (This entitlement is applicable to the following customers)」領域で、「すべての消費者顧客 (All consumer customers)」チェック・ボックスおよび「すべてのビジネス顧客 (All business customers)」チェック・ボックスの両方が選択されている場合、「顧客プロフィールの割り当て (Customer Profile Assignments)」タブは使用できません。
7. 表示される「顧客プロフィールの割り当て (Customer Profile Assignments)」領域で、削除する顧客プロフィール条件の横にあるチェック・ボックスを選択します。
 8. 「削除 (Remove)」をクリックします。
 9. 確認を求めるメッセージが表示されます。「はい (Yes)」をクリックして、顧客プロフィール条件を削除します。

顧客プロフィール条件が顧客資格から削除されます。

第 208 章 特定の顧客の顧客資格への関連付け

このタスクについて

特定の顧客を顧客資格に関連付けて管理することで、特定の顧客は、顧客資格内のアイテムにアクセスできるようになります。

特定の顧客は、「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面から顧客資格に関連付けることができます。

特定の顧客を顧客資格に関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「顧客資格の検索 (Find Customer Entitlement)」を選択します。または、ホーム・ページで、「顧客資格 (Customer Entitlements)」の下の「資格の検索 (Find Entitlement)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「顧客資格の検索 (Customer Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「資格 (Entitlement)」パネルに検索結果が表示されます。特定の顧客に関連付ける資格に対応する「資格 ID (Entitlement ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「資格 ID (Entitlement ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「資格の詳細 (Entitlement Detail)」パネルが表示されます。「顧客の割り当て (Customer Assignments)」タブをクリックします。
6. 「顧客の割り当て (Customer Assignments)」領域で、「特定の割り当て (Specific Assignments)」タブをクリックします。

メモ:

- 「この資格はどの顧客にも割り当て不可 (This entitlement is not assigned to any customer)」ラジオ・ボタンまたは「この資格はすべての顧客に適用可能 (This entitlement is applicable for all customers)」ラジオ・ボタンが選択されている場合、「特定の割り当て (Specific Assignments)」タブは使用できません。
- 「すべてのビジネス顧客 (All business customers)」チェック・ボックスが選択されているか、「この資格は次の顧客に適用可能 (This entitlement is applicable to the following customers)」領域で「すべての消費者顧客 (All consumer customers)」チェック・ボックスおよび「すべてのビジネス顧客 (All business customers)」チェック・ボックスの両方が選択されている場合、「特定の割り当て (Specific Assignments)」タブは使用できません。

7. 表示される「特定の割り当て (Specific Assignments)」領域で、「追加 (Add)」をクリックします。
8. 「顧客の検索 (Customer Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。顧客の検索に使用できる以下のいずれかの手順を実行します。
 - a. 「E メール先頭文字 (E-mail Starts With)」ボックスで、顧客の完全または部分的な E メール ID を入力します。
 - b. 「姓 (Last Name)」ボックスに、顧客の姓を入力します。
 - c. 「日中の電話番号 (Day Phone #)」ボックスに、顧客の日中の電話番号を入力します。電話番号を入力する際に、スペースや特殊文字を入力しないでください。これらの文字を入力すると、検索条件に一致する顧客が「顧客リスト (Customer List)」パネルに表示されなくなります。
 - d. 「名 (First Name)」ボックスに、顧客の名を入力します。
 - e. 「顧客 ID (Customer ID)」ボックスに、顧客の固有識別子 (ID) を入力します。
 - f. 「郵便番号 (Zip Code)」ボックスに、顧客が属する市の郵便番号を入力します。
 - g. 「検索 (Search)」をクリックします。
 - h. 詳細が検索条件に一致する顧客の ID と名前が「顧客リスト (Customer List)」パネルに表示されます。関連付ける顧客に対応する「顧客 ID (Customer ID)」の横にあるチェック・ボックスを選択します。複数の顧客を関連付けるには、関連付ける顧客の横にあるチェック・ボックスを選択します。
 - i. 「選択 (Select)」をクリックします。
9. 「顧客資格 (Customer Entitlement)」画面で、「保存 (Save)」をクリックします。

選択された顧客が顧客資格に関連付けられます。

第 209 章 顧客資格からの特定顧客の関連付け解除

このタスクについて

特定の顧客の関連付けを顧客資格から解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「顧客資格の検索 (Find Customer Entitlement)」を選択します。または、ホーム・ページで、「顧客資格 (Customer Entitlements)」の下の「資格の検索 (Find Entitlement)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「顧客資格の検索 (Customer Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「資格 (Entitlement)」パネルに検索結果が表示されます。特定の顧客の関連付けを解除する資格に対応する「資格 ID (Entitlement ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「資格 ID (Entitlement ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「資格の詳細 (Entitlement Detail)」パネルが表示されます。「顧客の割り当て (Customer Assignments)」タブをクリックします。
6. 「顧客の割り当て (Customer Assignments)」領域で、「特定の割り当て (Specific Assignments)」タブをクリックします。

メモ:

- 「この資格はいかなる顧客にも割り当てない (This entitlement is not assigned to any customer)」ラジオ・ボタンまたは「この資格はすべての顧客に適用可能 (This entitlement is applicable for all customers)」ラジオ・ボタンが選択されていると、「特定の割り当て (Specific Assignments)」タブは使用できません。
 - 「すべてのビジネス顧客 (All business customers)」チェック・ボックスが選択されているか、「この資格は次の顧客に適用可能 (This entitlement is applicable to the following customers)」領域で「すべての消費者顧客 (All consumer customers)」チェック・ボックスおよび「すべてのビジネス顧客 (All business customers)」チェック・ボックスの両方が選択されている場合、「特定の割り当て (Specific Assignments)」タブは使用できません。
7. 表示される「特定の割り当て (Specific Assignments)」領域で、顧客資格から関連付けを解除する顧客に対応する「顧客 ID (Customer ID)」の横にあるチェック・ボックスを選択します。
 8. 「削除 (Remove)」をクリックします。
 9. 確認を求めるメッセージが表示されます。「はい (Yes)」をクリックして、特定の顧客の関連付けを解除します。

対応する顧客資格から特定の顧客の関連付けが解除されます。

第 210 章 顧客資格の削除

このタスクについて

顧客資格を削除すると、顧客資格の顧客に対して作成されたすべてのルールが無効になります。

顧客資格を削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「顧客資格の検索 (Find Customer Entitlement)」を選択します。または、ホーム・ページで、「顧客資格 (Customer Entitlements)」の下の「資格の検索 (Find Entitlement)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「顧客資格の検索 (Customer Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「資格 (Entitlement)」パネルに検索結果が表示されます。削除する資格に対応する「資格 ID (Entitlement ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「資格 ID (Entitlement ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「資格の詳細 (Entitlement Detail)」パネルが表示されます。「削除 (Delete)」をクリックします。
6. 確認を求めるメッセージが表示されます。「はい (Yes)」をクリックして、顧客資格を削除します。

顧客資格が削除されます。

第 211 章 Sterling Business Center でのセラー資格の作成

このタスクについて

エンタープライズにセラー資格を作成して、対応するカタログ内のカテゴリに対する他の組織のアクセスを管理できます。エンタープライズは、ある組織に対してカタログ内のカテゴリの管理を許可する一方で、別の組織に対して同一カテゴリの表示を制限することができます。

セラー資格は、「セラーの資格 (Seller Entitlement)」画面から作成できます。

セラー資格を作成するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**セラー資格の作成 (Create Seller Entitlements)**」を選択します。または、ホーム・ページで、「**セラーの資格 (Seller Entitlements)**」の下の「**新規資格 (New Entitlement)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「資格の詳細 (Entitlement Detail)」パネルが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「**資格 ID (Entitlement ID)***」ボックスで、資格の固有識別子 (ID) を入力します。この ID は定義後は変更できないため、検索条件として使用できます。

注: セラー資格と顧客資格では同じ ID を共有できません。例えば、「ABC」という顧客資格が資格 ID として存在する場合に、セラー資格の「**資格 ID (Entitlement ID)***」ボックスに「ABC」と入力すると、エラー・メッセージが表示されます。

 - b. 「**説明 (Description)***」テキスト・ボックスで、資格の簡単な説明を入力します。この説明は、検索条件として使用できます。
 - c. 「**有効開始日 (Effective Start Date)**」ボックスで、開始日を入力します。または、「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして開始日を選択します。開始日は、資格が有効になる開始日を示します。
 - d. 「**有効終了日 (Effective End Date)**」ボックスで、終了日を入力します。または、「**カレンダー (Calendar)**」アイコンをクリックして終了日を選択します。終了日は、資格が有効である期日を示します。
4. 「セラーの資格 (Seller Entitlement)」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

新しいセラー資格が作成され、新しいルールを作成したり、組織を資格に関連付けたりできるようになります。

第 212 章 Sterling Business Center でのセラー資格の検索

以下のいずれかのオプションを使用してセラー資格を検索し、その詳細を表示できます。

- **基本検索 (Basic Search):** この検索タイプを使用すると、セラー資格の完全または部分的な ID や、セラー資格の完全または部分的な説明など、基本的な条件を指定したクイック検索を実行できます。
- **拡張検索 (Advanced Search):** この検索タイプを使用すると、選択した条件に基づく検索を実行できます。条件および対応する演算子を選択してから、対応する値を選択または指定できます。

セラー資格は、「セラー資格の検索 (Seller Entitlement Search)」画面から検索できます。

Sterling Business Center での資格の基本検索

このタスクについて

資格の基本検索を行うには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**セラー資格の検索 (Find Seller Entitlements)**」を選択します。または、ホーム・ページで、「**セラーの資格 (Seller Entitlement)**」の下の「**資格の検索 (Find Entitlement)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**資格の検索 (Entitlement Search)**」画面が表示されます。「**次を含む資格 ID (Entitlement ID Contains)**」テキスト・ボックスで、検索対象の資格の完全または部分的な ID を入力します。
4. 「**次を含む資格説明 (Entitlement Description Contains)**」テキスト・ボックスで、検索対象の資格の完全または部分的な説明を入力します。
5. 現在の日付が有効範囲に属する資格を含めるには、「**有効日付範囲に本日が含まれる資格のみを含める (Only include entitlements for which today is within the effective date range)**」チェック・ボックスを選択します。
6. 「**検索 (Search)**」をクリックします。

検索条件に一致する資格が表示されます。ただし、検索条件に一致するセラー資格が 1 つのみの場合は、「セラーの資格 (Seller Entitlement)」画面が表示されず。

注: 管理組織が資格組織ではない場合、その管理組織の資格組織で使用可能な資格が表示されます。

資格の拡張検索Sterling Business Center

このタスクについて

資格の拡張検索を行うには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「セラー資格の検索 (Find Seller Entitlements)」を選択します。または、ホーム・ページで、「セラーの資格 (Seller Entitlement)」の下の「資格の検索 (Find Entitlement)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「資格の検索 (Entitlement Search)」画面が表示されます。「拡張検索 (Advanced Search)」をクリックします。
4. 「資格の拡張検索 (Advanced Entitlement Search)」パネルが表示されます。「条件の選択 (Select Criteria)」ドロップダウン・リストから、検索に含める条件を選択します。例えば、ステータスで資格を検索するには、「条件の検索 (Select Criteria)」ドロップダウン・リストから「ステータス (Status)」を選択します。
5. 「演算子 (Operator)」ドロップダウン・リストから、検索条件に使用する演算子を選択します。

対応するフィールドで、適切な値を入力するか選択します。選択した演算子に基づいてフィールドが表示されます。例えば、「条件の選択 (Select Criteria)」ドロップダウン・リストから「有効開始日 (Effective Start Date)」を選択し、「演算子 (Operator)」ドロップダウン・リストから「範囲内 (Between)」を選択した場合、適切な日付を入力または選択する 2 つのフィールドが表示されます。

注: 少なくとも 1 つの検索条件と 1 つの対応する値を選択または入力する必要があります。複数の検索条件を選択または入力した場合、すべての条件に一致する資格が返されます。

6. 「検索 (Search)」をクリックします。

検索条件に一致する資格が表示されます。ただし、検索条件に一致するセラー資格が 1 つのみの場合は、「セラーの資格 (Seller Entitlement)」画面が表示されません。

注: 管理組織が資格組織ではない場合、その管理組織の資格組織で使用可能な資格が表示されます。

Sterling Business Center での資格の拡張検索への検索条件の追加

このタスクについて

追加の検索条件を含めて、より詳細な検索を実行したり、検索結果を絞り込んだりすることができます。

追加の検索条件を含めるには、以下の手順を実行します。

手順

1. 「資格の拡張検索 (Advanced Entitlement Search)」画面で、「さらに条件を追加 (Add More Criteria)」をクリックします。
2. 追加の検索条件を指定する新しい行が表示されます。適切な検索条件を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。

検索条件に一致する資格が表示されます。ただし、検索条件に一致するセラー資格が 1 つのみの場合は、「セラーの資格 (Seller Entitlement)」画面が表示されません。

注: 管理組織が資格組織ではない場合、その管理組織の資格組織で使用可能な資格が表示されます。

第 213 章 セラー資格ルールの作成

このタスクについて

セラー資格ルールを作成し、セラー資格に基づいて組織に割り当て可能なアイテムをカテゴリに含めたり除外したりできます。マスター・カタログからのカテゴリは、セラー資格ルール下でのみ指定することができます。

注: 一括出荷バンドル・アイテムのセラー資格が、バンドル内の親アイテムとコンポーネント・アイテムとで、同じであることを確認してください。

セラー資格ルールは、「セラーの資格 (Seller Entitlement)」ルールから作成できません。

セラー資格ルールを作成するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「セラー資格の検索 (Find Seller Entitlements)」を選択します。または、ホーム・ページで、「セラーの資格 (Seller Entitlement)」の下の「資格の検索 (Find Entitlement)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「セラー資格の検索 (Seller Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「資格 (Entitlement)」パネルに検索結果が表示されます。ルールを管理する資格に対応する「資格 ID (Entitlement ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、ルールを作成する「資格 ID (Entitlement ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「資格の詳細 (Entitlement Detail)」パネルが表示されます。「アイテム (Items)」タブをクリックします。
6. 「資格項目リストの作成基準 (Create Entitlement Item List By)」領域が表示されたら、「すべてのアイテム (all items)」ボックスの横にあるラジオ・ボタンのいずれかを選択します。
 - 含める (Including) - 対応するカタログ内のすべてのアイテムを含むルールを作成するには、このラジオ・ボタンをクリックします。
 - 除外 (Excluding) - 対応するカタログ内のすべてのアイテムを除外するルールを作成するには、このラジオ・ボタンをクリックします。
7. 「その後、次の条件が適用されます (Then Apply The Following Criteria)」領域で、以下に示すようにルールを定義します。

フィールド
説明

テキスト・ボックス*

ルールのシーケンス番号を入力します。

注: 必ずルールに固有のシーケンスを指定してください。

結果 次のいずれかのラジオ・ボタンを選択します。

- **含む (Include)** - 資格内のアイテムを含めるには、このラジオ・ボタンを選択します。
- **除外 (Exclude)** - 資格内のアイテムを除外するには、このラジオ・ボタンを選択します。

カテゴリ <選択したカテゴリの名前> と関連付けられるすべてのアイテム
「検索」アイコンをクリックして、アイテムが関連付けられるカテゴリを検索します。カテゴリの選択ツリー・パネルが表示されます。必要なカテゴリを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。

選択したカテゴリがボックスに表示されます。

8. 別のルールを追加するには、「**追加 (Add)**」アイコンをクリックします。
9. 新しい行が追加されます。手順 2 を繰り返して、ルールを定義します。
10. 「セラーの資格 (Seller Entitlement)」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

ルールまたはルールのリストが作成されます。

第 214 章 セラー資格ルールの変更

このタスクについて

セラー資格ルールを変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「セラー資格の検索 (Find Seller Entitlements)」を選択します。または、ホーム・ページで、「セラーの資格 (Seller Entitlements)」の下の「資格の検索 (Find Entitlement)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「セラー資格の検索 (Seller Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「基本検索 (Basic Search)」か「拡張検索 (Advanced Search)」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「資格 (Entitlement)」パネルに検索結果が表示されます。ルールを管理する資格に対応する「資格 ID (Entitlement ID)」ハイパーリンクをクリックします。または、ルールを変更する「資格 ID (Entitlement ID)」を含む行をダブルクリックします。
5. 「資格項目リストの作成基準 (Create Entitlement Item List By)」領域が表示されたら、「すべてのアイテム (all items)」ボックスの横にあるラジオ・ボタンのいずれかを選択します。
 - 含める (Including) - 対応するカタログ内のすべてのアイテムを含むルールを作成するには、このラジオ・ボタンをクリックします。
 - 除外 (Excluding) - 対応するカタログ内のすべてのアイテムを除外するルールを作成するには、このラジオ・ボタンをクリックします。
6. 「その後、次の条件が適用されます (Then Apply The Following Criteria)」領域で、以下に示すように必要な変更を行います。

フィールド

説明

テキスト・ボックス

ルールの新しいシーケンス番号を入力します。

注: 必ずルールに固有のシーケンスを指定してください。

結果 次のいずれかのラジオ・ボタンを選択します。

- 含む (Include) - 資格内のアイテムを含めるには、このラジオ・ボタンを選択します。
- 除外 (Exclude) - 資格内のアイテムを除外するには、このラジオ・ボタンを選択します。

カテゴリ <選択したカテゴリの名前> と関連付けられるすべてのアイテム
「検索」アイコンをクリックして、アイテムが関連付けられる新規カテ
ゴリーを検索します。カテゴリの選択ツリー・パネルが表示されま
す。必要なカテゴリを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。

選択したカテゴリがボックスに表示されます。

7. 「セラーの資格 (Seller Entitlement)」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックしま
す。

セラー資格ルールが変更されます。

第 215 章 セラー資格ルールの削除

このタスクについて

セラー資格ルールを削除して、対応するセラー資格下で組織に割り当てられたカテゴリ内のアイテムが組織で使用されないようになります。

セラー資格ルールを削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**セラー資格の検索 (Find Seller Entitlements)**」を選択します。または、ホーム・ページで、「**セラーの資格 (Seller Entitlements)**」の下の「**資格の検索 (Find Entitlements)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「セラー資格の検索 (Seller Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「**資格 (Entitlements)**」パネルに検索結果が表示されます。ルールを管理する資格に対応する「**資格 ID (Entitlement ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「**資格 ID (Entitlement ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**その後、次の条件が適用されます (Then Apply The Following Criteria)**」領域で、セラー資格から削除するルールの横にある「**削除 (Delete)**」アイコンをクリックします。
6. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、ルールを削除します。
7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

ルールがセラー資格ルールから削除されます。

第 216 章 組織のセラー資格への関連付け

このタスクについて

組織をセラー資格に関連付けると、その組織に、その資格下で指定されたすべてのカテゴリにアクセスする権限が付与されます。1 つのセラー資格には、1 つのサブカタログ組織のみを関連付けることができます。

組織は、「セラーの資格 (Seller Entitlement)」ルールからセラー資格に関連付けることができます。

組織をセラー資格に関連付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**セラー資格の検索 (Find Seller Entitlements)**」を選択します。または、ホーム・ページで、「**セラーの資格 (Seller Entitlement)**」の下の「**資格の検索 (Find Entitlement)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「セラー資格の検索 (Seller Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「資格 (Entitlement)」パネルに検索結果が表示されます。組織に関連付ける資格に対応する「**資格 ID (Entitlement ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「**資格 ID (Entitlement ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「資格の詳細 (Entitlement Detail)」パネルが表示されます。「**店舗 (Storefronts)**」タブをクリックします。
6. 「**店舗 (StoreFronts)**」領域で、「**追加 (Add)**」をクリックします。
7. 「サブカタログの基本検索 (Basic Subcatalog Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして、使用可能なすべてのサブカタログ組織のリストを表示します。
8. サブカタログ組織のリストが表示されます。対応する「**店舗 ID (Storefront ID)**」の横にあるチェック・ボックスを選択し、「**保存 (Save)**」をクリックします。

選択した店舗が資格に関連付けられ、「**店舗 (StoreFronts)**」タブにある店舗のリストに追加されます。

第 217 章 セラー資格からの組織の関連付け解除

このタスクについて

組織の関連付けをセラー資格から解除すると、その組織は該当する資格下で指定されたカテゴリにアクセスする権限を失います。

組織の関連付けをセラー資格から解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**セラー資格の検索 (Find Seller Entitlements)**」を選択します。または、ホーム・ページで、「**セラーの資格 (Seller Entitlement)**」の下の「**資格の検索 (Find Entitlement)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「セラー資格の検索 (Seller Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「**資格 (Entitlement)**」パネルに検索結果が表示されます。組織の関連付けを解除する資格に対応する「**資格 ID (Entitlement ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「**資格 ID (Entitlement ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「**資格の詳細 (Entitlement Detail)**」パネルが表示されます。「**店舗 (Storefronts)**」タブをクリックします。
6. 「**店舗 (StoreFronts)**」領域で、対応する「**店舗 ID (Storefront ID)**」の横にあるチェック・ボックスを選択し、「**削除 (Remove)**」をクリックします。
7. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、組織の関連付けを解除します。

選択した店舗の関連付けが資格から解除されます。

第 218 章 セラー資格の削除

このタスクについて

セラー資格を削除すると、該当する店舗用に作成されたすべてのルールが無効になります。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**セラー資格の検索 (Find Seller Entitlements)**」を選択します。または、ホーム・ページで、「**セラーの資格 (Seller Entitlement)**」の下の「**資格の検索 (Find Entitlement)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「セラー資格の検索 (Seller Entitlement Search)」画面が表示されます。検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックして、使用可能なすべての資格のリストを表示します。または、「**基本検索 (Basic Search)**」か「**拡張検索 (Advanced Search)**」オプションを使用して、表示される資格のリストを絞り込みます。
4. 「資格 (Entitlement)」パネルに検索結果が表示されます。削除する資格に対応する「**資格 ID (Entitlement ID)**」ハイパーリンクをクリックします。または、対応する「**資格 ID (Entitlement ID)**」を含む行をダブルクリックします。
5. 「資格の詳細 (Entitlement Detail)」パネルが表示されます。「**削除 (Delete)**」をクリックします。
6. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、セラー資格を削除します。

選択したセラー資格が削除されます。

第 219 章 顧客の資格のテスト


このタスクについて

関連付けられた顧客が顧客資格内のアイテムにアクセスできるかどうかをテストできます。

顧客がアイテムにアクセスできるかどうかをテストするには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. ホーム・ページから、「資格設定のテスト (Test Entitlement Setup)」ハイパーリンクをクリックします。または、資格の検索または作成時に「関連タスク (Related Tasks)」で「資格設定のテスト (Test Entitlement Setup)」をクリックします。
3. 「顧客検証 (Customer Verification)」画面が表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「顧客 ID (Customer ID)*」ボックスの横にある「検索 (Search)」アイコンをクリックします。
 - b. 「顧客検索 (Customer Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。顧客の検索に使用できる以下のいずれかの手順を実行します。
 - i. 「E メール先頭文字 (E-mail Starts With)」テキスト・ボックスで、顧客の完全または部分的な E メール ID を入力します。
 - ii. 「姓 (Last Name)」テキスト・ボックスに、顧客の姓を入力します。
 - iii. 「日中の電話番号 (Day Phone #)」テキスト・ボックスに、顧客の日中の電話番号を入力します。電話番号を入力する際に、スペースや特殊文字を入力しないようにしてください。これらの文字を入力すると、検索条件に一致する顧客が「顧客リスト (Customer List)」パネルに表示されなくなります。
 - iv. 「名 (First Name)」テキスト・ボックスに、顧客の名を入力します。
 - v. 「顧客 ID (Customer ID)」テキスト・ボックスに、顧客の固有の ID を入力します。
 - vi. 「郵便番号 (Zip Code)」テキスト・ボックスに、顧客が属する市の郵便番号を入力します。
 - vii. 「検索 (Search)」をクリックします。
 - viii. 検索条件に一致する顧客の ID と名前が「顧客リスト (Customer List)」パネルに表示されます。資格をテストする顧客に対応する「顧客 ID (Customer ID)」の横にあるチェック・ボックスを選択します。

- ix. 「保存 (Save)」をクリックします。
 - c. 選択した顧客 ID が「顧客 ID (Customer ID)*」テキスト・ボックスに表示されます。
 - d. 「アイテム ID (Item ID)*」テキスト・ボックスで、 をクリックします。
 - e. 「アイテムの検索 (Item Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - i. 検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックします。
 - ii. 表示される「アイテム (Item)」パネルで、テストするアイテムを選択します。
 - iii. 「選択 (Select)」をクリックします。
 - f. 選択したアイテム ID が「アイテム ID (Item ID)*」テキスト・ボックスに表示されます。
4. 「テスト (Test)」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

「顧客 <顧客 ID> は、アイテム <アイテム ID> に対する資格があります。」というメッセージが、ユーザーが設定された資格に基づいてアイテムにアクセス可能な場合に表示されます。そうでない場合は、「顧客 <顧客 ID> はアイテム <アイテム ID> に対する資格を持っていません。」というメッセージが表示されます。

第 220 章 マスター・カタログの詳細の定義

このタスクについて

マスター・カタログとは、ある組織に属するアイテムの包括的なリストです。マスター・カタログは、カタログ組織の作成時にデフォルトで作成されます。マスター・カタログは、アクティブな販売カタログとしても使用できます。アクティブな販売カタログは、顧客によって使用されるカテゴリ階層を表します。

マスター・カタログの詳細は、「カタログ管理 (Catalog Management)」画面から定義できます。

マスター・カタログの詳細を定義するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**メンテナンス・カタログの参照 (Browse Maintenance Catalog)**」をクリックします。または、ホーム・ページで「**メンテナンス・カタログの参照 (Browse Maintenance Catalog)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「カタログ管理 (Catalog Management)」画面が表示されます。「カタログの詳細 (Catalog Detail)」パネルで、以下の手順を実行します。
 - a. 「**簡略説明 (Short Description)**」ボックスで、マスター・カタログの簡単な説明を入力します。このマスター・カタログは、この説明によって「**カタログの階層**」ツリー内で識別されます。
 - b. 「**詳細説明 (Long Descriptio)**」ボックスで、マスター・カタログの詳細な説明を入力します。この詳細説明には、通常、マスター・カタログに関するあらゆる追加情報が含まれます。
4. 「カタログ管理 (Catalog Management)」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

マスター・カタログの詳細が定義されます。

第 221 章 Sterling Business Center でのカタログの作成

このタスクについて

カタログは、組織に属するアイテムの階層です。アイテムの異なるグループ化が必要な場合、複数のカタログを作成できます。ただし、常にアクティブにできる販売カタログは 1 つのみです。例えば、靴とシャツという 2 つの別個のアイテムを持つ小売組織の場合、1 つは靴用、1 つはシャツ用に 2 つの別個のカタログを作成できます。また、季節ごとに異なるアイテムを販売する場合は、1 年の異なる季節に対して別個の販売カタログを定義することもできます。

カタログは、「カタログ・リスト (Catalog List)」画面から作成できます。

カタログを作成するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**カタログの作成 (Create Catalog)**」をクリックします。
4. 「**カタログの詳細 (Catalog Detail)**」パネルが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「**カタログ ID (Catalog ID)***」ボックスで、カタログの固有識別子 (ID) を入力します。この ID は、定義後は変更できません。
 - b. 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスで、カタログの簡単な説明を入力します。このカタログは、この説明によって「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリー内で識別されます。
 - c. 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、カタログの詳細な説明を入力します。この詳細説明には、通常、カタログに関するあらゆる追加情報が含まれます。
 - d. カタログ組織のユーザーは、サブカタログ組織にカタログ全体にアクセスする権限を付与して、サブカタログ組織がそのカタログを独自のカタログとして参照するようにできます。サブカタログ組織に対してカタログ全体を参照する権限を付与するには、「**権限の付与先 (Authorized To)**」ボックスの横にある「**検索 (Search)**」アイコンをクリックします。「**サブカタログの基本検索 (Basic Subcatalog Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - i. 検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックします。または、「**拡張検索 (Advanced Search)**」を使用して、検索結果を絞り込みます。

ii. サブカタログ組織のリストが表示されます。対応する「**組織 ID (Organization ID)**」の横にあるチェック・ボックスを選択し、「**保存 (Save)**」をクリックします。

選択したサブカタログ組織が「**権限の付与先 (Authorized To)**」ボックスに表示されます。

5. 「カタログ管理 (Catalog Management)」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

カタログが作成されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーが表示されます。

第 222 章 カタログ管理権限のサブカタログ組織への付与

このタスクについて

サブカタログ組織とは、独自のカタログ組織としてカタログ組織を参照するエンタープライズです。カタログ組織は、サブカタログ組織にマスター・カタログ内のカテゴリを管理する権限を付与し、マスター・カタログ内のカテゴリに対する他の組織のアクセスを許可または拒否するセラー資格を定義します。

カタログを管理する権限は、「カタログ・リスト (Catalog List)」画面からサブカタログ組織に付与できます。

カタログを管理する権限をサブカタログ組織に付与するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**カタログの作成 (Create Catalog)**」をクリックします。
4. 「**カタログの詳細 (Catalog Detail)**」パネルが表示されます。「**権限の付与先 (Authorized To)**」ボックスの横にある「**検索 (Search)**」アイコンをクリックします。
5. 「**サブカタログの基本検索 (Basic Subcatalog Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 検索条件を入力してから、「**検索 (Search)**」をクリックします。
 - b. サブカタログ組織のリストが表示されます。対応する組織 ID の横にあるチェック・ボックスを選択します。
 - c. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

選択したサブカタログ組織が「**権限の付与先 (Authorized To)**」ボックスに表示されます。

6. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

カタログを管理する権限がサブカタログ組織に付与されます。

メモ:

- カタログを管理する権限は、カタログの作成プロセス中にのみサブカタログ組織に付与できます。
- カタログからサブカタログ組織の関連付けを解除したり、サブカタログ組織を別のサブカタログ組織で置き換えることはできません。

第 223 章 カタログの詳細の変更

このタスクについて

カタログに関する簡略説明と詳細説明を変更できます。

カタログの詳細を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
 2. 「アイテム (Item)」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
 3. 「カタログ・リスト (Catalog List)」画面が表示されます。詳細を変更するカタログに対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
 4. 「カタログの詳細 (Catalog Details)」パネルが表示されます。以下の手順を実行して、必要な変更を行います。
 - 「**簡略説明 (Short Description)**」フィールドで、カタログの簡単な説明を変更します。
 - 「**詳細説明 (Long Description)**」フィールドで、カタログの詳細な説明を変更します。
- 注: 「カタログ ID (Catalog ID)」ボックスと「権限の付与先 (Authorized To)」ボックスは読み取り専用ボックスとして表示されます。
5. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: 複数のロケールが構成されている場合、「**ローカライズ (Localize)**」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「**ローカライズ (Localize)**」関連タスクが「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルに表示されます。「**簡略説明 (Short Description)**」や「**詳細説明 (Long Description)**」などのローカライズ可能フィールドは、ユーザーのロケールに関係なく常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center がフランス語にローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI スtringがフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「**ローカライズ (Localize)**」アイコンまたは「**ローカライズ (Localize)**」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィールドのローカライズの詳細については、『Sterling Business Center のフィールドのローカライズ』を参照してください。

カタログが変更されます。

第 224 章 アクティブな販売カタログとしてのカタログの設定

このタスクについて

アクティブな販売カタログは、顧客によって使用されるカテゴリ階層を表します。販売カタログにより、顧客は特定のアイテムに移動したり、アイテムを絞り込んだりできます。1 つのカタログ組織またはサブカタログ組織で、常にアクティブにできる販売カタログは 1 つのみです。

カタログは、「カタログ・リスト (Catalog List)」画面からアクティブな販売カタログとして設定できます。

カタログをアクティブな販売カタログとして設定するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。アクティブな販売カタログとして設定するカタログに対応する「**アクティブな販売カタログ (Active Selling Catalog)**」ラジオ・ボタンを選択します。
4. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

カタログがアクティブな販売カタログとして設定されます。カタログをアクティブな販売カタログとして設定すると、「**アイテム (Item)**」メニューから「**販売カタログの参照 (Browse Selling Category)**」を選択したり、ホーム・ページの「**販売カタログの参照 (Browse Selling Category)**」ハイパーリンクをクリックして、カテゴリの作成やアセットの管理などのタスクを実行できます。

第 225 章 アセットのカタログへの追加

このタスクについて

アセットは、電子メディア・オブジェクトであり、アイテム、カテゴリ、属性、および属性値と関連付けます。アセット・タイプには、画像、ビデオ、オーディオ、およびテキスト・ファイルが含まれます。

アセットごとにコンテンツ・ロケーションを指定する必要があります。一般的に、アセットは外部システムに常駐するデジタル・ベースのオブジェクトです。例えば、オンライン・カタログから使用できるカテゴリに画像ファイルを割り当てて、オンライン顧客に、このカテゴリを表す画像を表示させることができます。このようなシナリオでは、画像ファイルのコンテンツ・ロケーションを指定する必要があります。コンテンツ・ロケーションは、画像ファイルのロケーションを示すパスです。

アセットは、「カタログ管理 (Catalog Management)」画面からカタログに追加できます。

アセットをカタログに追加するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**カタログ・アセットの管理 (Manage Catalog Assets)**」をクリックします。
5. 「**カタログ・アセット (Catalog Assets)**」パネルが表示されます。「**追加 (Add)**」をクリックします。
6. 「**アセットの詳細 (Asset Detail)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「**アセット ID (Asset ID)***」ボックスで、アセットの固有識別子 (ID) を入力します。
 - b. 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスで、アセットの簡単な説明を入力します。
 - c. 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、アセットの詳細な説明を入力します。

- d. 「**サーバー (Server)**」ドロップダウン・リストから、このアセット・タイプがあるサーバーを選択します。ドロップダウン・リストには、使用可能なすべてのサーバー・ロケーションまたは Applications Manager で設定されたコードのいずれかが含まれます。
- e. 「**タイプ (Type)**」ドロップダウン・リストから、アセット・タイプを選択します。選択したアセット・タイプが画像に関連する場合、対応する画像のプレビューが、サーバーおよびファイル名の指定後に「アセット (Assets)」パネルに表示されます。
- f. 「**ファイル (File)**」ボックスで、ファイルの名前を入力します。
- g. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

アセットがカタログに追加されます。

第 226 章 カタログ内のアセットの詳細の変更

このタスクについて

アセットの簡略説明と詳細説明を変更するように選択できます。また、サーバー・ロケーション、アセット・タイプ、およびアセットの作成先のファイル名を変更することもできます。

カタログ内のアセットの詳細を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**カタログ・アセットの管理 (Manage Catalog Assets)**」をクリックします。
5. 「**カタログ・アセット (Catalog Assets)**」パネルが表示されます。変更するアセットの横にあるチェック・ボックスを選択します。
6. 「**アセットの詳細 (Asset Detail)**」パネルが表示されます。以下の手順を実行して、必要な変更を行います。
 - 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスで、アセットの簡単な説明を新規に入力します。
 - 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、アセットの詳細な説明を新規に入力します。
 - 「**サーバー (Server)**」ドロップダウン・リストから、このアセット・タイプがある新しいサーバーを選択します。
 - 「**タイプ (Type)**」ドロップダウン・リストから、新しいアセット・タイプを選択します。選択したアセット・タイプが画像に関連する場合、対応する画像のプレビューが、サーバーおよびファイル名の指定後に「**アセット (Assets)**」パネルに表示されます。
 - 「**ファイル (File)**」ボックスで、ファイルの新規名を入力します。
 - 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: 「**アセット ID (Asset ID)**」ボックスが読み取り専用ボックスとして表示されます。

アセットが変更されます。

第 227 章 アセットのカタログからの削除

このタスクについて

アセットをカタログから削除して、電子メディア・オブジェクトがカタログに関連付けられないようにできます。

アセットをカタログから削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**カタログ・アセットの管理 (Manage Catalog Assets)**」をクリックします。
5. 「**カタログ・アセット (Catalog Assets)**」パネルが表示されます。削除するアセットの横にあるチェック・ボックスを選択します。
6. 「**削除 (Delete)**」をクリックします。
7. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、アセットを削除します。

アセットがカタログから削除されます。

第 228 章 Sterling Business Center でのカテゴリの作成

このタスクについて

カテゴリを作成して、カタログのすべてのアイテムを別個の検索可能な階層グループに編成することができます。カタログにカテゴリを作成したら、そのカテゴリに対してサブカテゴリを作成したり、アイテムや提供サービスを追加したり、属性を割り当てたりすることができます。

カテゴリは、「カタログ管理 (Catalog Management)」画面から作成できます。

カテゴリを作成するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。カテゴリを作成するカタログに対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、その下に新しいカテゴリを作成するカテゴリを選択します。ただし、ルート・レベルのカテゴリを作成するには、「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーからカタログを選択してください。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**カテゴリの作成 (Create Category)**」をクリックします。
6. 「**カテゴリの詳細 (Category Details)**」画面が表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「**カテゴリ ID (Category ID)***」フィールドで、カテゴリの固有識別子 (ID) を入力します。この ID は、定義後は変更できません。カテゴリ ID にはスペースも特殊文字も入れないでください。
 - b. 「**簡略説明 (Short Description)**」フィールドで、カテゴリの簡単な説明を入力します。このカテゴリは、この説明によって「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリー内で識別されます。
 - c. 「**詳細説明 (Long Description)**」フィールドで、カテゴリの詳細な説明を入力します。この詳細説明には、通常、カテゴリに関するあらゆる追加情報が含まれます。
7. 「**カテゴリの詳細 (Category Details)**」画面で、「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

新しいカテゴリが作成され、「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーの対応するカタログまたは対応するカテゴリの下に表示されます。カテゴリを作成したら、そのカテゴリのアイテムを管理できるようになります。

タスクの結果

関連項目:

- アイテムのカテゴリへの割り当て
- カテゴリ間のアイテムの移動
- アイテムのカテゴリからの削除

第 229 章 カテゴリーの詳細の変更

このタスクについて

カテゴリーの簡略説明と詳細説明を変更できます。

カテゴリーの詳細を変更するには、次の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
 2. 「アイテム (Item)」メニューから、「カタログの管理 (Manage Catalogs)」を選択します。または、ホーム・ページで「カタログの管理 (Manage Catalogs)」ハイパーリンクをクリックします。
 3. 「カタログ・リスト (Catalog List)」画面が表示されます。カテゴリーを変更するカタログに対応する「カタログ ID (Catalog ID)」ハイパーリンクをクリックします。
 4. 「カタログ管理 (Catalog Management)」画面が表示されます。「カタログ (Catalog)」パネルから、変更するカテゴリーを選択します。
 5. 「カテゴリーの詳細 (Category Detail)」パネルが表示されます。以下の手順を実行して、必要な変更を行います。
 - 「簡略説明 (Short Description)」フィールドで、カテゴリーの簡単な説明を変更します。
 - 「ステータス (Status)」ドロップダウン・リストから、カテゴリーのステータスを選択します。以下のいずれかのオプションを選択することができます。
 - 保留 (未公開) (Held (Unpublished)): カテゴリーをオーダーの作成で使用不可にするにはこれを選択します。
 - 発行済み (Published): カテゴリーをオーダーの作成で使用可能にするにはこれを選択します。
 - 「詳細説明 (Long Description)」フィールドで、カテゴリーの詳細な説明を変更します。
- 注: 「カタログ ID (Catalog ID)」ボックスは読み取り専用ボックスとして表示されます。
6. 「カテゴリーの詳細 (Category Details)」画面で、「保存 (Save)」をクリックします。

注: 複数のロケールが構成されている場合、「ローカライズ (Localize)」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「ローカライズ (Localize)」関連タスクが「関連タスク (Related Tasks)」パネルに表示されます。「簡略説明 (Short Description)」や「詳細説明 (Long Description)」などのローカライズ可能フィールドは、ユーザーのロケールに関係なく常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center がフランス語にローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが

Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI スtringがフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「ローカライズ (Localize)」アイコンまたは「ローカライズ (Localize)」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィールドのローカライズの詳細については、『Sterling Business Center のフィールドのローカライズ』を参照してください。

カテゴリーが変更されます。カテゴリーの詳細を変更したら、そのカテゴリーのアイテムを管理できるようになります。

タスクの結果

関連項目:

- アイテムのカテゴリーへの割り当て
- カテゴリー間のアイテムの移動
- アイテムのカテゴリーからの削除

第 230 章 カテゴリーおよび子カテゴリーの順序の変更

このタスクについて

カテゴリーおよび子カテゴリーを論理的にグループ化するために、カテゴリーおよび子カテゴリーの順序を変更できます。カテゴリーおよび子カテゴリーの順序は、組織の Web サイトでのアイテムの表示方法を決定します。

カテゴリーまたは子カテゴリーの順序を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 表示される「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面で、以下の手順のいずれかを実行します。
 - 「**マスター・カタログ (Master Catalog)**」パネルで、「**マスター・カタログ (Master Catalog)**」ハイパーリンクをクリックします。
 - 「**カタログ (Catalog)**」パネルで、必要な「**カタログ (Catalog)**」ハイパーリンクをクリックします。
 - 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**メンテナンス・カタログの参照 (Browse Maintenance Catalog)**」または「**販売カタログの参照 (Browse Selling Catalog)**」のいずれかをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」パネルのツリーで、以下のタスクを実行します。
 - 順序を変更するカテゴリーまたは子カテゴリーを選択してから、「**上方へ移動 (Move Up)**」アイコンをクリックしてツリー表示で現在の位置から 1 つ上の位置に移動するか、「**下方へ移動 (Move Down)**」アイコンをクリックしてツリー表示で現在の位置から 1 つ下の位置に移動します。これらのアイコンにより、同じカタログ内で、カテゴリーまたは子カテゴリーを 1 つ上か 1 つ下の位置にのみ移動できます。
 - カテゴリーまたは子カテゴリーを選択してから、それを配置したい位置にドラッグします。選択したカテゴリーまたは子カテゴリーの位置が変更されます。

カテゴリーおよび子カテゴリーの順序が変更されます。

注: 異なる親カテゴリー間で子カテゴリーを移動させることはできません。

第 231 章 カテゴリー管理権限のサブカタログ組織への付与

このタスクについて

サブカタログ組織とは、独自のカタログ組織としてカタログ組織を参照するエンタープライズです。カタログ組織は、サブカタログ組織にマスター・カタログ内のカテゴリーを管理する権限を付与し、マスター・カタログ内のカテゴリーに対する他の組織のアクセスを許可または拒否するセラー資格を定義します。

カテゴリーを管理する権限は、「カタログ・リスト (Catalog List)」画面からサブカタログ組織に付与できます。

カテゴリーを管理する権限をサブカタログ組織に付与するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「カタログの管理 (Manage Catalogs)」を選択します。または、ホーム・ページで「カタログの管理 (Manage Catalogs)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「カタログ・リスト (Catalog List)」画面が表示されます。必要なカタログに対応する「カタログ ID (Catalog ID)」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「カタログ管理 (Catalog Management)」画面が表示されます。「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「カテゴリーの作成 (Create Category)」をクリックします。
5. 「カテゴリーの作成 (Create Category)」パネルが表示されます。「権限の付与先 (Authorized To)」ボックスの横にある「検索 (Search)」アイコンをクリックします。
6. 「サブカタログの基本検索 (Basic Subcatalog Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 検索条件を入力してから、「検索 (Search)」をクリックします。
 - b. サブカタログ組織のリストが表示されます。対応する組織 ID の横にあるチェック・ボックスを選択します。
 - c. 「保存 (Save)」をクリックします。

選択したサブカタログ組織が「権限の付与先 (Authorized To)」ボックスに表示されます。
7. 「カタログ管理 (Catalog Management)」画面で、「保存 (Save)」をクリックします。

カテゴリーを管理する権限がサブカタログ組織に付与されます。

メモ:

- カテゴリーを管理する権限は、カテゴリーの作成プロセス中にものみサブカタログ組織に付与できます。

- カテゴリーからサブカタログ組織の関連付けを解除したり、サブカタログ組織を別のサブカタログ組織で置き換えることはできません。

第 232 章 アイテムのカテゴリへの割り当て

このタスクについて

カテゴリ内のすべてのアイテムに、別個の検索可能な階層グループを割り当てることができます。カテゴリ内のアイテムは、そのカテゴリに割り当てられた属性を継承します。

アイテムは、「カタログ管理 (Catalog Management)」画面からカテゴリに割り当てることができます。

アイテムをカテゴリに割り当てるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。カテゴリにアイテムを割り当てるカタログに対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、アイテムを割り当てるカテゴリを選択します。
5. 「**アイテムとサービス (Items and Services)**」パネルが表示されます。「**アイテムの追加 (Add Item)**」をクリックします。
6. 「**基本的なアイテム検索 (Basic Item Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 検索条件を入力します。
 - b. 「**検索 (Search)**」をクリックします。
 - c. 表示される「**アイテム (Items)**」パネルから、追加するアイテムの横にあるチェック・ボックスを選択します。複数のアイテムを割り当てるには、必要な複数のアイテムの横にあるチェック・ボックスを選択します。
 - d. 「**選択 (Select)**」をクリックします。

選択したアイテムが「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面の「**アイテムとサービス (Items and Services)**」パネルに表示されます。

第 233 章 提供サービスのカテゴリへの割り当て

このタスクについて

提供サービスは、「カタログ管理 (Catalog Management)」画面からカテゴリに割り当てることができます。

提供サービスをカテゴリに割り当てるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。カテゴリに提供サービスを割り当てるカタログに対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、提供サービスを割り当てるカテゴリを選択します。
5. 「**アイテムとサービス (Items and Services)**」パネルが表示されます。「**サービスの追加 (Add Service)**」をクリックします。
6. 「**基本的なサービス検索 (Basic Service Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 検索条件を入力します。
 - b. 「**検索 (Search)**」をクリックします。
 - c. 表示される「**サービス (Services)**」パネルから、カテゴリに割り当てる提供サービスの横にあるチェック・ボックスを選択します。複数のサービスを割り当てるには、必要なサービスの横にあるチェック・ボックスを選択します。
 - d. 「**選択 (Select)**」をクリックします。

選択したサービスが「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面の「**アイテムとサービス (Items and Services)**」パネルに表示されます。

第 234 章 カテゴリ間のアイテムの移動

このタスクについて

あるカテゴリに属しているアイテムを、「カタログ管理 (Catalog Management)」画面から別のカテゴリに移動できます。

アイテムをカテゴリ間で移動するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。アイテムの移動元のカテゴリが属するカタログに対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、アイテムの移動元のカテゴリを選択します。
5. 「**アイテムとサービス (Items and Services)**」パネルが表示されます。別のカテゴリに移動させるアイテムの横にあるチェック・ボックスを選択します。
6. 「**カテゴリに移動 (Move to Category)**」をクリックします。
7. 「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーが表示されます。アイテムの移動先のカテゴリを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。

アイテムが選択したカテゴリに移動します。

第 235 章 カテゴリー間の提供サービスの移動

このタスクについて

あるカテゴリーに属している提供サービスを、「カタログ管理 (Catalog Management)」画面から別のカテゴリーに移動できます。

提供サービスをカテゴリー間で移動するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。提供サービスの移動元のカテゴリーが属するカタログに対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、提供サービスの移動元のカテゴリーを選択します。
5. 「**アイテムとサービス (Items and Services)**」パネルが表示されます。別のカテゴリーに移動させる提供サービスの横にあるチェック・ボックスを選択します。
6. 「**カテゴリーに移動 (Move to Category)**」をクリックします。
7. 「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーが表示されます。提供サービスの移動先のカテゴリーを選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。

提供サービスが選択したカテゴリーに移動します。

第 236 章 カテゴリの属性への複数値の割り当て

このタスクについて

複数の値を属性に割り当てるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテムの管理 (Item Administration)」メニューから、「カタログの管理 (Manage Catalogs)」を選択します。または、ホーム・ページで「カタログの管理 (Manage Catalogs)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「カテゴリ・リスト (Category List)」画面が表示されます。対応する「カタログ ID (Catalog ID)」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「カタログ管理 (Catalog Management)」画面が表示されます。「カタログの階層 (Catalog Hierarchy)」ツリーから、対応するカテゴリを選択します。
5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「属性の管理 (Manage Attribute)」をクリックします。
6. 「属性 (Attributes)」パネルが表示されます。複数の値を割り当てる属性の「属性名 (Attribute Name)」ハイパーリンクをクリックします。
7. その属性に関する詳細が表示されます。値の横にある「検索 (Search)」アイコンをクリックします。
8. 「複数属性値の選択 (Multi Attribute Values)」ダイアログ・ボックスが表示されます。値を属性に割り当てるには、「追加 (Add)」アイコンをクリックします。

注: テキスト属性に対して定義されている許容値の数が 30 以下の場合は、ドロップダウン・リストが表示されます。テキスト属性値の数が 30 を超える場合は、ドロップダウン・リストが、検索アイコン付きテキスト・ボックスに置き換わります。この検索アイコンを使用して、テキスト属性値を検索することができます。検索アイコンをクリックすると、「許容値の検索 (Allowed Values Search)」ダイアログ・ボックスが表示されます。テキスト属性値を検索するために、テキスト属性値またはテキスト属性値の説明を入力し、「検索 (Search)」をクリックします。入力した検索条件と一致する許容値のリストが表示されます。必要なテキスト属性値を選択して、「選択 (Select)」をクリックします。既存のテキスト属性値をクリアするには、検索アイコンの横にある「削除 (Delete)」アイコンを使用します。

9. 新しい行が追加されます。この属性に定義されたプロパティーに基づいて、以下のいずれかの要素が表示されます。
 - テキスト・ボックス - テキスト・ボックスが表示されたら、必要な値を入力します。
 - ドロップダウン・リスト - ドロップダウン・リストが表示されたら、必要な値を選択します。
10. 複数の値を追加するには、手順 7 から手順 9 を繰り返します。

11. 値を削除するには、対応する値の横にある「**削除 (Delete)**」アイコンをクリックします。
12. 「**選択 (Select)**」をクリックします。
13. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

選択した値が属性に割り当てられます。

第 237 章 アイテムのカテゴリからの削除

このタスクについて

アイテムをカテゴリから削除すると、そのアイテムはカテゴリに割り当てられた属性によって定義されなくなります。

アイテムをカテゴリから削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。アイテムを削除するカテゴリが属するカタログに対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、アイテムを削除するカテゴリを選択します。
5. 「**アイテムとサービス (Items and Services)**」パネルが表示されます。削除するアイテムの横にあるチェック・ボックスを選択します。
6. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
7. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、アイテムを削除します。

選択したアイテムがカテゴリから削除されます。

第 238 章 提供サービスのカテゴリからの削除

このタスクについて

提供サービスをカテゴリから削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。提供サービスを削除するカテゴリが属するカタログに対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、提供サービスを削除するカテゴリを選択します。
5. 「**アイテムとサービス (Items and Services)**」パネルが表示されます。削除する提供サービスの横にあるチェック・ボックスを選択します。
6. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
7. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、提供サービスを削除します。

選択した提供サービスがカテゴリから削除されます。

第 239 章 アセットのカテゴリへの追加

このタスクについて

アセットは、電子メディア・オブジェクトであり、アイテム、カテゴリ、属性、および属性値と関連付けます。アセット・タイプには、画像、ビデオ、オーディオ、およびテキスト・ファイルが含まれます。

アセットごとにコンテンツ・ロケーションを指定する必要があります。一般的に、アセットは外部システムに常駐するデジタル・ベースのオブジェクトです。例えば、オンライン・カタログから使用できるカテゴリに画像ファイルを割り当てて、オンライン顧客に、このカテゴリを表す画像を表示させることができます。このようなシナリオでは、画像ファイルのコンテンツ・ロケーションを指定する必要があります。コンテンツ・ロケーションは、画像ファイルのロケーションを示すパスです。

アセットは、「カタログ管理 (Catalog Management)」画面からカテゴリに追加できます。

アセットをカテゴリに追加するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、アセットを関連付けるカテゴリを選択します。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**カテゴリ・アセットの管理 (Manage Category Assets)**」をクリックします。
6. 「**カテゴリ・アセット (Category Assets)**」パネルが表示されます。「**追加 (Add)**」をクリックします。
7. 「**アセットの詳細 (Asset Detail)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 「**アセット ID (Asset ID)***」ボックスで、アセットの固有識別子 (ID) を入力します。
 - b. 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスで、アセットの簡単な説明を入力します。
 - c. 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、アセットの詳細な説明を入力します。

- d. 「**サーバー (Server)**」 ドロップダウン・リストから、このアセット・タイプがあるサーバーを選択します。ドロップダウン・リストには、使用可能なすべてのサーバー・ロケーションまたは Applications Manager で設定されたコードのいずれかが含まれます。
- e. 「**タイプ (Type)**」 ドロップダウン・リストから、アセット・タイプを選択します。選択したアセット・タイプが画像に関連する場合、対応する画像のプレビューが、サーバーおよびファイル名の指定後に「アセット (Assets)」パネルに表示されます。
- f. 「**ファイル (File)**」 ボックスで、ファイルの名前を入力します。
- g. 「**保存 (Save)**」 をクリックします。

アセットがカテゴリに追加されます。

第 240 章 カテゴリー内のアセットの詳細の変更

このタスクについて

アセットの簡略説明と詳細説明を変更するように選択できます。また、サーバー・ロケーション、アセット・タイプ、およびアセットの作成先のファイル名を変更することもできます。

アセットの詳細を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、アセットの詳細を変更するカテゴリーを選択します。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**カテゴリー・アセットの管理 (Manage Category Assets)**」をクリックします。
6. 「**カテゴリー・アセット (Category Assets)**」パネルが表示されます。変更するアセットの横にあるチェック・ボックスを選択します。
7. 「**アセットの詳細 (Asset Detail)**」パネルが表示されます。以下の手順を実行して、必要な変更を行います。
 - 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスで、アセットの簡単な説明を新規に入力します。
 - 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、アセットの詳細な説明を新規に入力します。
 - 「**サーバー (Server)**」ドロップダウン・リストから、このアセット・タイプがある新しいサーバーを選択します。
 - 「**タイプ (Type)**」ドロップダウン・リストから、新しいアセット・タイプを選択します。選択したアセット・タイプが画像に関連する場合、対応する画像のプレビューが、サーバーおよびファイル名の指定後に「**アセット (Assets)**」パネルに表示されます。
 - 「**ファイル (File)**」ボックスで、ファイルの新規名を入力します。
 - 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: 「**アセット ID (Asset ID)**」ボックスが読み取り専用ボックスとして表示されます。

アセットが変更されます。

第 241 章 アセットのカテゴリからの削除

このタスクについて

アセットをカテゴリから削除して、電子メディア・オブジェクトがカテゴリに関連付けられないようにできます。

アセットをカテゴリから削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、アセットを削除するカテゴリを選択します。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**カテゴリ・アセットの管理 (Manage Category Assets)**」をクリックします。
6. 「**カテゴリ・アセット (Category Assets)**」パネルが表示されます。削除するアセットの横にあるチェック・ボックスを選択します。
7. 「**削除 (Delete)**」をクリックします。
8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、アセットを削除します。

アセットがカテゴリから削除されます。

第 242 章 属性のカテゴリーへの割り当て

カテゴリーの属性の概要

属性は、カテゴリーに割り当てられる共通のプロパティです。カテゴリーに割り当てられたアイテムは、これらの属性を継承します。各アイテムの属性には値を指定できます。例えば、「テレビ (Television)」というカテゴリーには、アイテムの属性として「サイズ (Size)」や「タイプ (Type)」などを割り当てることができます。さらに、「サイズ (Size)」属性には「21 インチ (21 inches)」、タイプ属性には「LCD (LCD)」などの値を割り当てることができます。「テレビ (Television)」カテゴリー内のすべてのアイテムは、「テレビ (Television)」カテゴリーに割り当てられた対応する属性の同じ値を継承します。

カテゴリーには以下の属性タイプを割り当てることができます。

- 有効値のある属性 - テキスト属性、ブール属性、または数値属性を割り当てることができます。
- アイテムのフィールドを参照する属性 - すぐに使用可能なアイテム・フィールドを参照する属性を割り当てることができます。
- 派生属性- 別の属性から派生した派生属性を割り当てることができます。
- 計算した属性 - 価格設定の管理に固有の計算した属性を割り当てることができます。

属性は、「カタログ管理 (Catalog Management)」画面からカテゴリーに割り当てることができます。

属性のカテゴリーへの割り当て

このタスクについて

属性をカテゴリーに割り当てるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。カテゴリーに属性を割り当てるカタログに対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、属性を割り当てるカテゴリーを選択します。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**属性割り当ての管理 (Manage Attributes Assignment)**」をクリックします。
6. 「**属性 (Attributes)**」パネルが表示されます。「**追加 (Add)**」をクリックします。

7. 「属性の選択 (Select Attribute)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「属性 (Attribute)」ツリーから属性を選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。
選択した属性がカテゴリに追加されます。

第 243 章 カテゴリーの属性への値の割り当て

このタスクについて

カテゴリーがマスター・カタログに属する場合のみ、カテゴリー内の各アイテムの属性に値を指定できます。例えば、「テレビ (Television)」というカテゴリーには、アイテムの属性として「サイズ (Size)」や「タイプ (Type)」などを割り当てることができます。さらに、「サイズ (Size)」属性には「21 インチ (21 inches)」、「タイプ (Type)」属性には「LCD (LCD)」などの値または複数の値を割り当てることができます。

値は、「カタログ管理 (Catalog Management)」画面からカテゴリーの属性に割り当てることができます。

値を属性に割り当てするには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、対応するカテゴリーを選択します。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**属性割り当ての管理 (Manage Attribute Assignment)**」をクリックします。
6. 「**属性 (Attributes)**」パネルが表示されます。値を割り当てる属性の「**属性名 (Attribute Name)**」ハイパーリンクをクリックします。
7. 属性の詳細が表示されます。データ型に基づき、以下を実行して属性値を割り当てることができます。
 - テキスト・データ型の場合、対応するフィールドに新しい値を入力します。

注: テキスト属性に対して定義されている許容値の数が 30 以下の場合、ドロップダウン・リストが表示されます。テキスト属性値の数が 30 を超える場合は、ドロップダウン・リストが、検索アイコン付きテキスト・ボックスに置き換わります。この検索アイコンを使用して、テキスト属性値を検索することができます。検索アイコンをクリックすると、「**許容値の検索 (Allowed Values Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。テキスト属性値を検索するために、テキスト属性値またはテキスト属性値の説明を入力し、「**検索 (Search)**」をクリックします。入力した検索条件と一致する許容値のリストが表示されます。必要なテキスト属性値を選択して、「**選択 (Select)**」をクリックします。既存のテキスト属性値をクリアするには、検索アイコンの横にある「**削除 (Delete)**」アイコンを使用します。

- ブール・データ型の場合、対応するチェック・ボックスを選択またはクリアします。
- 数値データ型の場合、対応するフィールドに新しい値を入力します。
- 属性に複数の値が許可されている場合は、「**変更 (Modify)**」ハイパーリンクをクリックします。表示される「**複数属性値の選択 (Select Multi Attribute Values)**」ダイアログ・ボックスで、以下の手順を実行します。
 - i. 「**追加 (Add)**」アイコンをクリックして、別の値を追加します。
 - ii. 表示されるドロップダウン・リストから必要な値を選択します。
 - iii. 複数の値を追加するには、手順 i および ii を繰り返します。
 - iv. 「**選択 (Select)**」をクリックします。

選択した値が「属性 (Attributes)」パネルの「**値 (Values)**」ボックスに表示されます。

ヒント: 値を削除するには、それぞれの値の横にある「**削除 (Delete)**」アイコンをクリックします。

メモ:

- 3 つの基本的なデータ型がありますが、各データ型の表示方法は、「属性の管理 (Attribute Management)」での属性の設定方法によって異なります。例えば、数値データ型の場合、値がテキスト・ボックスではなく、ドロップダウン・リストにリストされることがあります。
 - カテゴリーに割り当てられた属性にデフォルト値が設定されている場合は、その値がデフォルトで、そのカテゴリーに関連する「属性の管理 (Attribute Management)」画面の対応するフィールドに表示されます。ただし、「**保存 (Save)**」をクリックしない限り、この値はカテゴリー内のアイテムにデフォルトで割り当てられません。
 - ドロップダウン・リスト内の値の数が 30 を超える場合は、ドロップダウン・リストの代わりにテキスト・ボックスが表示されます。
8. 「属性 (Attributes)」パネルで、「**保存 (Save)**」をクリックします。

値が属性に割り当てられます。

第 244 章 カテゴリーの属性への使用法の割り当て

このタスクについて

属性に使用法を割り当てて、その属性がカテゴリー内で使用される方法を指定できます。例えば、属性に使用法「検索可能な属性 (Searchable Attributes)」を指定して、この属性が検索に使用されることを指定できます。

使用法は、「カタログ管理 (Catalog Management)」画面からカテゴリーの属性に割り当てることができます。

使用法を属性に割り当てするには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
 2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
 3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
 4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、カテゴリーを選択します。
 5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**属性割り当ての管理 (Manage Attribute Assignment)**」をクリックします。
 6. 「**属性 (Attributes)**」パネルが表示されます。値を割り当てる属性の「**属性名 (Attribute Name)**」ハイパーリンクをクリックします。
 7. 属性の詳細が表示されます。「**使用法 (Usages)**」で、以下のチェック・ボックスを選択します。
 - **仕様 - Web** チャンネル・アプリケーションでこの属性がアイテムの仕様として表示されるよう指定するには、このチェック・ボックスを選択します。このオプションは、マスター・カタログの管理時にのみ使用可能になります。
 - **フィルター用 - Web** チャンネル・アプリケーションで検索結果を絞り込むためにこの属性を使用するには、このチェック・ボックスを選択します。
- 注: 有効な値が定義された属性にのみ「**フィルター用 (For Filter)**」オプションを使用する必要があります。
8. **比較用** - アイテムを比較するためにこの属性を使用するには、このチェック・ボックスを選択します。このオプションは、マスター・カタログの管理時にのみ使用可能になります。
 9. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

使用法が属性に割り当てられます。

第 245 章 属性のカテゴリからの削除

このタスクについて

属性をカテゴリから削除して、カテゴリ内のアイテムがその属性によって定義されないようにできます。

属性をカテゴリから削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。属性を削除するカテゴリが属するカタログに対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、属性を削除するカテゴリを選択します。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**属性割り当ての管理 (Manage Attributes Assignment)**」をクリックします。
6. 「**属性 (Attributes)**」パネルが表示されます。カテゴリから削除する属性の横にあるチェック・ボックスを選択します。
7. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、属性を削除します。

選択した属性がカテゴリから削除されます。

第 246 章 キーワードのカテゴリへの関連付け

このタスクについて

キーワードはカテゴリの代替 ID として機能します。キーワードは、カテゴリ検索時に Web チャンネル・アプリケーションで顧客が使用できるストリングのリストです。例えば、「テレビ (Televisions)」カテゴリのキーワードを「TV (TV)」に設定できます。

キーワードは、「カタログ管理 (Catalog Management)」画面からカテゴリに関連付けることができます。

キーワードをカテゴリに関連付けるには、以下の手順に実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。カテゴリにキーワードを定義するカタログに対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、キーワードを関連付けるカテゴリを選択します。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**キーワードの管理 (Manage Keywords)**」をクリックします。
6. 「**キーワード (Keywords)**」画面が表示されます。「**キーワード (Keywords)**」ボックスで、カテゴリのキーワードを入力します。各キーワードをコンマで区切るにより、複数のキーワードを入力できます。
7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

キーワードがカテゴリに関連付けられます。

第 247 章 カテゴリからのキーワードの関連付け解除

このタスクについて

キーワードの関連付けをカテゴリから解除して、キーワードがカテゴリの代替 ID として機能しないようにできます。複数のキーワードをカテゴリに関連付けしている場合、特定キーワードの関連付けを解除して、必要なキーワードは維持できます。

キーワードの関連付けをカテゴリから解除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログ管理 (Catalog Management)**」画面が表示されます。「**カタログの階層 (Catalog Hierarchy)**」ツリーから、キーワードの関連付けを解除するカテゴリを選択します。
5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**キーワードの管理 (Manage Keywords)**」をクリックします。
6. 「**キーワード (Keywords)**」画面が表示されます。「**キーワード (Keywords)**」ボックスで、対応するキーワードを削除します。
7. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

キーワードの関連付けがカテゴリから解除されます。

第 248 章 Sterling Business Center でのカテゴリの削除

このタスクについて

カテゴリから既にサブカテゴリ、アイテム、および割り当てられた属性を削除している場合のみ、カテゴリを削除できます。ただし、カテゴリが「発行済み (Published)」ステータスにある場合は削除できません。

カテゴリを削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「カタログの管理 (Manage Catalogs)」を選択します。または、ホーム・ページで「カタログの管理 (Manage Catalogs)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「カタログ・リスト (Catalog List)」画面が表示されます。カテゴリを削除するカタログに対応する「カタログ ID (Catalog ID)」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「カタログ管理 (Catalog Management)」画面が表示されます。「カタログの階層 (Catalog Hierarchy)」ツリーから、削除するカテゴリを選択します。
5. 「カテゴリの詳細 (Category Details)」パネルが表示されます。「削除 (Delete)」をクリックします。
6. 確認を求めるメッセージが表示されます。「はい (Yes)」をクリックして、カテゴリを削除します。

選択したカテゴリが「カタログの階層 (Catalog Hierarchy)」ツリーから削除されます。カテゴリが別のカテゴリに属する場合、親カテゴリの詳細が表示されます。ただし、カテゴリがルート・レベルのカテゴリの場合は、親カタログの詳細が表示されます。

第 249 章 Sterling Business Center でのカタログの削除

このタスクについて

カタログを削除するには、まずそのカタログ内のすべてのカテゴリを削除する必要があります。ただし、マスター・カタログとアクティブな販売カタログを削除することはできません。

カタログを削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**カタログの管理 (Manage Catalogs)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**カタログ・リスト (Catalog List)**」画面が表示されます。削除するカタログに対応する「**カタログ ID (Catalog ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**カタログの詳細 (Catalog Details)**」パネルが表示されます。「**削除 (Delete)**」をクリックします。
5. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、カタログを削除します。

カタログが削除されます。

第 250 章 Sterling Business Center での分類リストの表示

このタスクについて

既存の分類を表示して、それらを管理できます。対応する説明、関連付けられたフィールド、およびその分類に登録されている目的を表示できます。

分類リストを表示するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**分類の管理 (Manage Classifications)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**分類の管理 (Manage Classifications)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 既存の分類がリストされた「**分類リスト (Classification List)**」画面が表示されます。

注: 「**分類 (Classification)**」ハイパーリンクをクリックすると、分類の詳細を表示できます。

タスクの結果

関連項目:

- Sterling Business Center での分類の作成

第 251 章 Sterling Business Center での分類の作成

このタスクについて

分類を作成して、カタログ内の同様の特性を持つアイテム进行分类することができます。例えば、カタログ内に危険物を含むアイテムと危険物を含まないアイテムがあるとします。危険物をノード 1 から、非危険物をノード 2 から調達するとします。このシナリオでは、「危険物 (Hazardous Material)」アイテム属性のアイテム分類を作成して、調達に使用することができます。

分類は、「分類管理 (Classification Management)」画面から作成できます。

分類を作成するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**分類の管理 (Manage Classifications)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**分類の管理 (Manage Classifications)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**分類リスト (Classification List)**」画面が表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**分類の作成 (Create Classification)**」をクリックします。
4. 「**分類の管理 (Classification Management)**」画面が表示されます。「**分類の作成 (Create Classification)**」パネルで、以下の手順を実行します。
 - a. 「**分類 ID (Classification ID)***」ボックスで、分類の固有識別子 (ID) を入力します。この ID は、定義後は変更できません。
 - b. 「**簡略説明* (Short Description*)**」ボックスで、分類の簡単な説明を入力します。
 - c. 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、分類の詳細な説明を入力します。この詳細説明には、通常、分類に関するあらゆる追加情報が含まれます。
 - d. 「**関連付けられたアイテム・フィールド (Associated Item Field)***」ドロップダウン・リストから、分類値をアイテムに関連付ける際に分類値を保持するために使用される、関連付けられたアイテム・フィールドを選択します。
5. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

新しい分類が作成されます。

第 252 章 分類の変更

このタスクについて

分類の簡略説明と詳細説明を変更できます。

分類の詳細を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
 2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**分類の管理 (Manage Classifications)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**分類の管理 (Manage Classifications)**」ハイパーリンクをクリックします。
 3. 「**分類リスト (Classification List)**」画面が表示されます。変更する分類に対応する「**分類 ID (Classification ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
 4. 「**分類の詳細 (Classification Details)**」パネルが表示されます。以下の必要な変更を行います。
 - a. 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスで、分類の簡単な説明を変更します。
 - b. 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、分類の詳細な説明を変更します。
- 注: 「**分類 ID (Classification ID)***」ボックスと「**関連付けられたアイテム・フィールド (Associated Item Field)**」ボックスは読み取り専用ボックスとして表示されます。
5. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: 複数のロケールが構成されている場合、「**ローカライズ (Localize)**」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「**ローカライズ (Localize)**」関連タスクが「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルに表示されます。「**簡略説明 (Short Description)**」や「**詳細説明 (Long Description)**」などのローカライズ可能フィールドは、ユーザーのロケールに関係なく常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center がフランス語にローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI スtring がフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「**ローカライズ (Localize)**」アイコンまたは「**ローカライズ (Localize)**」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィールドのローカライズの詳細については、『Sterling Business Center のフィールドのローカライズ』を参照してください。

分類が変更されます。

第 253 章 目的の分類への追加

このタスクについて

分類に目的を追加することで、分類の使用方法を指定できます。例えば、「アパレル (Apparel)」という分類を作成したとします。この分類には、男性用衣料品および女性用衣料品という 2 種類の明細があります。男性用衣料品をノード 1 から、女性用衣料品をノード 2 から調達する場合、分類目的に「ソーシング (Sourcing)」を選択できます。

目的は、「分類管理 (Classification Management)」画面から分類に追加できます。

目的を分類に追加するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「分類の管理 (Manage Classifications)」を選択します。または、ホーム・ページで「分類の管理 (Manage Classifications)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「分類リスト (Classification List)」画面が表示されます。対応する「分類 ID (Classification ID)」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「分類の詳細 (Classification Details)」パネルが表示されます。「選択可能な使用法 (Available Usages)」リストから、分類に関連付ける目的を選択します。別の分類に割り当て済みの目的は選択できません。

注: 目的が、ファクトリー・セットアップの一部として「選択可能な使用法 (Available Usages)」リストに表示されます。

5. 「右に移動 (Move Right)」アイコンをクリックします。選択可能な使用法をすべて追加するには、「すべて右に移動 (Move All - Right)」アイコンをクリックします。
6. 「保存 (Save)」をクリックします。

目的が追加されます。

第 254 章 目的の分類からの削除

このタスクについて

目的を分類から削除して、分類の使用方法がその目的によって定義されないようにできます。

目的を分類から削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**分類の管理 (Manage Classifications)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**分類の管理 (Manage Classifications)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**分類リスト (Classification List)**」画面が表示されます。対応する「**分類 ID (Classification ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**分類の詳細 (Classification Details)**」パネルが表示されます。「**登録されている使用法 (Subscribed Usages)**」領域から、削除する目的を選択します。
5. 「**左に移動 (Move Left)**」アイコンをクリックします。目的をすべて削除するには、「**すべて左に移動 (Move All - Left)**」アイコンをクリックします。
6. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

目的が削除されます。

第 255 章 分類値の作成

このタスクについて

分類階層には分類に定義されたすべての値が含まれており、分類は常にアイテムのマスター・カタログの属性に関連付けられています。したがって、この分類階層には、アイテムの属性に関連付け可能なすべての値が含まれています。

分類値は、「分類管理 (Classification Management)」画面から作成できます。

分類値を作成するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**分類の管理 (Manage Classifications)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**分類の管理 (Manage Classifications)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**分類リスト (Classification List)**」画面が表示されます。値を定義する分類に対応する「**分類 ID (Classification ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**分類の詳細 (Classification Details)**」パネルが表示されます。「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**分類値の作成 (Create Classification Value)**」をクリックします。既存の値に基づいて値を作成する場合は、「**分類階層 (Classification Hierarchy)**」パネルで対応する値を選択してから、「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルの「**分類値の作成 (Create Classification Value)**」をクリックします。
5. 以下のタスクを実行できる「**分類値の作成 (Create Classification Value)**」パネルが表示されます。
 - 「**分類値 ID (Classification Value ID)***」ボックスで、値の固有識別子 (ID) を入力します。
 - 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスで、値の簡略説明を入力します。
 - 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、値の詳細説明を入力します。この詳細説明には、通常、分類値に関するあらゆる追加情報が含まれます。
6. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

注: * は必須フィールドを示します。

分類値が作成され、「**分類階層 (Classification Hierarchy)**」パネルに表示されます。

第 256 章 分類値の変更

このタスクについて

アイテムのマスター・カタログのアイテム属性に関連付けられている分類値の簡略説明と詳細説明を変更できます。

分類値を変更するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**分類の管理 (Manage Classifications)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**分類の管理 (Manage Classifications)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**分類リスト (Classification List)**」画面が表示されます。値を定義する分類に対応する「**分類 ID (Classification ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**分類の詳細 (Classification Details)**」パネルが表示されます。「**分類階層 (Classification Hierarchy)**」パネルから、変更する値を選択します。
5. 「**分類値の詳細 (Classification Value Details)**」パネルが表示されます。以下の必要な変更を行います。
 - 「**簡略説明 (Short Description)***」ボックスで、値の簡単な説明を変更します。
 - 「**詳細説明 (Long Description)**」ボックスで、値の詳細な説明を変更します。

注: 「**分類値 ID (Classification Value ID)**」ボックスは読み取り専用ボックスとして表示されます。

6. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

メモ:

- 複数のロケールが構成されている場合、「**ローカライズ (Localize)**」アイコンがすべてのローカライズ可能フィールドの横に表示されるとともに、「**ローカライズ (Localize)**」関連タスクが「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルに表示されます。「**簡略説明 (Short Description)**」や「**詳細説明 (Long Description)**」などのローカライズ可能フィールドは、ユーザーのロケールに関係なく常に基本ロケールで表示されます。例えば、Sterling Business Center がフランス語にローカライズされており、基本ロケールが英語である場合、フランス語のユーザーが Sterling Business Center にログインすると、ローカライズ可能フィールドを除くすべての UI スtring がフランス語で表示されます。ローカライズ可能フィールドは英語で表示されます。ユーザーは「**ローカライズ (Localize)**」アイコンまたは「**ローカライズ (Localize)**」をクリックすることで、基本ロケールで表示されているフィールドをローカライズできます。フィールドのローカライズの詳細については、『Sterling Business Center のフィールドのローカライズ』を参照してください。
- * は必須フィールドを示します。

分類値が変更されます。

第 257 章 アイテムの分類への割り当て

このタスクについて

「分類管理 (Classification Management)」画面からアイテムを分類に割り当てて、アイテムを対応するカタログに分類できます。

アイテムを分類に割り当てるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**分類の管理 (Manage Classifications)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**分類の管理 (Manage Classifications)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**分類リスト (Classification List)**」画面が表示されます。アイテムを割り当てる分類に対応する「**分類 ID (Classification ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 表示される「**分類階層 (Classification Hierarchy)**」ツリーから、該当する分類値を選択します。

「**分類値の詳細 (Classification Value Details)**」パネルが表示されます。

5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**アイテムの管理 (Manage Items)**」をクリックします。
6. 表示される「**アイテム (Items)**」パネルで「**追加 (Add)**」をクリックします。
7. 「**基本的なアイテム検索 (Basic Item Search)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の手順を実行します。
 - a. 検索条件を入力します。
 - b. 「**検索 (Search)**」をクリックします。
 - c. アイテムおよび対応する分類値のリストを含む「**アイテム (Items)**」パネルが表示されます。分類に割り当てるアイテムの横にあるチェック・ボックスを選択します。
 - d. 「**選択 (Select)**」をクリックします。選択したアイテムが既に分類値に割り当てられている場合は、前の値が新しい分類値によってオーバーライドされます。

アイテムが分類に割り当てられます。

第 258 章 分類値間のアイテムの移動

このタスクについて

アイテムを分類値間で移動するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「分類の管理 (Manage Classifications)」を選択します。または、ホーム・ページで「分類の管理 (Manage Classifications)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「分類リスト (Classification List)」画面が表示されます。アイテムを別の分類に移動する分類に対応する「分類 ID (Classification ID)」ハイパーリンクをクリックします。
4. 表示される「分類階層 (Classification Hierarchy)」ツリーから、該当する分類値を選択します。

「分類値の詳細 (Classification Value Details)」パネルが表示されます。

5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「アイテムの管理 (Manage Items)」をクリックします。
6. 表示される「アイテム (Items)」パネルで、別の分類値に移動するアイテムの横にあるチェック・ボックスを選択します。
7. 「分類値に移動 (Move To Classification Value)」をクリックします。
8. 「分類階層 (Classification Hierarchy)」ダイアログ・ボックスが表示されます。アイテムの移動先の分類値を選択します。
9. 「選択 (Select)」をクリックします。

アイテムが選択した分類値に移動します。

第 259 章 アイテムの分類からの削除

このタスクについて

アイテムを分類から削除して、そのアイテムが対応するカタログに分類されないようにできます。

アイテムを分類から削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**分類の管理 (Manage Classifications)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**分類の管理 (Manage Classifications)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**分類リスト (Classification List)**」画面が表示されます。アイテムを削除する分類に対応する「**分類 ID (Classification ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 表示される「**分類階層 (Classification Hierarchy)**」ツリーから、該当する分類値を選択します。

「**分類値の詳細 (Classification Value Details)**」パネルが表示されます。

5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**アイテムの管理 (Manage Items)**」をクリックします。
6. 表示される「**アイテム (Items)**」パネルで、分類から削除するアイテムの横にあるチェック・ボックスを選択します。
7. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、アイテムを削除します。

選択したアイテムが分類から削除されます。

第 260 章 属性の分類への割り当て

このタスクについて

属性は、アイテムに固有の特性です。分類に属性を割り当てると、その分類に属するすべてのアイテムに共通の属性を割り当てることができます。分類に基づいて属性を管理できるのは、分類の目的を定義する際に、「個別の属性 (Distinct Attributes)」の分類目的を選択した場合のみです。

属性は、「分類管理 (Classification Management)」画面から分類に追加できます。

属性を分類に割り当てるには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**分類の管理 (Manage Classifications)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**分類の管理 (Manage Classifications)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**分類リスト (Classification List)**」画面が表示されます。属性を割り当てる分類に対応する「**分類 ID (Classification ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 表示される「**分類階層 (Classification Hierarchy)**」ツリーから、該当する分類値を選択します。

「**分類値の詳細 (Classification Value Details)**」パネルが表示されます。

5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**属性割り当ての管理 (Manage Attribute Assignment)**」をクリックします。
6. 表示される「**属性 (Attributes)**」パネルで「**追加 (Add)**」をクリックします。
7. 「**属性の選択 (Select Attribute)**」ダイアログ・ボックスが表示されます。分類に割り当てる属性を選択し、「**選択 (Select)**」をクリックします。

選択した属性が「**属性 (Attributes)**」パネルの属性リストに追加されます。

第 261 章 分類の属性への使用法の割り当て

分類の属性への使用法の割り当てに関する概要

属性に使用法を割り当てて、その属性が分類内で使用される方法を指定できます。ただし、使用法を属性に割り当てることができるのは、対応する分類目的を分類に割り当てている場合のみです。例えば、分類の属性に使用法「検索可能な属性 (Searchable Attributes)」を指定できるのは、「検索可能な属性 (Searchable Attributes)」の分類目的を指定している場合のみです。

使用法は、次の目的を割り当てている分類の属性に割り当てることができます。

- 仕様
- 検索可能な属性
- バリエーションのあるアイテム

使用法は、「分類管理 (Classification Management)」画面から分類の属性に割り当てることができます。

分類の属性への使用法の割り当て

このタスクについて

使用法を分類の属性に割り当てするには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「分類の管理 (Manage Classifications)」を選択します。または、ホーム・ページで「分類の管理 (Manage Classifications)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「分類リスト (Classification List)」画面が表示されます。属性を削除する分類に対応する「分類 ID (Classification ID)」ハイパーリンクをクリックします。
4. 表示される「分類階層 (Classification Hierarchy)」ツリーから、該当する分類値を選択します。

「分類値の詳細 (Classification Value Details)」パネルが表示されます。
5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「属性割り当ての管理 (Manage Attribute Assignment)」をクリックします。
6. 「属性 (Attributes)」パネルが表示されます。使用法を割り当てる属性の横にあるチェック・ボックスを選択します。
7. 属性の詳細が表示されます。「使用法 (Usages)」で、以下のチェック・ボックスを選択します。

- **仕様** - Web チャンネル・アプリケーションでこの属性が仕様として表示されるよう指定するには、このチェック・ボックスを選択します。また、このアイテム属性をキー属性にする場合は「**キー属性です (Is Key Attribute)**」チェック・ボックスを選択します。
- **検索可能な属性** - この属性が検索で使用されるよう指定するには、このチェック・ボックスを選択します。また、このアイテム属性をキー属性にする場合は「**キー属性です (Is Key Attribute)**」チェック・ボックスを選択します。
- **アイテムのバリエーション属性** - この属性が「バリエーションのあるアイテム (Items with Variations)」の定義に使用されるよう指定するには、このチェック・ボックスを選択します。また、このアイテム属性をキー属性にする場合は「**キー属性です (Is Key Attribute)**」チェック・ボックスを選択します。

注: これらのチェック・ボックスは、分類に割り当てられている分類目的に基づいて表示されます。例えば、分類に「個別の属性 (Distinct Attributes)」の分類目的を割り当てている場合、「**個別の属性 (Distinct Attributes)**」チェック・ボックスが「**使用法 (Usages)**」の下に表示されます。

8. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

使用法が属性に割り当てられます。

第 262 章 属性の分類からの削除

このタスクについて

属性を分類から削除して、分類内のアイテムがその属性によって定義されないようにできます。

属性を分類から削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**分類の管理 (Manage Classifications)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**分類の管理 (Manage Classifications)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**分類リスト (Classification List)**」画面が表示されます。属性を削除する分類に対応する「**分類 ID (Classification ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 表示される「**分類階層 (Classification Hierarchy)**」ツリーから、該当する分類値を選択します。

「**分類値の詳細 (Classification Value Details)**」パネルが表示されます。

5. 「**関連タスク (Related Tasks)**」パネルで、「**属性割り当ての管理 (Manage Attribute Assignment)**」をクリックします。
6. 「**属性 (Attributes)**」パネルが表示されます。分類から削除する属性の横にあるチェック・ボックスを選択します。
7. 「**削除 (Remove)**」をクリックします。
8. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、属性を削除します。

選択した属性が分類から削除されます。

第 263 章 継承可能な属性のフィールドの定義

このタスクについて

継承可能な属性のフィールドを分類に定義できます。これらのフィールドは、対応する分類内のアイテムによって継承されます。継承可能な属性のフィールドを分類に定義できるのは、「継承されたアイテム属性 (Inherited Item Attributes)」という目的を対応する分類に割り当てている場合のみです。

継承可能な属性のフィールドは、「分類管理 (Classification Management)」画面から定義できます。

継承可能な属性のフィールドを定義するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「アイテム (Item)」メニューから、「分類の管理 (Manage Classifications)」を選択します。または、ホーム・ページで「分類の管理 (Manage Classifications)」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「分類リスト (Classification List)」画面が表示されます。継承可能な属性の分類目的を割り当てている分類に対応する「分類 ID (Classification ID)」ハイパーリンクをクリックします。
4. 表示される「分類階層 (Classification Hierarchy)」ツリーから、該当する分類値を選択します。

「分類値の詳細 (Classification Value Details)」パネルが表示されます。

5. 「関連タスク (Related Tasks)」パネルで、「継承可能フィールドの管理 (Manage Inheritable Fields)」をクリックします。

さまざまなタブとともに「分類値継承可能フィールド (Classification Value Inheritable Fields)」パネルが表示されます。タブ内のフィールドに値を割り当てない場合は、対応するドロップダウン・リストから次のオプションを選択できます。

- 親の分類を継承する (Inherit from parent classification) - 対応する分類値に親の分類値を使用する場合は、このオプションを選択します。このようなシナリオでは、親の分類に対して定義された値が、その分類に属するアイテムの対応するフィールドによって継承されます。「継承可能フィールド (Inheritable Fields)」パネルの対応するフィールドは空白のままにします。
 - デフォルト値の使用 - 対応する分類値に親の分類値を使用しない場合は、このオプションを選択します。このようなシナリオでは、属性に対して定義されたデフォルト値が、その分類に属するアイテムのフィールドによって継承されます。「継承可能フィールド (Inheritable Fields)」パネルの対応するフィールドは空白のままにします。
6. 「確定 (Promising)」領域で、次の手順を実行します。

- a. 「**ATP ルール (ATP Rule)**」ドロップダウン・リストから、ATP ルールを選択します。選択した ATP ルールに定義されているパラメーターは、このアイテムで選択可能な在庫を決定するために使用されます。
 - b. 「**ATP モニター・ルール (ATP Monitor Rule)**」ドロップダウン・リストから、このアイテムで使用する ATP モニター・ルールを選択します。このアイテムの最小在庫レベルは、選択した ATP モニター・ルールに設定されているパラメーターに基づきます。
 - c. 「**ノード・レベルの ATP モニター・ルール (Node Level ATP Monitor Rule)**」ドロップダウン・リストから、このアイテムで使用するノード・レベルの ATP モニター・ルールを選択します。このアイテムの最小在庫レベルは、選択したノード・レベルの ATP モニター・ルールに設定されているパラメーターに基づきます。
 - d. 「**未定在庫の使用 (Use Unplanned Inventory)**」ドロップダウン・リストから適切なオプションを選択して、このアイテムに関連する未定在庫を使用可能にします。
 - e. 「**リード日数 (Lead Days)**」ボックスに、このアイテムを調達して出荷可能にするまでに要する時間 (日数) を入力します。このフィールドを空白にした場合、デフォルト値として 30 日が設定されます。
 - f. 「**手持ち在庫の安全係数 (Onhand Safety Factory)**」領域で、次の手順を実行します。
 - - 「**パーセント (Percent)**」ラジオ・ボタンを選択し、このアイテムに対して手持ちの在庫状況から除外する在庫の割合を入力します。
 - - 「**単位 (Units)**」ラジオ・ボタンを選択し、このアイテムに対して手持ちの在庫状況から除外する在庫の数量を入力します。
 - g. 「**アイテム・ベースの割り当て許可 (Item-Based Allocation Allowed)**」ドロップダウン・リストから適切なオプションを選択して、ドロップダウン・リストのアイテムに対するアイテム・ベースの割り当てができるようにします。「アイテム・ベースの割り当てを使用する (Use Item Based Allocation)」ルールが有効な場合、アイテム・ベースの割り当ては、「アイテム・ベースの割り当て許可 (Item Based Allocation Allowed)」属性を有効にしているアイテムおよびノードに対してのみ適用できます。
 - h. 「**将来の安全係数率 (Future Safety Factor Percentage)**」ボックスに、このアイテムに対して将来の在庫状況から除外する在庫の割合を入力します。
7. 「**在庫属性 (Inventory Attributes)**」タブをクリックして、次の手順を実行します。
 - a. 「**デフォルトの製品クラス (Default Product Class)**」ドロップダウン・リストから、製品クラスを選択します。
 - b. 「**在庫の FIFO 追跡 (Track FIFO in Inventory)**」ドロップダウン・リストから、必須指定のオプションを選択します。これにより、システムによって自動生成される FIFO (先入れ先出し) 番号を使用した在庫の追跡を指示します。
 8. 「**ソーシング (Sourcing)**」タブをクリックして、次の手順を実行します。
 - a. 「**このアイテムのオーダーを、出荷予定日時より合計 (Release an order for this item a total of) <時間数> 時間 (作業時間) と (working hours and) <日数> 日 (システム日数) 前にリリースする (system days before expected**

- time of shipment)**」ボックスで、このアイテムのオーダーを、出荷予定日の何日と何時間前にリリースする必要があるかを入力します。
- b. 「**出荷予定日時の少なくとも (Node needs to be notified at least) <時間数> 時間前にノードに通知する必要があります (hours prior to expected time of shipment)**」ボックスに、出荷予定時刻の最低何時間前にノードへの連絡が必要かを入力します。
 - c. 「**アイテム出荷集約期間 (Item Shipment Consolidation window) <日数> 日 (days)**」ボックスに、アイテムが使用可能になった後、他のアイテムの出荷と集約するためにアイテムの出荷を遅らせることが可能な日数を入力します。
 - d. 「**確定時に無限在庫を想定 (Assume Infinite Inventory During Promising)**」ドロップダウン・リストから、必須指定のオプションを選択します。
 - e. 「**出荷許可 (Shipping Allowed)**」ドロップダウン・リストから、必須指定のオプションを選択します。
 - f. 「**配達許可 (Delivery Allowed)**」ドロップダウン・リストから、必須指定のオプションを選択して配達を許可するかどうかを指定します。
 - g. 「**ピックアップの許可 (Pickup Allowed)**」ドロップダウン・リストから、必須指定のオプションを選択してピックアップを許可するかどうかを指定します。
 - h. 「**転送許可 (Forwarding Allowed)**」ドロップダウン・リストから、必須指定のオプションを選択して転送を許可するかどうかを指定します。
 - i. 「**調達許可 (Procurement Allowed)**」ドロップダウン・リストから、必須指定のオプションを選択して調達を許可するかどうかを指定します。
 - j. 「**オーダーでの交換許可 (Supersession On Order Allowed)**」ドロップダウン・リストから、必須指定のオプションを選択してオーダーでの交換を許可するかどうかを指定します。
 - k. 「**贈答品包装許可 (Gift Wrap Allowed)**」ドロップダウン・リストから、必須指定のオプションを選択して贈答品包装を許可するかどうかを指定します。
9. 「**返品 (Returns)**」タブをクリックして、次の手順を実行します。
- a. 「**このアイテムの返品を承認する (Accept Returns For This Item)**」ドロップダウン・リストから、必須指定のオプションを選択してアイテムが返品可能かどうかを指定します。
 - b. 「**購入から (day(s) of purchase) <日数> 日以内は返品を許可 (Allow on when the item is returned within)**」ボックスに、アイテム購入からの返品可能な日数を入力します。
10. 「**輸送 (Transportation)**」タブをクリックして、次の手順を実行します。
- a. 「**冷凍庫が必要 (Requires Freezer)**」ドロップダウン・リストから、必須指定のオプションを選択してアイテムの輸送中に冷凍が必要かどうかを指定します。
 - b. 「**航空便利用可能 (Shipping By Air Allowed)**」ドロップダウン・リストから、必須指定のオプションを選択して航空便によるアイテムの出荷が可能かどうかを指定します。

- c. 「**小包出荷の許可 (Parcel Shipping Allowed)**」ドロップダウン・リストから、必須指定のオプションを選択して小包によるアイテムの出荷を許可するかどうかを指定します。
11. 「**セールス (Sales)**」タブをクリックします。
 - 表示される「**出荷割引適用可能 (Eligible for Shipping Discount)**」ドロップダウン・リストから、必須指定のオプションを選択して出荷割引がアイテムに適用可能かどうかを指定します。
12. 「**その他 (Other)**」タブをクリックします。
 - このフィールドは、アイテムに拡張属性を適用している場合にのみ表示されます。表示されるテキスト・ボックスで、適切な値を入力します。

注: これらのテキスト・ボックスは、拡張属性に選択されているデータ型に基づいて表示されます。
13. 「**保存 (Save)**」をクリックします。

継承可能な属性のフィールドが定義されます。

第 264 章 分類値の削除

このタスクについて

アイテムのマスター・カタログのアイテム属性に関連付ける必要のない分類値は削除できます。分類値を削除すると、すべての子分類値も削除されます。

分類値を削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**分類の管理 (Manage Classifications)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**分類の管理 (Manage Classifications)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**分類リスト (Classification List)**」画面が表示されます。値を削除する分類に対応する「**分類 ID (Classification ID)**」のハイパーリンクをクリックします。
4. 「**分類階層 (Classification Hierarchy)**」パネルから、削除する値を選択します。
5. 「**分類値の詳細 (Classification Value Details)**」パネルが表示されます。「**削除 (Delete)**」をクリックします。
6. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、分類値を削除します。

分類値が削除されます。

第 265 章 Sterling Business Center での分類の削除

このタスクについて

分類目的で使用されている分類は削除できません。分類を削除する前に、すべての目的との関連付けが解除されていることを確認してください。

分類を削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから、「**分類の管理 (Manage Classifications)**」を選択します。または、ホーム・ページで「**分類の管理 (Manage Classifications)**」ハイパーリンクをクリックします。
3. 「**分類リスト (Classification List)**」画面が表示されます。削除する分類に対応する「**分類 ID (Classification ID)**」ハイパーリンクをクリックします。
4. 「**分類の詳細 (Classification Details)**」パネルが表示されます。「**削除 (Delete)**」をクリックします。
5. 確認を求めるメッセージが表示されます。「**はい (Yes)**」をクリックして、分類を削除します。

分類が削除され、「**分類リスト (Classification List)**」画面が表示されます。

第 266 章 Sterling Business Center からの Visual Product Modeler の起動

このタスクについて

Visual Product Modeler は、Sterling Business Center 内から起動できます。Visual Product Modeler アプリケーションを使用して、アイテムで使用できる構成可能オプションを定義するモデル・アイテムを作成します。モデル・アイテムを作成したら、それらのモデル・アイテムを対応するバンドル・アイテムに関連付けることができます。

Visual Product Modeler アプリケーションを起動するには、以下の手順を実行します。

手順

1. Sterling Business Center に管理者としてログインします。
2. 「**アイテム (Item)**」メニューから「**Visual Product Modeler の起動 (Launch Visual Product Modeler)**」を選択します。または、Sterling Business Center のホーム・ページで、「**Visual Product Modeler の起動 (Launch Visual Product Modeler)**」ハイパーリンクをクリックします。

Visual Product Modeler のログイン・ページが新規ブラウザ・ウィンドウに表示されます。

第 267 章 アイテムの作成

カタログに作成可能なアイテムの一覧を以下に示します。

タイプ [次をクリック](#)

標準 Sterling Business Center での標準アイテムの作成

バンドル

Sterling Business Center でのバンドル・アイテムの作成

物理キット

Sterling Business Center に物理キット・アイテムを作成します。

動的物理キット

Sterling Business Center に動的物理キット・アイテムを作成します。

バリエーションのあるアイテム

Sterling Business Center にバリエーションのあるアイテムを作成します。

論理キット

Sterling Business Center での論理キット・アイテムの作成

第 268 章 バリエーション・アイテムの管理

バリエーション・アイテムの管理には、次のタスクが含まれます。

- 子アイテムとしての既存アイテムのバリエーション・アイテムへの追加
- バリエーション・アイテムの子アイテムの変更
- バリエーション・アイテムからの子アイテムの削除

第 269 章 アイテムの主要情報の管理

アイテムの主要情報の管理には、次のタスクが含まれます。

- アイテムの主要情報の定義
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ
- Sterling Business Center でのアイテムの削除

第 270 章 アイテムの単位の管理

アイテムの単位の管理には、次のタスクが含まれます。

- アイテムの単位の定義
- 在庫の単位と異なる場合の価格設定の単位の定義
- 代替の単位の追加
- 代替の単位の変更
- 代替の単位の削除

第 271 章 アイテムの指示の管理

アイテムの指示の管理には、次のタスクが含まれます。

- 手動での指示のアイテムへの追加
- 既存指示コードからの指示のアイテムへの追加
- アイテムの指示の変更
- アイテムの指示順序の変更
- 指示のアイテムからの削除

第 272 章 アイテムの返品フルフィルメントの詳細の管理

アイテムの返品フルフィルメントの詳細の管理には、次のタスクが含まれます。

- 返品を受領するための返品フルフィルメントの詳細の定義
- 返品を拒否するための返品フルフィルメントの詳細の定義

第 273 章 アイテム属性の属性値の管理

アイテム属性の属性値の管理には、次のタスクが含まれます。

- 属性値のアイテム属性への割り当て
- アイテム属性の属性値のオーバーライド
- アイテム属性の属性値の変更
- アイテム属性への複数の属性値の割り当て

第 274 章 アイテムの在庫の管理

アイテムの在庫の管理には、次のタスクが含まれます。

- タグ付きアイテム用の在庫の構成
- タグなしアイテム用の在庫の構成

第 275 章 アイテムに対するクロスセルの関連付けの管理

アイテムに対するクロスセルの関連付けの管理には、次のタスクが含まれます。

- クロスセル・アイテムのアイテムへの関連付け
- クロスセル・アイテムの詳細を変更する
- クロスセルの関連付けのためのカテゴリのアイテムへの関連付け
- クロスセルの関連付けのためのカテゴリの有効日付範囲の変更
- アイテムからのクロスセル・アイテムの関連付け解除
- クロスセルの関連付けのためのカテゴリのアイテムからの関連付け解除

第 276 章 アイテムのアップセルの関連付けの管理

アップセルの関連付けの管理には、次のタスクが含まれます。

- アップセル・アイテムのアイテムへの関連付け
- アップセル・アイテムの詳細を変更する
- アップセルの関連付けのためのカテゴリのアイテムへの関連付け
- アップセルの関連付けのためのカテゴリの有効日付範囲の変更
- アイテムからのアップセル・アイテムの関連付け解除
- アップセルの関連付けのためのカテゴリのアイテムからの関連付け解除

第 277 章 アイテムに対する交換品の関連付けの管理

アイテムに対する交換品の関連付けの管理には、次のタスクが含まれます。

- 交換品のアイテムへの関連付け
- 交換品の詳細の変更
- 交換品の関連付けのためのカテゴリーのアイテムへの関連付け
- 交換品の関連付けのためのカテゴリーの有効日付範囲の変更
- アイテムからの交換品の関連付け解除
- 交換品の関連付けのためのカテゴリーのアイテムからの関連付け解除

第 278 章 アイテムに対する優先代替品の関連付けの管理

アイテムに対する優先代替品の関連付けの管理には、次のタスクが含まれます。

- 優先代替品のアイテムへの関連付け
- 優先代替品の詳細の変更
- 優先代替品の関連付けとしてのカテゴリとアイテムとの関連付け
- 優先代替品の関連付けのためのカテゴリの有効日付範囲の変更
- アイテムからの優先代替品の関連付け解除
- 優先代替品の関連付けのためのカテゴリのアイテムからの関連付け解除

第 279 章 アイテムに対する代替の関連付けの管理

アイテムに対する代替の関連付けの管理には、次のタスクが含まれます。

- 代替アイテムのアイテムへの関連付け
- 代替アイテムの詳細の変更
- 代替の関連付けのためのカテゴリーのアイテムへの関連付け
- 代替の関連付けのためのカテゴリーの有効日付範囲の変更
- アイテムからの代替アイテムの関連付け解除
- 代替の関連付けのためのカテゴリーのアイテムからの関連付け解除

第 280 章 アイテムに対する競合品の関連付けの管理

アイテムに対する競合品の関連付けの管理には、次のタスクが含まれます。

- 競合品のアイテムへの関連付け
- 競合品の詳細の変更
- 競合品の関連付けのためのカテゴリのアイテムへの関連付け
- 競合品の関連付けのためのカテゴリの有効日付範囲の変更
- アイテムからの競合品の関連付け解除
- 競合品の関連付けのためのカテゴリのアイテムからの関連付け解除

第 281 章 アイテムのアセットの管理

アイテムのアセットの管理には、次のタスクが含まれます。

- アセットのアイテムへの追加
- アセットの詳細の変更
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ
- アセットのアイテムからの削除

第 282 章 アイテムのキーワード、エイリアス、および除外コードの管理

アイテムのキーワード、エイリアス、および除外コードを管理するために実行できるタスクを以下に示します。

管理対象

実行タスク

キーワード

- キーワードのアイテムへの関連付け
- アイテムからのキーワードの関連付け解除

エイリアス

- エイリアスのアイテムへの関連付け
- アイテムからのエイリアスの関連付け解除

除外コード

- 除外コードのアイテムへの関連付け
- アイテムからの除外コードの関連付け解除

第 283 章 サービスの作成

カタログに作成可能なサービスの一覧を以下に示します。

タイプ [次をクリック](#)

配達 [Sterling Business Center](#) での配達サービスの作成

提供 [Sterling Business Center](#) での提供サービスの作成

返品ピックアップ

[Sterling Business Center](#) に返品ピックアップを作成します。

付加価値サービス

[Sterling Business Center](#) での流通加工サービスの作成

第 284 章 アイテムのノードの管理

アイテムのノードの管理には、次のタスクが含まれます。

- ノードの追加およびアイテムのノードの詳細の定義
- ノードの詳細の変更
- アイテムからのノードの削除

第 285 章 配達サービスに対する主要情報の管理

「主要情報 (Primary Information)」画面から、次のタスクを実行できます。

- 配達サービスの主要情報の定義
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ
- Sterling Business Center でのサービスの削除

第 286 章 提供サービスの主要情報の管理

「主要情報 (Primary Information)」画面から、次のタスクを実行できます。

- 提供サービスの主要情報の定義
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ
- Sterling Business Center でのサービスの削除

第 287 章 返品ピックアップ・サービスの主要情報の管理

「主要情報 (Primary Information)」画面から、次のタスクを実行できます。

- 返品ピックアップ・サービスの主要情報の定義
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ
- Sterling Business Center でのサービスの削除

第 288 章 付加価値サービスの主要情報の管理

「主要情報 (Primary Information)」画面から、次のタスクを実行できます。

- 付加価値サービスの主要情報の定義
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ
- Sterling Business Center でのサービスの削除

第 289 章 サービスの指示の管理

サービスの指示の管理には、次のタスクが含まれます。

- 手動での指示のサービスへの追加
- 既存指示コードからの指示のサービスへの追加
- サービスの指示順序の変更
- サービスの指示の変更
- 指示のサービスからの削除

第 290 章 アイテムの提供サービスの管理

アイテムの提供サービスの管理には、次のタスクが含まれます。

- 提供サービスのアイテムへの関連付け
- アイテムに関連付けられた提供サービスの変更
- アイテムからの提供サービスの関連付け解除

第 291 章 アイテムの配達サービスの管理

アイテムの配達サービスの管理には、次のタスクが含まれます。

- 配達サービスのアイテムへの関連付け
- アイテムに関連付けられた配達サービスの変更
- アイテムからの配達サービスの関連付け解除

第 292 章 アイテムの返品ピックアップ・サービスの管理

アイテムの返品ピックアップ・サービスの管理には、次のタスクが含まれます。

- 返品ピックアップ・サービスのアイテムへの関連付け
- アイテムに関連付けられた返品ピックアップ・サービスの変更
- アイテムからの返品ピックアップ・サービスの関連付け解除

第 293 章 物理キット・アイテムのコンポーネントの管理

物理キット・アイテムのコンポーネントの管理には、次のタスクが含まれます。

- 物理キットまたはバンドル・アイテムに対する手動でのアイテムの割り当ておよびアイテム数量の定義
- 物理キットまたはバンドル・アイテムに対する手動でのサービス・アイテムの割り当ておよびサービス数量の定義
- 物理キットまたはバンドル・アイテムからの既存のアイテムまたはサービスの手動削除
- Sterling Business Center での設定可能アイテムの作成
- Sterling Business Center での事前設定済みアイテムの作成
- 設定可能アイテムまたは事前設定済みアイテムの設定モデルの変更
- 事前設定済みアイテムの設定の変更

第 294 章 バンドル・アイテムのコンポーネントの管理

バンドル・アイテムのコンポーネントの管理には、次のタスクが含まれます。

- 物理キットまたはバンドル・アイテムに対する手動でのアイテムの割り当ておよびアイテム数量の定義
- 物理キットまたはバンドル・アイテムに対する手動でのサービス・アイテムの割り当ておよびサービス数量の定義
- 物理キットまたはバンドル・アイテムからの既存のアイテムまたはサービスの手動削除
- Sterling Business Center での設定可能アイテムの作成
- Sterling Business Center での事前設定済みアイテムの作成
- 設定可能アイテムまたは事前設定済みアイテムの設定モデルの変更
- 事前設定済みアイテムの設定の変更

第 295 章 付加価値サービスのサービス・アクティビティの管理

このタスクについて

サービス・アクティビティは、付加価値サービスに対して定義可能な上位のステップです。例えば、電話の組み立てという付加価値サービスに対して、以下のサービス・アクティビティを定義できます。

- コンポーネントの入手
- アクセサリーの追加
- カスタム・ラベルの適用

付加価値サービスのサービス・アクティビティの管理には、次のタスクが含まれます。

- 付加価値サービスへのサービス・アクティビティの追加
- 付加価値サービスのサービス・アクティビティの変更
- 付加価値サービスからのサービス・アクティビティの削除

第 296 章 提供サービスまたは配達サービスのサービス・オプションの管理

このタスクについて

配達サービスまたは提供サービスのサービス・オプションの管理には、次のタスクが含まれます。

- 提供サービスまたは配達サービスへのサービス・オプションの追加
- 提供サービスまたは配達サービスからのサービス・オプションの削除

第 297 章 提供サービスまたは配達サービスのサービス・スキルの管理

このタスクについて

提供サービス・アイテムまたは配達サービス・アイテムのサービス・スキルの管理には、次のタスクが含まれます。

- 提供サービスまたは配達サービスへのサービス・スキルの関連付け
- 提供サービスまたは配達サービスからのサービス・スキルの関連付け解除

第 298 章 物理キット・アイテムまたは動的物理キット・アイテムのキット化サービスおよびキット化解除サービスの管理

このタスクについて

物理キット・アイテムまたは動的物理キット・アイテムのキット化サービスおよびキット化解除サービスの管理には、次のタスクが含まれます。

- キット化サービスおよびキット化解除サービスの物理キット・アイテムまたは動的物理キット・アイテムへの関連付け
- 物理キット・アイテムまたは動的物理キット・アイテムからのキット化サービスおよびキット化解除サービスの関連付け解除

第 299 章 サービスのキーワード、エイリアス、および除外コードの管理

このタスクについて

アイテムのキーワード、エイリアス、および除外コードを管理するために実行できるタスクを以下に示します。

管理対象

実行タスク

キーワード

- キーワードのサービスへの関連付け
- サービスからのキーワードの関連付け解除

エイリアス

- エイリアスのサービスへの関連付け
- サービスからのエイリアスの関連付け解除

除外コード

- 除外コードのサービスへの関連付け
- サービスからの除外コードの関連付け解除

第 300 章 サービスに対するクロスセルの関連付けの管理

このタスクについて

サービスに対するクロスセルの関連付けの管理には、次のタスクが含まれます。

- クロスセル・サービスのサービスへの関連付け
- クロスセル・サービスの詳細の変更
- サービスからのクロスセル・サービスの関連付け解除

第 301 章 サービスに対するアップセルの関連付けの管理

このタスクについて

サービスに対するアップセルの関連付けの管理には、次のタスクが含まれます。

- アップセル・サービスのサービスへの関連付け
- アップセル・サービスの詳細の変更
- サービスからのアップセル・サービスの関連付け解除

第 302 章 サービスに対する交換品の関連付けの管理

このタスクについて

サービスに対する交換品の関連付けの管理には、次のタスクが含まれます。

- 交換サービスのサービスへの関連付け
- 交換サービスの詳細の変更
- サービスからの交換サービスの関連付け解除

第 303 章 サービスに対する優先代替品の関連付けの管理

このタスクについて

サービスに対する優先代替品の関連付けの管理には、次のタスクが含まれます。

- 優先代替品サービスのサービスへの関連付け
- 優先代替品サービスの詳細の変更
- サービスからの優先代替品サービスの関連付け解除

第 304 章 サービスに対する代替の関連付けの管理

このタスクについて

サービスに対する代替の関連付けの管理には、次のタスクが含まれます。

- 代替サービスのサービスへの関連付け
- 代替サービスの詳細の変更
- サービスからの代替サービスの関連付け解除

第 305 章 サービスに対する競合品の関連付けの管理

このタスクについて

サービスに対する代替の関連付けの管理には、次のタスクが含まれます。

- 競合サービスのサービスへの関連付け
- 競合サービスの詳細の変更
- サービスからの競合サービスの関連付け解除

第 306 章 サービスのアセットの管理

このタスクについて

サービスのアセットの管理には、次のタスクが含まれます。

- アセットのサービスへの追加
- サービスのアセットの変更
- アセットのサービスからの削除
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ

第 307 章 検索インデックスの管理

このタスクについて

「アイテム・カタログのインデックス・リスト (Item Catalog Index List)」画面で、次のタスクを実行できます。

- 新規検索インデックスの生成
- インクリメンタル検索インデックスの生成
- 検索インデックスのアクティブ化
- 検索インデックスの削除
- 日付別検索インデックスの削除

第 308 章 属性の管理

このタスクについて

「属性の管理 (Attribute Management)」画面から、次のタスクを実行できます。

- 属性ドメインの詳細の定義
- 属性グループの作成
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ

第 309 章 属性グループの詳細の表示

このタスクについて

「属性の管理 (Attribute Management)」画面で、次のタスクを実行できます。

- 属性グループの変更
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ
- 属性グループの削除

第 310 章 属性の詳細の表示

このタスクについて

属性タイプに基づいて、「属性の管理 (Attribute Management)」画面で次のタスクを実行できます。

- 属性の詳細の変更
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ
- 属性の削除

第 311 章 テキスト属性の許容される値アセットの管理

このタスクについて

テキスト属性の許容される値アセットの管理には、次のタスクが含まれます。

- 許容される値アセットのテキスト属性への追加
- テキスト属性の許容される値アセットの変更
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ
- 許容される値アセットのテキスト属性からの削除

第 312 章 派生属性の範囲の管理

このタスクについて

派生属性の範囲の管理には、次のタスクが含まれます。

- 派生属性の範囲の定義
- 派生属性の値範囲の順序の変更
- 範囲の派生属性からの削除
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ

第 313 章 属性の接尾辞の管理

このタスクについて

接尾辞の管理には、次のタスクが含まれます。

- 接尾辞の属性値への追加
- 属性値の接尾辞の変更
- 接尾辞の属性値からの削除

第 314 章 属性のアセットの管理

このタスクについて

属性のアセットの管理には、次のタスクが含まれます。

- アセットの属性への追加
- アセットの属性の変更
- アセットの属性からの削除
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ

第 315 章 サブカタログ組織の管理

このタスクについて

サブカタログ組織の管理には、次のタスクが含まれます。

- 組織のサブカタログ組織リストへの追加
- 組織のサブカタログ組織リストからの削除

第 316 章 顧客資格の管理

このタスクについて

顧客資格の管理には、次のタスクが含まれます。

- Sterling Business Center での顧客資格の作成
- 顧客資格ルールの管理
- 顧客資格の顧客グループの管理

第 317 章 顧客資格ルール管理

このタスクについて

顧客資格のルール管理には、次のタスクが含まれます。

- 顧客資格ルールの作成
- 顧客資格ルールの変更
- 顧客資格ルールの削除

第 318 章 顧客資格の顧客グループの管理

このタスクについて

一般顧客グループを顧客資格に関連付けて管理することで、一般顧客グループは、顧客資格内で割り当てられるアイテムにアクセスできるようになります。以下の顧客を顧客資格に関連付けることができます。

- 匿名顧客
- 企業顧客
- 消費者顧客

顧客資格の一般グループの管理には、次のタスクが含まれます。

- 一般顧客グループの顧客資格への関連付け
- 顧客を指定しない顧客資格の定義
- 顧客資格への顧客プロフィール条件の追加
- 顧客資格の顧客プロフィール条件の変更
- 顧客プロフィール条件の顧客資格からの削除
- 特定の顧客の顧客資格への関連付け
- 顧客資格からの特定顧客の関連付け解除

第 319 章 ストアフロント資格の管理

このタスクについて

ストアフロント資格の管理には、次のタスクが含まれます。

- Sterling Business Center でのセラー資格の作成
- ストアフロント資格ルールの管理
- 組織のセラー資格への関連付け
- セラー資格からの組織の関連付け解除

第 320 章 ストアフロント資格ルール管理

このタスクについて

ストアフロント資格のルール管理には、次のタスクが含まれます。

- セラー資格ルールの作成
- セラー資格ルールの変更
- セラー資格ルールの削除

第 321 章 マスター・カタログの管理

このタスクについて

マスター・カタログとは、ある組織に属するアイテムの包括的なリストです。マスター・カタログは、カタログ組織の作成時にデフォルトで作成されます。マスター・カタログは、アクティブな販売カタログとしても使用できます。アクティブな販売カタログは、顧客によって使用されるカテゴリ階層を表します。

マスター・カタログを管理するには、「カタログ管理 (Catalog Management)」画面で以下のタスクを実行します。

- マスター・カタログの詳細の定義
- Sterling Business Center でのカテゴリの作成
- カタログのアセットの管理

第 322 章 販売カタログの管理

このタスクについて

アクティブな販売カタログは、顧客によって使用されるカテゴリ階層を表します。販売カタログにより、顧客は特定のアイテムに移動したり、アイテムを絞り込んだりできます。1 つのカタログ組織またはサブカタログ組織で、常にアクティブにできる販売カタログは 1 つのみです。

販売カタログの管理には、次のタスクが含まれます。

- カタログの詳細の変更
- Sterling Business Center でのカテゴリの作成
- カタログのアセットの管理

第 323 章 カタログの管理

このタスクについて

カタログは、組織に属するアイテムの階層です。カタログの管理には、次のタスクが含まれます。

- カタログの詳細の表示
- Sterling Business Center でのアクティブな販売カタログとしてのカタログの設定
- マスター・カタログの管理
- 販売カタログの管理

第 324 章 カタログの詳細の表示

このタスクについて

「カタログ管理 (Catalog Management)」画面で、次のタスクを実行できます。

- カタログの詳細の変更
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ
- Sterling Business Center でのカタログの削除

第 325 章 カテゴリーの詳細の表示

このタスクについて

「カタログ管理 (Catalog Management)」画面で、次のタスクを実行できます。

- カテゴリーの詳細の変更
- アイテムのカテゴリーへの割り当て
- カテゴリー間のアイテムの移動
- アイテムのカテゴリーからの削除
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ
- Sterling Business Center でのカテゴリーの削除

第 326 章 カタログのアセットの管理

このタスクについて

カタログのアセットの管理には、次のタスクが含まれます。

- アセットのカタログへの追加
- カタログ内のアセットの詳細の変更
- アセットのカタログからの削除
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ

第 327 章 カテゴリーに対するアイテムおよびサービスの割り当ての管理

このタスクについて

カテゴリーに対するアイテムおよびサービスの割り当ての管理には、次のタスクが含まれます。

- アイテムのカテゴリーへの割り当て
- 提供サービスのカテゴリーへの割り当て
- カテゴリー間のアイテムの移動
- カテゴリー間の提供サービスの移動
- アイテムのカテゴリーからの削除
- 提供サービスのカテゴリーからの削除

第 328 章 カテゴリーのアセットの管理

このタスクについて

カテゴリーのアセットの管理には、次のタスクが含まれます。

- アセットのカテゴリーへの追加
- カテゴリー内のアセットの詳細の変更
- アセットのカテゴリーからの削除
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ

第 329 章 カテゴリーの属性の管理

このタスクについて

カテゴリーの属性の管理には、次のタスクが含まれます。

- 属性のカテゴリーへの割り当て
- カテゴリーの属性への値の割り当て
- カテゴリーの属性への複数值の割り当て
- カテゴリーの属性への使用法の割り当て
- 属性のカテゴリーからの削除

第 330 章 分類の詳細の表示

このタスクについて

「分類管理 (Classification Management)」画面で、次のタスクを実行できます。

- 分類の変更
- 目的の分類への追加
- 目的の分類からの削除
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ
- Sterling Business Center での分類の削除

第 331 章 分類値の詳細の表示

このタスクについて

「分類管理 (Classification Management)」画面で、次のタスクを実行できます。

- 分類値の変更
- Sterling Business Center 内のフィールドのローカライズ
- 分類値の削除

第 332 章 分類に対するアイテムの割り当ての管理

このタスクについて

分類に基づくアイテムの割り当ての管理には、次のタスクが含まれます。

- アイテムの分類への割り当て
- 分類値間のアイテムの移動
- アイテムの分類からの削除

第 333 章 分類の属性の管理

このタスクについて

分類に基づく属性の管理には、次のタスクが含まれます。

- 属性の分類への割り当て
- 分類の属性への使用法の割り当て
- 属性の分類からの削除

第 334 章 カテゴリーのキーワードの定義

このタスクについて

カテゴリーのキーワードの定義には、次のタスクが含まれます。

- キーワードのカテゴリーへの関連付け
- カテゴリーからのキーワードの関連付け解除

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation

J46A/G4

555 Bailey Avenue

San Jose, CA 95141-1003

U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、**IBM** 所定のプログラム契約の契約条項、**IBM** プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、**IBM** より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。**IBM** は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。**IBM** 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている **IBM** の価格は **IBM** が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© IBM 2011。このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。 © Copyright IBM Corp. 2011。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IT Infrastructure Library は英国 Office of Government Commerce の一部である the Central Computer and Telecommunications Agency の登録商標です。

Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、ItaniumPentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

ITIL は英国 Office of Government Commerce の登録商標および共同体登録商標であって、米国特許商標庁にて登録されています。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Cell Broadband Engine, Cell/B.E は、米国およびその他の国における Sony Computer Entertainment, Inc. の商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

Linear Tape-Open, LTO, LTO ロゴ、Ultrium および Ultrium ロゴは、米国およびその他の国における HP、IBM Corp. および Quantum の商標です。

Connect Control Center[®]、Connect:Direct[®]、Connect:Enterprise、Gentran[®]、Gentran:Basic[®]、Gentran:Control[®]、Gentran:Director[®]、GentranPlus[®]、Gentran:Realtime[®]、Gentran:Server[®]、Gentran:Viewpoint[®]、Sterling Commerce[™]、Sterling Information Broker[®]、および Sterling Integrator[®] は、Sterling Commerce, Inc.、IBM Company の商標です。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アイテム

アイテム数量の定義

物理キット・アイテム 273

アイテム説明のローカライズ 59

アイテムの検索 37

アイテムの割り当て

物理キット 273

アセット

アイテムの関連付け 181

関連付け解除 185

変更 183

値の割り当て

拡張フィールド 97

アップセルの関連付け

アップセル・アイテムとの関連付けの解除 125

アップセル・アイテムの関連付け 121

エイリアス

関連付け 191

関連付け解除 193

管理

アセット 623

アップセルの関連付け 613

エイリアス 625

関連付けられた交換品のカテゴリ 143

キーワード 625

競合品の関連付け 621

クロスセル・アイテムの関連付け 611

交換品の関連付け 615

在庫 609

除外コード 625

代替アイテムの関連付け 619

提供サービス 641

取引管理 199, 311

ノード固有の詳細 629

配達サービス 643

販売の詳細 199, 311

返品ピックアップ・サービス 645

優先代替品の関連付け 617

アイテム (続き)

関連付け

提供サービス 255

配達サービス 261

返品ピックアップ・サービス 267

関連付け解除

提供サービス 259

配達サービス 265

返品ピックアップ・サービス 271

キーワード

関連付け解除 189

キーワードの関連付け 187

競合品の関連付け

カテゴリの関連付け 175

カテゴリの関連付け解除 179

競合品の関連付け 169

競合品の関連付け解除 173

クロスセルの関連付け

クロスセル・アイテムとの関連付けの解除 111

クロスセル・アイテムの関連付け 107

交換品の関連付け

カテゴリの関連付け解除 143

交換品との関連付けの解除 137

交換品の関連付け 133

コンポーネントの管理

物理キット 647

削除 377

削除、アイテム

物理キット 277

作成

動的物理キット・アイテム 29

バリエーションのあるアイテム 31

バンドル・アイテム 25

物理キット・アイテム 27

指示の削除 79

指示の順序を変更 77

手動での指示の追加 71

主要情報の定義 55

除外コード

関連付け 195

関連付け解除 197

推奨代替品の関連付け

カテゴリの関連付け解除 155

推奨代替品の関連付け 145

推奨代替品の関連付け解除 149

代替単位

削除 69

変更 67

アイテム (続き)

代替品の関連付け

カテゴリの関連付け 163

カテゴリの関連付け解除 167

代替品の関連付け 157

代替品の関連付け解除 161

追加

代替単位 65

ノード 203

定義

アイテム分類 209

エイリアス 191, 193, 317, 319

価格設定単位 63

ソーシングのフルフィルメントの詳細 81

単位 61

ノード固有の詳細 203

輸送のフルフィルメントの詳細 81

ノード

削除 207

ノード詳細

変更 205

バリエーション・アイテム

既存アイテムを子アイテムとして追加 49

子アイテムの変更 51

プレビュー、詳細 287

変更

提供サービス 257

配達サービス 263

返品ピックアップ・サービス 269

割り当て、値

拡張フィールド 253

アイテム属性

管理

属性値 91, 607

複数の値の割り当て

属性値 95

変更

属性値 93

割り当て

属性値 89

アイテムの拡張検索

さらに条件を追加 39, 238

インデックス

アクティブ化 371

インクリメンタル検索インデックス

生成 369

削除 373

生成、新規検索インデックス 367

日付による削除 375

[カ行]

- カタログ
 - 管理
 - アセット 713
 - 関連付け解除
 - アセット 513
 - 削除 557
 - 作成 501
 - 設定
 - アクティブな販売カタログ 507
 - 定義
 - マスター・カタログの詳細 499
 - 変更 505
 - アセットの詳細 511
- カテゴリー
 - 移動
 - アイテム 527, 529
 - 管理
 - アイテムの割り当て 715
 - アセット 717
 - 属性 719
 - 関連付け
 - アセット 509, 537
 - 関連付け解除
 - アセット 541
 - キーワード 553
 - 削除 555
 - アイテム 533
 - サービス 535
 - 属性 549
 - 作成 515
 - 定義
 - キーワード 729
 - 変更 517
 - アセットの詳細 539
 - 割り当て
 - アイテム 523, 525
 - キーワード 551
 - 属性 543
 - 属性の値 545
 - 属性の使用法 547
- 検索
 - 保存 43
- 顧客資格
 - 管理
 - 顧客グループ 697
 - ルール 695
 - 関連付け
 - 一般顧客グループ 463
 - 特定の顧客 473
 - 関連付け解除
 - 特定の顧客 475
 - 削除
 - 顧客プロフィール条件 471

- 顧客資格 (続き)
 - 追加
 - 顧客プロフィール条件 467
 - 定義
 - 顧客を指定しない 465
 - 変更
 - 顧客プロフィール条件 469
 - ルールの削除 461
 - ルールの作成 453
 - ルールの変更 457
- コンテキスト組織 13
 - 変更 13

[サ行]

- サービス
 - 管理
 - アセット 673
 - アップセルの関連付け 663
 - エイリアス 659
 - キーワード 659
 - クロスセル・アイテムの関連付け 661
 - 交換品の関連付け 665
 - 指示 247, 251, 639
 - 除外コード 659
 - 代替アイテムの関連付け 359
 - 付加価値サービスのサービス・アクティビティ 651
 - 優先代替品の関連付け 667
 - 関連付け
 - エイリアス 317
 - キーワード 313
 - 除外コード 321
 - 関連付け、キット化サービスおよびキット化解除サービス
 - 動的物理キット 307
 - 物理キット 307
 - 関連付け、サービス・スキル
 - 提供サービス・アイテム 303
 - 関連付け解除
 - エイリアス 319
 - キーワード 315
 - 除外コード 323
 - 関連付け解除、キット化サービスおよびキット化解除サービス
 - 動的物理キット 309
 - 物理キット 309
 - 関連付け解除、サービス・スキル
 - 提供サービス・アイテム 305
 - 配達サービス・アイテム 305
 - キット化サービスおよびキット化解除サービスの管理
 - 動的物理キット 657
 - 物理キット 657
 - 競合品の関連付け 355

- サービス (続き)
 - クロスセル関連付け 325
 - 関連付け解除 329
 - 検索 237
 - コンポーネントの管理
 - バンドル 649
 - 物理キット 647
 - サービス・オプションの管理
 - 提供サービス 653
 - 配達サービス 653
 - サービス・スキルの管理
 - 提供サービス・アイテム 655
 - 配達サービス・アイテム 655
 - 削除 379
 - アセット 365
 - 付加価値サービスからのサービス・アクティビティ 297
 - 削除、アイテム
 - 物理キット 277
 - 削除、サービス・オプション
 - 提供サービス 301
 - 配達サービス 301
 - 作成
 - 提供サービス 219
 - 配達サービス 213
 - 返品ピックアップ・サービス 225
 - 流通加工サービス 231
 - 指示
 - 手動での指示の追加 243
 - 主要情報
 - 提供サービス 221
 - 配達サービス 215, 631
 - 返品ピックアップ・サービス 227
 - 流通加工サービス 233
 - 追加
 - アセット 361
 - 付加価値サービスのサービス・アクティビティ 289
 - 追加、サービス・オプション
 - 提供サービス 299
 - 配達サービス 299
 - 追加、サービス・スキル
 - 配達サービス・アイテム 303
 - 変更
 - アセット 363
 - 付加価値サービスのサービス・アクティビティ 293
- 資格
 - 検索
 - 顧客資格 449
 - セラー資格 481
 - 削除
 - 顧客資格 477
 - セラー資格 495
 - 作成
 - 顧客資格 447

資格 (続き)
作成 (続き)
 セラー資格 479
 テスト
 顧客資格 497
資格の拡張検索
 条件の追加 450
初期構成
 設定可能モデル 5
ストアフロント資格
 管理
 ルール 701
セラー資格
 関連付け
 組織 491
 関連付け解除
 組織 493
削除
 ルール 489
変更
 ルール 487
 ルールの作成 485
属性
 管理
 アセット 689
 接尾辞 687
 派生属性の範囲 685
削除
 アセット 437
 値、テキスト属性から 403
 接尾辞 431
 属性グループ 441
 派生属性の範囲 425
作成
 属性 387
 属性グループ 383
数値属性
 すべての数値を割り当て 415
 特定の数値の割り当て 417
属性の削除 439
追加
 アセット 433
 接尾辞 427
定義
 属性ドメインの詳細 381
 テキスト属性のプロパティ 113
 派生属性の範囲 421
 ブール属性のプロパティ 411
テキスト属性
 割り当て、値のリスト 397
 割り当て、フリー・フォーム・テキスト値 401
表示
 派生属性 419
変更
 アセット 435

属性 (続き)
変更 (続き)
 順序、属性グループの 395
 順序、属性の 395
 接尾辞 429
 属性グループ 385
 属性グループの順序 519
 属性の順序 519
 属性の詳細 391

[夕行]

タグ付きアイテム
 在庫管理 99
タグなしアイテム
 在庫管理 103

[ハ行]

バンドル
 サービスの割り当て 275
 作成、事前設定済みアイテム 281
 作成、設定可能アイテム 279
 変更、事前設定済みコンポーネントの設定 285
 変更、設定モデル 283
販売資格の拡張検索
 条件の追加 482
物理キット
 サービスの割り当て 275
 変更、設定モデル 283
分類
 移動
 アイテム 575
 管理
 アイテムの割り当て 725
 属性 727
 削除 591
 アイテム 577
 値 589
 属性 583
 目的 567
 作成 561
 定義
 値 569, 571
 継承可能な属性のフィールド 585
 変更 563
 割り当て
 アイテム 573
 属性 579
 属性の使用法 581
返品
 定義
 拒否するための返品フルフィルメント詳細 87

返品 (続き)
 定義 (続き)
 承認するための返品フルフィルメント詳細 85
ホーム・ページ 17
 お気に入り検索パネル 21
 最近の変更パネル 21
保存済み検索
 お気に入りのリストに追加 47
管理 45
削除 46
参照および実行 46
名前の変更 45

[ラ行]

ログイン 15
論理キット
 作成 35

V

Visual Product Modeler 593
 起動 593



Printed in Japan